（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事
（建築主体工事）

図 面 リ ス ト

図面番号	図　　名	図面番号	図　　名	図面番号	図　　名	図面番号	図　　名
Ａ－０１	建築工事特記仕様書１	Ａ－５１	＜現況＞建具表２				
Ａ－０２	建築工事特記仕様書２	Ａ－５２	＜現況＞建具表３				
Ａ－０３	建築工事特記仕様書３	Ａ－５３	＜現況＞建具表４				
Ａ－０４	建築工事特記仕様書４	Ａ－５４	＜現況＞建具表５				
Ａ－０５	建築改修工事特記仕様書１	Ａ－５５	＜改修＞建具表１				
Ａ－０６	建築改修工事特記仕様書２	Ａ－５６	＜改修＞建具表２				
Ａ－０７	建築改修工事特記仕様書３	Ａ－５７	＜現況＞展開図１				
Ａ－０８	建築改修工事特記仕様書４	Ａ－５８	＜現況＞展開図２				
Ａ－０９	位置図	Ａ－５９	＜現況＞展開図３				
Ａ－１０	敷地求積図	Ａ－６０	＜現況＞展開図４				
Ａ－１１	＜現況＞配置図	Ａ－６１	＜現況＞展開図５				
Ａ－１２	＜改修＞配置図・平均地盤面算定図	Ａ－６２	＜現況＞展開図６				
Ａ－１３	日影図	Ａ－６３	＜現況＞展開図７				
Ａ－１４	仮設計画図	Ａ－６４	＜改修＞展開図１				
Ａ－１５	工事概要・外部仕上表	Ａ－６５	＜改修＞展開図２				
Ａ－１６	内部仕上表１	Ａ－６６	＜改修＞展開図３				
Ａ－１７	内部仕上表２	Ａ－６７	＜改修＞展開図４				
Ａ－１８	内部仕上表３	Ａ－６８	＜改修＞展開図５				
Ａ－１９	＜現況＞１階平面図	Ａ－６９	＜改修＞展開図６				
Ａ－２０	＜現況＞２階平面図	Ａ－７０	＜改修＞展開図７				
Ａ－２１	＜現況＞ＰＨ階平面図・屋根伏図	Ａ－７１	＜改修＞展開図８				
Ａ－２２	＜改修＞１階平面図	Ａ－７２	ＥＶ詳細図１				
Ａ－２３	＜改修＞２階平面図	Ａ－７３	ＥＶ詳細図２				
Ａ－２４	＜改修＞ＰＨ階平面図・屋根伏図	Ａ－７４	ＥＶ詳細図３				
Ａ－２５	１階求積図	Ａ－７５	ＥＶ詳細図４				
Ａ－２６	２階・ＰＨ階求積図	Ａ－７６	部分詳細図１				
Ａ－２７	防火区画図	Ａ－７７	部分詳細図２				
Ａ－２８	法規チェックリスト図	Ａ－７８	部分詳細図３				
Ａ－２９	＜現況＞立面図１	Ａ－７９	＜現況＞外構図				
Ａ－３０	＜現況＞立面図２	Ａ－８０	＜改修＞外構図				
Ａ－３１	＜改修＞立面図１	Ａ－８１	外構詳細図				
Ａ－３２	＜改修＞立面図２						
Ａ－３３	＜現況＞断面図						
Ａ－３４	＜改修＞断面図						
Ａ－３５	敷地断面図						
Ａ－３６	＜現況・改修＞平面詳細図１						
Ａ－３７	＜現況・改修＞平面詳細図２						
Ａ－３８	＜現況・改修＞断面詳細図１	Ｓ－０１	構造特記仕様書				
Ａ－３９	＜現況・改修＞断面詳細図２	Ｓ－０２	鉄筋コンクリート構造配筋標準図				
Ａ－４０	＜現況・改修＞階段詳細図	Ｓ－０３	鉄骨構造標準図				
Ａ－４１	屋外階段詳細図	Ｓ－０４	Ｈ形鋼接手標準図				
Ａ－４２	＜現況＞１階天井伏図	Ｓ－０５	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準図				
Ａ－４３	＜現況＞２階天井伏図	Ｓ－０６	基礎伏図・基礎詳細図				
Ａ－４４	＜改修＞１階天井伏図	Ｓ－０７	梁伏図・部材リスト				
Ａ－４５	＜改修＞２階天井伏図	Ｓ－０８	軸組図				
Ａ－４６	＜現況＞１階建具平面図	Ｓ－０９	架構詳細図－１				
Ａ－４７	＜現況＞２階建具平面図	Ｓ－１０	架構詳細図－２				
Ａ－４８	＜改修＞１階建具平面図						
Ａ－４９	＜改修＞２階建具平面図						
Ａ－５０	＜現況＞建具表１						

建築工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事名称　（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）

2．工事場所　三重県伊賀市平野山之下　地内

3．工事種目　・新築　⊙増築　・改築　⊙改修（改修工事特記仕様書も適用する）

4．面積　敷地面積　5,343.90㎡
建築面積　求積図（A-25、26）参照
延床面積　求積図（A-25、26）参照

5．建物高さ　軒高　断面図（A-34）参照

6．階数　地上　2　階　地下　0　階　塔屋　1　階

7．構造・地業　構造：　＜増築＞S造　地業＜増築＞柱状地盤改良
＜既存＞RC造一部S造　＜既存＞鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾟｲﾙ

8．工事期間　着工　令和 元 年 8 月 1 日　竣工　令和 2 年 1 月 27 日

9．工事範囲
・内装改修工事　・電気設備改修工事　（別途工事）
・屋上防水工事　（別途工事）　・機械設備改修工事　（別途工事）
・昇降機棟増築工事（別棟増築）　・空調設備改修工事　（別途工事）
・外構改修工事

10 別途工事　（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（電気設備工事）
（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（機械設備工事）

11 その他の特記事項　・訓練棟、補助棟、給油所棟解体整備工事

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様　（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事　標準仕様書（建築工事編）（平成　最新 年版）」（以下「標仕」という）による。
（2）標仕に規定する事項は、別の定めがある場合を除き、請負者の責任において履行すべきものとする。
（4）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は　公共建築工事標準仕様書（平成 最新 年版）の電気設備工事編、機械設備工事編を適用する。

2．特記仕様　（1）項目は、番号に　◯印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。　⊙印の付かない場合は、　※印の付いたものを適用する。
（3）特記事項に記載の（　．　．　）内の表示番号は、標仕の当該項目又は当該表を示す。
（4）メーカー名は、「株式会社」等の記載は省略する。

章	項　目	特　記　事　項
Ⅰ 一般共通事項 1	①適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図　（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修平成 最新 年版） ⊙ 敷地調査共通仕様書（平成２７年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ⊙ 工事写真の撮り方（改訂第３版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・
	②設計図書の優先順位	※ 図面及び仕様書の内容に相違ある時は下記の優先順位により判断し、監督職員と順位を協議の上決定する。 優先順位 1）現場説明事項書及び質疑回答書　2）特記仕様書　3）図面 4）各種標準図　5）標仕
	③ 品質計画	※建築基準法に基づき定められる風圧区分等の適用工事　（ 1.2.2 ） ・８章　９章　・１０章　・１３章　・１４章　１６章　１７章 ・風速　（Ｖ０＝ 34 ）　建告示第 1454 号　及び　建告示　1458 号 ⊙ 地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ）建告示第1454号 ⊙ 積雪区分　伊賀市条例 40 ｃｍ ・建告 1455 号別表（　　） ・凍結深度（　　ｃｍ　）　・
	施工計画書及び報告書の提出	⊙ 品質管理計画書 ⊙ 総合施工計画書　⊙ 仮設工事施工計画書　⊙ 土工事施工計画書 ⊙ 地業工事施工計画書　⊙ 鉄筋工事施工計画書　⊙ ｺﾝｸﾘｰﾄ 工事施工計画書 ⊙ 鉄骨工事施工計画書◯ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ､ALCﾊﾟﾈﾙ、押出成形 ｾﾒﾝﾄ板工事施工計画書 ⊙ 防水工事施工計画書　・ 石工事施工計画書　⊙ﾀｲﾙ 工事施工計画書 ・ 木工事施工計画書⊙ 屋根及びとい工事施工計画書　⊙ 金属工事施工計画書 ⊙ 左官工事施工計画書　◯　建具工事施工計画書　ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事施工計画書 ⊙ 塗装工事施工計画書　⊙ 内装工事施工計画書 ・ ｭﾆｯﾄ及びその他の工事施工計画書　⊙ 排水工事施工計画書 ⊙ 舗装工事施工計画書　・ 植栽工事施工計画書◯ その他監督職員の指示するもの
	④電気保安技術者	⊙ 適用する　（1.3.3）
	⑤技能士	・ 適用しない　◯ 適用する（監督職員との協議による）　（1.5.2）
	⑥ 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。（1.4.1 ～2）
	⑦ 化学物質の濃度測定	測定対象化学物質（●で示したものとする。）（1.6.9）

適用	施設用途	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ﾄﾙｴﾝ	ｷｼﾚﾝ	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ｽﾁﾚﾝ	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定個所数（・図示 ⊙ 各居室
（１階：事務室① ２箇所、相談室① １箇所、会議室　１箇所、
２階：事務室① ２箇所、事務室⑥ １箇所、活動室①② ２箇所・・・・計９箇所）
測定方法（※　パッシブ法　・　アクティブ法）
報告書提出部数　２部

章	項　目	特　記　事　項
Ⅰ 一般共通事項 1	⑧特別な材料の工法	特記仕様書及び標仕に記載していない材料及び工法等の仕様については当該業者の仕様による責任施工（合法、安全、機能、品質等が確保されること）とする。
	⑨発生材の処理等	※　関連法令、行政指導等を遵守し、適正処理をすること。（1.3.8） 請負者は、解体材、工事発生残材の分別保管に努め発生材のうち再生資源として利用できるものは、再生資源化施設へ搬入処理に努めること。その他のものは中間処理又は最終処理施設に搬入処理のこと。請負者は収集運搬及び処分を委託する場合は、三者契約を締結し事前に許可証の写しを監督職員に提出すること。尚、収集運搬及び処分は請負者の責任においてマニュフェストシステムにより適正に行うこと。 ・ 現場説明事項書による。
	⑩ 設計図書の取扱い	著作権に係わる施工図を作成するための設計図書データの貸出は監督職員の承認を受ける。（1.1.6）
	⑪ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は発注者に帰属するものとする。（1.2.3）
	⑫ 総合図の作成	各工事の着工に先立ち空調吹出・照明器具・設備機器の位置・取合い等の記入された総合図（施工図）を作成する。
	⑬ 完成図等	※ 作成する（1.7.1～3）（表1.7.1） (1) ※ 完成原図　原図変更箇所をすべて訂正する　(⊙原図 ⊙ＣＡＤ)ﾃﾞｰﾀ 1 式 電子データの形式は監督職員の指示による (2) ⊙縮小第２原図　（Ａ３判）　1部 (3) ・ マイクロフィルム（設計図一式）　（アパッチャーカード方式）　部 (4) ※ 製本図面　⊙仕上りＡ４版－Ａ３サイズ２つ折り製本（縮小図）　2部 ⊙仕上りＡ２版－Ａ１サイズ２つ折り製本黒表紙、銀文字入り　2部 (5) ⊙保全に関する資料の部数　2部 (6) ⊙施工図（ ⊙ 構造躯体 ⊙ 仕上げ ⊙ その他監督職員の指示するもの）　1部 (7) ・ その他　部
	⑭ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	部数	原板の大きさ（㎜）
⊙カラー※ キャビネ版	外部（4）内部（30）	※ 2	※ 100 ×125 以上
・カラーパネル（木製）	外部（ ）内部（ ）	※ 2	・ 版
・カラースライド	外部（ ）内部（ ）	・ 1 ・	※ 24 ×36 以上
・ポジティブ	外部（ ）内部（ ）	・ ・	4 ×5インチ
⊙電子データ ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ)	外部（ ）内部（ ）	※ 2	※ 800 万画素以上
・	外部（ ）内部（ ）	・ ・	

100 ×125 以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめベタ焼を提出し確認を受ける。
電子データの形式は監督職員の指示による
※ アルバムを作成する　※ 銀文字製本アルバム（２部）・アルバム（　部）
撮影業者　建築完成写真 撮影の実績ある業者で下記による。
※ 監督職員の承諾　指定（　）

⑮ 設計ＧＬ	※ 図示　・ 設計ＧＬ＝ 現状 BM （図示）＋（　）	（2.2.2 ）
⑯ 統括安全衛生責任者の指名	※本工事に別途工事がある場合、労働安全衛生法の定めにより、本工事請負者を総括安全衛生責任者に指名する。 請負者は本契約後直ちに「統括安全衛生管理者適任届出（任意様式）」を提出すること。	
⑰ 工程報告及び工事写真	※工事施工報告書（工事進捗状況写真を含む）を、監督職員に毎月1 回（ 1 部）提出する。 ※建築材料等の納入伝票類、施工写真を、監督職員の指示により提出する。	
⑱ 保証書	※ 次の工事は何れも責任施工とし、請負者と施工者及び材料製造所の三者連帯保証書を　2　通提出する。保証開始日は建物引渡しの日からとする。	

工事区分	材 料 名	保証年数	備　考
屋根工事	⊙金属板等の屋根	・ 5 年 ⊙10 年	
	・	・ 年 ・ 年	
防水工事	・ アスファルト防水	※ 10 年 ・ 年	
	・合成高分子ルーフィング防水	※ 10 年 ・ 年	
	⊙塗膜防水（保護）	※ 5 年 ⊙10 年	
	⊙弾性シーリング	⊙ 5 年 ・ 年	
	・	・ 年 ・ 年	
外装工事	⊙複層仕上塗材（吹付）	⊙10 年 ・ 年	
	・	・ 年 ・ 年	
特殊床工事	・	※ 3 年 ・ 年	
	・	・ 年 ・ 年	
その他	・	・ 年 ・ 年	
	・	・ 年 ・ 年	
植栽工事	・ 樹木	※ 1 年 ・ 年	
	・	・ 年 ・ 年	

19 模型類の作成	※ 作成しない　現場説明事項書による	
⑳ その他	工事用看板　※　監督職員の指示による 分離発注工事　※　分離発注工事が有る場合は総合的に工程・取合等の調整を行う事	
㉑ 建設副産物情報交換システムの利用	※請負者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出する。また、工事完了後にはJACIC（（財）日本建設情報総合センター）が運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。	
㉒ 三重県産業廃棄物税	※本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月３１日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理業者（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。	

章	項　目	特　記　事　項
Ⅰ 一般共通事項 1	㉓ 工事実績情報の登録等	(1.1.4) ・ 請負者は受注時において工事請負代金額が500万円以上2500万円未満の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、１０日以内に登録申請しなければならない。 また（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 ⊙ 請負者は受注時又は変更時において工事請負代金額が2500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注、変更及び完成時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から１０日以内に、完成時は工事完成後１０日以内に登録機関に登録申請しなければならない。 また（財）日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。ただし、変更時と完成時の間が１０日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。 ⊙ 請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書を監督員に提出しなければならない。 ⊙ 請負者は、工事を施工するために締結した下請契約の請負代金額（当該下請契約が二以上ある時は、それらの請負代金額の総額）が4,500万円以上になるとき施工体制台帳を作成し、工事現場に備えると共に、別に定める様式により監督員に提出しなければならない。 ⊙ 請負者は、各下請者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により提出しなければならない。
	㉔ 養生その他	⊙ 工事施工に際し既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共既存にならい補修する。
	㉕ 事故報告	⊙ 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。

章	項　目	特　記　事　項
Ⅰ 一般共通事項 2 仮設工事	①受注者事務所	※ 設ける　・ 設けない　・ 構内建物内の一部を使用する。（2.3.1 ） 受注者事務所の規模　（ ㎡） ・ 10 程度　⊙ 15 程度　・ 25 程度　35　65　100 程度 監督職員事務所の備品等　適用する（監督職員の指示による）
	②工事用水	構内既存の施設　※　利用できない◯ 利用できる（ ※有償・ 無償）（2.3.1 ）
	③工事用電力	構内既存の施設　※　利用できない◯ 利用できる（ ※有償 ・無償）（2.3.1 ）
	④仮設物撤去その他	※ 仮設物の撤去及び建物引渡しまでの工事用電気、水道、ガス等の料金（基本料金を含む）は請負者の負担とする。（2.4.1 ）
	⑤仮囲い	高 さ　H＝３m　⊙ H＝１.８m　・ H＝ 2.0m 仕 様　鋼板張　・ ネットフェンス ◯ ガードフェンス　・ 成形鋼板（目隠し型）
	6 指定仮設	・ 無し　・ 有り（　）
Ⅰ 一般共通事項 3 土工及び地業工事	①埋戻し及び盛土	・ A種　※ B 種　C 種　D種　（3.2.3 ）（表 3.2. 1）
	②建設発生土の処理	・ 現場説明事項書による。（3.2.5 ） ⊙構外搬出適切処理　・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し ・ 撤去　・ 存置（　）（3.3.3 ）
	3 山止め	
Ⅰ 一般共通事項 4 地業工事	※ 地業工事	（ この章特記なき限り構造特記仕様書による ）
	①床下防湿層	施工箇所　（4.6.6 ） ⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下
	2 接地部分の断熱材（特定フロンを使用しないもの）	⊙ポリエチレンフィルム厚さ　0.15㎜　（　）・ ・ポリスチレンフォーム保温材　JISA9511　規格品 3 種 b　・厚さ（ 30 ）㎜ ・厚さ（ 50 ）㎜ ・木繊 セメント板　厚さ　50 （床下防湿 ｼｰﾄ なし）
Ⅰ 一般共通事項 5 鉄筋工事	※ 鉄筋工事	（ この章特記なき限り構造特記仕様書による ）
	1 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭の杭頭補強	・ A 形　B形　※ 図示　（別図 1.1）
	② 帯筋	※ H型 （口は除く）　（別図 2.2 ）
	③ 最上階柱頭補強	※ 行う（図示）　行わない
	4 梁貫通孔の補強形式	※ H 形　MH 形　M形　・ 既製品　（別表 7.1～ 3）
Ⅰ 一般共通事項 6 コンクリート工事	※ コンクリート工事	（ この章特記なき限り構造特記仕様書による ）
	① ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	※Ⅰ類　・ Ⅱ 類　（表 6.1.1 ）
	② 打放し仕上げの種別	・ A 種　※ B 種 ・ C 種　（表 6.2.3 ）
	③ 骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分　（ 6.3.3 ）（ 6.5.4 ） ※ A　・ B（※コンクリート中のアルカリ総量Rt＝3ON／㎥ 以下）
	④ 型 枠（せき板）の種別	◯普通合板型枠　（ 6.9.3 ） ◯打放し合板型枠
	5 コンクリート躯体表面の処理	外装タイル 後張り面の躯体表面の処理 MCR 工法は、せき板面に MCR 工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目荒しは、水圧50N／㎟ 以上かつ、2.5分／㎡ 以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は 事前に監督職員に承諾をうける。 コンクリートの増打ち厚さ　20mm　・ 図示 施工箇所　※　図示　・
	6 断熱材兼用型枠	運用及び適用箇所について　----　１９章内装工事 14 断熱材による
	7 その他	※ パラペット立上がりコンクリートは原則として一体打ちとする。
Ⅰ 一般共通事項 7 鉄骨工事	※ 鉄骨工事	（ この章特記なき限り構造特記仕様書による ）
	① 施工管理技術者	※ 適用する　（7.1.4 ）
	② 耐火被覆	（7.9.2 ～6 ） 種別・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り ⊙ 耐火材吹付け（⊙ﾛｯｸｳｰﾙ（・ 乾式 ⊙ 半乾式 ・ 湿式）・ ・ 耐火板張り　⊙ 図示 所要性能（区分）　30 分耐火（　）⊙ 1 時間耐火（　） ・ 2 時間耐火（　）・ 3 時間耐火（　）

建築基準法に基づく主要構造部の耐火時間　（7.9.2 ～6 ）

階＼部位	壁 間仕切 壁（耐力壁に限る）	壁 外壁（耐力壁に限る）	柱	床	梁	屋根	階段
⊙1 階 ～ 2 階	1	1	1	1	1	0.5	0.5
・ 階 ～ 階	2	2	2	2	2	0.5	0.5
・ 階 ～ 階	2	2	3	2	3	0.5	0.5

③ アンカーボルトの保持及び埋込み工法	⊙構造用アンカーボルト　（ ・ ）（ 7.10.3 ）（表 7.10.1 ） ・ 建方用アンカーボルト　（ ・ A種　※ B 種　C種 ）	
④ 柱底均しモルタル工法	※ A 種　B種　（ 7.2.9 ）（ 7.10.3 ）（表 7.10.2 ） 無収縮モルタルのメーカー　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。	
⑤ 溶融亜鉛めっき	亜鉛めっきの種別　◯ A 種　B 種　C種　（ 7.12.3 ） 素地ごしらえは、 JIS H 9124　溶融亜鉛めっき作業標準による。（表 14.2.2 ） 摩擦面の処理　・ ブラスト処理　⊙ リン酸塩処理	

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	建築工事特記仕様書 1	縮尺	NS（A1） NS（A3）	図面番号 A-01	図面提出日	

⑧ コンクリートブロック・ALC・押出成形セメント板工事

1 建築用コンクリートブロック

補強コンクリートブロック造　※ 空洞ﾌﾞﾛｯｸ16 ・ 空洞　ﾌﾞﾛｯｸ16-W　(8.2.2)
帳壁及び塀　※ 表 8.3.1 及び下表による　(8.3.2)

適用箇所	厚さ（mm）	種別の記号
・ 間仕切壁 地下二重壁 外壁 塀	図示	空洞ブロック 16
・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞ブロック 08

② ALCパネル

(8.4.2～6)　(表 8.4.3～4)

種　類	単位荷重（N/m²）	厚さ（mm）	取付け工法（種別）
⊙外壁パネル	・1180 ・1960 ・2160	※100 ・150 ・50	⊙A種　B種 ※C種　・図示
・間仕切壁 ﾊﾟﾈﾙ	・680 ・	※100 ・150 ・	・B種・C種・D種※E種・図示
・屋根パネル	・980 ・	※100 ・150 ・	※標仕8.4.6 による
・床パネル	・2350 ・3530	・100 ・150 ・	

・ 床パネルの耐火性能（ ・1時間 ・ 2時間 ）

3 押出成形セメント板

性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

厚さ　※ 50mm以上
種　類　※ 無石綿タイプ　(8.5.2～6)　(表8.5.1～2)

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	工法	耐火性能
・外壁	※ フラットパネル	・50 ・60	・A種	※ 有り
	・ デザインパネル（図示）	・50 ・60	・B種	・（　）
	・ タイルベースパネル	・60 45		・無し
・間仕切	※ フラットパネル	・50 ・60	・B種	※ 無し
	・ デザインパネル（図示）	・50 ・60	・C種	・有り
	・ タイルベースパネル	・60 ・		・（　）

厚さ　・ 50mm未満
種　類　※ 無石綿タイプ　(8.5.2～6)　(表8.5.1～2)

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	耐火性能
外壁（渡り廊下）	※ フラットパネル・ ・ デザインパネル（図示）	・ 15 ・	※ 無し ・ 有り

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水

(9.2.2～3)　(表9.2.3～8)

種　別	施　工　箇　所
・A-1 ・A-2	
・A I-1 ・A I-2	
・B-1 ・B-2	
・B I-1 ・B I-2	
・D-1 ・D-2	
・E-1 ・E-2	
・	

・ アスファルト防水　※ 3種（一般地域）　4種（寒冷地域）　(9.2.2)
・ 断熱工法の断熱材　※ 押出ポリスチレンフォーム　(9.2.2)
　厚さ（ mm ）※ 25　35　45　50
　ただし、特定フロンを含まないもの。
・ 絶縁用シート　※ ポリエチレンフィルム厚さ　0.15mm　以上（保護防水）
　※ フラットヤーンクロス70g/m²　程度（断熱工法）
・ 立ち上がりコンクリート打放し仕上げの種別　※ B 種　(表6.2.3)
・ 立ち上がり部の乾式保護材　(8.5.6)　(9.2.5)
　・ 適用しない
　※ 適用する　押出成形セメントパネル　厚さ 15（ mm ）
　・ PC パネル　RC
・ 伸縮調整目地　成形伸縮目地　幅　25mm　（一般部）　※　30　（外周部）
　・ 注入目地

2 改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水

種別　・ AS-1　・ AS-2　厚さ（　）　(9.3.2 ～4)　(表9.3.1)
施工箇所

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2 ～3)　(表9.4.1)

種　別	厚さ（mm）	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・S-F1	※ 1.2 ・		・ シルバー	※ 非歩行
・S-F2	※ 2.0 ・		・ カラー	・ 軽歩行
・	・ ・			
・S-M1	※ 1.5 ・			
・S-M2	※ 1.5 ・			
・S-M3	※ 1.2 ・			

4 塗膜防水

(9.5.2～3)　(表9.5.1～2)
改修特記仕様書参照
（別途工事）

種　別	施工箇所	仕上げ塗料塗り
・ X-1		仕上げ塗料塗り
・ X-2	ベランダ、庇、設備架台	・ シルバー　・ カラー
・		
・ Y-1	地下外壁防水	Y-2 工法の保護シート
・ Y-2	屋外便所床	※適用する　・適用しない

5 脱気装置

脱気装置　・ 屋根アスファルト露出防水　シート防水
※ 設ける　材種（ ※ ステンレス　SUS304 ）　設けない
※ 設置数量　（平場　25 ～40 m²／箇所、立上がり　10 m／箇所）

⑥ シーリング

下表以外は、表　9.6.1 による　(9.6.2)　(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法
ガラス、ライニング	SR-I	・図示 ◯5×5
金属、CWジョイント	MS-2	・図示 ◯20 ×10
外壁、建具	PU-2	・図示 ◯20 ×10

※ワーキングジョイントは 2 面接着、ノンワーキングジョイントは 3 面接着を原則とする。
※外壁以外の目地で、浴室、流し台、洗面化粧台等　水まわりや、耐温水性が必要な部位は、防カビタイプ　1 成分形シリコーン系（脱オキシム形）シーリングとする。

7 その他の防水処理

内部水廻りの防水処理
水廻り箇所及び水の被害が予想される所では、全面的に防水層を施工していない場所でも、次の下地処理を行う。
イ. コンクリートブロック積みの場合は、コンクリートの立上がりを設ける。
ロ. コンクリートスラブと立上がりとの打継ぎ部分には、幅　500　mm程度でウレタン系塗膜防水を行う。

8 その他

10 石工事

1 材料・工法の一般

剛性の確保　石材の剛性が不足する場合には、FRP 補強などの処理を行う。

2 天然石張り

石の品質　(10.2.1)
床用石材　※ 2等品　1等品
壁及びその他の石材　※ 1等品　2等品
石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)　(表 10.2.1～2)

記　号	種類、産地、厚さ、仕上等
石張 A	
石張 B	
石張 C	

2 テラゾ張り

種石の種類　※ 大理石　(10.2.1)
表面仕上げ　※ 本磨き　(表 10.2.2)

3 壁の石張り工法

外壁石張り　(10.3.2～3)　(10.5.2～3)
工法
・ 乾式工法　湿式工法　PC打込工法
石裏面処理　※ 行う（小口共）　・ 行わない
裏打処理　※ 行う（小口共）　・ 行わない
ドレインパイプ　※ ステンレスSUS304

内壁石張り　(10.4.2～3)　(10.5.2～3)
工法
・ 乾式工法
・ 空積工法（ ※ あと施工アンカー横筋流し工法　あと施工アンカー工法）
裏打ち処理　※ 行わない　行う（但し　）

4 床及び階段の石張り

石の厚さ（ mm ）　・ 図示
床石張りの裏面処理　※ 行わない　行う　(10.6.2)
屋内のワックス塗け　※ 行う　行わない　(10.1.5)

5 取付け金物

乾式工法用金物　・ ｽﾗｲﾄ工法　・ ﾛｯｷﾝｸﾞ工法　(10.2.2)　(表 10.2.4)

11 タイル工事

1 陶磁器質タイル

(11.2.1)
改修特記仕様書参照

記　号	形状寸法（mm）	生地 磁器	生地 せっ器	生地 陶器	ゆう薬 無ゆう	ゆう薬 施ゆう	役物 有り	役物 無し	色 標準	色 注文	再生材 適用	施工箇所
・タイルA	300 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・タイルB	150 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・タイルC	100 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・タイルD	100 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・タイルE	50 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・ 汚垂石	600 角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

タイル見本焼　※ 行わない　・ 行う（※外装タイル　。　）

2 壁タイル張りの工法

(11.2.3)
内装タイル　※壁タイル接着剤張り・ 改良積上げ張り　・　(11.3.3)　(表 11.3.2)
外装タイル　※改良圧着張り　密着張り　マスク張り
躯体表面の処理　※行う（施工範囲※図示　・　）　行わない
※MCR 工法（6 章コンクリート）又は高圧水栓（ポリマーセメントモルタル下地）工法
下地モルタル塗り　※標仕 15.2.2～5 による
タイルの見本張り　※行わない　行う（※外装タイル　・　）　(11.2.1)
接着力試験（屋外のタイル張り）　※行う　行わない

3 陶磁器質タイル型枠先付け工法

(11.2.2)　(11.4.2)　(表 11.4.1)

適用タイル	種　別	タイル型枠先付け面のせき板
小口タイル	※ タイルシート法	※標仕 6.9.3［材料］（b）(2) 又は金属製タイル先付け用パネル
二丁掛タイル	・ 目地樹法	
大形タイル	・ 桟木法	

※ 壁 窓 マグサ 外壁柱梁型及び壁の出隅部等標準的な曲がり部には役物タイル（一体成形）を使用する。

4 役物タイル

5 落下防止

※ 外壁窓マグサ部廻り・小口タイル以上の外壁耐震目地廻りにはステンレスなまし鉄線で落下防止処理を行うこと。その他監督職員の指示するものも同様とする。

6 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)
必要な部分　（　3 m以下　）

7 その他

12 木工事

1 木材の品質

※ 標仕 12.2.1による　市販品　(12.2.1)
木材保存剤（木材の防腐、防蟻処理）は、非有機リン系とする。
※ 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「伊賀市公共建築物等木材利用方針」に基き、原則として伊賀市内の木材の優先利用に努めること。調達できない場合は県産使用するものとする。なお、県産材については「三重の木」認証を優先し使用する。

2 樹種

※ 標仕 表12.2.3による　(12.2.1)　(表 12.2.3)
・ 代用樹種を適用しない箇所（　）

3 集成材

(12.2.2)

品　名	規格・品名	芯材の樹種	化粧単板の樹種
※ 集成材	※ 一般材	※ たも ・なら ・しおじ	
・構造用集成材	※1級 ・2級	・	
・造作用集成材	※1級 ・2級	・ 杉	
・化粧ばり造作用集成材	※1級 ・2級	・	・
	種　類	※ 無石綿タイプ	

4 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。　(12.2.6)

5 防蟻処理

※ 行わない　・ 行う　箇所（　）　(12.2.9)

6 防腐処理

※ 行う　行わない　(12.2.8)

7 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床　(12.7.1)　(表 12.7.1)
下張り用床板　※無し　・ 有り（※ 合板張り厚さ12 mm・板張り・ ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ厚20）
床板 ※フローリングによる（ 19.5.2 による）　・ 縁甲板（※ひのき　）
畳下床板　※ 有り（ ※ 合板張り厚さ 12 mm 防水タイプ）　・ 無し

8 ホルムアルデヒド等発散材

ホルムアルデヒド放散量の等級　※ F☆☆☆☆　・
(12.2.2～3)　(12.2.6)

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺き

(13.2.2～3)　(表 13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板　厚（mm）
・一文字葺 ・横葺 ・立ハゼ葺き	※ 塗装溶融55% アルミニウム亜鉛合金 メッキ鋼板及び鋼帯（CGLCCR-20-AZ150） ・ 塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ カラーガルバリウム鋼板	※ 0.4 ・

工法　（　）

2 折板葺

(13.3.2～3)　(表 13.2.1)
形　式　※ 重ね形　◯ はぜ締め形　かん合形
材　料　※ 塗装溶融55 %アルミニウム亜鉛合金メッキ鋼板及び鋼帯
（CGLCCR-20-AZ150　）
・
（規格等）
形　状　山高（ 90 ）mm　山ピッチ（ 300 mm　）
板厚さ　※ 0.6（mm ）　0.8（mm ）・
軒先面戸板　※ 有り　無し
断 熱 材　※ 有り（種別　厚さ　mm ）⊙無し
耐火性能　※ 30 分耐火　・ 無し

③ とい

(13.5.2)　(表 13.5.1)
材種　※ 配管用鋼管　⊙硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管VP・ ｱﾙﾐ 製　・ 耐久二層管
鋼管製といの防露　※ 標仕表13.5.5 による　(13.5.3)　(表 13.5.5)
掃 除 口　※ 有り（図示による）　無し
養 生 管　亜鉛めっき鋼管 SGP 径 図示 mm　H= 1800
とい受金物　※ SUS304　亜鉛ﾒｯｷ

4 ルーフドレイン

材　種　鋳鉄製　ステンレスSUS304
工　法　先付け　後付け

⑤ その他

長尺金属板葺きは国土交通省指定認定機関における耐風圧・水密性能データを有し、以下の性能を有するもの。耐風圧：負圧4500 Ｐａ以上　水密：平均圧力差2300 Ｐａにおいて漏水しない性能を有すること。

14 金属工事

①ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種　類	施　工　箇　所
※ ＨＬ程度	ＥＸＰ．Ｊ
・ No2Ｂ程度	
・ 鏡面仕上（ ※ No.7 ・ ）	
・	

特記なき限り、材質はステンレスSUS304　とする

②アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)　(表 14.2.1)

種　別	施　工　箇　所
⊙Ｂ－1種（無着色）	ＥＸＰ．Ｊ
・Ｂ－2種（ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝﾚｽｶﾗｰ	
・	

③鉄の亜鉛めっき

(14.2.3)　(表 14.2.2)

表面処理方法	種　別	施　工　箇　所
溶融亜鉛めっき	※ A種	⊙新設屋外階段
	・ B種	・
	・ C種	・
電気亜鉛めっき	※ D種	・
	・ E種	・
	・ F種	・

④軽量鉄骨天井下地の補強

天井ふところが 1.0ｍ以上の補強
※ 標仕14.4.4（h）による補強
⊙ボルト止めタイプ　図示
大空間天井の下地補強及び壁とのクリアランスは図示による
耐風補強（屋外の軒天井、ピロティ天井等は耐風補強とすること）
※ 耐風下地ボルト止めタイプ　図示　無し
耐震工法の採用　※ 有り（　）　無し

⑤軽量鉄骨壁下地の補強

スタッド、ランナの種類　(14.5.3)
・ 25形　・ 45形　⊙ 50形　・ 65形　・ 90形　⊙ 100形

6 金属成形板張り

(14.6.2)　(表 14.2.1)

形　状	製　法	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・ 押出し ・ ロール	※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・			・ Ｂ－1種 ・ Ｂ－2種（　）
・ﾊﾟﾈﾙ形	※ プレス ・				・

伸縮調整継手　※ 設けない　設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

7 アルミニウム製笠木

(14.7.2～3)　(表 14.2.1)　(表 14.7.1)

種　類	板厚（mm）	表面処理	固定間隔	表面処理
・ 250 形	2.2 以上	※A－1又は、Ｂ－1種 ・ Ｂ－2種（ｽﾃﾝﾚｽｶﾗｰ	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体メーカーの仕様による。
・ 300 形	2.5 以上			
・ 350 形	3.0 以上			
・ 100 形	1.2 以上			
・ 200 形	1.5 以上			

8 手すり及びタラップ

(14.2.1)　(14.8.2～3)　(表 14.2.2)

種　類	材料の種別	表面処理
⊙手すり	※ ステンレス SUS304	※ ＨＬ程度　・ 鏡面程度
	⊙ 鉄	亜鉛めっき　外部　※ Ｃ種　・ 内部　※ Ｅ種　・
	・ アルミニウム製	表面処理　・ A-2　B-2
・タラップ	※ ステンレス SUS304	※ 研磨無し　・
	・ 鉄	亜鉛めっき　内外部　※ Ｃ種　・

9 システム天井

方　式	バー材種	天井材厚さ（mm）	施工箇所	備考
・ライン方式	・アルミニウム製	・ロックウール（　）	・	
・クロス方式	・スチール製	・グラスウール（　）		
・ロ型方式		・		
・	・	・	・	

※ 工法規格はメーカーの基準による。
・ 耐震対策　※ 振れ止め補強有り（　）　無し
※ 設備機器緊結有り（　）　無し

10 あと施工アンカー

引抜き試験　※ する　しない　(14.1.3)

15 左官工事

① モルタル塗り材料

吸水調整材　(15.2.2)

下表以外は標仕表6.2.4 及び標仕15.3.2 による　(15.3.1～2)　(表 6.2.4)

施工箇所	平たんさ（mm）	備　考
ﾋﾞﾆﾙ系床材貼り、直均し仕上げ	1m につき 7以下	
防水下地	3m につき10以下	
ﾀｲﾙ張り、ﾓﾙﾀﾙ塗り	1m につき10以下	

② 床コンクリートの直均し仕上げ

③ 仕上げ塗材仕上げ

(15.5.2)　(表 15.5.1)

種　類	呼び名	仕上げの形状等
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Si	・
	・ 可とう形外装薄塗材Si	・
	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状　着色骨材砂壁状
	・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状じゅらく
	・ 可とう形外装薄塗材E	・ 砂壁状　ゆず肌状・さざ波状
	・ 防水形外装薄塗材	・ ゆず肌状・さざ波形・凹凸状
	・ 外装薄塗材S	砂壁状
	・ 内装薄塗材C	・
	・ 内装薄塗材L	・
	・ 内装薄塗材Si	・
	・ 内装薄塗材W	京壁状じゅらく
⊙ 複層仕上塗材	・ 複層塗材CE	・ ゆず肌状・凸部処理　※ 凹凸模様
	・ 可とう形複層塗材	耐候性　※ 3種　・
	・ 複層塗材Si	上塗材
	・ 複層塗材E	溶　媒　※水系　・溶剤系
	※ 複層塗材RE	樹　脂　※アクリル系
	・ 複層塗材RS	
	・ 防水形複層塗材CE	外　観　※つやあり　つやなし
	⊙ 防水形複層塗材E	・ メタリック
	・ 防水形複層塗材RE	
	・ 防水形複層塗材RS	防水形の増塗材　※ 行う
・ 軽量骨材仕上げ塗材	・ 吹付用軽量塗材	・ 砂壁状　・
	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状　・

（備考）E= 合成エマルション系　S= 合成樹脂溶液系　W= 水溶性樹脂
C= セメント系　CE= ポリマーセメント系　SI= けい酸質系
RE= 反応硬化形合成樹脂エマルション系　RS= 合成樹脂溶液系

ホルムアルデヒド放散量の等級　※ F ☆☆☆☆　・
※ 屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　(15.5.2)

16 建具工事

① アルミニウム製

外部に面する建具　(16.2.2)　(16.2.4)　(表 16.2.1)

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・ A 種	S-4	※ A-3	※ W-4	※ 70	※ 図示
◯ B 種	S-5	・	・	・ 100 ・	※ 図示
・ C 種	S-6	A-4	W-5	・ 100 ・	※ 図示
・				・	

・ 遮音性能　T-1　T-2　T-3　T-4
・ 断熱性能　H-1　H-2　H-3　H-4　H-5
・ 耐震ドアーセットの面内変形追随性　・ D-1　D-2　・ D-3
⊙ 表面処理　※ Ｂ－1 種　⊙ Ｂ－ 2 種（ﾌﾞﾗｳﾝ系・ﾌﾞﾗｯｸ ※ｽﾃﾝﾚｽｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ ）・　(表 14.2.1)

屋内建具
表面処理　・ Ｃ－1種又はB-1 種
※ Ｃ-2 種又はB-2　種（ ※ ﾌﾞﾗｳﾝ系・ ﾌﾞﾗｯｸ ・ ｽﾃﾝﾚｽｶﾗｰ ）

表面処理の種別　(表 14.2.1)

種　別	表面処理	皮膜厚さ（μm）	塗膜厚さ（μm）
・ A-1 種	無着色陽極酸化皮膜	※ 15以上	—
・ A-2 種	着色陽極酸化皮膜	※ 15以上	—
・ B-1 種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	※ 9以上	※ 7以上
⊙ B-2 種	着色陽極酸化塗装複合皮膜	※ 9以上	※ 7以上
・ C-1 種（内装）	無着色陽極酸化皮膜	※ 6以上	—
・ C-2 種（内装）	着色陽極酸化皮膜	※ 6以上	—
・ D 種	化成皮膜の上に塗装	—	—

2 見本の製作等

・ 特殊建具の仮組（建具符号：　）　(16.1.4)
・ 実物大モックアップ試験　・ 有（　）　※ 無
実物大モックアップ試験の種類　・耐風　・耐震　・水密　・気密

③ 網　戸

防虫網（網目１６メッシュ）　(16.2.3)
網の種類　※ステンレス製（ SUS316）・ガラス繊維入り合成樹脂製　⊙ 合成樹脂製
形　式　※ 外部可動式　・ 固定式

4 鋼製建具

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.3.2)　(表 16.3.1)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　適用しない
耐風圧適用は建具表による。
特定防火設備の戸　・ 適用する
遮音を必要とする室扉（適用箇所は建具表による）は下記仕様とする
※ 扉厚　※ 45　・ 60
※ 遮音性能　※T-2　T-3

⑤ 鋼製軽量建具

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.4.2)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　適用しない

6 ステンレス製建具

簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　(16.3.2)　(表 16.3.1)
※ 適用する（適用箇所は建具表による）　適用しない
耐風圧適用は建具表による。
特定防火設備の戸　・ 適用する
遮音を必要とする室扉（適用箇所は建具表による）は下記仕様とする
※ 扉厚　※ 45　・
※ 遮音性能　※T-2　T-3

表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　・図示による　(表 16.5.1)　(16.5.4)
曲げ加工　※ 普通曲げ　・ 角出し曲げ（補強有り）　(16.5.5)

特記

工事名　（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）
図名　建築工事特記仕様書 2
縮尺　NS（A1）NS（A3）
図面番号　A-02

承認	管理建築士	印
図面提出日		

章	項 目	特 記 事 項

⑦ 自動ドア開閉装置

（16.8.2 ～3）（表16.8.1～3）

開閉方法	センサの種類	
※ スライディングドア	・ マットスイッチ	電子マットスイッチ
・ スイングドア	※ 光線スイッチ	音波スイッチ
	・ 熱線スイッチ	光電スイッチ

※ 安全装置 ・ 補助機構（ ） ・ 全半開機構 ・ パニックオープン機構

⑧ 自閉式吊り引戸装置

品質規格 ※ 標仕表16.9.1 による （表 16.9.2 ～ 3）

9 木製建具

表面材 ※ 合板類 （表 16.6.2）
・ミデイアムデンシテイファイバ-ボ-ド（MDF）及びパ-テイクルボ-ド
ホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F ☆☆☆☆ ・ （16.6.2）
かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）
ふすまの上張り ※ 新鳥の子又はビニル紙程度（押入などの裏面は除く）
・ 鳥の子 （表 16.6.3）
接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F ☆☆☆☆ ・ （16.6.2）
建具材の含水率 ・A種 ※B種 ・C種 （16.6.2)(表16.6.1）

⑩ その他の建具

⊙ エレベーターの防火、防煙区画に使用する特殊建具等
（国土交通大臣認定取得品）

⑪ 建具用金物

マスターキー ※製作する（※ 3 枚 ・ ） 製作しない （16.7.4）
グランドマスターキー ○ 製作する（※3枚 ・ ） 製作しない
建具用金物 （16.3.6）（16.4.6）（16.7.2）（表 16.7.1）
錠前類はシリンダー箱錠（レバ-ハンドル）とする。
・ 特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律第７条に基づくシリンダー錠の防犯性能
※ 要 （5 分未満 ※5 分以上 ・10分 以 上） 不要
見本品提出の上、監督職員の承諾を得ること。

⑫ ガラス

⊗ ガラス ※ 種類、厚さは図示 （16.13.2）
・ ガラスブロック 標仕16.13.5 による （16.13.5）

寸法（mm）	色 調	パターン	防火認定
200 × 200	※ クリア ・ 熱線反射 ・ 乳白 ・ カラー（ ）	床用	※ 無し ・有り

⑬ ガラスとめ材及び溝

（表9.6.1）

建具の種類	材 種
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※ シーリング材
ステンレス製	※ シーリング材

ただし、防火設備の戸は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ （16.13.3）
標仕16.13.3 以外のアルミニウム建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会ＪＡＳＳ17ガラス工事「3.1収まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける

14 ガラス用フィルム

名 称	種 類	張り面	性 能 等
・ ガラス飛散防止フィルム	第2 種	・内張り ・外張り 飛散防止率	D1
・ 目隠しフィルム		・内張り	

品質 JIS A5759 による

15 重量シャッター

開閉形式 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 手動式 （16.10.2）（表16.10.1）
一般重量シャッターのシャッターケース ※ 設ける ・ 設けない （16.10.2）
機能 ・ 外壁防火 ・ 屋内防火 ・ 防煙
外部に面するシャッタ-の耐風圧性能による区分 50 ・80 ・120 ・
危害防止機構 設置しない箇所 図示
※ 障害物感知装置（自動閉鎖型 ）
シャッタの二段降下方式
ガイドレール等 ※ ステンレス製SUS304 ・鋼鉄製 （16.10.3～ 4）（表16.10.2）

⑯ 軽量シャッター

開閉形式 ※ 手 動 式 上部電動式（手動併用） （16.11.2）（表16.11.1）
スラット材質 ※塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ （16.11.3）
形状 ※インタ ーロッキング形 ・ オーバーラッピング形 （16.11.4）
ガイドレール等 ・ ステンレスSUS304 t1.5 ※ 鋼鉄製 （表16.11.2）
外部に面するシャッタ-の耐風圧性能による区分 ・

17 オーバーヘッドドア

セクション材 ※ スチールタイプ アルミニウムタイプ （16.12.2 ～ 3）
・ ファイバーグラスタ イプ
開閉方式 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 （16.12.2）
収納方式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 （16.12.2）
・ ハイリフト形 バーチカル形
ガイドレール ・ 鋼板製 ※ ステンレスSUS304 （16.12.3）（表16.12.1）
耐風圧性能による区分 50 ・75 ・100 ・125 （16.12.2）
電動式の場合は障害物感知装置を設ける。

⑱ 障害物感知装置

障害物感知装置を設ける電動式のシャッター（ドア）のうち、防火シャッター及び防煙シャッターにおいては、「防火シャッター開閉作動時の危害防止に関するガイドライン」に基づく「危害防止機構を備えた防火シャッターの据え付け」に掲げられた障害物感知装置、又は、二段
その他の電動式のシャッター（ドア）は、電動降下中に障害物を感知し、自動的に停止させる機能を有するものとする。
（16.10.2）

19 大形ガラススクリーン

工法 ・ SSG 構法
・ ガラスリブ工法（ ・ガラス吊下げ工法 ・ガラス方立工法 ・併用工法）
・ DPG 工法
・ MPG 工法
・ テンションマリオン工法

⑳ リングシャッター

開閉形式 ⊙ 手動式 ※ 電動式
パイプの材質 ※ SUS 製 ・ 鋼製
シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない

21 水圧開放装置

・ 有り（ ）箇所 ・ 無し

---

17 カーテンウォール工事

1 一般事項

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会 JASS14 による。
総合図（施工図）
イ. 工事に先立ち、総合図を作成し監督職員の承諾を受ける。
ロ. 総合図には特に下記の事項を記載する。
層間変位追従方式（構造体への取付部、ユニット間の接合部）、パネル割付、ガラス厚と割付・取付金物配置、部材断面、プレキャストコンクリートパネル の配筋及び埋込金物、パッキング・シール材・インシュレーション・スベリ材、層間区画部分の耐火被覆、表面処理・裏面処シール材 イン

施工計画書
イ. 工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員に提出し、承諾を受ける。
ロ. 施工計画書は特に下記の留意事項について作成する。
カーテンウォールの性能書（各種計算書・建具性能試験報告書・シーリング資料など）添付。材料の加工方法・接合方法、組立要領、製品精度、防食処理、摩擦音の防止方法、仕上げの材料、工法、品質管理及び規格同証明、検査基準要領、取付け方法、取付け精度等。
試験 ・ 性能確認試験 ※ 行わない 行う
・試験の種類・耐風圧（ ）・耐震（ ）・水密（ ）・気密（ ）・遮音（ ）
・試験体の製作 ※ 製作しない ・製作する（寸法 ※ 実物大 ・ ）

2 メタルカーテンウォール

カーテンウォール材料の種類 （17.2.2）

種 類	規 格 等
※ アルミニウム製	※共仕 16.2.3 のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォールの方式
・ 方立方式
・ バックマリオン方式 （ ・ 単純２辺支持構法 ・ ＳＳＧ構法 ）
・ パネル方式
・ スパンドレル方式
・ 小型 パネル組み合わせ方式（ ・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式 ）

シーリング材及びガラス取付材料
下記以外は共仕表 9.6.1による （9.6.2） （17.2.2）（表 9.6.1）

被着体の組み合わせ		シーリング材の種別 記号	主成分による区分	耐久性による区分
金 属	ガラス			
	石・タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット ※ 適用しない ・適用する（施工箇所 ※図示 ） （17.2.2）
断熱材 ※ 適用しない （17.2.2）
・ 適用する （種類： 厚さ mm ）： 施工箇所 ※ 図示 ）
製品の寸法許容差 ※ 標仕表17.2.1による （17.2.3）（表 17.2.1）
・ メーカー標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理 （17.2.3）（表 14.2.1）

種別	色彩等
・ A-1種 ・ B-1 種	・ 無着色
・ A-2種 ・ B-2 種	・ ブラウン系 ・ ブラック ※ ステンカラー
・着色塗膜	塗装材料（ ）焼付け方法（ ）コート（ ）ベーク

耐風圧性能 （17.1.3）
性能値 ※ 建築基準法施行令87 条及び建設省告示第454 号に定められた風圧力に対して安全であること。
・ 正圧 N／m² 以上及び負圧 N／m² 以上に対して安全であること。
主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状 態
※ ４m以下	※ ±（1／150）×h かつ 絶対量20mm 以下	※ 各部の破損、残留変形、有害な変形が起こらないこと
・ ４mを超える	・ ±1／200 ×b かつ15mm 以下	

耐震性能 （17.1.3）
設計用震度 水平方向（K） H ※ 1.0 ・
垂直方向（K） V ※ 0.5 ・

構 造 種 別	層間変位量（h= 支点間距離）	状 態
鉄骨造 ・	※ ±（1/100）× h以上	※ 部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※ ±（1/200）× h以上	シーリングは補修程度

水密性 ・ W－4 ・ W－5 ・ （17.1.3）
気密性 ・ A－3 ・ A－4 ・ （17.1.3）
耐火性能 ※ 適用しない ・ 適用する（ 時間、 施工個所： 図示）
映像調整 ・ 行わない ※ 行う（建具表による）
メーカー 性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

3 ＰＣカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会 JASS14 による。
コンクリートの種類及び品質 （17.3.2）
※標仕17.3.2による
・下表による（ただし、下表以外は標仕 17.3.2 による）

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）
	N／cm²	

鉄筋 ※ SD295A

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 （14.2.3）（表 14.2.2）

金物種類及び部位	内 部	外 部
ＰＣ版打込み金物	※ Ｅ種 ・	※ Ａ種 ・
ＰＣ版打込み取付ボルト	※ Ｅ種 ・	※ ステンレスボルト
２次ファスナー	※ Ｅ種 ・	※ Ａ種 ・
取付ボルト	※ Ｅ種 ・	※ Ａ種 ・
レベル調整ボルト	※ Ｅ種 ・	※ Ａ種 ・
	・	・

※上記以外はカーテンウォールメーカーの仕様による
PC 取付用ブラケットは鉄骨工事とし、二次ファスナー以降は工事とする。

シーリング材料 （9.6.2） （17.3.2）（表 9.6.1）

施工個所	シーリング材料の種別 記 号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

※ 上記のシーリング材料の種類は標仕表 6.1によるほかメーカーに確認のこと
断熱材 ※ 適用しない
・ 適用する （種類： 厚さ（mm）： 施工箇所 ※ 図示）
ゴンドラ用ガイドレール ・ 適用する ・ 適用しない
製品の寸法許容差 ※ 標仕表17.3.1による （17.3.3）（表 17.3.1）
・ メーカー標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ ・

耐火材料

施工部位	種 別	規格等
・ ファスナー部		
・ 取付ブラケット		
・ パネル目地部		
・ 層間ふさぎ		

耐風圧性能 （17.1.3）
性能値 ※ 建築基準法施行令87 条及び建告示第454 号に定められた風圧力に対して安全であること。
・ 正圧 N／m² 以上及び負圧 N／m² 以上に対して安全であること。

耐震性能 （17.1.3）
設計用震度 水平方向（K） ※ H1.0 ・
垂直方向（K） V ※ 0.5 ・

構造種別	層間変位量（h= 支点間距離）	状態
鉄骨造	※ ±（1／100）×h 以上 ・	※ 部材が損傷せず、破損脱落もしない。ガラス等の破損もない。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※ ±（1／200）×h 以上 ・	シーリングは補修程度

---

⑱ 塗装工事

① 材料

屋内の壁、天井の仕上げ材は、防火材料とする。 （18.1.3）
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量の等級
※ F☆☆☆☆ ・

② 素地ごしらえ

（18.2.2～3）（18.2.5～7） （表18.2.1～2）（表18.2.4 ～7）

施 工 部 位	塗 料 種 別	
木部（不透明塗料塗り）	※ A 種 ・ B種	（表 18.2.1）
木部（透明塗料塗り）	・ A 種 ※ B種	（表 18.2.1）
鉄面	・ A 種 ・ B種 ※ C 種	（表 18.2.2）
モルタル及びプラスター面	・ A 種 ※ B種	（表 18.2.4）
コンクリート及び ALC パネル面	・ A 種 ※ B種	（表 18.2.5）
コンクリート及び押出し成形セメント板面	・ A 種 ※ B種	（表 18.2.6）
せっこうボード及びその他のボード面	・ A 種 ※ B種	（表 18.2.7）
せっこうボード面継目処理工法	※ A 種 ・ B種	（表 18.2.7）

亜鉛メッキ面の素地ごしらえの種別 （18.2.4）（表 18.2.3）（表 18.3.4）

種 別	施工部位及び塗料種別
A 種	鋼製の建具及び、２液形ポリウレタ ンエナメル塗り、常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗りの場合
B 種	A種、C 種以外
C 種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

③ 錆止め塗料塗り

塗料種別
鉄面 屋外 ※A 種 B 種 屋内A 種 ※ B 種 （表 18.3.2）
亜鉛メッキ面 屋外 A 種 ○B 種 屋内A 種 B 種 （表 18.3.2）
⊙ 鉄面 見掛り部分 ※ A種 B種 （7.8.2）（表 18.3.3）
見隠れ部分 A種 ※B種
⊙ 亜鉛メッキ面 鋼製建具 ※ A 種 B種 （表 18.3.4）
その他 A種 B種 ※C種

④ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

塗料種別 ・ 1 種 ・ （18.4.2）
種別 （18.4.3～18.4.5）（表18.4.1～18.4.3）

下 地	種 別
・ 木部	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
⊙ 鉄鋼面	・ A 種 ⊙ B 種 ・ C 種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

5 クリアラッカー塗り(CL)

種別 （18.5.2）（表18.5.1）
木部 ・ A 種 ・ B 種

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)

種別 （18.6.2）（表18.6.1）
・ A 種 ・ B 種

⑦ 耐候性塗料塗り(DP)

上塗り 等級
・１ 級（フッ素系） ⊙ 2 級（シリコン系） ・ 3 級（ポリウレタン系）

下 地	種 別
鉄鋼面	・ A 種 ⊙ B 種 ・ C 種
亜鉛めっき 鋼面	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種
コンクリート 面及び 押出成形セメント 板面	・ A－1 種 ・ A－2 種 ・ B－1 種 ・ B－2 種 ・ C－1 種 ・ C－2 種

（18.7.2）～（18.7.4）（表18.7.1）～（表18.7.3）

⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

種別 （18.9.2）（表 18.9.1）
・ A 種 ⊙ B 種 ・ C 種
しみ止め（・ ）

11 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

種別 （18.11.2）（表18.11.1）
・ A 種 ・ B 種

12 オイルステイン塗り(OS)

（表 18．12．1 参照） （18.12.2）

---

⑲ 内装工事

① 接着剤

（19.2.2）（19.3.3）（19.5.6）
接着剤のホルムアルデヒド放散量の等級 ※ F☆☆☆☆ ・
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性とする。但し標仕表19.2.1エポキシ樹脂系の指定のあるものは除く。

② ビニル床シート張り

（19.2.2）

種 類	ＪＩＳの 記号	色 柄	厚さ（mm）
※ 発泡層のないもの	※ ＮＣ ・ ⊙ ＦＳ	※ 無 地 ○マーブル 柄	※ 2.5 ⊙ 2.0
・ 発泡層のあるもの		※ 柄 物 無地	
・			
・			

工法 ※ 熱溶接工法 突付け（施工箇所 ） （19.2.3）

3 ビニル床タイル張り

（19.2.2）

種 類	ＪＩＳの 記号	厚さ（mm）	備 考
※ コンポジションビニル床タイル（半硬質）	ＣＴ	※ 2	
・ コンポジションビニル床タイル（軟質）	ＣＴＳ	・	
・ ホモジニアスビニル 床タイル	ＨＴ	・ 3	
・			

4 帯電防止床タイル張り

（19.2.2）

種 類	厚 さ	性 能
・コンポジションビニル床タイル	※ 2mm ・	体積抵抗値（JIS K6911による）
・ホモジニアスビニル床タイル	・ 4.0又は4.5mm	1.0× 10⁹ Ω以下または、
・	・	漏えい抵抗値（JISA1454による）
・	・	1.0×10¹⁰ Ω未満

⑤ ビニル幅木

高さ（mm） ※ 60 75 ○ 100 70 （19.2.2）
階段用 ・ 型 ・ 型

6 カーペット敷き

・ 織じゅうたん （19.3.3～4） （表 19.3.1～2）

種別	パイル形状	帯電性	色柄等	備考
・ Ａ種	・ カットパイル	人体帯電圧	※ 単一色（無地）	
・ Ｂ種	・ ループパイル	※ 3KV以下	・ 柄物（標準品）	
・ Ｃ種	・ カット、ループ併用	・	・	

・ タフテッドカーペット （19.3.3～4）（表 19.3.2）

パイル形状	パイル長（mm）	工 法	帯電性
・ カットパイル	※ 5～7 ・	※ 全面接着工法	人体帯電圧
・ マルチレベルループ	※ 4～6 ・	・ グリッパー工法	※ 3Kv 以下
・ レベルループパイル	※ 4 ・		・
・ カット，ループ併用	・		

・ タイルカーペット （19.3.3）（表 19.3.2）

パイル形状	種 別	寸法（mm）	総厚（mm）	電気抵抗値（Ω）	施工箇所
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種	※ 500 角 ・	・ 6.5 ・	※ 適用しない ・ 10⁹ Ω以下	・ 事務室
・ カットパイル		・	・	・	・

7 合成樹脂塗り床

（19.4.2～3）（表 19.4.1～7）

種 類	仕上げ種類
・ 弾性ウレタン 塗り床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂 塗り床材 防塵タイプ	※ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ （※ 平滑 ・ 防滑） ・ 樹脂モルタ ル仕上げ （※ 平滑 ・ 防滑） ・ 防滑仕上げ

8 フローリング張り

（19.5.2 ～7）（表 19.5.1～4）

種 別	樹種	工 法	仕上塗装等	施工箇所
※天然木化粧複合フローリング	※ なら ・ 杉 ・ 桧	※ 釘止め工法（C種） ・	※ 塗装品 ・ 無塗装品	・ 図示 ・
・	・	・	・	・

9 畳敷き

（19.6.2） （表 19.6.1）

下地の種類	畳の種別
標仕表12.5.1 による床組	※ Ｂ 種 ・
構造用合板 厚１２	※ Ｃ 種 ・ Ｄ 種

畳表及び畳床はVOC 含有量の少ないものとする。

10 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地 厚さ（mm） ※ ４０ ・６５ ・８０
フローリング類 厚さ（mm） ※ ８０ ・９５

⑪ せっこうボードその他のボード張り

（19.7.2）（表 19.7.1）

種 類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・ 硬質木毛セメント	―	・ 20 ※ 25 30
・ 普通木毛セメント板	―	・ 20 ※ 25 30
・ 準不燃木繊セメント板	―	・ 25 30 40 50
・ けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ２（無石綿）（⊙ 6 8 12 ）
⊙ ロックウール化粧吸音板	DR	※ フラットタイプ ⊙ 9（不燃）・ 12 ・ ） ・ 凹凸タイプ（※ 12 （不燃）・ 15 ・ 19 ）
・ ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR（凹凸） DR，DR（軒天）（軒天凹凸）	※ フラットタイプ 9（不燃） ・ 凹凸タイプ（ ※ 12 ・ 15 ）（不燃）
⊙ せっこうボード	GB-R	⊙ 12.5（不燃） ○ 9.5（準不燃）
・ 不燃積層せっこうボード	GB（N） GB（NT）	・ 9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） ・ 化粧有（トラバーチン模様）
⊙ シージングせっこうボード	GB-S	⊙ 12.5（不燃） ・ 9.5
⊙ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5（不燃）・ 15.0（不燃） ⊙ 21.0（不燃）
・ せっこうラスボード	GB-L	・ 9.5
・ 化粧せっこうボード	GB-D GB（W）	・ 9.5（準不燃・不燃） ・ 模様（※ 柾 目 板目）専用下地材付き
・ 化粧せっこう吸音ボード	GB-P	・ 9.5（準不燃）
⊙ メラミン樹脂化粧板	―	・ JISK6903 による 厚さ 1.2mm
・ ミデイアムデンシテイファイバーボード	MDF	・ 3 7 9 12
・ 素地 パーテイクルボード	RS	・ 無研磨板 研磨板
・ 単板張りパーテイクルボード	VS	・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 20
・ 硬質木片セメント板		・ 25

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※ 適用する 適用しない

特記	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承 認	管理建築士	印
	図名	建築工事特記仕様書 3	縮尺 NS（A1） NS（A3） 図面番号 A-03	図面提出日		

12 吸音材

（表 19.7.1）

種　類	ＪＩＳの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード 1号	RW －B	※ 25 ・
・グラスウール吸音ボード 2 号 32K	GW －B	※ 25 ・ 50
・グラスウール吸音ボード 2 号 24K	GW －B	・ 25 ・ 50

⑬ 壁紙張り

（19.8.2）

記　号	壁紙の種類 紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	防火種別	施工箇所	品質等
●クロスA	・	・	●	・	・	※不燃・●準不燃・難燃	図示（一般）	ＡＡ級
・クロスB	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	図示（和室）	ＡＡ級
・クロスC	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃		
・クロスD	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃		
・クロスE	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃		

素地ごしらえ
●モルタル及びプラスターの素地ごしらえ　・Ａ種　※ Ｂ種（表18.2.4）
●せっこうボード面の素地ごしらえ　※ Ａ種　・ Ｂ種（表18.2.7）
●その他のボード面の素地ごしらえ　・ Ａ種　※ Ｂ種（表18.2.7）

⑭ 断熱材

（19.9.2～3）

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※ 2種ｂ	・一般部（屋根スラブ下）	※ 25 ・	特定フロンを使用しないもの
	※ 3種ｂ（スキン層付）	・接地部分	※ 25 ・ 50	
・木繊セメント板		・一般部	※ 25 ・	特定フロンを使用しないもの
		・接地部分	※ 50 ・	※ 準不燃
		メーカー性能等の確認できる資料を監督職員に提出し。		
・硬質ウレタンフォーム断熱材（現場発泡断熱材）密度94N／m³		※ 断熱材補修部分	—	特定フロンを使用しないもの
		・一般部	・ 15	難燃性　※ 3 級　2級
		・	・ 25	
（30kg／m³ ）以上		メーカー性能等の確認できる資料を監督職員に提出する。		
・断熱材兼用型枠	・木質系	※ 壁（図示の範囲	※40 以上	断熱抵抗 厚さ／熱伝導率 =0.676 以上(m²・K／W)
	・コンクリート系	・	・	
	・プラスチック系	メーカー建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの。		
●グラスウール		●外壁、小屋裏 ○ 100 ） ○24K ●内壁 ○ 50 ）○10K		

15 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※ 焼付塗装品	準不燃品	※ 200	廻縁は種付とし、メーカーの標準品とする。
	・アルマイト処理品		・ 100	
硬質塩ビ製	※ 塗装品		※ 300	
	・木目調		・ 100	

⑯ ホルムアルデヒド等発散材

ホルムアルデヒド放散量の等級　※ F☆☆☆　・
（19.4.2）（19.5.2）（19.7.2）（19.8.2）（19.9.2）

20 ユニット及びその他工事（※改修工事も含む）

1 フリーアクセスフロア

（20.2.2）

施工箇所	構　法	仕上高さ（mm）	適用地震動 水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
図示	・パネル構法・溝構法	200	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000 N ・ 5000 N	・ 集成材複合フローリング	スチール製
	・パネル構法・溝構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000 N ・ 5000 N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法・溝構法		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000 N ・ 5000 N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

表面仕上げ材の品質・規格等は、 19 章内装工事による
スロープ及びボーダー　※ メーカーの標準仕様　・ 図示
コンセント等取付け対応　※ メーカーの標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル　1枚につき
４０mm×８０mm程度の開口１箇所以上
フリーアクセルフロア全体面積に対する設置割合
※ 20 ～30 %
空調用吹き出しパネル　※ 無し
・ 有り　（※固定式　・可変式　；施工箇所は図示）
メーカー　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける

2 可動間仕切り（学校用仕切り）

（20.2.3）

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材 厚さ（ mm ）	仕上げ	不燃材料の認定
※パネル式・スタッド式・スタッドパネル式	・ 60 ・	※ 鋼板（※ 0.6 ・ 0.8 ・ 0.5）	※ メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・ 有り

・ 防火性能　有り（　　）　無し
・ 遮音性能　有り（　　）　無し

3 移動間仕切り（スライディングウオール）

（20.2.4）

遮音性能による区分	遮音グレード	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	施工箇所・備考
●一般タイプ	※ Ｔ－1 ・	50	※ 鋼板 ・ PB	●焼付け塗装 ・壁紙貼り	2 階活動室 2 階会議室
・ 遮音タイプ	※ Ｔ－3 ・		※ 鋼板 ・	・ 焼付け塗装 ・壁紙貼り	

表面仕上げ材の品質、規格等は、 19 章内装工事による

取り付け方法はメーカーの仕様により、適切な資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

④ トイレブース

（20.2.5）

表面仕上げ材　メラミン樹脂化粧板 ○ ポリエステル樹脂化粧板 t=40
足形状　※ 幅木型　（ｽﾃﾝﾚｽSUS304）　・ 足金物型　（ｽﾃﾝﾚｽSUS304 ）

⑤ 階段滑り止め

（20.2.6）

材種　※ ステンレス SUS304　・ アルミ製
形状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　・ 無　※ 有　（　・ ｽﾃﾝﾚｽSUS304　※ ビニル製）
幅（ mm ）　※ 約３５
取付工法　※ 接着工法　埋込み工法

⑥ 階段手摺

※ 集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径　約　34 mm ）
・ ビニル製ハンドレール（幅　約 50 mm ）●図示

7 黒板及びホワイトボード

（20.2.8）

	種　類	寸法（mm ）	色　彩	備　考
・ 黒板	※ 焼付け		※ 緑 ・ 黒	※平面・曲面・ｽｸﾘｰﾝ 付き引分け
			※ 緑 ・ 黒	
・ ホワイトボード	※ ほうろう	・ 図示	※ 白 ・	※平面・曲面・ｽｸﾘｰﾝ 付き引分け

⑧ 表示標識（サイン）

衝突防止表示　※ 図示（市販品　※ ステンレス製　径約３０mm　・ アルミ製）
●あり（市販品　※ シール　径約３０mm）　・ 無し　（20.2.10）
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図に準ずる。

9 煙突用成形ライニング材

最高使用温度　※ 650 ℃　400 ℃　（20.2.11）
メーカー　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

10 キャスタブル耐火物

工法　※ こて押さえ　最高使用温度　※ 400 ℃
メーカー　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

⑪ ブラインド

（20.2.12）

形　状	種　類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※ 横型	※ ギア式　・コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム合金製 ・	※ 25 ・
・ 縦型	・ 1 本操作コード	・ アルミスラット	・ 80
	・ 2 本操作コード	・ クロススラット	・ 100

12 カーテンロールスクリーン

（20.2.13～14）

施工箇所	防炎性能　※有り カーテン形式 片引	引分	装置 電動	ひも	手引	名称品質、寸法等
建具表指示	・	・	・	・	・	遮光１級、防炎
	・	・	・	・	・	
	・	・	・	・	・	
	・	・	・	・	・	

メーカー　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

13 カーテンレール

材種　アルミニウム製　・ ステンレス製　（20.2.14）
形式　・ 片引き　・ 引分け（ ※ 暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする）

⑭ ブラインドボックス及びカーテンボックス

・ 市販品（アルミニウム製押出し型 材）　・　木製
溝幅×深さ（mm）※ 90 ×150　・120 ×85　・120 ×85　・120 ×180　・200 ×150
色彩　※ Ｂ－1　・ Ｂ－2　（　・ ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ ﾌﾞﾗｯｸ※ ｽﾃﾝｶﾗｰ）
●図示

15 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
・ 垂直方向	※ 完全（全貫通型）スリット	・ 耐火型	・ 有り
・ 水平方向	・ 不完全スリット	・ 非耐火性	・ 無し

目地	内壁（幅x 深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
・ 目地寸法（mm）	※ 20 ×10　・	※ 20 ×10　・

性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

⑯ 止水板

形状　●差込式　・ 据置式　※ 壁張り式
性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

⑰ 天井点検口

材質　アルミニウム製　（　・ 額縁タイプ　※ 目地タイプ）
サイズ　600 ×600　○ 450 ×450

18 床下点検口

材質　アルミニウム製　（受け枠　アルミ製　※ ステンレス製）
サイズ　600 ×600　450 ×450
仕上げ材　※ 床仕上げと同材
耐火性能　有　無

⑲ かご箱

市販品　形　式　・ ３０組用　●６０組用　・ １２０組用　・

⑳ くつふきマット

市販品
材質　・ 塩化ビニル製（コイル状 ｽﾃﾝﾚｽ 製受枠）　・ 硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ 製（受枠とも）
・ ビニル製（ステンレス製受枠）　・ ステンレス製（受枠とも）
●図示

㉑ 流し台ユニット

●図示

種　類	寸法（L= mm ）	適用内容	備　考
・ 流し台	・ 1200 ・ 1500	トラップ付き	※ 市販品 ・
・ コンロ台	・ 600	ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ※ 有り	※ 市販品 ・
・ つり戸棚	・ 1200 ・ 900	H＝500	※ 市販品 ・
・ ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ	※ 600 ・		※ 市販品 ・
・ 水切り棚	※ 1200 ・	ｽﾃﾝﾚｽ製　※１段式	※ 市販品 ・

足り戸棚の耐火性　有り　無し
●ミニキッチン　Ｌ１５００　１H付　（電気温水器設備工事）

22 屋内掲示板

枠の材質　※ アルミニウム製　ステンレス製
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り
サイズ　・ 図示

23 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・ 人工大理石
奥行き（mm）・ 約400　約600　・ 350
仕様　・ 扉及び中棚付　・ オーブン

㉔ 誘導用及び注意喚起用床材

仕様はJIS T9251による
屋内　・ 塩化ビニル製 ●磁器又はせっき質タイル（ ※ 300 ・　）
・ ステンレス鋲打　・レジンコンクリート製
屋外　・ ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製 ●磁器又はせっき質タイル（ ※ 300 ・　）
・ ステンレス鋲打　石材（ ・ 花こう岩　・ 人造石　・　）

25 敷地境界石標

・ 花こう岩類（文字記号入り）　※ 市販品（コンクリートブロック製）

26 旗竿

材　質　※ アルミニウム合金製
形　式　※ テーパー型　・ 同一断面型
地上高さ（ m ）　・ 6　・ 8　・ 9　・ 10　・ 12
操作方法　※ ハンドル式　・ ロープ式
固定方法　・ 埋込式　・ ベース式　・ バンド式

27 旗竿受け金物

市販品　材　種　※ ステンレスSUS304

㉘ フェンス

・ ビニル被覆 ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾌｪﾝｽ　● 樹脂塗装 ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ

29 屋外掲示板

照明器具　※ 有り　・ 無し　枠の材質　ｽﾃﾝﾚ製
施　錠　※ 有り　・ 無し

㉚ 車止め支柱

※ステンレス製（上下式鎖内蔵型）径１１４.３mm　t＝２.５mm　Ｈ＝ＧＬ＋ 700mm
※スプリング付き　スプリング無し　埋め込み式
・ 鋳鉄製（　　）　アルミ鋳物製（　　）
その他　●図示（Ｌ型）

㉛ 銘板

・ 無し　○ 有り　仕様（ 図示　　）

32 定礎

・ 定礎石　※ 花こう岩　彫り込み文字
大きさ（mm）　400 ×300 ×30
・ 定礎箱　※ ステンレス製　銅板製
大きさ（mm）　350 ×270 ×70 ・

33 避難器具

金属製避難はしご及び緩降機は国家検定品とし、その他の避難器具は消防庁長官基準適合品とする。

㉞ 防煙垂れ壁

●固定式　※ アルミフレーム　高さ（mm　）※ 500　○ 600
ガラス（ ・ 線入りガラス　※ 網入りガラス 6.8 ）
可動式　※ 法令に適合した製品、施工とする。
・ 垂直降下式（ ・ 可動ﾚｰﾙ　※ 固定ﾚｰﾙ）　高さ（mm ）※500 ・800
材質　※ 不燃布（不燃認定品）
・ 回転降下式（※ 天井間材張り ・ 鋼板又はｽﾁﾚﾐ製）高さ（mm ）※500 ・800
降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋め込み型）
・ 復帰方式（ ※ 手動巻上げハンドル　電動式 ）
・ まぐさ・座板・レールの材質（ 鋼製塗装仕上げ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ ｽﾃﾝﾚｽ製 ）

㉟ 消火器ボックス（設備工事）

市販品　（ ・ 埋め込み型 ○ 露出型 ）　（●扉 無し　扉付き）
材　質 ○ 鋼板製焼付塗装（●標準色　指定色）　ステンレス製
※ 消防法などに適合した形状・設置場所とする。

37 自転車置場

・ 止め金物式　・ 機械２段式

38 郵便受箱

・ ステンレス製既製品　（前入後出 370 ×455 ×150 ）
・

39 収納、収納家具

材質、形状、寸法　※ 図示　（12.2.2）（19.7.2）
ホルムアルデヒドの放散量の等級　※　F☆☆☆

㊵ エキスパンション・ジョイント金物

材質 ●アルミ（内部）●ステンレス（外部）クリアランス50 ・100 ・ 150 ○200
耐火性能　●有り（ 図示 ）　・ 無し
防水型　※ 適用する　・ 適用しない

㊶ ホルムアルデヒド等発散材料

ホルムアルデヒドの放散量の等級　※　F☆☆☆☆

21 排水工事

1 排水管

配水管用材料　（21.2.1）（表 21.2.1）（ 21.3.3）

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※ 遠心力コンクリート管	※ 外圧管（※ 1 種 ・ 2 種）	B型（ゴム接合）
・ 硬質塩化ビニル管	※ ＶＰ　・ ＶＵ	
・ 鋼管	・ 白管	

車道部の排水管の敷設　※ 図示　（21.3.1）（ 21.3.3）
・ 砂基礎（地業厚さ20cm 以上　材料　山砂の類）

2 排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた　（21.2.2）

種　類 ／ 適用荷重	・Ｔ－2 用	・Ｔ－6 用	・Ｔ－14 用	・Ｔ－20 用	形状寸法
・ 水封形	・	・	・	・	
・ 密閉形（ﾃｰﾊﾞｰﾊﾟｯｷﾝ式）	・	・	・	・	
・ 簡易気密形（ﾊﾞｯｷﾝ式）	・	・	・	・	
・ 中蓋付密閉形	・	・	・	・	
・ 断熱形	・	・	・	・	

グレーチングふた　（21.2.2）

材　質	形式	種類	適用荷重	ﾒｯﾊﾟｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
鋼製（亜鉛ﾒｯｷ）・ステンレス製	※ 受枠付き ・ ボルト固定 ※ 無し ・ 図示	・ 溝ふた用 ・ 桝ふた用 ・ かさ上げ用 ・ Ｕ字溝用	・ 歩行用 ・ Ｔ－2 用 ・ Ｔ－6 用 ・ Ｔ－14 用 ・ Ｔ－20 用 ・ Ｔ－25 用	※ 細目 ・ 細目	※ 凹凸形 ※ 平形 ・ 凹凸形

3 埋戻し土

（21.2.3）（表 3.2.1）
※ Ｂ種

4 浸透管及び浸透桝

性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。

22 舗装工事

① 盛り土に用いる材料

●Ａ種　※ Ｂ 種　Ｃ 種　Ｄ種　（22.2.3）（表 3.2.1）

2 遮断層及び凍上抑制層の材料

・ 遮断層　※ 川砂、海砂又は良質な山砂　（22.2.2 ～3）
・ 凍上抑制層　※ 切り込み砂利　再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　・ ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ　・ 砂

3 路床安定処理用材料

※ 添加材料による安定処理　（22.2.2～3）（表22.2.2）
種類　・ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・ ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB 種
・ 生石灰（　）　・ 消石灰（　）
添加量　kg／m³（目標 CBR ※5 以上　・　）

④ 路床土の支持力比試験（ＣＢＲ試験）

※ 行う　（ ※ 乱した土　乱さない土 ）　（22.2.5）

⑤ 路床締固め度の試験

※ 行う　・ 行わない　（22.2.5）

⑥ 路盤材料

※再生クラッシャーラン　（ＲＣ－40）　（22.3.3）
・クラシャラン（C-40）又はクラッシャランスラグ（CS-40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの
（22.4.2）（表 22.4.1）

⑦ アスファルト舗装

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※ 無し　有り	※ 顔料混入加熱 ｱｽﾌｧﾙﾄ 混合物
・ カラー舗装	※ 無し　・ 有り	・

カラー舗装の着色骨材　・ 有色骨材（焼成）　・ 着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※ 再生アスファルト　・ストレートアスファルト　（22.4.3）

加熱アスファルト混合物の種類　（22.4.4）（表 22.4.6）

区分	※ 一般地域	・ 寒冷地域
表層	※ 密粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13）	※ 密粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13Ｆ）
	・ 細粒度 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13）	・ 細粒ｷﾞｬｯﾌﾟｱｽﾌｧﾙﾄ配合物（13Ｆ）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※ 行わない　行う（ 施工範囲　　）　（22.4.5）
アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　行う　（22.4.6）

⑧ コンクリート舗装

早強セメント　※ 使用しない　・ 使用する　（22.5.3）
注入材料　※ 低弾性タイプ　・ 高弾性タイプ　（22.5.3（表22.5.3）
鉄筋　※ 有り　・ 無し　（22.5.3 ～ 4）
厚さ試験　※ 行わない　・ 行う　（22.5.6）
伸縮目地　● 有り　（　　）　・　なし

9 透水性舗装

アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う　（22.4.6）（22.6.6）

10 排水性舗装

アスファルト混合物　（22.7.3）（表 22.7.2）
※ 改質アスファルト　1型　・ 改質アスファルト　2型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類　（22.7.3）（表 22.7.3）

適用時期	種類
下記以外	PKR-T1
冬期	PKR-T2

・ アスファルト混合物の抽出試験　※ 行わない　・ 行う　（22.7.6）
・ 現場透水性試験　※ 行わない　・ 行う

11 ブロック系舗装

・ コンクリート平板舗装　（22.8.2）（22.8.3）

種　類	寸法（ mm ）	厚さ（ mm ）	目地材
※ 普通平板（Ｎ・カラー平板（Ｃ）	※ 300 角	※ 60	※ 砂
・ 洗出平板（Ｗ・ 擬石平板（Ｓ）	・	・	・ モルタル

・ インターロッキング舗装　（22.8.2）（22.8.3）

種　類	厚さ（ mm ）		色彩及び表面加工等
※ 標準ブロック	車道部	※ 80 ・	※ 標準品
・ 透水性ブロック	歩道部	※ 60 ・	・
・ 誘導、注意喚起用ブロック			誘導、注意喚起用は黄色とする
・植生ブロック	※ 80 ・ 100 ・		

メーカー　性能等の確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
・ 舗石舗装　（22.8.2）（22.8.3）

種　類	厚さ（mm）	施工方法	基　層
※ 小舗石（花こう岩）	※ 80 ～100 ・	※ うろこ張り	※ コンクリート舗装
・	・	・	・ アスファルト舗装

⑫ 路面表示用塗装

品質　JIS K5665　による　※３種 １号　・
寸法　幅（mm）※ 100　●図示　厚さ（ mm ）※ 1.0 ・1.5　施工　溶融式
揮発性有機溶剤の含有率　塗料総質量に対して 5% 以下とする。

23 植栽工事

① 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類　（23.2.2～3）（表 23.2.1～2）

適　用	有効土層の厚さ（ cm ）	工　法	整備範囲
※ 行う ・行わない	・ 20 ●300	※ Ｂ種	・ 植栽範囲 ●図示

樹木　（23.2.2～3）（表 23.2.1～2）

樹木の樹高	有効土層の厚さ（ cm ）	工　法	整備範囲
・12m 以上	※ 100 ・ 120 ・ 150	※ Ａ種	・ 葉張りの範囲
・7 超～12m 未満	※ 80 ・ 100	・ Ｂ種	ただし、低木は植栽範囲
・3 超～7m 以下	※ 60 ・ 80	・ Ｃ種	・ 図示
・3 以下	※ 50 ・ 60	・ Ｄ種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

② 植込み用土

・ 現場発生の良質土　●客土　（ ※ 畑土 ・ 黒土）　（23.2.3）

3 土壌改良材

※ 適用する（パーク堆肥（ 50ﾘｯﾄﾙ／m² ）　・　　）　（23.2.3～4）
施工箇所　※ 植栽範囲　図示

4 支柱材

※ 杉の焼丸太（間伐材）　竹　ワイヤー（防錆処理）　・ 鋼製　（23.3.2）

5 幹巻き用材料

※ 幹巻き用テープ　・ わら及びこも　（23.3.2）

6 芝張り種類

種類　・ こうらい芝　・ 野芝　（23.4.2）
客土　行わない　行う（ ・ 畑土　黒土　・ 山砂 ）

7 屋上緑化

屋上緑化システム
※ 省管理型
質量の上限値　（　　）kg
かん水装置　設ける（工事区分は図示）
透水層、保水層及び排水層等
保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能：240 L／ m²・h 以上
耐荷重性能
省管理型：3×10⁴ N／m² 以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料
合成樹脂耐根シート（厚さ3mm 以上）
又は抗根性剤（耐根性能の実績を有すること）
植込用土　製造所の仕様による
植栽の種類　※ 製造所の指定するもの　セダム
・ 管理型

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	建築工事特記仕様書 4	縮尺	NS（A1）NS（A3）	図面番号 A-04	図面提出日	

工事特記仕様書（改修）

Ⅰ．工事名称　（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）

Ⅱ．工事概要

Ａ－０１ 建築工事特記仕様書　Ⅰ.工事概要を参照

Ⅲ．建築改修工事仕様

1　共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「改標仕」という。）による。

2　特記仕様

(1)　項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2)　特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3)　項目欄に記載の（　）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項
①一般共通事項	① 適用基準等	① 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成最新年版） ② 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成最新年版） ③ 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成最新年版）
	② 施工条件 (1.3.5)	⊙監督員と協議し決定する。 施工可能日　・　指定なし ・　一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯　・　指定なし　・　時　～　時 概成工期　・　指定なし　・　年　月　日
	3　部分引渡し、部分使用	・部分引き渡しあり　・部分使用あり 指定部分（　　） 時期（　平成　年　月　日～　）
	4　埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・発掘調査等の実施あり ・発見された場合、発掘調査等の実施あり
	⑤ 発生材の処理等 (1.3.8)	⊙本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有 ⊙無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有 ⊙無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有 ⊙無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有 ⊙無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	⊙有 ・無	・手作業 ⊙手作業、機械作業の併用
その他 （外構）	⊙有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

・　引き渡しを要するもの

・なし　・

・　特別管理産業廃棄物　・　有（　　）

処理方法（　　）

・　現場において再利用を図るもの

（　　）

⊙　再資源化を図るもの

⊙　コンクリート塊

⊙　アスファルトコンクリート塊

・　建設発生木材

⊙　引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。

⊙　引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。その他関係法令によるほか、（マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。）

・　成形板等の解体・撤去にあたっては、事前にアスベスト含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、(9.1.5)に従い処理する。

	⑥ 建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が１億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時には実績報告を行うこと。
	⑦ 三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の４月１日から８月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
	⑧ 電気保安技術者 (1.3.3)	適用する
	⑨ 技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。
	⑩ 施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法　・工種別の特記による
	１１　調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法　・　図示（図面番号：　　）　・（　　）
	１２　建築材料等	1）本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 2）本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。 3）本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。 4）本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。 5）下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 （認定製品の品名：　　） 6）下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名：　・間伐材製工事用バリケード・看板・標示板・ガードフェンス・　　）
	１３　化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定個所数

⊙　図示（図面番号：Ａ－０１）　・（　　）

測定方法（・パッシブ法　・　アクティブ法）

報告書提出部数　２部

	１４　特別な材料の工法	公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
	１５　騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
	１６　工事写真	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（平成24年版））に従い撮影する。
	１７　完成図 (1.8.2)	作成する（・　完成図　２部　・　保全に関する資料　・（　CD１部 ）） 完成図作図範囲 （配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等　） 完成図はＣＡＤにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。 ⊙　図示（図面番号：Ａ－０１）　・（　　）
	１８　完成写真	デジタルカメラで撮影し、全てＬ版相当サイズで印刷する。（Ａ４版用紙に１ページあたり３枚）　１部 箇所数は外観４面各室２面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ・　アルバム　１部 （大きさ335㎜×290㎜程度、カラー） ⊙　図示（図面番号：Ａ－０１）　・（　　）
	１９　電子納品	工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。 （提出部数　・　２部　・　部） 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。 （提出部数　・　２部　・　部）
	２０　設備工事との取合い	施工範囲 ⊙　図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ⊙　図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・　自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ⊙　駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び　操作スイッチ 施工図 ⊙　設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
	２１　既存部分への処置 (1.3.12)	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならい補修する。
	２２　事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
	２３　市内企業優先	本工事において、下請け契約を締結する場合には、当該契約相手方は伊賀市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。
	２４　総合評価方式	本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の１割を減点します。
	２５　不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１４号）を受けた場合の措置について (1)受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第１２号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2)(1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
	２６　消防提出書類	消火器の設置届については、電気及び機械設備にて設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。 防火対象物使用開始届については書類の作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。
	２７　主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 検査終了後の期間 検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。
	２８　労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第１項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第２項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。 この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

② 仮設工事

① 足場 (2.2.1) (表2.2.1)	内部足場 ⊙きゃたつ　・足場板　・（　　） 外部足場の種別 ⊙　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種・　Ｄ種・　Ｅ種
2　既存部分の養生 (2.3.1)	防護シート等による養生 ⊙　適用する　・　適用しない 既存部分の養生方法　　・図示（図面番号：　　） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法（　　） 保管場所　・　構内既存施設内
3　仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1)	固定された備品、机、ロッカーの移動 ・　行う　・　行わない ・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種 合板　厚さ　・9mm　・（　　） せっこうボード　厚さ　・9.5mm 合板又は石こうボードの塗装　・　行う　・　行わない
4　監督員事務所 (2.4.1)	仮設扉の設置箇所　・図示（図面番号：　　） 仮設扉の種別　（　・A種　・B種　・C種　）
5　監督員事務所の備品等 (2.4.1)(b)	・　構内建物内の一部を使用する。 ・　設置する　・　設置しない 監督員事務所の規模(単位:㎡) 面積　・　10㎡程度　・　20㎡程度　・　35㎡程度 ・　65㎡程度　・　100㎡程度 監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑥ 仮設便所	構内既存の施設 ・　利用できる　⊙　利用できない
⑦ 工事用水	構内既存の施設 ⊙　利用できる（⊙　有償　・　無償）　・　利用できない
⑧ 工事用電力	構内既存の施設 ⊙　利用できる（⊙　有償　・　無償）　・　利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。
⑨ 交通誘導員	配置　⊙　図示（図面番号：　A-14　　）　⊙　約　8　人・工事期間

③ 防水改修工事

１ アスファルト防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3)～(表3.3.10)	

工法	種別	施工箇所
・　P1B	・　B-1　・　B-2	
・　P1E ・　P2E	・　E-1　・　E-2	

	改質アスファルトルーフィングシート 種類　・（　　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による 厚さ　・（　　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類　・（　　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による 厚さ　・（　　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による
(3.3.2)(h)	断熱工法の断熱材（P1BI,P2AI,T1BI,PODI,M3DI,M4DI） 材質　・（　　） ・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板３種b(スキンあり) ・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号 ・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号 厚さ　・（　　） ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい図断（図面番号：　　）
(3.3.3)(b)(2) (3.3.3)(C)	脱気装置（M3D,POD,PODI,M3DI,M4DI） ・　設ける（設置数量　・図示（図面番号：　　）、材質（　　）） ・　設けない
(3.3.5)	・仕上塗料　種類（　　）　使用量（　　） 保護コンクリートの厚さ こて仕上げ　・水下80mm以上　・（　　） 床タイル張り・水下60mm以上　・（　　） 保護層　・　設ける　・　設けない 屋上排水溝の適用　・適用する 立上り保護　・乾式保護材(　　) ・れんが（材種　・ＪＩＳ Ｒ1250）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	改修工事特記仕様書　１	縮尺	ＮＳ（Ａ１） ＮＳ（Ａ３）	図面番号	Ａ－０５	図面提出日		

2 改質アスファルトシート防水
(3.4.3)
(表3.4.1)～(表3.4.3)
(3.4.3)(2)(3)

工法	種別	施工箇所
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3	屋上、下屋

改質アスファルトシート
種類 ・（ N種 ） ・(表3.4.1)～(表3.4.3)による
厚さ ・（ ） ・(表3.4.1)～(表3.4.3)による

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・（ ） ・(表3.4.1)～(表3.4.3)による
厚さ ・（ ） ・(表3.4.1)～(表3.4.3)による

断熱工法の断熱材（M3ASI,M4ASI,POASI）
材質 ・（ ）
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
厚さ ・（ ）
脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・図示（図面番号： ）、材質（ ））
・ 設けない

3 合成高分子系ルーフィングシート防水
(3.5.3)
(表3.5.1)
(表3.5.2)
(3.5.2)(b)
(3.5.3)

工法	種別	施工箇所
・ S3S	・ S-F1(SI-F1)	
・ S3SI	・ S-F2(SI-F2)	

ルーフィングシート
種類 ・（ ） ・(表3.5.1)及び(表3.5.2)による
厚さ ・（ ） ・(表3.5.1)及び(表3.5.2)による

断熱工法の断熱材（POSI,S4SI,S3SI,M4SI）
材質 ・（ ）
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板
・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの
厚さ ・（ ）

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・図示（図面番号： ）、材質（ ））
・ 設けない

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合
目地処理 ・図示（図面番号： ）
増張り ・図示（図面番号： ）

4 塗膜防水
(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(a)
(3.6.3)(b)

工法	種別	施工箇所
・ PDX ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	屋根
	・ 断熱工法	

脱気装置
・ 設ける（設置数量 ・図示（図面番号：A-24 ）、材質（SUS））
・ 設けない

工法	種別	施工箇所
・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2	

保護層 ・ 図示（図面番号： ）

5 既存防水層表面の仕上塗装の除去
(3.2.6)(c)(2)
(3.2.6)(c)(6)

(M4AS,M4ASI,M4C,M4DI) ・ 行う ・ 行わない

(L4X) ・ 行う ・ 行わない

6 シーリング
(3.7.2)
(表3.7.1)

材料

種類	材種	施工箇所
・ SR-1	シリコーン系	ガラス
・ SR-2	シリコーン系	
・ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り
・ PS-2	ポリサルファイド系	打継ぎ目地、誘発目地
・ PU-2	ポリウレタン系	外壁

(3.7.4～7)
工法
・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
（拡幅幅 mm、拡幅深さ mm）
・ ブリッジ工法
（ボンドブレーカー幅 mm、エッジング材幅 mm）

(3.7.8)
シーリング材の試験
・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

7 とい
(3.8.2)(表3.8.1)
材種 ・硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 配管用鋼管(白管)
・
工法 ・図示（図面番号： ）

8 アルミニウム製笠木
(3.9.2)(c)
(表3.9.1)
(3.9.3)(b)
(3.9.2)(d)
(表5.2.2)

部材の種類
・ 押出し250形（アルミ製手摺付）
・ 押出し300形
・ 押出し350形
・ 板材折曲げ形（本体幅 糸幅110mm、板厚 ・ 2.0mm ・ 1.7mm）
固定金具の間隔（ mm） ・ 図示
固定方法 ・ 図示
表面処理 ・（ ）
工法 既存笠木等の撤去
・図示（図面番号： ）
下地補修の工法
・図示（図面番号： ）
板材折り曲げ形の笠木の取付方法
・図示（図面番号： ）
笠木固定金具の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

9 ＦＲＰ防水
10 防水保証
・ FRP防水
○ 要（引き渡しの日から10年間）

④ 外壁改修工事

1 施工数量調査
・ 行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・（ ）
調査項目 ・ ひび割れ部
（・ 幅0.2mm、・ 0.2mm～1.0 mm、・ 1.0mm以上）
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等
（・ 足場 ・ ゴンドラ）
報告書 ２部
（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

2 改修工法の種類
(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法

外壁	種類	改修工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
○ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ○ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ○ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り

3 改修工法等
(4.2.2)(a)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)
・ 樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量（ 25ml ）注入間隔（ 200～300 ）
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入口間隔（ ）
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入口間隔（ ）
材料
エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・抜取り個数（ ）
・抜取り部分補修方法（ ）

(4.2.2)(b)
(4.3.5)
(4.4.6)
(4.5.6)
・ Ｕカットシール材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填
（ ・ＰＵ－２ ・（ ））
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(c)
(4.3.6)
(4.4.7)
・ シール工法
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(d)
(4.3.7)
(4.4.8)
・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(g)
(4.5.8)
・ モルタル塗替え工法
材料 ・既製目地材の適用及び形状（ ）
仕上げ厚 （ ）

(4.2.2)(e)
(4.4.10)
(図4.4.1)
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの配置 ・ 標準
材料 ・アンカーピン（ ）

(4.2.2)(e)
(4.4.11)
(図4.4.2)
・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準
材料 ・アンカーピン（ ）

(4.2.2)(e)
(4.4.12)
(図4.4.2)
・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準
材料 ・アンカーピン（ ）

(4.2.2)(f)
(4.4.13)
(図4.4.3)
・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの配置 ・ 標準
材料 ・注入口付アンカーピン（ ）

(4.2.2)(f)
(4.4.14)
(図4.4.4)
・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピン及び注入口の配置
・ 標準
材料 ・注入口付アンカーピン（ ）

(4.2.2)(f)
(4.4.15)
(図4.4.4)
・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピン及び注入口の配置
・ 標準 ・（ ）
材料 ・ポリマーセメントスラリー（ ）
・注入口付アンカーピン（ ）

(4.2.2)(h)
(4.5.7)
・ タイル部分張替え工法
材料 ・ ポリマーセメントモルタル
・ 変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	区分 Ⅰ類(磁器)	区分 Ⅱ類(せっ器)	区分 Ⅲ類(陶器)	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無

・役物（・一体成形 ・接着加工）
・試験張り ・ 行う ・ 行わない
・見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(h)
(4.5.8)
(表4.5.3)
・ タイル張替え工法

タイルの種別	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・密着張り	5～8
		・改良積み上げ張り	4～7
		・改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4
・ ユニットタイル	・ 25mm角を超え小口未満	・マスク張り	3～4
	・ 小口未満	・モザイクタイル貼り	3～5

(4.5.15)
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの配置 （ 本／㎡）

(4.2.2)(h)
(4.5.16)
・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
（位置 寸法 × ）
検査 シーリング接着性試験
・ 行う（・ 簡易接着性試験 ・ 行わない）

4 塗り仕上げ
(4.2.2(j))
(表4.2.4(その1)
(その2))

種 類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け
		・平たん状 ・凸凹状	こて
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー
		・着色骨材砂壁状	・吹き付け ・こて

種 類		仕上げ形状		工法
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材Ｃ	スタッコ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
			・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて
	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材Ｅ	スタッコ状	・ 吹き放し ・ 凸部処理	吹付け
			・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・こて ・ローラー

種 類	呼び名	仕上げ形状	工法
複層仕上塗材	○ 複層塗材Ｅ ・ 複層塗材ＲＥ ○ 防水形複層塗材Ｅ ・ 防水形複層塗材ＲＥ	○ ゆず肌状	ローラー
		・ 凸部処理	吹付け
		・ 凸凹模様	吹付け
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材Ｅ	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー
	・ 可とう形改修塗材ＲＥ		
	・ 可とう形改修塗材ＣＥ	・ ゆず肌状	吹付け

・外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量（ ｋｇ／㎡）

特記

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	改修工事特記仕様書 2	縮尺 ＮＳ（Ａ１） ＮＳ（Ａ３）	図面番号 Ａ－０６

承認	管理建築士	印
図面提出日		

(4.6.6)
(表4.6.7)
・マスチック塗材塗り　・A種　・B種
仕上材塗り（　　）

(表4.2.5)
複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観
⊙アクリル系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	⊙水系	⊙艶有　・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無

（注）　つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)
既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・サンダー工法	30MPa～50MPa　外壁吹付部分、軒裏
・高圧水洗工法	
・塗膜剥離剤工法	
・水洗い工法 ・デッキブラシ ・高圧ポンプ	10～15Mpa

(4.6.4)
下地調整
・C-1　・C-2　・CM-2　・E　・（　　）

⑤ 建具改修工事

① 改修工法 (5.1.3)
⊙かぶせ工法
⊙カバー工法　・持出し工法　・ノンシール工法
・撤去工法
・はつり工法　・引抜き工法

2 防火戸 (5.1.4)
・例示仕様　・個別認定（認定番号　　）
・自動閉鎖機構　・図示（図面番号：　　）

3 見本の製作 (5.1.5)
・製作する　・製作しない

4 防犯建物部品 (5.1.7)
・図示（図面番号：　　）

⑤ ブラインドカーテンボックス等 (5.1.6(c))
・再使用する　⊙再使用しない

⑥ アルミニウム製建具 (5.2.2) (表5.2.1)
性能等級等
・A種　⊙B種　・C種
・防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・断熱ドアセット（等級　　）
・耐震ドアセット（等級　　）
・結露水の処理方法　・図示（図面番号：　　）

(表5.2.2)
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
⊙外部に面する建具
・B-1　⊙B-2　・A-2
・内部に面する建具
・C-1　・C-2　・（　　）

⑦ 網戸 (5.2.3)(e)
⊙可動式　・固定式
防虫網の材質
⊙合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス(SUS316)製
網目
⊙16メッシュ　・18メッシュ

8 樹脂製建具 (5.3.2)(表5.3.1) (表5.3.2)(表5.3.3) (5.3.3)(5.3.4) (5.3.5)
性能等級等
・A種　・B種　・C種
・防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・断熱ドアセット（等級　　）
ガラス　・複層ガラス　・（　　）
建具枠見込寸法　・図示（図面番号：　　）
水切り　・図示（図面番号：　　）
ぜん板　・図示（図面番号：　　）
丁番　・(表5.7.3)による　・図示（図面番号：　　）

9 鋼製建具
鋼製建具の性能等級
・簡易気密性ドアセット
・外部に面する建具の耐風圧
・S-4　・S-5　・S-6
・防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・断熱ドアセット（等級　　）
・耐震ドアセット（等級　　）
・めっき付着量　JIS G 3302　・Z12　・F12　・（　）
JIS G 3317　・Y08　・（　）
・H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ　・図示（図面番号：　　）

① 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)
鋼製軽量建具の性能等級
⊙簡易気密性ドアセット
・外部に面する建具の耐風圧
・S-4　・S-5　・S-6
・防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・断熱ドアセット（等級　　）
・耐震ドアセット（等級　　）
・H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ　・図示（図面番号：　　）
表面仕上げ
・塗装
・ビニル被覆鋼板
⊙カラー鋼板
・ステンレス鋼板（・HL　・鏡面）

11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)
ステンレス製建具の性能等級
・簡易気密性ドアセット
・外部に面する建具の耐風圧
・S-4　・S-5　・S-6
・防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・断熱ドアセット（等級　　）
・耐震ドアセット（等級　　）

(5.6.3)
材料　・SUS304　・（　　）

(5.6.4)
表面仕上げ　・HL仕上げ　・（　　）

(5.6.5)
曲げ加工　・普通曲げ　・角出し曲げ

12 建具用金物 (5.7.2)
金物の見え掛かり部等の材質等
・（表5.7.1）による
・図示（図面番号：　　）

(5.7.4)
マスターキー　⊙製作する（耐震工事との打合せ要）　・製作しない
引渡用鍵箱　⊙必要　・不要

13 自動ﾄﾞｱ開閉装置 (5.8.2) (5.8.3) (表5.8.3) (5.8.3)(f)
開閉装置の性能値
・図示（図面番号：　　）　⊙（DSLD-2　　）
センサの種類
・図示（図面番号：　　）　⊙（光線　　）
凍結防止措置　・あり　⊙なし

14 自動式上吊り引戸装置 (5.9.3)
自動式上吊り引戸装置の性能値
・（表5.9.1)による　・（　　）

15 重量シャッター (5.10.2) (5.10.2)(c) (表5.10.1) (5.10.2)(f)
種類
・一般重量シャッター　・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター　・防煙シャッター
耐風圧強度（　　Pa以上）
開閉機能
・上部電動式（手動併用）　・上部手動式

一般重量シャッターのシャッターケース
・設ける　・設けない
・設ける　・設けない
・めっき付着量　・Z12　・F12　・（　）

⑯ 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)
開閉形式
・上部電動式（手動併用）　⊙手動式

耐風圧強度（　　Pa以上）

スラットの材質及び形状
・インターロッキング形　・オーバーラッピング形
・めっき付着量　JIS G 3312　・Z06　・F06　・（　）
JIS G 3322　・AZ90　・（　）

17 オーバーヘッドドア (5.12.2) (5.12.3)
型式及び機構
セクション材料
・スチールタイプ　・アルミニウムタイプ
・ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度（　　Pa以上）

開閉方式
・バランス式　・チェーン式　・電動式

収納形式
・スタンダード形　・ローヘッド形
・ハイリフト形　・バーチカル形

ガイドレール
・溶融亜鉛めっき鋼板　・ステンレス鋼板

18 ガラス材料、工法 (5.13.2)(a) (5.13.4)
板ガラス
⊙図示（図面番号：A－　　）

19 ガラス留め材 (5.13.2)(b)
ガラス留め材
⊙シーリング　・ガスケット（　　）

20 ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)
・図示（図面番号：　　）
⊙（表5.13.1）による

21 ガラスブロック積み (5.13.5)
ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ　・図示（図面番号：　　）
金属枠、補強材　・図示（図面番号：　　）
化粧カバー　・図示（図面番号：　　）
工法
・図示（図面番号：　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する

⑥ 内装改修工事

① 一般事項 (6.1.3)(b)
既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改修範囲
⊙天井	⊙図示　・（　　）
⊙壁	⊙図示　・（　　）
⊙床	⊙図示　・（　　）

(6.1.3)(c)
天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
⊙図示　・（　　）

(6.1.3)(f)
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
⊙図示　・（　　）

② 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(a)(1) (6.2.2)(a)(2) (6.2.2)(c)
既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・行う　・行わない
合成樹脂塗り床材の除去等
・機械的除去工法　・目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
⊙施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・（　　）

③ 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)
既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
・（　　）

4 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(1) (表6.5.2)
表面仕上げ　・A種　・B種　・C種　・D種
木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	種別
下地材	・A種　・B種
造作材	・A種　・B種

(6.5.2)(b)(1)
製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用針葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　）	
造作用針葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　）	
広葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　）	

(6.5.2)(b)(2)(iv) (表6.5.3)
「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種　寸法　防虫処理、難燃処理及び含水率　・図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　・A種　・（　）
樹種

部位	樹種	県産材

(6.5.2)(b)(2)(iv)
代用樹種の使用　・禁止する　・禁止しない

(6.5.2)(c)(i) (6.5.2)(b)(ii)
造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部位	樹種・寸法	見付け材面の等級	厚さ
造作用集成材	・図示（図面番号：　）	・（　）	
化粧ばり造作用集成材	・図示（図面番号：　）	・（　）	
化粧ばり構造用造作用集成材	・図示（図面番号：　）		

(6.5.2)(c)(ii)
「集成材の日本農林規格」以外の製材
樹種　寸法　見付け材面の品質及び厚さ　・図示（図面番号：　　）
含水率　・15%以下　・（　）

(6.5.2)(d)(i)
造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	厚さ	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・図示（図面番号：　）	・（　）	

(6.5.2)(d)(ii)
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ　表面の品質　防虫処理　・図示（図面番号：　　）
含水率　・14%以下　・（　）

(6.5.2)(e)
・床張り用合板等

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

(6.5.5)(a)
・防腐、防蟻処理
適用部位　図示（図面番号　　）
保存処理性能区分（　　）
薬剤の塗布等の処理方法（　　）
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（　　）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	改修工事特記仕様書　3	縮尺	NS（A1） NS（A3）	図面番号 A－07		
						図面提出日		

(6.5.5)(b)
・ 防虫処理
・図示（図面番号　）

⑤ 軽量鉄骨天井下地
(6.6.2)
野縁等の種類
⊙ 屋内　⊙ 19形 ・（　）
(表6.6.1)　・ 屋外　・ 25形 ・（　）
(6.6.3)

形式及び寸法
・ 屋外　・ 図示（図面番号：　）
・ 耐震天井　・ 図示（図面番号：　）
⊙ ふところ≧1.5m ⊙(6.6.4)(h) ・図示（図面番号：　）
・ ふところ＞3m　・ 図示（図面番号：　）

既存埋込みインサート
・ 使用する ⊙ 使用しない
既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験
(6.6.4)　・行う（図示（図面番号：　））⊙ 行わない
耐震天井
・図示（図面番号：　）

⑥ 軽量鉄骨壁下地
(6.7.2)
スタッド、ランナーなどの種類
⊙ 図示（図面番号：　）
(6.6.4)(a)(1)

⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
(6.8.2)
材料
⊙ ビニル床シート 【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色　柄	厚　さ	備考
ＦＳ	マーブル	2.0mm	

(6.8.2)(a)
(6.8.2)(b)
・ ビニル床タイル 【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種　類	厚　さ	備　考

(6.8.2)(c)(1)
・ 帯電防止床シート、床タイル

種　類	性　能	厚　さ	備考

(6.8.2)(c)(2)
・ 視覚障害者用床タイル

種　類	形　状	備　考

(6.8.2)(c)(3)
・ 耐動荷重性床シート

種　類	性　能	厚　さ	備考

(6.8.2)(c)(4)
・ 防滑性床シート

種　類	性　能	厚　さ	備考

(6.8.2)(e)
・ ゴム床タイル

種　類	厚　さ	備　考

(6.8.3)(a)
工法
下地
⊙ モルタル下地 ・ 木下地
・ その他（　）
(6.8.3)(b)
熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない
ビニル床シート張り

⑧ カーペット敷き
・ 織じゅうたん

種別	パイル形状	帯電性	品質の程度
・ A種 ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・人体帯電圧3KV以下 ・（　）	・（　）

(6.9.3)(a)
(表6.9.1)
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）
(6.9.3)(b)
・ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルループパイル、ループ併用		・人体帯電圧3KV以下 ・（　）	・全面接着工法 ・グリッパー工法	・（　）

(6.9.3)(c)
・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯　電　性	備　考
	・ 人体帯電圧3KV以下 ・	

(6.9.3)(d)
(表6.9.2)
⊙ タイルカーペット

種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
⊙ 接着工法	⊙ カットパイル ・ ループパイル	⊙500×500 ・（　）	⊙6.5 ・（　）	・（　）

(6.9.3)(e)
下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・（　）
(6.9.3)
見切り、押え金物 ・適用する（材質、形状等 ・図示（図面番号：　））
(6.9.4)(e))
敷き方

平　場	⊙ 市松敷き ・ 模様流し ・（　）
階段部分	・ 市松敷き ・ 模様流し ・（　）

9 合成樹脂塗床
(6.10.3)(b)(1)
弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
(表6.10.4)
(6.10.3)(b)(2)
エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類
(表6.10.4)～(表6.10.8)
・ 薄膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ（・平滑 ・防滑）
・ 樹脂モルタル仕上げ（・平滑 ・防滑） ・ 防滑仕上げ

10 フローリング張り
(6.11.6)
・ モルタル埋込み工法
フローリングブロック(単位:mm)
(表6.11.6)

樹　種	厚さ	寸法	備　考
・ なら	15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う
・（　）			

(6.11.4)
・ 釘留め工法
(表6.11.2)

材　料	種　別	樹　種
・ フローリングボード（根太張用）		・なら ・（　）
・ 複合フローリング（根太張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	

防湿処理 ・図示（図面番号：　）
(6.11.5)
・ 接着工法
(表6.11.3)
(表6.11.5)
(表6.11.6)

材　種	樹　種	厚　さ	大きさ
・ フローリングボード（直張用）	・ なら ・（　）		
・ フローリングブロック（直張用）			
・ 複合１種フローリング（直張用） ・ A種			
・ 複合２種フローリング（直張用） ・ B種			
・ 複合３種フローリング（直張用） ・ C種			
・ モザイクパーケット（直張用）	・（　）	・（　）	・（　）

(6.11.7)(2)
緩衝材 ・合成樹脂発泡シート ・図示（図面番号：　）
塗装
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、Ｂ種）
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・（　）

11 畳敷き
(6.12.2)
種別 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種 ・ Ｄ種
・ 空き室工事終了後、焼けに対する養生をすること。
(表6.12.1)
・ 建材畳 ＫＴ－Ⅲ

⑫ せっこうボード、その他ボード及び合板張り

材　種	種　別		厚さ(mm)
⊙せっこうボード		壁	・9.5(準不燃) ⊙12.5(準不燃)
		天井	⊙9.5(準不燃) ・12.5(準不燃)
⊙化粧せっこうボード	⊙トラバーチン模様		⊙9.5(準不燃) ⊙9.5(不燃)
	・木目模様		・9.5(準不燃)
⊙ロックウール化粧吸音板	⊙普通		⊙9
	・立体模様		
・けい酸カルシウム板	・タイプⅡ0.8FK		
⊙ シージングせっこうボード			⊙12.5(準不燃)
⊙ 強化せっこうボード			⊙21(不燃)

(6.13.2)(h)
遮音シール材
・シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド
(6.13.3)(e)(3)
合板類の張付け
・ A種 ⊙ B種
(6.13.3)(g)(1)
せっこうボードの目地工法
(表6.13.5)
・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目透し

⑬ 壁紙張り
(6.14.2)

施　工　箇　所	品質の程度	防火性能
内部壁・天井	ＡＡ級	⊙不燃 ⊙準不燃
		・不燃 ・準不燃
		・不燃 ・準不燃

⑭ モルタル塗り
既製目地材
・ 使用する（形状　）
(6.15.3)
(6.15.6)
床の目地 ・図示（図面番号：　）
(6.11.6)
緩衝材 ・図示（図面番号：　）

⑮ タイル張り
(6.16.2)
伸縮調整目地
位置 ⊙ 図示（図面番号：　）
(6.16.3)
タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分 Ⅰ類 磁器	区分 Ⅱ類 せっ器	区分 Ⅲ類 陶器	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無
ポーチ床	300角	圧着張	屋外床		○	⌒	⌒					○
外壁	二丁掛	圧着張	屋外壁		○							○

(6.16.3)(a)(3)
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない
(6.16.5)
コンクリート素地面の目荒らし工法 ・行う
16 セルフレベリング材塗り
(6.17.2)
・ せっこう系 ・ セメント系
塗厚 （　）mm
17 断熱材
(9.5.2)
断熱材打込み工法
種類 ・ Ａ種 ・ Ｂ種

種　類	種　別	厚さ（mm）	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ 硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3)
断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）

種類	厚さ（mm）	施　工　箇　所
・Ａ種１ ・Ａ種２ ・Ａ種３	・（　） ・（　）	・窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・（　）

⑦ 塗装改修工事

1 材料
(7.1.3)(b)
・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所　）

2 下地調整
(7.2.1～7.2.7)
(表7.2.1)～(表7.2.7)
既存塗膜の除去範囲（塗り替えでＲＢ種の場合）
・図示（図面番号：　）
種別

下　地	種　別	ひび割れ部の補修
・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
⊙ 鉄鋼面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
⊙ モルタル、プラスター面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	・行う
○ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	・行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・行う
⊙ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	

3 錆止め塗料塗り
(7.3.2)
(表7.3.1)
(7.3.3)
(表7.3.3)～(表7.3.4)
錆止め塗料種別
⊙鉄鋼面
屋外 ・ Ａ種 ・ Ｂ種
屋内 ・ Ａ種 ・ Ｂ種
・亜鉛めっき鋼面
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面 ・ Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・ Ｃ種
亜鉛めっき鋼面 ・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

4 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
(7.4.2)
(7.4.3～7.4.5)
(表7.4.1)～(表7.4.3)
塗料種別 ・ １種 ・（　）
種別

下　地	種　別
・ 木部	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種
⊙ 鉄鋼面	・ Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・ Ｃ種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

5 クリヤラッカー塗り(CL)
(7.5.2)
(表7.5.1)
種別
木部 ・ Ａ種 ・ Ｂ種

6 フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)
(7.6.2)～(7.6.3)
種別

下　地	適　用
・ 木部	(表7.6.1参照)
・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面	(表7.6.1参照)

7 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)
(7.7.2)
(表7.7.1)
種別
・ Ａ種 ・ Ｂ種

8 耐候性塗料塗り(DP)
(7.8.2)～(7.8.4)
(表7.8.1)～(表7.8.3)
上塗り等級
・１級（フッ素系） ⊙２級（ｼﾘｺﾝ系） ・３級（ﾎﾞﾘｳﾚﾀﾝ系）

下地	種　別
鉄鋼面	・Ａ種 ⊙Ｂ種 ・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・Ａ－１種 ・Ａ－２種 ・Ｂ－１種 ・Ｂ－２種 ・Ｃ－１種 ・Ｃ－２種

9 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5)
(表7.9.1)～(表7.9.4)
種別

下地	種　別
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 しみ止め（　）
木部（屋内）	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種
鉄鋼面（屋内）	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面（屋内）	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種

10 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
(7.10.2)
(表7.10.1)
種別
・ Ａ種 ⊙ Ｂ種 ・ Ｃ種
しみ止め ・（　）

11 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)
(7.11.2)
(表7.11.1)～(表7.11.3)
種別
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ・ Ｃ種

12 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)
(7.13.2)
(表7.13.1)
種別
・ Ａ種 ・ Ｂ種

13 ラッカーエナメル塗り(LE)
(7.13.2)
(表7.13.1)
種別
・ Ａ種 ・ Ｂ種

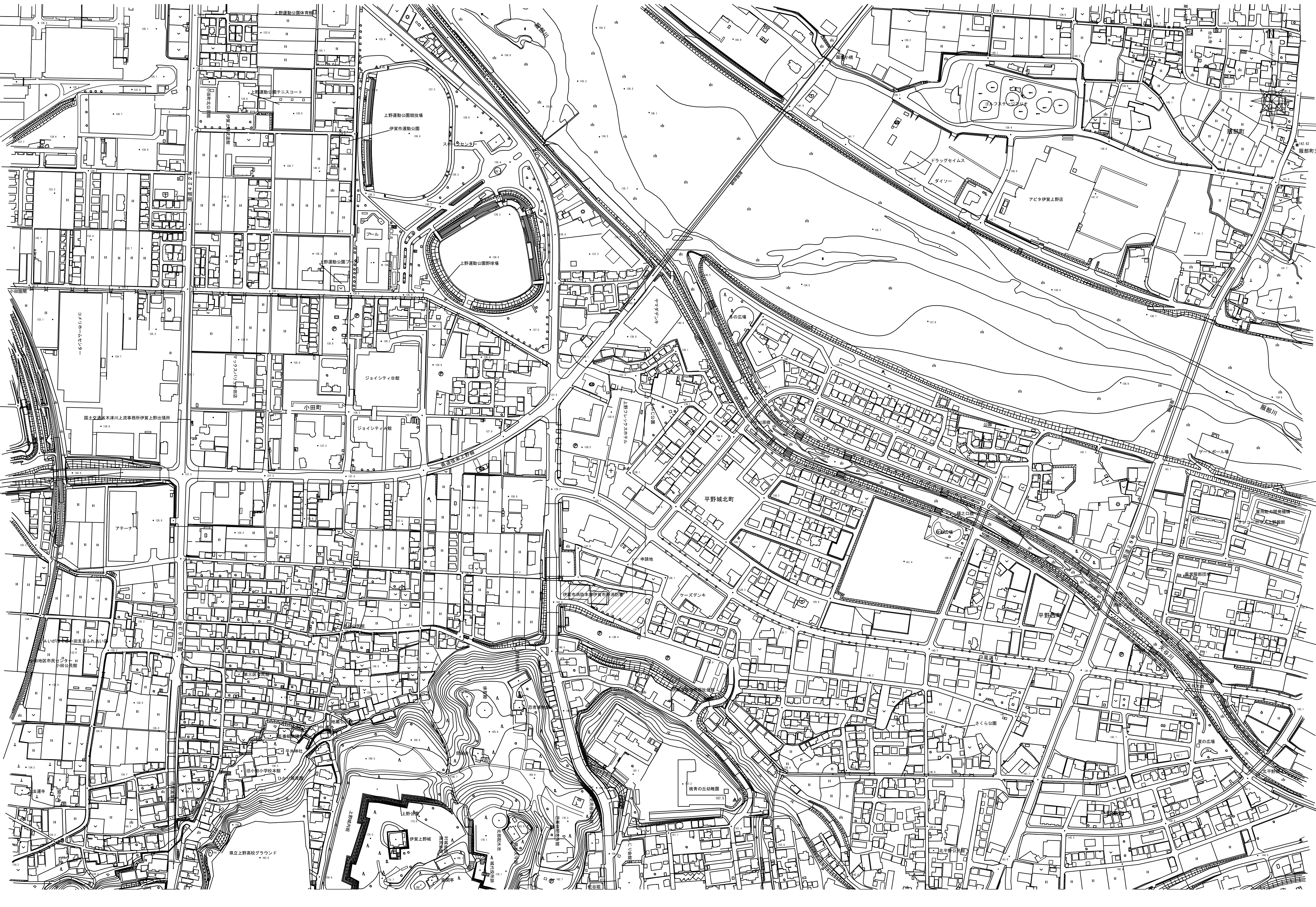
14 ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS)
(7.14.2)
・ （表７．１４．１参照）

15 木造保護塗料塗り(WP)
(7.15.2)
(表7.15.1)
種別
・ Ａ種 ・ Ｂ種

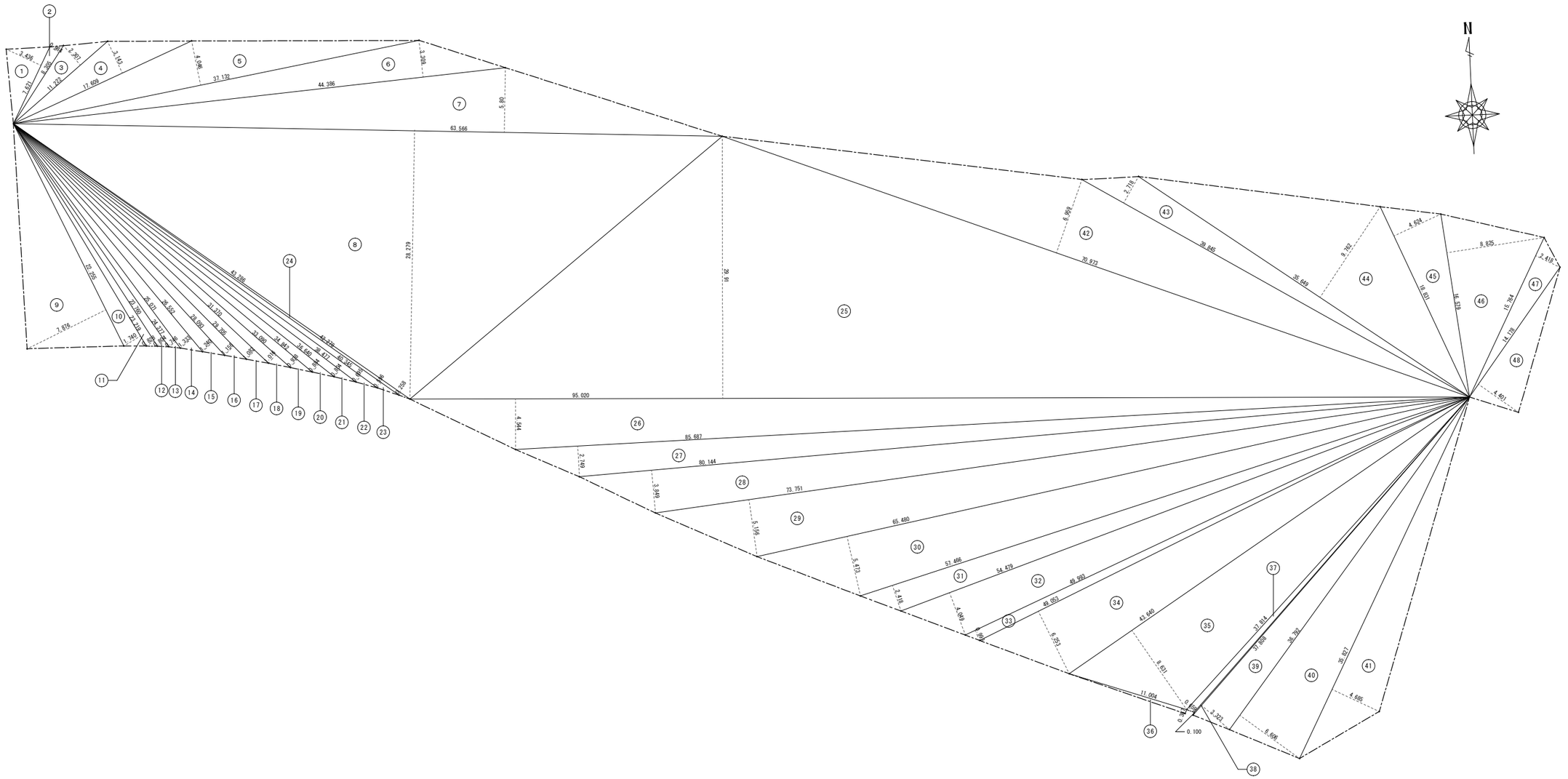
特記

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）
図名	改修工事特記仕様書　4
縮尺	ＮＳ（Ａ１） ＮＳ（Ａ３）
図面番号	Ａ－０８

承　認	管理建築士	印
図面提出日		



特記	工事名	(仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(建築主体工事)		承認	管理建築士	印
	図名	位置図	縮尺 1/2500(A1) 1/5000(A3)	図面番号 A－09	図面提出日	

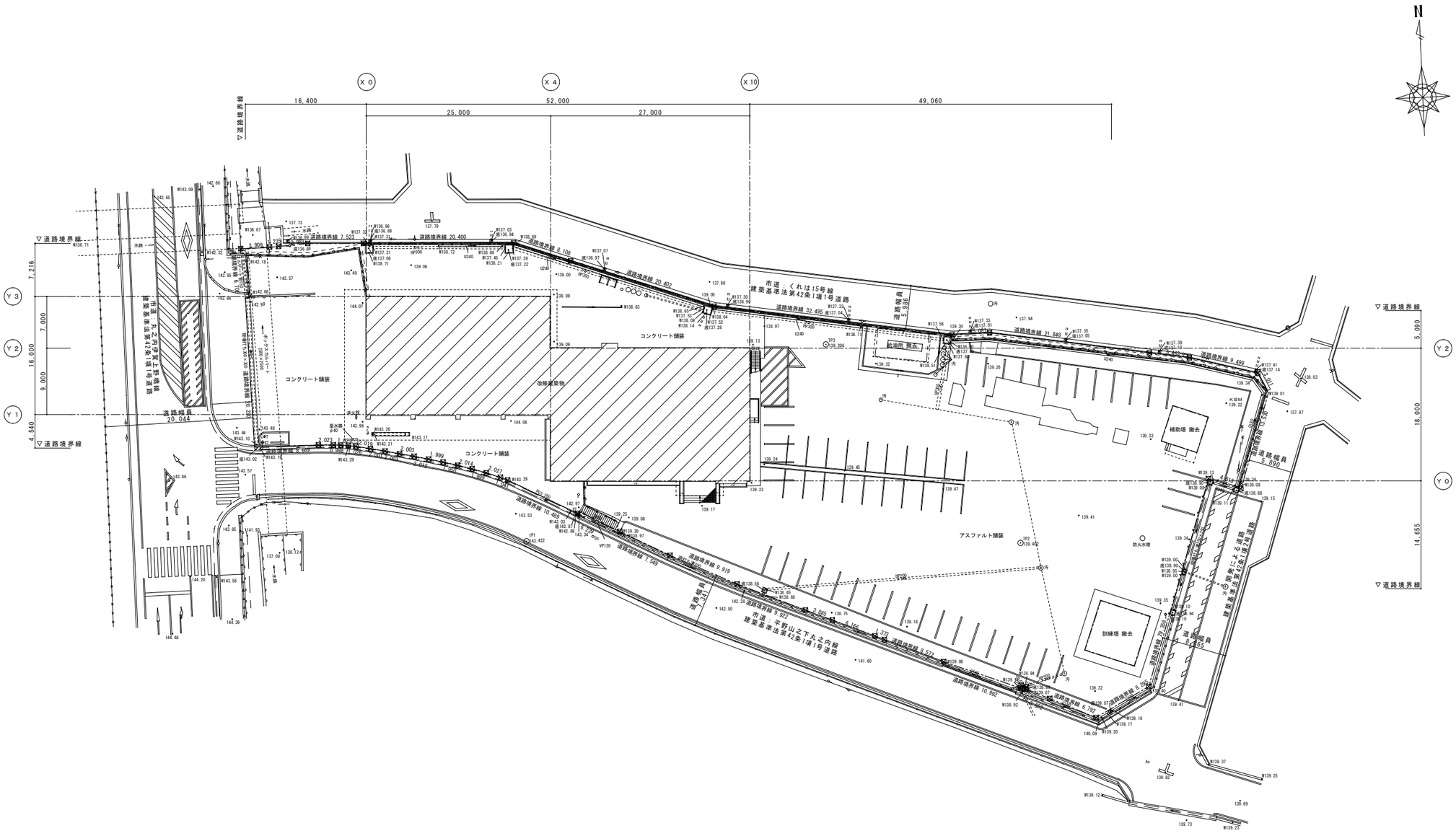


敷地求積図	1／200（A1） 1／400（A3）

敷地面積

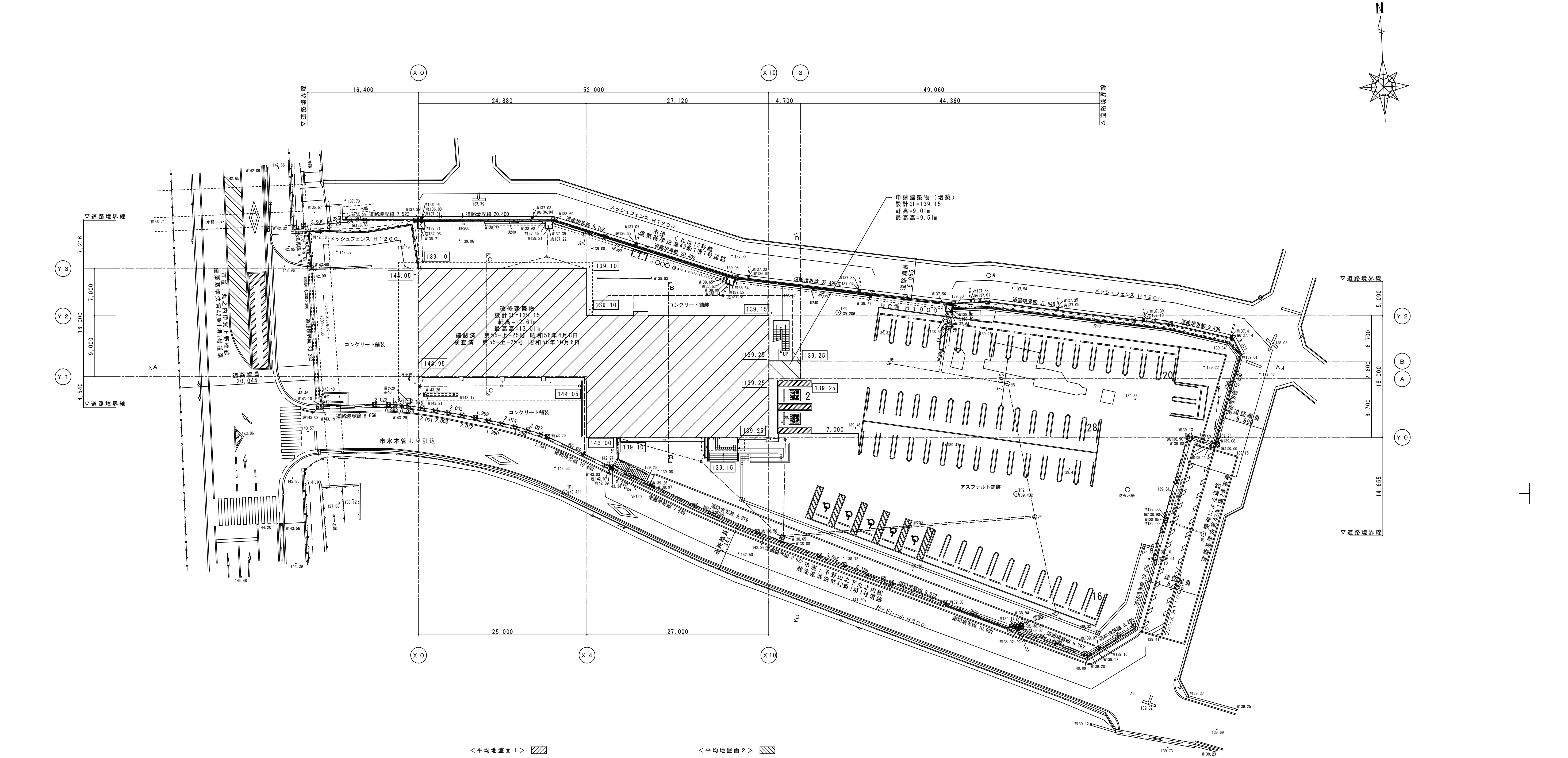
番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	7．621	3．436	26．185756	13．092878	⑭	26．552	1．333	35．393816	17．696908	㉗	85．687	2．749	235．553563	117．7767815	㊵	36．792	6．606	243．047952	121．523976
②	8．305	0．984	8．17212	4．08606	⑮	28．093	1．240	34．83532	17．41766	㉘	80．144	3．849	308．474256	154．237128	㊶	35．827	4．685	167．849495	83．9247475
③	11．222	2．307	25．889154	12．944577	⑯	29．705	1．156	34．33898	17．16949	㉙	73．751	5．156	380．260156	190．130078	㊷	70．973	6．959	493．901107	246．9505535
④	17．609	3．143	55．345087	27．6725435	⑰	31．370	1．082	33．94234	16．97117	㉚	65．480	5．473	358．37204	179．18602	㊸	39．845	2．718	108．29871	54．149355
⑤	37．132	4．046	150．236072	75．118036	⑱	33．090	1．016	33．61944	16．80972	㉛	57．466	2．418	138．952788	69．476394	㊹	35．649	9．762	348．005538	174．002769
⑥	44．386	3．309	146．873274	73．436637	⑲	34．842	0．938	32．681796	16．340898	㉜	54．479	4．049	220．585471	110．2927355	㊺	18．831	4．624	87．074544	43．537272
⑦	63．566	5．80	368．6828	184．3414	⑳	36．640	0．884	32．38976	16．19488	㉝	49．993	0．993	49．643049	24．8215245	㊻	16．579	8．825	146．309675	73．1548375
⑧	63．566	28．279	1797．582914	898．791457	㉑	38．477	0．804	30．935508	15．467754	㉞	49．053	6．253	306．728409	153．3642045	㊼	15．764	2．418	38．117352	19．058676
⑨	22．255	7．876	175．28038	87．64019	㉒	40．345	0．695	28．039775	14．0198875	㉟	43．640	8．631	376．65684	188．32842	㊽	14．178	4．401	62．397378	31．198689
⑩	23．219	1．740	40．40106	20．20053	㉓	42．278	0．596	25．197688	12．598844	㊱	11．004	0．387	4．258548	2．129274					
⑪	23．760	0．828	19．67328	9．83664	㉔	43．286	0．258	11．167788	5．583894	㊲	37．814	0．659	24．919426	12．459713					
⑫	24．377	0．804	19．599108	9．799554	㉕	95．020	29．91	2842．0482	1421．0241	㊳	37．808	0．100	3．7808	1．8904					
⑬	25．071	0．746	18．702966	9．351483	㉖	95．020	4．544	431．77088	215．88544	㊴	37．808	3．323	125．635984	62．817992	合計				5，343．90㎡

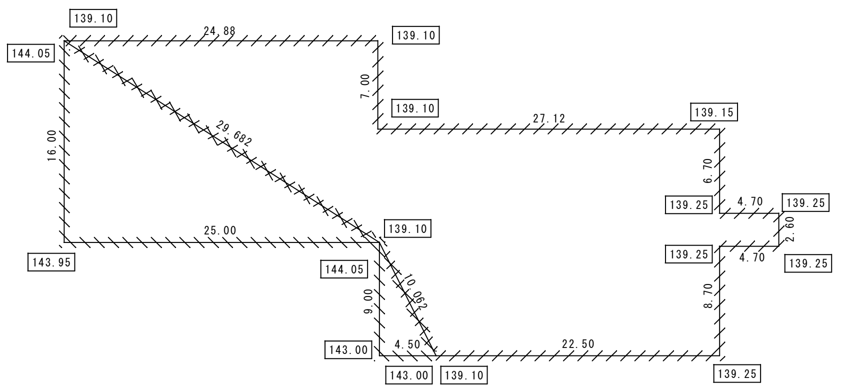
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	敷地求積図	縮尺	1／200（A1） 1／400（A3）	図面番号	A－10	図面提出日		



＜現況＞配置図	1／300（A1） 1／600（A3）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞配置図	縮尺 1／300（A1） 1／600（A3）	図面番号 A－11	図面提出日		





＜平均地盤面１＞

※計算における基準高さを139.10とする

面積			周長
ⓐ	0×24.88	0	24.88
ⓑ	0×7.00	0	7.00
ⓒ	0.05×27.12×0.5	0.678	27.12
ⓓ	（0.05+0.15）×6.70×0.5	0.67	6.70
ⓔ	0.15×4.70	0.705	4.70
ⓕ	0.15×2.60	0.39	2.60
ⓖ	0.15×4.70	0.705	4.70
ⓗ	0.15×8.70	1.305	8.70
ⓘ	0.15×22.50×0.5	1.6875	22.50
ⓝ	0×10.062	0	10.062
ⓞ	0×29.682	0	29.682
合計		6.1405	148.644

6.1405/148.644＝0.041

平均地盤面＝基準高さ+0.04＝139.14

したがって、設計GL（139.15）より-0.01（139.14）が平均地盤面１となる。

＜平均地盤面２＞

※計算における基準高さを142.10とする

面積			周長
ⓙ	（1.95+1.85）×16.00×0.5	30.40	16.00
ⓚ	（1.85+1.95）×25.00×0.5	47.50	25.00
ⓛ	（1.95+0.9）×9.00×0.5	12.825	9.00
ⓜ	0.90×4.50	4.05	4.50
ⓝ	（0.90+1.95）×10.062×0.5	14.33835	10.062
ⓞ	1.95×29.682	57.8799	29.682
合計		166.99325	94.244

166.99325/94.244＝1.77

平均地盤面＝基準高さ+1.77＝143.87

したがって、設計GL（139.15）より+4.72（143.87）が平均地盤面２となる。

＜改修＞配置図　1／300（A1）　1／600（A3）

特記

工事名　（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）

図名　＜改修＞配置図・平均地盤面算定図

縮尺　1/300（A1）　1/600（A3）

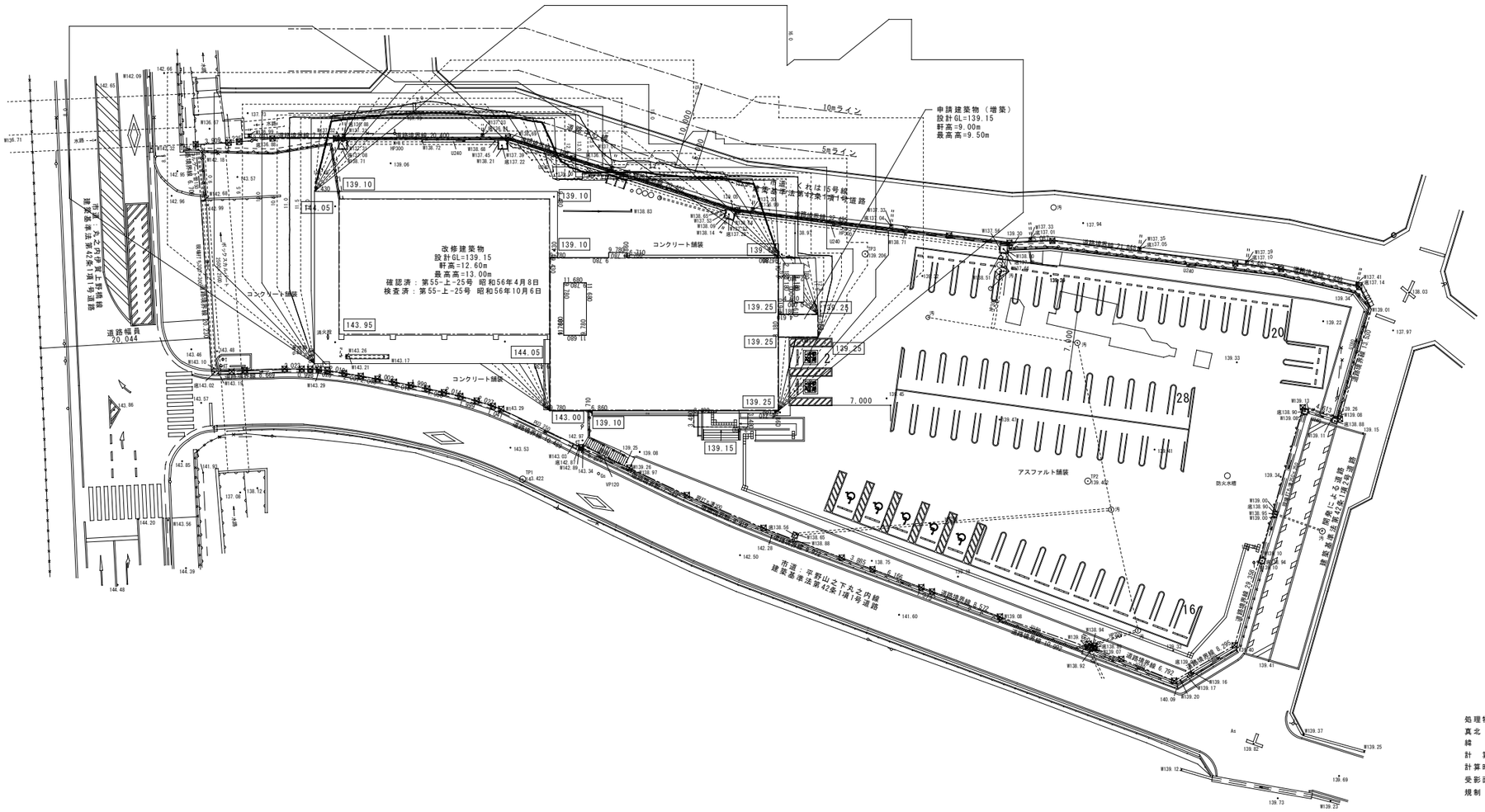
図面番号　A－12

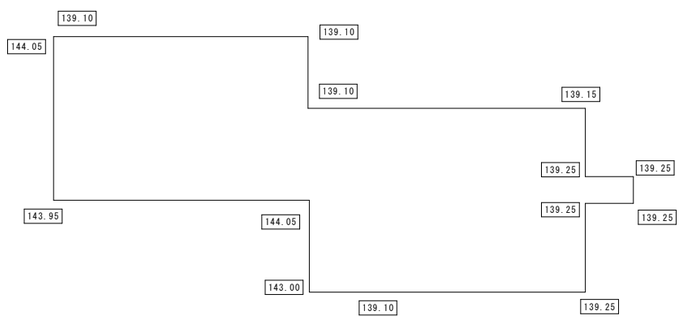
承認

図面提出日

管理建築士

印





日影計算データ

処理物件名	伊賀市総合福祉会館
真北 方位	－5° 00′（60進法）
緯 度	34° 46′（60進法）
計 算 日	冬 至
計算時間帯	8時～16時
受影面高サ	4．0m
規制 時間	5m：5時間
	10m：3時間

影倍率表 ［ 緯度＝34.77° ］［ 冬至 ］

時 刻	太陽 高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	8°37′	-53°28′	6.598	-5.302	3.927
8:30	13°24′	-48°26′	4.196	-3.140	2.784
9:00	17°49′	-42°57′	3.112	-2.120	2.278
9:30	21°46′	-36°58′	2.504	-1.506	2.000
10:00	25°12′	-30°28′	2.126	-1.078	1.832
10:30	27°59′	-23°26′	1.882	-0.748	1.727
11:00	30°04′	-15°55′	1.728	-0.474	1.661
11:30	31°21′	-8°04′	1.642	-0.230	1.625
12:00	31°47′	0°00′	1.614	0.000	1.614
12:30	31°21′	8°04′	1.642	0.230	1.625
13:00	30°04′	15°55′	1.728	0.474	1.661
13:30	27°59′	23°26′	1.882	0.748	1.727
14:00	25°12′	30°28′	2.126	1.078	1.832
14:30	21°46′	36°58′	2.504	1.506	2.000
15:00	17°49′	42°57′	3.112	2.120	2.278
15:30	13°24′	48°26′	4.196	3.140	2.784
16:00	8°37′	53°28′	6.598	5.302	3.927

＜日影規制による平均地盤面１＞

※計算における基準高さを139.10とする

	面 積		周 長		面 積		周 長
a	0×24.88	0	24.88	i	0.15×22.50×0.5	1.6875	22.50
b	0×7.00	0	7.00	j	3.90×4.50	17.55	4.50
c	0.05×27.12×0.5	0.678	27.12	k	(3.90+4.95) ×9.00×0.5	39.825	9.00
d	(0.05+0.15) ×6.70×0.5	0.67	6.70	l	(4.95+4.85) ×25.00×0.5	122.50	25.00
e	0.15×4.70	0.705	4.70	m	(4.85+4.95) ×16.00×0.5	78.40	16.00
f	0.15×2.60	0.39	2.60				
g	0.15×4.70	0.705	4.70				
h	0.15×8.70	1.305	8.70	合 計		264.4155	163.40

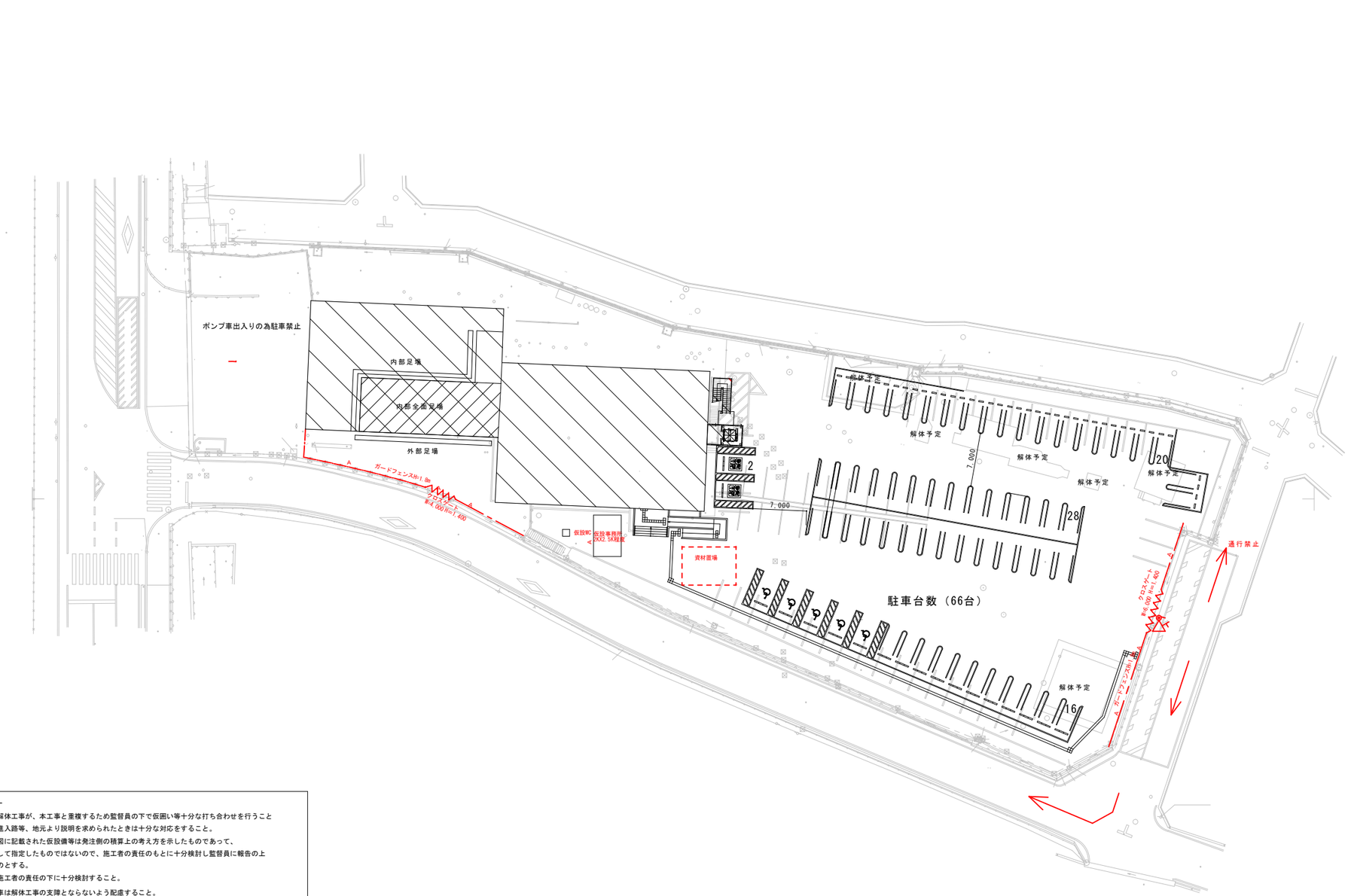
264.4155/163.40＝1.61

平均地盤面＝基準高さ+1.61＝140.71

したがって、設計GL（139.15）より+1.56（140.71）が日影規制における平均地盤面となる。

＜改修＞日影図	1／300（A1） 1／600（A3）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜改修＞日影図	縮尺 1／300（A1） 1／600（A3）	図面番号 A－13	図面提出日		



―留意事項―

※１）訓練棟他の解体工事が、本工事と重複するため監督員の下で仮囲い等十分な打ち合わせを行うこと
※２）工事車両の進入路等、地元より説明を求められたときは十分な対応をすること。
※３）本仮設参考図に記載された仮設備等は発注側の積算上の考え方を示したものであって、施工条件として指定したものではないので、施工者の責任のもとに十分検討し監督員に報告の上施工するものとする。
※４）仮設計画は施工者の責任の下に十分検討すること。
※５）作業員の駐車は解体工事の支障とならないよう配慮すること。
※６）資材搬入、搬出及び適宜に交通誘導員を配置して誘導すること。
※７）必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。
※８）東側ゲート車両の出入りは、南進行方向のみ行うこと。

凡例

- 工事用車両・資材搬入・搬出ルート
- A ガードフェンス H＝1800（上部ネット、下部目隠し）
  西南側　68m　東側　24m
- クロスゲート　H1400
  西側　4m　東側　6m
- 交通誘導員

仮　設　計　画	１／３００（Ａ１） １／６００（Ａ３）

特記	※境界については現況を測量した物であり、確認が必要である

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	仮　設　計　画	縮尺 １／３００（Ａ１） １／６００（Ａ３）	図面番号 Ａ－１４

承認		管理建築士	印
図面提出日	２０１９／０５／３０		

工　事　概　要

※（　）内寸法は平均ＧＬからの高さを示す。　　●印は本工事に該当

敷地概要

名称	（仮称）伊賀市総合福祉会館　改修工事	
敷地概要	地名地番	三重県伊賀市平野山之下３８０－５、３８０－７、３８０－１２
		見能３３０－４、３３０－８、３３０－１５、中川原５１３－５
	敷地面積	５，３４３．９０m2
	都市計画	●都市計画区域内
		○市街化区域　○市街化調整区域　●区域区分未設定都市計画区域
		○準都市計画区域内　○都市計画及び準都市計画区域外
	用途地域	○第１種低層住居専用地域　○第２種低層住居専用地域　○第１種中高層住居専用地域
		○第２種中高層住居専用地域　○第１種住居地域　●第２種住居地域　○準住居地域　○近隣商業地域
		○商業地域　○準工業地域　○工業地域　○工業専用地域　○指定無し
	防火地域	○防火地域　○準防火地域　○指定無し　●２２条指定地域
	基準建ぺい率（%）	○３０　○４０　○５０　●６０　○７０　○８０
	基準容積率（%）	○５０　○６０　○８０　○１００　○１５０　●２００　○３００　○４００　○５００　○６００
	道路・壁面後退	●主前面道路（２０．０４m）　○その他前面道路（　　m）
		○都市計画道路（○有　　m　●無）　○壁面後退（○有　m　●無）

建築概要

主要用途	事務所	
工事種別	○新築　●増築　○改築　○移転　○用途変更　○大規模の修繕　○大規模の模様替　●既存改修	
建築面積	１．事務所（既存部）	９９２．０４m2
	２．事務所（ＥＶ増築部）	１２．３２m2
	３．給油所	２６．６０m2
	４．訓練塔	４９．００m2
	５．訓練塔	２７．００m2
	合　計	１１０６．９６m2
延床面積	１．事務所（既存部）	１７８７．８０m2
	２．事務所（増築部）	２４．４４m2
	３．給油所	２６．６０m2
	４．訓練塔	２５３．１９m2
	５．訓練塔	５０．００m2
	合　計	２１４２．０３m2
建ぺい率	建ぺい率算定面積	１００４．３６m2
		１８．８０%
容積率	容積率算定面積	１７９８．２０m2（ＥＶ部：１４．０４を除く）
		３３．６５%

棟別概要

棟名	１．事務所（既存部）	２．事務所（ＥＶ増築部）	３．給油所
用途	事務所	事務所	給油所
工事種別	○新築　○増築　○改築　●既存改修	○新築　●増築　○改築　○既存改修	○新築　○増築　○改築　●解体撤去
階数	地上２階、地下０階	地上２階、地下０階	地上１階、地下０階
構造	Ｓ、ＲＣ	Ｓ	Ｓ
最高の高さ	１３．００m	９．５０m	５．４０m
最高の軒高	１２．６０m	９．００m	４．２０m
建築面積	１００４．２６m2	１２．３２m2	２６．６０㎡
床面積	１階　８８４．５７m2	１階　１２．２２m2	１階　２６．６０㎡
	２階　８９３．６３m2 ＰＨ階 ９．６０m2	２階　１２．２２m2	
	合計　１７８７．８０m2	合計　２４．４４m2	合計　２６．６０㎡
棟名	４．訓練塔	５．補助塔	
用途	消防署	消防署	
工事種別	○新築　○増築　○改築　●解体撤去	○新築　○増築　○改築　●解体撤去	
階数	地上６階、地下０階	地上２階、地下０階	
構造	ＲＣ	Ｓ	
最高の高さ	２０．２７m	７．００m	
最高の軒高	１９．８７m	７．００m	
建築面積	４９．００m2	２７．００m2	
床面積	１階～５階（各階）　４９．００m2	１階　２５．００m2	
	６階　８．１９２m2	２階　２５．００m2	
	合計　２５３．１９２m2	合計　５０．００m2	

設備工事

給排水衛生設備	設備図参照
電気設備	設備図参照
消防設備	設備図参照
空調設備	設備図参照
昇降機設備	設備図参照（申請別途）
浄化槽設備	設備図参照

既存改修部分（伊賀市総合福祉会館）　外部仕上表（材料は全て同等品とする。）

屋根

①	屋根（一般）	既　存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０、歩行用アスファルト防水（８層） 仕上：押え防水モルタル 厚５０～７０ 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水
		改　修	防水改修　（別途工事）
②	屋根（車庫）	既　存	下地：ＡＬＣ板 厚１００ 仕上：シート防水 撤去
		改　修	防水改修　（別途工事）
③	屋根（玄関庇・階段室塔屋）	既　存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０ 仕上：露出アスファルト防水（８層）
		改　修	防水改修（玄関庇は現況のまま）（別途工事）
④	軒天	既　存	アルミカラースパンドレル
		改　修	既存のまま
⑤	パラペット（車庫）	既　存	下地：Ｃ－１００×５０×２０×２．３@３０００以内 仕上：アルミジュラクロン加工
		改　修	既存のまま
⑥	笠木（一般）	既　存	防水モルタルコテ押え 手すり：スチールφ４２．７　ＯＰ塗
		改　修	既存のまま
⑦	笠木（車庫・玄関庇）	既　存	アルミジュラクロン加工
		改　修	既存のまま
⑧	竪樋	既　存	硬質塩ビ製φ１００、掴み金物：ＦＢ－２０×３　ＯＰ塗、養生管：鋳鉄製　Ｈ２０００
		改　修	既存のまま
⑨	ルーフドレン	既　存	横引きドレンφ１００、縦型ルーフドレンφ１００　撤去
		改　修	改修用ドレン
⑩	玄関庇見付	既　存	下地：コンクリート 仕上：アルミジュラクロン加工
		改　修	既存のまま

外壁

⑪	外壁（一般）	既　存	東・南・西面：モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面・階段室塔屋：モルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）
		改　修	既存のまま
⑫	外壁（車庫）	既　存	南・西面：リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面：リブラスモルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）
		改　修	既存のまま 南面：一部 ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付、立上り：コンクリート打放し補修 Ｈ８３０
⑬	柱型（車庫）	既　存	リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去
		改　修	ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付
⑭	巾木	既　存	モルタル刷毛引き　Ｈ５００
		改　修	既存のまま
⑮	オーバースライダー	既　存	アルミカラー
		改　修	下地調整の上、ＤＰ塗（２級）（外側のみ）
⑯	開口塞ぎ	既　存	アルミサッシ撤去
		改　修	コンクリート 厚１２０ モルタル塗、二丁掛タイル貼（既存合わせ）

床

⑰	犬走り	既　存	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０@２００（シングル） 周囲カッター切りの上、撤去 一部 花壇撤去共
		改　修	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０@２００（シングル） 既設土間取り合い差し筋アンカー Ｄ１０Ｌ４５０@２００、砕石 厚１００ 一部花壇復旧共
⑱	玄関ポーチ	既　存	コンクリート 厚１２０ 撤去 ノンスリップ磁器質タイル 撤去
		改　修	コンクリート 厚１２０、鉄筋Ｄ１０@２００タテヨコ、モルタル金ゴテ押え 磁器質タイル３００角 厚９、段鼻タイル、一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角　線状・点状
⑲	スロープ（勾配１／１２）	既　存	－
		改　修	コンクリート 厚１２０、モルタル刷毛引き 一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角 線状・点状
⑳	屋外階段 撤去（ＲＣ柱・梁・基礎共）	既　存	手すり：口－１００×５０×３．２　ＯＰ塗 撤去　手すり子：口－３２×３２×１．６　ＯＰ塗 撤去 踏板：ＰＣ版、防水モルタル金ゴテ押え 撤去　段鼻：ノンスリップ真鍮製（ゴム入） 撤去
		改　修	－

外構

ライン引き	既　存	Ｗ１００　ライン消し
	改　修	駐車区画・身障者駐車区画・身障者マーク：Ｗ１００ 思いやり駐車マーク：Ｗ１２００×Ｄ１２００ 焼付 ２ヶ所
車止め	既　存	－
車止め（３連結）	改　修	ＰＣ：１００×１００×６００（アンカー+接着剤止め）
点字タイル	既　存	－
	改　修	視覚障がい者用誘導ブロック３００角　線状・点状
ポーチ手すり	既　存	－
	改　修	手すり：ステンレス製φ４２．７ Ｈ８５０ Ｈ６００ ２段 手すり支柱：ステンレス製φ４２．７@１０００以内
スロープ手すり	既　存	－
	改　修	手すり：ステンレス製φ４２．７ Ｈ８５０ Ｈ６００ ２段 手すり支柱：ステンレス製φ４２．７@１０００以内
ガードパイプ	既　存	－
	改　修	ガードパイプＬ型：５００×５００×Ｈ９００　４ヶ所 スチール製φ６０．５×ｔ２．８

その他

シーリング	サッシ新設廻り、外壁目地部分：ポリサルファイド系シーリング
	ガラス施工部分：シリコーンシーリング（２成分系）
建具	建具表参照
館銘板	ＳＵＳ３０４ ＨＬ５００×５００ 厚５ ９文字（伊賀市総合福祉会館） ２ヶ所
キュービクル基礎	Ｗ２２００×Ｄ２１００×Ｈ３００ 鉄筋：Ｄ１３@２５０ タテヨコ共（ダブル）※外構詳細図参照
フェンス	メッシュフェンス（独立基礎）：Ｈ１５００、メッシュフェンス扉：Ｗ９００ Ｈ１５００
案内看板	車椅子駐車場 看板 ※外構詳細図参照

新設部分（ＥＶ）　外部仕上表（材料は全て同等品とする。）

屋根

Ⅰ	屋根	折板葺（山高９０ハゼ）カラーガルバリウム鋼板 厚０．６
		裏面：フネンエース 厚４
Ⅱ	笠木	カラーガルバリウム鋼板 厚０．５ 曲げ加工
Ⅲ	樋	竪樋：硬質塩ビ製φ１００（カラー）、掴み金物：ＦＢ－２０×３@１２００ ＯＰ塗
		軒樋：硬質塩ビ製角樋Ｗ１２０（カラー）

外壁

Ⅳ	外壁	ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付
Ⅴ	パラペット裏面	カラーガルバリウム鋼板 厚０．５ 曲げ加工
		下地：ロックウール吹付 厚２５
Ⅵ	ＥＸＰ・Ｊ（外壁－外壁）	エキスパンジョイント：ステンレス製 クリアランスＷ２００
		耐火帯：ステンレス製 ＥＡＪ－防災－３０１４
Ⅶ	巾木	コンクリート打放し補修 Ｈ８３０

その他

屋外階段	踏面：ＣＰＬ－４．５、手すり：丸鋼φ４２．７、手すり子：丸鋼φ１９@１００ 支柱：丸鋼φ４２．７@１５００以下、ササラ桁：ＰＬ－１６×２５０、段鼻：屋外用滑り止めテープ 階段土間：コンクリート金ゴテ押え 厚１５０、ワイヤーメッシュφ６　１５０角 鉄部：溶融亜鉛メッキ仕上
シーリング	サッシ廻り、外壁目地部分：ポリサルファイド系シーリング
	ガラス施工部分：シリコーンシーリング（２成分系）
建具	建具表参照

特記

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	工事概要・外部仕上表	縮尺	図面番号 Ａ－１５

承認		管理建築士	印
図面提出日	２０１９／０５／３０		

内 部 仕 上 表 1

階	室名	現況/改修後	室名札	内装制限	法的規制/居室種別		床	巾木	H	腰壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考	室名
1	水防倉庫	現況		難燃	－	下地		▷		▷			４７３０			水防倉庫
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え				防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し				
	資材庫１	改修後		難燃	－	下地		▷		▷			現況のまま			資材庫１
					非居室	仕上	現況のまま				現況のまま	現況のまま				
	資材庫	現況	○	難燃	－	下地		▷		▷			４７３０			水防倉庫
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え				防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し				
	資材庫２	改修後	○	難燃	－	下地		▷		▷			現況のまま			資材庫２
					非居室	仕上	現況のまま				現況のまま	現況のまま				
	整備室	現況		難燃	自然排煙	下地			６０	▷	モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９	３４００	塩ビ製	木製上がり框	整備室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８	ソフト巾木			ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）	ロックウール吸音板 厚９				
	倉庫１	改修後		難燃	－	下地			６０	▷			現況のまま	現況のまま	木製上がり框：現況のまま	倉庫１
					非居室	仕上	現況のまま	現況のまま			現況のまま	現況のまま				
	救急車輌点検室	現況		準不燃	自然排煙	下地		▷		▷			４７３０			救急車輌点検室
					居室	仕上	モルタル金ゴテ押え				防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し				
	倉庫	改修後		難燃	－	下地		▷		▷			現況のまま			倉庫
					非居室	仕上	現況のまま				現況のまま	現況のまま				
	充填室	現況	○	難燃	－	下地		▷		▷			４７３０			充填室
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え				防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し				
	倉庫２	改修後	○	難燃	－	下地		▷		▷			現況のまま			倉庫２
					非居室	仕上	現況のまま				現況のまま	現況のまま				
	油庫	現況	○	難燃	－	下地		▷		▷			４７３０			油庫
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え				防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し				
	倉庫３	改修後	○	難燃	－	下地		▷		▷			現況のまま			倉庫３
					非居室	仕上	現況のまま				現況のまま	現況のまま				
	部品庫	現況	○	難燃	－	下地		▷		▷			４７３０			部品庫
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え				防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し				
	備品庫１	改修後	○	難燃	－	下地		▷		▷			現況のまま			備品庫１
					非居室	仕上	現況のまま				現況のまま	現況のまま				
	男子更衣室	現況		難燃	－	下地			１００	▷	防水モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９	２５００	塩ビ製		男子更衣室
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木			ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）	ロックウール吸音板 厚９				
	備品庫２	改修後		難燃	－	下地			１００	▷			現況のまま	現況のまま		備品庫２
					非居室	仕上	現況のまま	現況のまま			現況のまま	現況のまま				
	女子更衣室	現況	○	難燃	－	下地			１００	▷	石膏ボード 厚１２	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２３００	塩ビ製 撤去		女子更衣室
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え	ソフト巾木 撤去			不燃ビニルクロス 撤去	ロックウール吸音板 厚９ 撤去				
	控え室	改修後		難燃	－	下地			１００	▷	下地調整	下地調整	２３００	塩ビ製		控え室
					非居室	仕上	現況のまま	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				
	湯沸室	現況		難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去		１００	モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ	２３００	塩ビ製	流し台 撤去、ガス台 撤去、吊戸棚 撤去	湯沸室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去		流し周囲（Ｈ１２００）：１００角タイル	ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗			アコーディオンカーテン 撤去	
		改修後		難燃	－	下地	下地調整 モルタル金ゴテ押え		６０	▷	既存仕上のとＬＧＳ、耐水石膏ボード 厚１２．５	現況のまま	現況のまま	現況のまま	ミニキッチン Ｗ１５００ 三方枠：ＳＵＳ ２１０×２５	
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ＳＵＳ巾木			メラミン不燃化粧板 厚３	下地調整、ＥＰ塗			壁見切：ＡＢＳ樹脂ジョイナー	
	書庫	現況	○	難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え		１００	▷	モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製 撤去	木製書架レール 撤去	書庫
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗				
	会議室	改修後	○	不燃	告四号ニ（４）	下地	下地調整		１００	▷	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	会議室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			下地調整、ＥＰ塗	下地調整、ＥＰ塗				
	印刷室	現況	○	難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え		１００	▷	外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製 撤去	床上木製架台 撤去	印刷室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			ビニルクロス 撤去	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗 撤去				
		改修後	○	難燃	－	下地	下地調整		１００	▷	下地調整	現況のまま	現況のまま	塩ビ製	床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			ビニルクロス	下地調整、ＥＰ塗				
	事務室	現況		難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２７００	塩ビ製 撤去	アルミブラインド５ヶ所 撤去、時計 撤去、カウンター扉・下枠 撤去	事務室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去		外壁面（Ｈ８００）：モルタル金ゴテ押え	スチールパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	ロックウール吸音板 厚９ 撤去			ブラインドボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去	
	事務室１	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整 一部 モルタル金ゴテ押え		１００	外壁面（Ｈ８００）：ＬＧＳ、 石膏ボード 厚１２．５	下地調整 一部 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	ローカウンター、タレ壁Ｈ６００：網入ガラス 厚６．８ 木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共） ３ヶ所	事務室１
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木		外壁面（Ｈ８００）：ビニルクロス	ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５			アルミ額縁 床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	
	玄関	現況		準不燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去	▷		▷	モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２５５０	塩ビ製 撤去	上がり框：テラゾブロック 撤去	玄関
					非居室	仕上	磁器質タイル 撤去 ビニル床シート 厚２．８ 撤去				２丁掛けタイル	ロックウール吸音板 厚９ 撤去				
		改修後		準不燃	－	下地	流上げコンクリート 厚１５０ ワイヤーメッシュ６φ１５０角、モルタル金ゴテ押え	▷		▷	現況のまま	下地調整	２５５０	塩ビ製	アルミ靴拭マット：Ｗ１６００×Ｄ９００ マット枠：ＳＵＳ Ｗ８×Ｈ２５ ＳＵＳ目皿：７５φ	
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０				既存仕上クリーニング	化粧石膏ボード 厚９．５				
	消防長室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００	▷	モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９	２５００	塩ビ製 撤去	ブラインドボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去	消防長室
					居室	仕上	タイルカーペット 撤去	ソフト巾木 撤去			アルミパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	不燃ビニルクロス 撤去			収納棚 撤去、時計 撤去、天板：木製 厚３０ 撤去	
	相談室１	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整		１００	▷	下地調整 一部 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	下地調整	２５００	塩ビ製	木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共） ２ヶ所	相談室１
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			ビニルクロス	ビニルクロス			ＳＵＳ床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＨＬ、天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０	
	相談室	現況		難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００	▷	モルタル金ゴテ押え ＰＳ壁：ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９	２５００	塩ビ製 撤去	カーテンボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去	相談室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			アルミパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	不燃ビニルクロス 撤去			時計 撤去、木製額縁 撤去	
	相談室２	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整		１００	▷	下地調整 一部 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	下地調整	現況のまま	塩ビ製	ＳＵＳ床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＨＬ、アルミ額縁	相談室２
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			ビニルクロス	ビニルクロス			アルミブラインドボックス（アルミブラインド共） １ヶ所	
	廊下・ＥＶホール	現況		準不燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去		１００	▷	モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 一部撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２５００	塩ビ製 撤去	防煙タレ壁：網入ガラス Ｈ３７５ １ヶ所 撤去 防煙タレ壁：網入ガラス Ｈ４００ １ヶ所 撤去	廊下・ＥＶホール
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			スチールパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	ロックウール吸音板 厚９ 撤去			黒板：Ｗ１８００×Ｈ９００ 撤去 掲示板：Ｗ１８００×Ｈ９００ ２ヶ所 撤去	
		改修後		準不燃	－	下地	下地調整 コンクリート 厚１２０		１００	▷	下地調整 一部 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	ＥＸＰ．Ｊ	
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				

特記
※クロルピリホス、石綿の使用なし
※法37条に規定する建築材料を使用する

工事名：（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）
図名：内 部 仕 上 表 1
縮尺：
図面番号：Ａ－１６

承認 / 図面提出日
管理建築士 印

内 部 仕 上 表 2

階	室名	現況/改修後	室名札	内装制限	法的規制 / 居室種別		床	巾木	H	腰壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考	室名
1	機械室	現況		難燃	－	下地										機械室
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え				コンクリート打放し	コンクリート打放し				
		改修後		難燃	－	下地										
					非居室	仕上	現況のまま				現況のまま	現況のまま				
	乾燥室	現況		難燃	－	下地						ＬＧＳ 撤去	２３００	塩ビ製 撤去		乾燥室
					非居室	仕上	モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え			モルタル金ゴテ押え、ＶＰ塗	大平板 厚５、ＶＰ塗 撤去				
	脱衣室	現況		難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去		１００		モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ 撤去	２３００	塩ビ製 撤去	カーテン 撤去、カーテンレール 撤去	脱衣室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗 撤去			木製額縁 撤去	
	女子更衣室	改修後	○	難燃	－	下地	下地調整		１００		一部 ＬＧＳ	ＬＧＳ	２３００	塩ビ製	床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	女子更衣室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			下地調整、ＥＰ塗 一部、石膏ボード 厚１２．５、ＥＰ塗	石膏ボード 厚９．５、ＥＰ塗			アルミ額縁	
	浴室・シャワー室	現況		難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え				モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ	２４００	塩ビ製 撤去	間仕切スクリーン：ポリエステル化粧板 撤去、ポリバス浴槽 撤去	浴室・シャワー室
					非居室	仕上	磁器質モザイクタイル 撤去				１００角タイル	バスリブ 撤去			化粧鏡 ２ヶ所 撤去	
	男子更衣室	改修後	○	難燃	－	下地	流上げコンクリート 厚１００ ワイヤーメッシュ６φ１５０角、モルタル金ゴテ押え		１００		既存仕上の上、ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	下地調整	２３００	塩ビ製	アルミ額縁	男子更衣室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			ビニルクロス	石膏ボード 厚９．５、ＥＰ塗			床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	
	備品庫	現況		難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製		備品庫
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８	ソフト巾木			ビニルクロス	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗				
	書庫	改修後		難燃	－	下地	現況のまま		１００		現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま		書庫
					非居室	仕上	現況のまま	現況のまま			現況のまま	現況のまま				
	第２会議室	現況		難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ アルミバーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２７００	塩ビ製 撤去	黒板Ｗ３６００×Ｈ９００ 撤去、カーテン 撤去、時計 撤去 木製額縁 撤去 カーテンボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去	第２会議室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去				ロックウール吸音板 厚９ 撤去				
	団長室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去		１００		外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 一部撤去	ＬＧＳ 一部撤去、石膏ボード 厚９ 撤去	２７００	塩ビ製 撤去	カーテン 撤去、ブラインド ２ヶ所 撤去、時計 撤去、木製額縁 撤去	団長室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			アルミバーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	ロックウール吸音板 厚９ 撤去			ブラインドボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去	
	事務室２	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整 一部 コンクリート復旧、モルタル金ゴテ押え		１００		下地調整 一部 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	アルミ額縁 木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共）３ヶ所	事務室２
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５			床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ ＰＳ点検口：アルミ６００角 １ヶ所	
	多目的便所	改修後	○	難燃	－	下地	コンクリート復旧、モルタル金ゴテ押え		６０	設備壁（Ｈ１５００）：ＬＧＳ、 耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ、耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	面台：メラミン化粧板 厚２５	多目的便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木		メラミン不燃化粧板 厚３	メラミン不燃化粧板 厚３	化粧石膏ボード 厚９．５			壁見切：ＡＢＳ樹脂ジョイナー、床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	
	男子便所	改修後	○	難燃	－	下地	コンクリート復旧、モルタル金ゴテ押え		６０	設備壁（Ｈ１３００）：ＬＧＳ、 耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ、耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	汚垂石：Ｗ９００×Ｄ６００、壁見切：ＡＢＳ樹脂ジョイナー 床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	男子便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木		メラミン不燃化粧板 厚３	メラミン不燃化粧板 厚３	化粧石膏ボード 厚９．５			面台：メラミン化粧板 厚２５	
	男子便所	現況	○	難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去				モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ 撤去	２３００		トイレブース：ポリエステル化粧板 撤去	男子便所
					非居室	仕上	磁器質モザイクタイル 撤去				１００角タイル 撤去	石膏ボード 厚９ ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 撤去				
	女子便所	改修後	○	難燃	－	下地	コンクリート復旧、モルタル金ゴテ押え		６０	設備壁（Ｈ１３００）：ＬＧＳ、 耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ、耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	アルミ額縁、床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ 壁見切：ＡＢＳ樹脂ジョイナー	女子便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ＳＵＳ巾木		メラミン不燃化粧板 厚３	メラミン不燃化粧板 厚３	化粧石膏ボード 厚９．５			三方枠：ＳＵＳ １４５×２５、面台：メラミン化粧板 厚２５	
	女子便所	現況	○	難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え 一部撤去				モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ 撤去	２２００	塩ビ製 撤去	トイレブース：ポリエステル化粧板 撤去	女子便所
					非居室	仕上	磁器質モザイクタイル 撤去				１００角タイル 撤去	石膏ボード 厚９ ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 撤去			ＳＵＳ三方枠：Ｗ１４５ 厚２５ ＨＬ	
	掃除用具庫	改修後		難燃	－	下地	コンクリート復旧、モルタル金ゴテ押え		１００	設備壁（Ｈ１３００）：ＬＧＳ、 耐水石膏ボード 厚１２．５	下地調整	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	開口塞ぎ：コンクリート、モルタル金ゴテ押え 面台：メラミン化粧板 厚２５	掃除用具庫
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木		ビニルクロス	ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５			床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	
2	車庫	現況		準不燃	－	下地			１００		ＬＧＳ 一部撤去	ＬＧＳ 一部撤去			柱型：二丁掛タイル	車庫
					非居室	仕上	防水モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え			外壁面：ＡＬＣ板 厚５０、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 間仕切：石膏ボード 厚１２、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 一部撤去	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗 一部撤去 梁型：ＡＬＣ板 厚５０、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）			ＳＵＳ流し台 撤去	
	車庫	改修後		準不燃	－	下地			１００		外壁面、間仕切：現況のまま 一部 ＬＧＳ	現況のまま ＬＧＳ 一部復旧			柱型：現況のまま	車庫
					非居室	仕上	現況のまま	現況のまま			外壁面、間仕切：現況のまま 一部 強化石膏ボード 厚２１ 二重張（片面）、ＥＰ塗	現況のまま 石膏ボード 厚９、ＯＰ塗 一部復旧				
	会議室１	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整		１００		外壁面：ＡＬＣ板 厚１００、ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５ 間仕切：ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	移動間仕切 木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共）２ヶ所	会議室１
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５			アルミ額縁 床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	
	会議室２	改修後	○	不燃	告四号ニ（４）	下地	下地調整		１００		ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	移動間仕切	会議室２
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			不燃ビニルクロス	不燃化粧石膏ボード 厚９．５			床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	
	廊下	改修後		準不燃	－	下地	下地調整		１００		外壁面：ＡＬＣ板 厚１００、ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５ 間仕切：ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	アルミ額縁	廊下
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			準不燃ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				
	ホース収納庫	現況		難燃	－	下地			１００		ＬＧＳ 一部撤去	ＬＧＳ 一部撤去	４４００	塩ビ製 一部撤去	木製クローゼット	ホース収納庫
					非居室	仕上	防水モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え			外壁面：ＡＬＣ板 厚５０ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 間仕切：石膏ボード 厚１２、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 一部撤去	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗 一部撤去 梁型：ＡＬＣ板 厚５０、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）				
	資材庫	改修後		難燃	－	下地			１００		一部 ＬＧＳ	ＬＧＳ 一部復旧	現況のまま	塩ビ製 一部復旧		資材庫
					非居室	仕上	現況のまま	現況のまま			一部 強化石膏ボード 厚２１ 二重張（片面）、ＥＰ塗	石膏ボード 厚９．５、ＯＰ塗 一部復旧				
	消毒室	現況	○	難燃	－	下地	防水モルタル金ゴテ押え			モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２	間仕切：ＬＧＳ 撤去	ＬＧＳ 一部撤去	２９８０	塩ビ製 一部撤去	手洗い	消毒室
					非居室	仕上	モザイクタイル ビニル床シート			１００角タイル（Ｈ２０００）	外壁面：モルタル金ゴテ押え、ＥＰ塗 間仕切：石膏ボード 厚１２、ＥＰ塗 撤去	化粧石膏ボード 厚９．５ 一部撤去				
	資材庫	改修後	○	難燃	－	下地					外壁面：現況のまま 間仕切：ＬＧＳ	ＬＧＳ 一部復旧	現況のまま	塩ビ製 一部復旧		**資材庫**
					非居室	仕上	現況のまま			現況のまま	間仕切：石膏ボード 厚１２．５、ＥＰ塗	化粧石膏ボード 厚９．５ 一部復旧				
	女子仮眠室	現況		難燃	自然排煙	下地	木製床組 撤去		１００		モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ 撤去 石膏ボード 厚９ 撤去	２５００	塩ビ製 撤去	木製上がり框 撤去、時計 撤去、木製額縁 撤去	女子仮眠室
					居室	仕上	タイルカーペット 撤去	ソフト巾木 撤去			ビニルクロス 撤去	不燃ビニルクロス 撤去			木製見切 撤去	
	活動室３	改修後		不燃	告四号ニ（４）	下地	下地調整		１００		下地調整	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９．５	２５００	塩ビ製	アルミ額縁	活動室３
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			不燃ビニルクロス	不燃ビニルクロス			床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	
	男子便所	現況	○	難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え 撤去				モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ 撤去	２３００	塩ビ製 撤去	トイレブース：ポリエステル化粧板 撤去	男子便所
					非居室	仕上	磁器質モザイクタイル 撤去				１００角タイル	石膏ボード 厚９ ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 撤去				
	洗面室	現況	○	難燃	－	下地	流上げコンクリート、モルタル金ゴテ押え 撤去				モルタル金ゴテ押え	ＬＧＳ 撤去	２３００	塩ビ製 撤去	ハンドドライヤー １ヶ所 撤去 四方枠：テラゾブロック 撤去	洗面室
					非居室	仕上	磁器質モザイクタイル 撤去				１００角タイル	石膏ボード 厚９ ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 撤去			木製棚：Ｗ４００×Ｈ９００×Ｄ３００ 撤去	
	倉庫２	改修後		難燃	－	下地	下地調整		１００		既存仕上の上、ＬＧＳ、石膏ボード 厚９．５	ＬＧＳ	２３００	塩ビ製	床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	倉庫２
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				

特記
- ※クロルピリホス、石綿の使用なし
- ※法37条に規定する建築材料を使用する

工事名：（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）

図名：内部仕上表２　　縮尺：　　図面番号：Ａ－１７

承認	管理建築士	印
図面提出日		

本館棟：内部仕上表１（材料は全て同等品とする。）

階	室名	現況/改修後	室名札	内装制限	法的規制/居室種別		床	巾木	H	腰壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考	室名
2	仮眠室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 一部撤去	ＬＧＳ 撤去	３０００	塩ビ製 撤去	カプセルベッド ９ヶ所 撤去、ＳＵＳ床見切 撤去 アルミブラインド ６ヶ所 撤去 ブラインドボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去 天板：木製 厚３０ 撤去	仮眠室
					居室	仕上	ビニルクロス 撤去	ソフト巾木 撤去			ビニルクロス 撤去	化粧石膏ボード 厚９．５ 撤去				
	活動室１	改修後	○	不燃	告四号ニ（４）	下地	下地調整		１００		下地調整 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５ 移動間仕切	ＬＧＳ	３０００	塩ビ製	木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共） １ヶ所 天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０ 床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＳＵＳ ＨＬ	活動室１
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			不燃ビニルクロス	不燃化粧石膏ボード 厚９．５				
	活動室２	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整		１００		下地調整 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	３０００	塩ビ製	木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共） ２ヶ所 床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＳＵＳ ＨＬ 移動間仕切 天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０	活動室２
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				
	食堂	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		ＬＧＳ 一部撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２７００	塩ビ製 撤去	カーテンボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去	食堂
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 石膏ボード 厚１２、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 一部撤去	ロックウール吸音板 厚９ 撤去			木製配膳カウンター 厚３５ 撤去、天板：木製 厚３０ 撤去、時計 撤去	
	厨房	現況	○	難燃	－	下地	嵩上げコンクリート 撤去				外壁面：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ 撤去	２５００	塩ビ製 撤去	ＳＵＳ流し台：Ｗ１３５０×Ｈ９００×Ｄ４５０ 撤去 ＳＵＳ流し台：Ｗ１５００×Ｈ９５０×Ｄ６００ 撤去 ＳＵＳ吊棚：Ｗ１２００×Ｈ６００×Ｄ３５０ 撤去 ＳＵＳ吊棚：Ｌ１５００×Ｄ３５０ 撤去	厨房
					非居室	仕上	防水モルタル金ゴテ押え 撤去				１００角タイル 撤去	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗 撤去				
	女子便所	改修後	○	難燃	－	下地	下地調整 一部 モルタル金ゴテ押え		６０	設備壁（Ｈ１３００）：ＬＧＳ、 耐水石膏ボード 厚１２．５	下地調整 ＬＧＳ、耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０ 床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ 壁見切：ＡＢＳ樹脂ジョイナー 三方枠：ＳＵＳ １４５×２５、面台：メラミン化粧板 厚２５	女子便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木		メラミン不燃化粧板 厚３	メラミン不燃化粧板 厚３	化粧石膏ボード 厚９．５				
	多目的便所	改修後	○	難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え		６０	設備壁（Ｈ１５００）：ＬＧＳ、 耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ、耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ 壁見切：ＡＢＳ樹脂ジョイナー、面台：メラミン化粧板 厚２５	多目的便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木		メラミン不燃化粧板 厚３	メラミン不燃化粧板 厚３	化粧石膏ボード 厚９．５				
	男子便所	改修後	○	難燃	－	下地	下地調整 一部 モルタル金ゴテ押え		６０	設備壁（Ｈ１３００）：ＬＧＳ、 耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ、耐水石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	開口塞ぎ：コンクリート、モルタル金ゴテ押え 三方枠：ＳＵＳ １４５×２５、面台：メラミン化粧板 厚２５ 汚垂石：Ｗ９００×Ｄ６００ ３ヶ所、天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０ 壁見切：ＡＢＳ樹脂ジョイナー、床見切：Ｗ２５ 厚３ ＳＵＳ ＨＬ	男子便所
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木		メラミン不燃化粧板 厚３	メラミン不燃化粧板 厚３	化粧石膏ボード 厚９．５				
	事務室	現況		難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２７００	塩ビ製 撤去	アルミブラインド ８ヶ所 撤去、時計 撤去、備品 撤去	事務室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			アルミパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	ロックウール吸音板 厚９ 撤去			ブラインドボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去	
	事務室１	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整		１００		外壁面・柱型：下地調整 間仕切：ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	アルミ額縁 天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０ 木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共） ５ヶ所 床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＳＵＳ ＨＬ	事務室１
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				
	事務室２	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整		１００		ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０ 床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＳＵＳ ＨＬ	事務室２
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				
	事務室３	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	下地調整		１００		ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０ 床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＳＵＳ ＨＬ	事務室３
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				
	第１会議室	現況		不燃	告四号ニ（４）	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		柱型：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ 撤去	２７００	塩ビ製 撤去		第１会議室
					居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			不燃ビニルクロス 撤去	化粧石膏ボード 厚９ 撤去				
	署長室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２７００	塩ビ製 撤去	木製収納棚：Ｗ１１００×Ｈ１８００×Ｄ６２０ 撤去 木製収納棚：Ｗ２２６０×Ｈ６８０×Ｄ６２０ 撤去 ブラインドボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去 アルミブラインド ３ヶ所 撤去、時計 撤去、天板：木製 厚３０ 撤去	署長室
					居室	仕上	カーペット 撤去	ソフト巾木 撤去			不燃ビニルクロス 撤去	不燃ビニルクロス 撤去				
	事務室４	改修後	○	不燃	告四号ニ（４）	下地	下地調整		１００		外壁面・柱型：下地調整 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＳＵＳ ＨＬ	事務室４
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			不燃ビニルクロス	不燃化粧石膏ボード 厚９．５			天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０	
	機械室	現況		難燃	－	下地	鋼製床組 撤去		１００		柱型：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ 撤去	２５００	塩ビ製 撤去		機械室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去			不燃ビニルクロス 撤去	石膏ボード 厚９、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様） 撤去				
	司令室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	鋼製床組 撤去		１００		外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２５００	塩ビ製 撤去	アルミブラインド ３ヶ所 撤去、時計 撤去、天板：木製 厚３０ 撤去	司令室
					居室	仕上	カーペット 撤去	ソフト巾木 撤去			不燃ビニルクロス 撤去	不燃ビニルクロス 撤去			ブラインドボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去	
	仮眠室	現況	○	難燃	自然排煙	下地	木製床組 撤去				ＬＧＳ 撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２１４０	木製 撤去	木製見切 撤去、木製額縁 撤去	仮眠室
					居室	仕上	タタミ 撤去	タタミヨセ 撤去			外壁面・柱型：モルタル金ゴテ押え、内装薄塗材Ｅ吹付 石膏ボード 厚１２ 、内装薄塗材Ｅ吹付 撤去	不燃ビニルクロス 撤去				
	便所	現況		難燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え				外壁面：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ 撤去	２２３０			便所
					非居室	仕上	磁器モザイクタイル 撤去				１００角タイル 撤去	石膏ボード 厚９、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）撤去				
	司令室前室	現況		難燃	－	下地	木製床組 撤去		１００	モルタル金ゴテ押え 洗面前（Ｈ１４００）： １００角タイル 撤去	外壁面：モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ 撤去、石膏ボード 厚１２ 撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２５００	塩ビ製 撤去		司令室前室
					非居室	仕上	カーペット 撤去	ソフト巾木 撤去			不燃ビニルクロス 撤去	不燃ビニルクロス 撤去				
	事務室５	改修後	○	不燃	告四号ニ（４）	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		外壁面・柱型：下地調整 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０ 木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共） ２ヶ所 床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＳＵＳ ＨＬ	事務室５
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			不燃ビニルクロス	不燃化粧石膏ボード 厚９．５				
	事務室６	改修後	○	難燃	自然排煙	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		外壁面・柱型：下地調整 一部 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５	ＬＧＳ	２７００	塩ビ製	天板：アルミ 曲げ加工 Ｈ３０ 木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共） ２ヶ所 床見切：Ｗ３０ 厚１．５ ＳＵＳ ＨＬ	事務室６
					居室	仕上	タイルカーペット 厚６．５	ソフト巾木			ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５				
	廊下・湯沸室	現況		準不燃	－	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		モルタル金ゴテ押え ＬＧＳ 撤去、石膏ボード 厚１２ 撤去 アルミパーテーション間仕切 撤去 不燃ビニルクロス 撤去	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９ 撤去	２５００	塩ビ製 撤去		廊下・湯沸室
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	ソフト巾木 撤去				ロックウール吸音板 厚９ 撤去				
	ＥＶホール	改修後		準不燃	－	下地	下地調整 デッキコンクリート		１００		下地調整 ＬＧＳ、石膏ボード 厚１２．５（一部 耐水石膏ボード 厚１２．５）	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	ミニキッチン Ｗ１５００	ＥＶホール
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	ソフト巾木			準不燃ビニルクロス	化粧石膏ボード 厚９．５			ＥＸＰ．Ｊ	
	階段	現況		準不燃	令１２６条の２ １項三号	下地	モルタル金ゴテ押え		１００		モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え			手摺・支柱：ＳＵＳ φ４２．７	階段
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．８ 撤去	モルタル金ゴテ押え			不燃ビニルクロス 撤去	ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）			段鼻：シンチュウ製ノンスリップ（ゴム入り） 撤去	
		改修後		準不燃	令１２６条の２ １項三号	下地	下地調整		１００		下地調整				手摺子（既存部）：ＳＵＳ φ１９、手摺：塩ビ製 φ４０	
					非居室	仕上	ビニル床シート 厚２．０	現況のまま			準不燃ビニルクロス	現況のまま			段鼻：ＳＵＳ ノンスリップ、チェーン	
	ＥＶ	増築		難燃	令１２６条の２ １項三号	下地	ＥＶ仕様による									ＥＶ
					非居室	仕上	ピット：防水モルタル金ゴテ押え				ＡＬＣ板 厚１００ 素地仕上	折板裏あらわし				

○ 特記事項

※防火区画は天井裏まで達せしめるものとし、貫通する配管については不燃材料を使用して防火設備を設ける。
ＬＧＳ、強化石膏ボード 厚２１＋強化石膏ボード 厚２１（片面）

※防火区画において隙間はロックウール充填を施すこと。

※軽鉄天井下地　直貼工法　（Ｍバー＠９００、Ｓ交互＠２２７、キャリングチャンネル＠９００、吊ボルト＠９００）

※軽鉄天井下地の仕様は国土交通省の共通仕様書による。
又、天井ふところの大きな部分（Ｈ１５００以上）は吊ボルト相互に補助材にて緊結する事。

※折板などの標準取付金物、付属品はすべて見込んでおくこと。

※アスベスト含有成形板（ロックウール吸音板）の処理は、散水などにより湿潤化し、てばらしとする。
作業中はシート等により囲うこと。やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
除去物については、粉塵防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、

「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル　2014.6（環境省水・大気環境局大気環境課）」を参考とする。

○ 共通事項

●天井・壁見切縁は塩ビ製（底目）とする。

●天井点検口は図示以外設備用として必要数を見込んでおくこと。（アルミ枠４５０角）

●既存カーテンボックスは撤去の上、アルミカーテンボックス新設とする。

●便所間仕切内：グラスウール１０kg/m3 厚５０

●洗面器等取付下地は耐水合板 厚１２とする。

●断熱材（天井）：グラスウール２４kg/m3 厚１００

●ＬＧＳ間仕切：１００形＠３０３

▭・・・現況仕上を示す。

○ 認定番号

・石膏ボード 厚９．５ 不燃 ＮＭ－０４４１
・石膏ボード 厚１２．５ 不燃 ＮＭ－８６１９
・耐水石膏ボード 厚１２．５ 準不燃 ＱＭ－０８９８
・耐水石膏ボード 厚１２．５ 不燃 ＮＭ－９６３９
・化粧石膏ボード 厚９．５ 準不燃 ＱＭ－０５２４
・化粧石膏ボード 厚９．５ 不燃 ＮＭ－１８６４
・ビニルクロス 不燃 ＮＭ－３９９１
・ビニルクロス 準不燃 ＱＭ－８２２２
・ロックウール吸音板 厚９ 不燃 ＮＭ－８５９９
・メラミン不燃化粧板 厚３ 不燃 ＮＭ－２１８３
・移動間仕切 不燃 ＮＭ－２３００
・ＥＰ、ＯＰ 不燃 ＮＭ－８５８５
・ＥＰ、ＯＰ 準不燃 ＱＭ－９８１６
・ＥＰ、ＯＰ 難燃 ＲＭ－９３６４

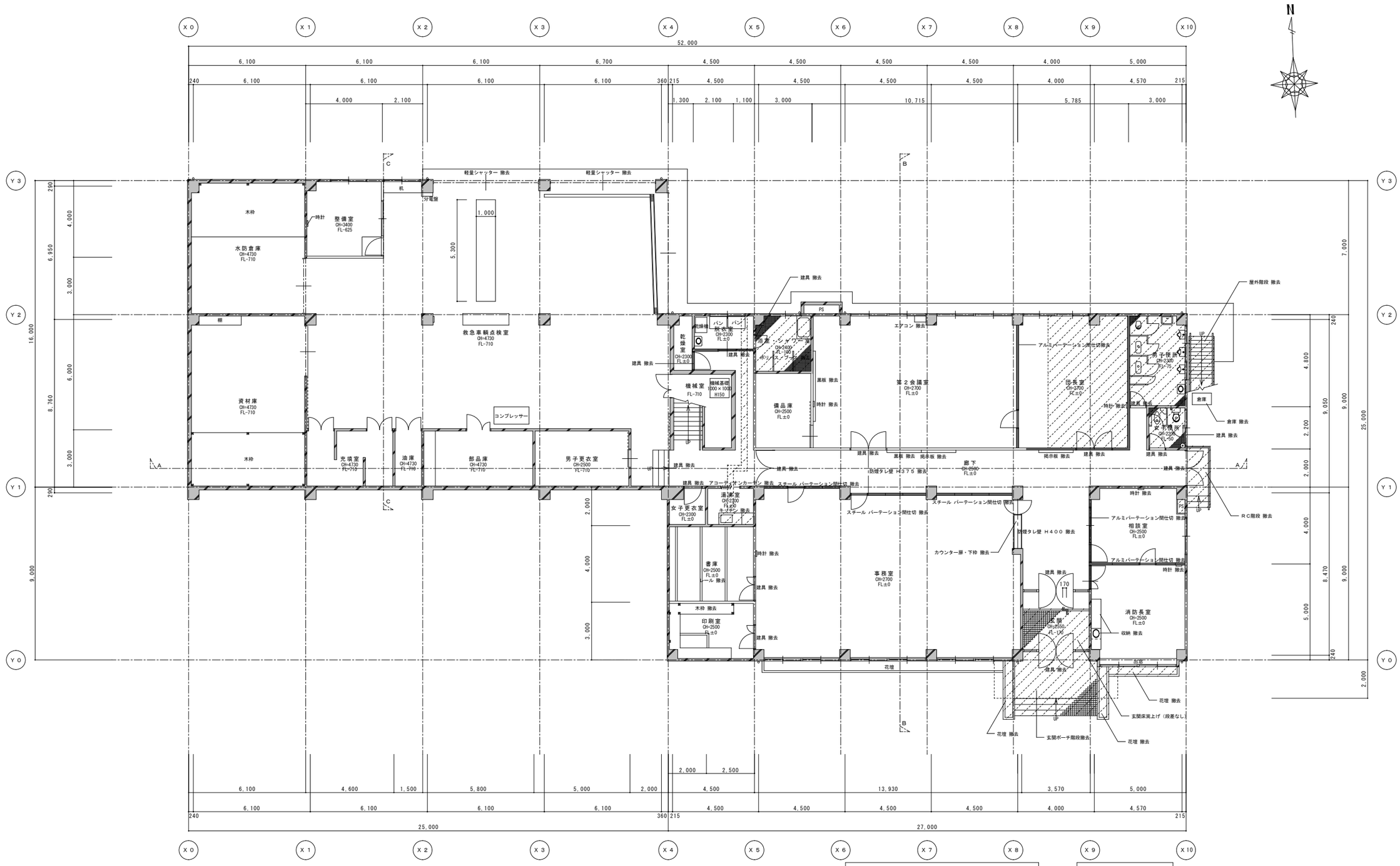
○ 耐火構造の仕様

防火区画	１時間耐火	ＬＧＳ、強化石膏ボード 厚２１＋強化石膏ボード 厚２１（片面）
令１１２条１項、１３項		ＦＰ０６０ＮＰ－０１８５
防火区画　令１１２条１項	２時間耐火	鉄筋コンクリート造 厚１００以上：告示第１３９９号
外壁（耐力壁）・２階床・梁	１時間耐火	コンクリート 厚１２０：告示第１３９９号
スパンドレル	１時間耐火	ＬＧＳ、強化石膏ボード 厚２１＋強化石膏ボード 厚２１（片面） ＦＰ０６０ＮＰ－０１８５
屋根・外壁（非耐力壁）	３０分耐火	ＡＬＣ板 厚１００：告示第１３９９号
屋根	３０分耐火	金属板屋根＋オレフィン樹脂系フォーム：ＦＰ０３０ＲＦ－０４８３
階段	３０分耐火	鉄骨：告示第１３９９号
柱	１時間耐火	鉄骨柱吹付ロックウール 厚２５：ＦＰ０６０ＣＮ－９４６０
梁	１時間耐火	鉄骨梁吹付ロックウール 厚２５：ＦＰ０６０ＢＭ－９４０８
梁（小屋組部分）	１時間耐火	鉄骨梁被覆緩和（ＦＬより４ｍ以上）：告示第１３９９号

特記
※クロルピリホス、石綿の使用なし
※法37条に規定する建築材料を使用する

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	内部仕上表３	縮尺	図面番号 Ａ－１８

承認	管理建築士	印
図面提出日		



＜現況＞１階平面図

	１／１００（Ａ１）
	１／２００（Ａ３）

面　積　表　（㎡）

	増築	既存	合計
１階床面積	１２．２２	８８４．５７	８９６．７９
２階床面積	１２．２２	８９３．６３	９０５．８５
ＰＨ床面積	０．００	９．６０	９．６０
延床面積	２４．４４	１７８７．８０	１８１２．２４

屋内階段

蹴上	２００㎜
踏面	２４０㎜
有効幅	１３４５㎜
踊り場	１２４０㎜

○凡例

- 鉄筋コンクリート壁を示す。
- 床下地改修範囲を示す。
- 間仕切壁撤去範囲を示す。

特記　※給排水・空調・電気等の設備機器移設・撤去・新設については設備図参照

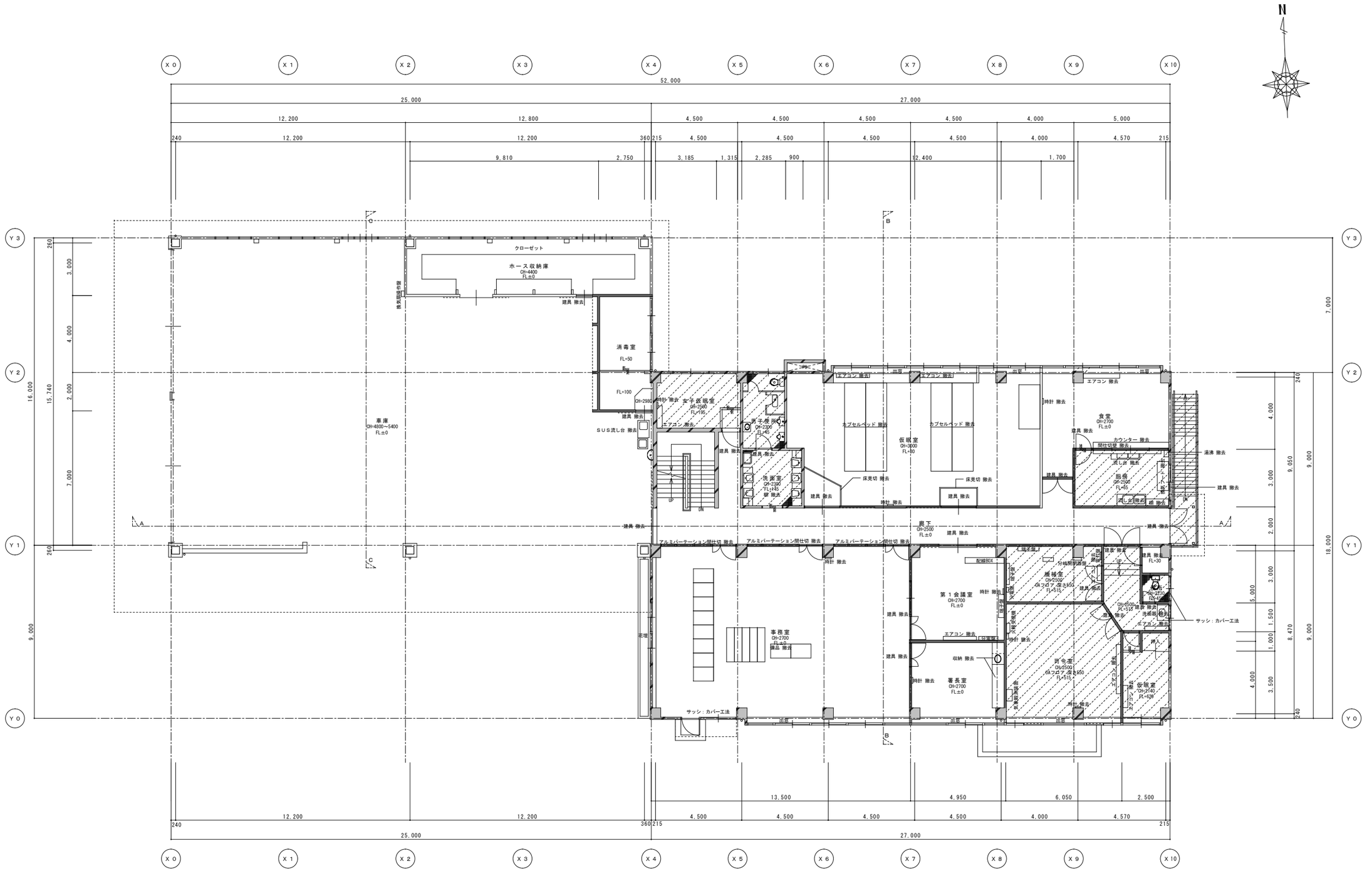
工事名　（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）

図名　＜現況＞１階平面図

縮尺　１／１００（Ａ１）　１／２００（Ａ３）

図面番号　Ａ－１９

承認	管理建築士	印
図面提出日		



＜現況＞２階平面図

1／100（A1）	1／200（A3）

面積表 （㎡）

	増築	既存	合計
1階床面積	12．22	884．57	896．79
2階床面積	12．22	893．63	905．85
PH床面積	0．00	9．60	9．60
延床面積	24．44	1787．80	1812．24

屋内階段

蹴上	200㎜
踏面	240㎜
有効幅	1345㎜
踊り場	1240㎜

○ 凡例

- 鉄筋コンクリート壁を示す。
- 床下地改修範囲を示す。
- 間仕切壁撤去範囲を示す。

特記 ※給排水・空調・電気等の設備機器移設・撤去・新設については設備図参照

工事名 （仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）

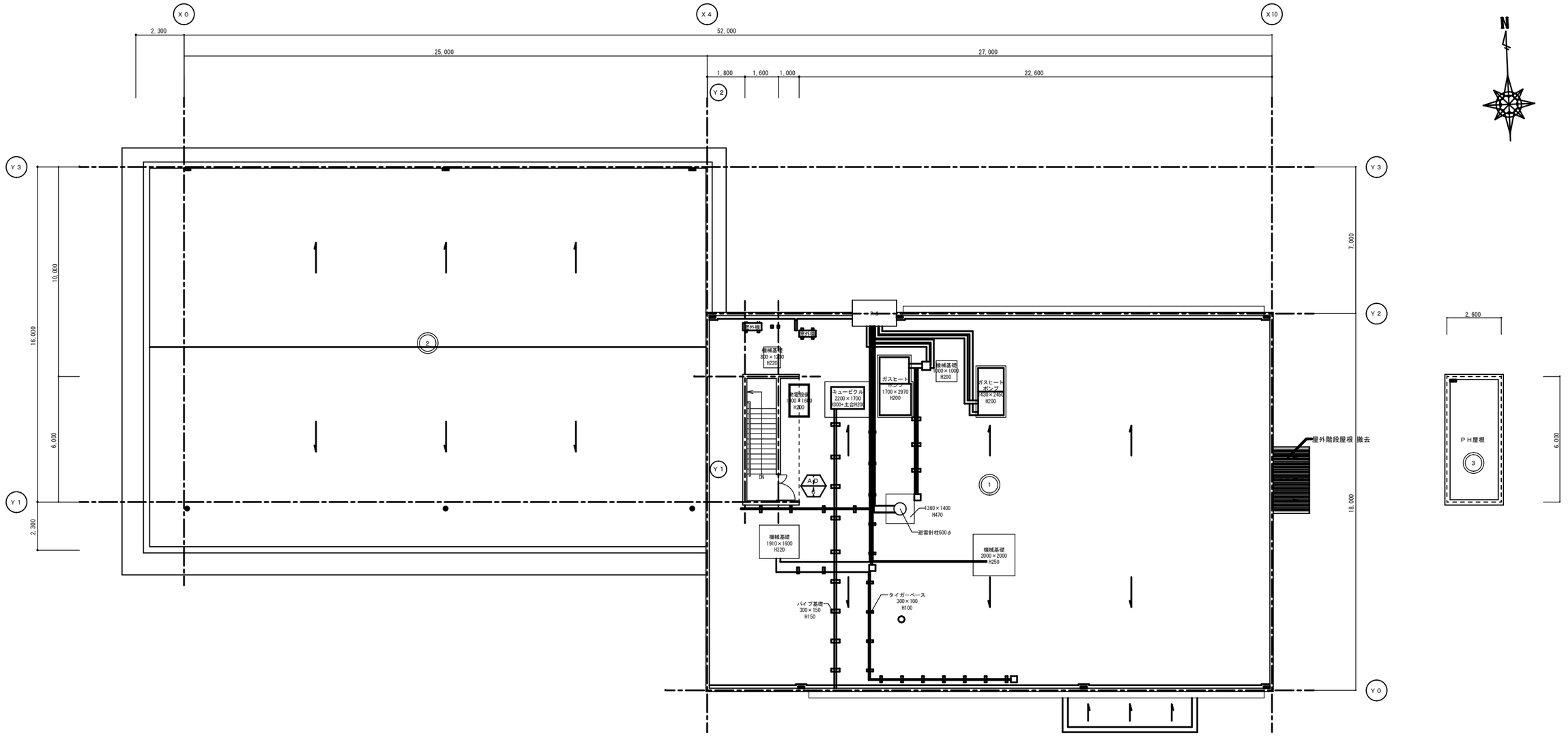
図名 ＜現況＞２階平面図

縮尺 1／100（A1） 1／200（A3）

図面番号 A－20

承認	管理建築士	印

図面提出日



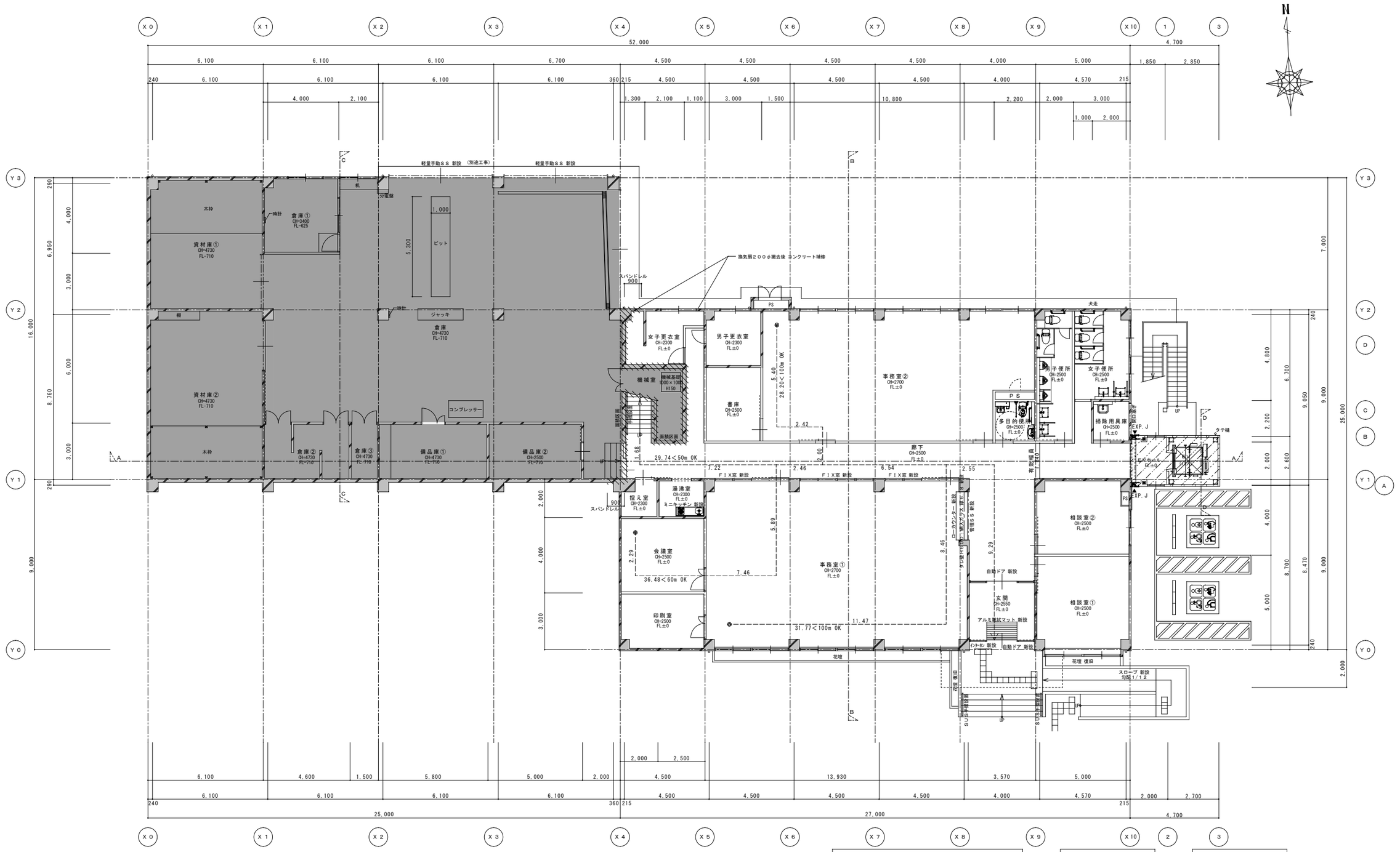
＜現況＞ＰＨ階平面図・屋根伏図	1／100（A1） 1／200（A3）

屋上 防水改修工事仕上表

記 号	部 位	既存/改修		内 容	その他
①	屋根 （一般）	既 存		下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０、歩行用アスファルト防水（８層） 仕上：押え防水モルタル 厚５０～７０ 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	
		改 修	平 場	下地：高圧洗浄 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＮ１同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水機械固定工法）、シート端部固定金物	脱気筒（ＳＵＳ製）１０箇所 改修用ドレン（ヨコ型６箇所）
			立上り 溝 基 壁	下地：既存仕上脆弱部撤去、押え金物撤去、シーリング撤去、高圧洗浄の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＮ２同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法）、端部シーリング処理	補強張り・アルミ製キャップ共 笠木欠損部モルタル補修、クラック補修
②	屋根 （車庫）	既 存		下地：ＡＬＣ板 厚１００ 仕上：シート防水	
		改 修	平 場	下地：高圧洗浄、立上り際浮き部分撤去 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＮ１同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水機械固定工法）、ｼｰﾄ端部固定金物、ｱﾝｶｰ固定注入処理	脱気筒（ＳＵＳ製）１０箇所 改修用ドレン（ヨコ型３箇所、タテ型３箇所）
			立上り 溝	下地：既存シート防水撤去、押え金物撤去、シーリング撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＮ２同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法）、端部ｼｰﾘﾝｸﾞ処理、ALC継ぎ目ﾒｯｼｭｸﾛｽ補強	補強張り・アルミ製キャップ共
③	屋根 （玄関庇・階段室塔屋）	既 存		下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０ 仕上：露出アスファルト防水（８層）	
		改 修	平 場	下地：既存アスファルト防水撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＮ１同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水通気緩衝工法）	脱気筒（ＳＵＳ製）１箇所 改修用ドレン（ヨコ型１箇所）
			立上り 溝	下地：既存アスファルト防水撤去、押え金物撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＮ２同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法）、端部シーリング処理	補強張り・アルミ製キャップ共 笠木：高圧洗浄、欠損部ﾓﾙﾀﾙ補修の上、Ｘ２

＜特記事項＞
ウレタン吹付け時の飛散防止に配慮すること。
タイガーベース等の撤去可能な配管受け台は撤去とする。

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承 認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞ＰＨ階平面図・屋根伏図	縮尺	1／100（A1） 1／200（A3）	図面番号 A－21	図面提出日		



令１１２条第１項防火区画を示す。
ＬＧＳ下地、強化石膏ボード 厚２１ 片面二重張（１時間耐火：ＦＰ０６０ＮＰ－０１８５）
鉄筋コンクリート造 厚１００以上（２時間耐火：平告１２建告１３９９号）
スパンドレル・・・鉄筋コンクリート造 厚１００以上（２時間耐火：平告１２建告１３９９号）
※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
※防火区画貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。

＜改修＞１階平面図	１／１００（Ａ１）
	１／２００（Ａ３）

面 積 表 （㎡）

	増築	既存	合計
１階床面積	１２．２２	８８４．５７	８９６．７９
２階床面積	１２．２２	８９３．６３	９０５．８５
ＰＨ床面積	０．００	９．６０	９．６０
延床面積	２４．４４	１７８７．８０	１８１２．２４

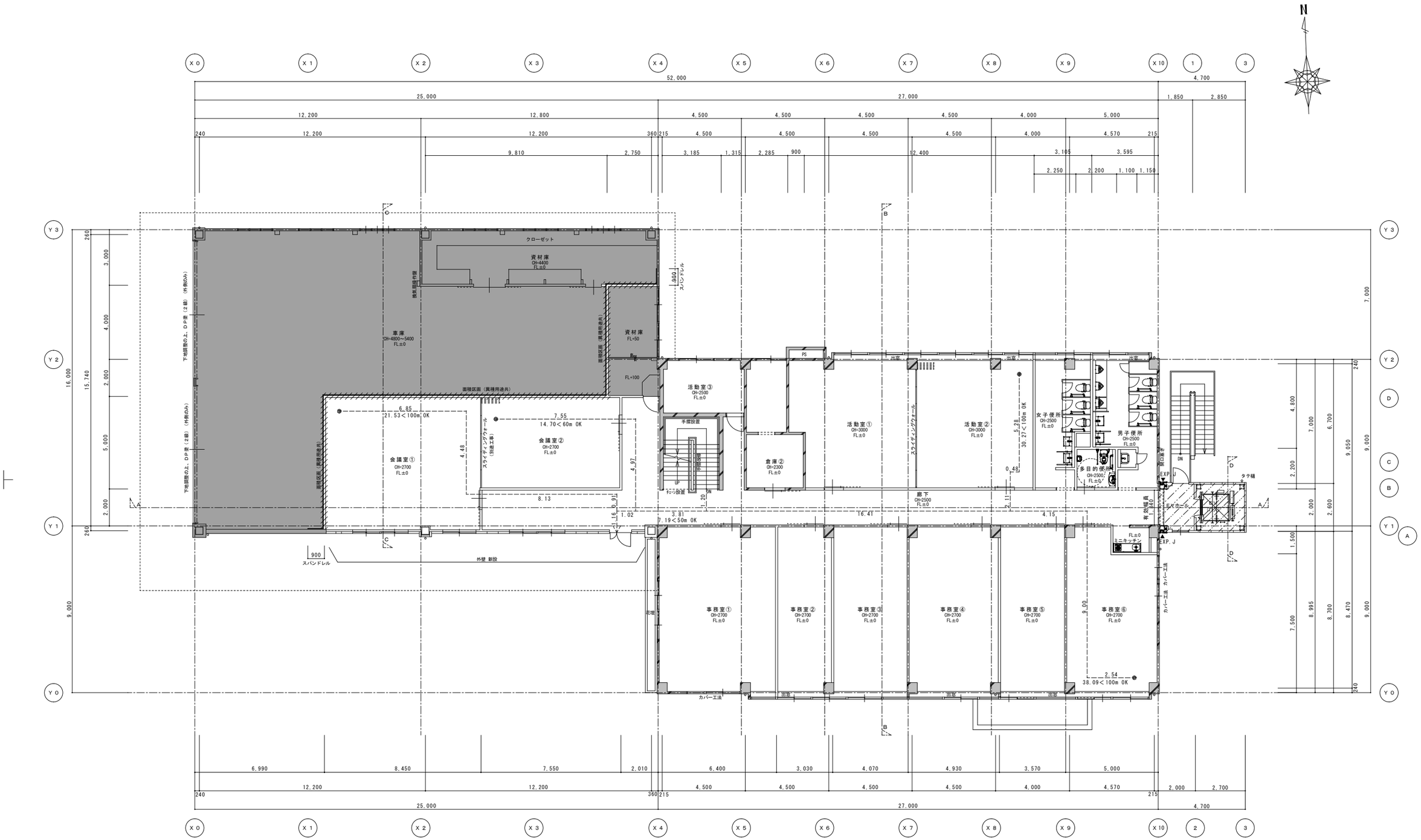
屋内階段	
蹴上	２００㎜
踏面	２４０㎜
有効幅	１３４５㎜
踊り場	１２４０㎜

屋外階段	
蹴上	１９６㎜
踏面	２６０㎜
有効幅	１０００㎜
踊り場	１３００㎜

特記
※倉庫部分のビット、ジャッキ、コンプレッサーについては既存残置とするが、実際に使用することはない。
・・・既存のまま範囲を示す。
・・・増築範囲を示す。
※火気使用室なし

工事名 （仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）
図名 ＜改修＞１階平面図
縮尺 １／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）
図面番号 Ａ－２２

承認		管理建築士	印
図面提出日			



＜改修＞２階平面図	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）

令１１２条第１項防火区画を示す。
ＬＧＳ下地、強化石膏ボード 厚２１ 片面二重張（１時間耐火：ＦＰ０６０ＮＰ－０１８５）
スパンドレル・・・ＬＧＳ下地、強化石膏ボード 厚２１ 片面二重張（１時間耐火：ＦＰ０６０ＮＰ－０１８５）
※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
※防火区画貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。

面積表			（㎡）
	増築	既存	合計
１階床面積	１２．２２	８８４．５７	８９６．７９
２階床面積	１２．２２	８９３．６３	９０５．８５
ＰＨ床面積	０．００	９．６０	９．６０
延床面積	２４．４４	１７８７．８０	１８１２．２４

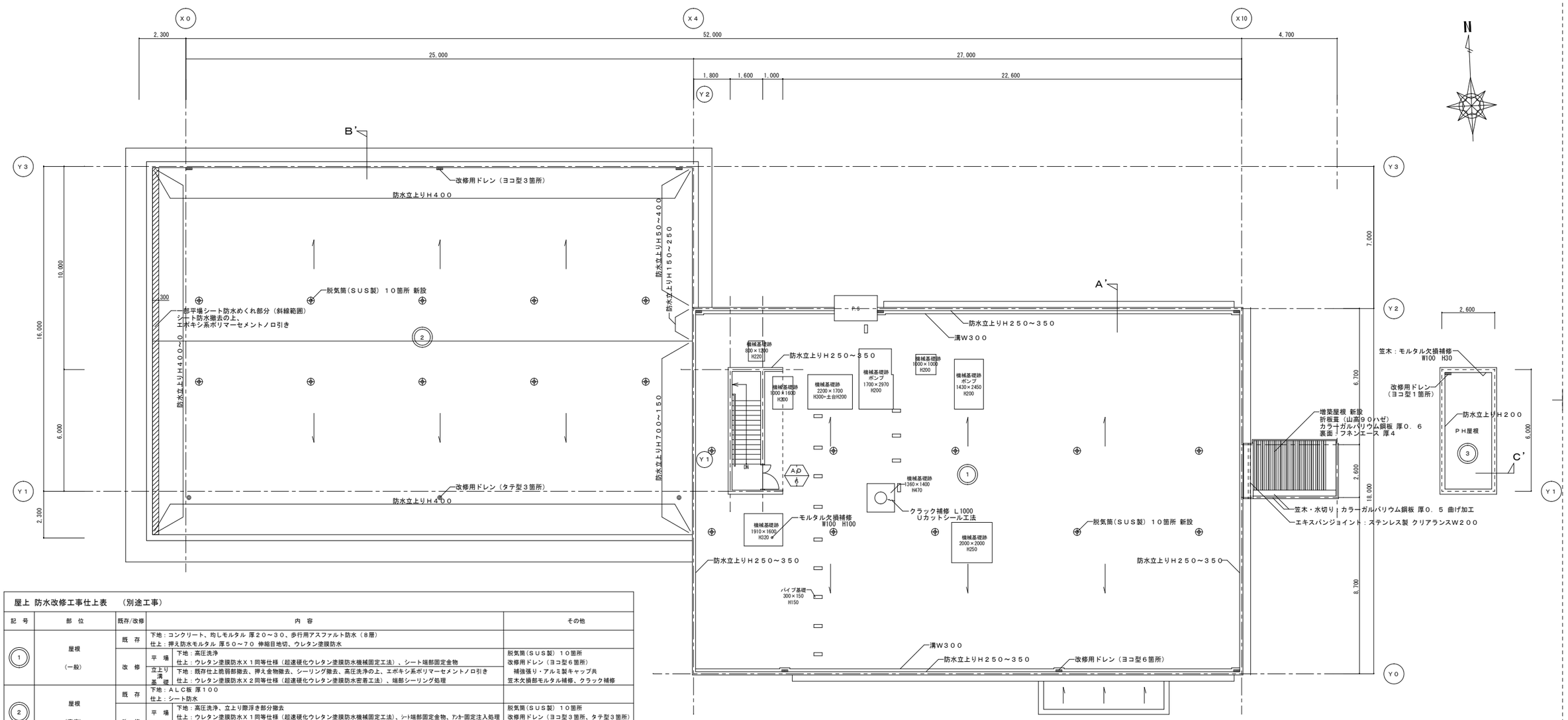
屋内階段	
蹴上	２００㎜
踏面	２４０㎜
有効幅	１３４５㎜
踊り場	１２４０㎜

屋外階段	
蹴上	１９６㎜
踏面	２６０㎜
有効幅	１０００㎜
踊り場	１３００㎜

特記
・・・既存のまま範囲を示す。
・・・増築範囲を示す。
※火気使用室なし

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	＜改修＞２階平面図	縮尺	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）
		図面番号	Ａ－２３

承認	管理建築士	印
図面提出日		



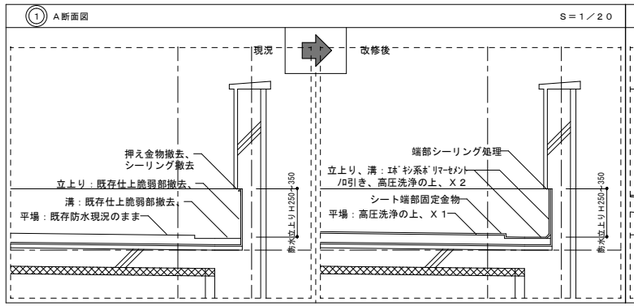
屋上 防水改修工事仕上表 （別途工事）

記号	部位	既存/改修		内容	その他
①	屋根（一般）	既存		下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０、歩行用アスファルト防水（８層） 仕上：押え防水モルタル 厚５０～７０ 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	
		改修	平場	下地：高圧洗浄 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＸ１同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水機械固定工法）、シート端部固定金物	脱気筒（ＳＵＳ製）１０箇所 改修用ドレン（ヨコ型６箇所） 補強張り・アルミ製キャップ共
			立上り 溝 基礎	下地：既存仕上脆弱部撤去、押え金物撤去、シーリング撤去、高圧洗浄の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＸ２同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法）、端部シーリング処理	笠木欠損部モルタル補修、クラック補修
②	屋根（車庫）	既存		下地：ＡＬＣ板 厚１００ 仕上：シート防水	
		改修	平場	下地：高圧洗浄、立上り際浮き部分撤去 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＸ１同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水機械固定工法）、ｼｰﾄ端部固定金物、ｱﾝｶｰ固定注入処理	脱気筒（ＳＵＳ製）１０箇所 改修用ドレン（ヨコ型３箇所、タテ型３箇所） 補強張り・アルミ製キャップ共
			立上り 溝	下地：既存シート防水撤去、押え金物撤去、シーリング撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＸ２同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法）、端部ｼｰﾘﾝｸﾞ処理、ALC継ぎ目ﾒｯｼｭｳﾚﾀﾝ補強	
③	屋根（玄関庇・階段室塔屋）	既存		下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０ 仕上：露出アスファルト防水（８層）	
		改修	平場	下地：既存アスファルト防水撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＸ１同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水通気緩衝工法）	脱気筒（ＳＵＳ製）１箇所 改修用ドレン（ヨコ型１箇所）
			立上り	下地：既存アスファルト防水撤去、押え金物撤去、ケレン清掃の上、エポキシ系ポリマーセメントノロ引き 仕上：ウレタン塗膜防水ＸＸ２同等仕様（超速硬化ウレタン塗膜防水密着工法）、端部シーリング処理	補強張り・アルミ製キャップ共 笠木：高圧洗浄、欠損部ﾓﾙﾀﾙ補修の上、Ｘ２

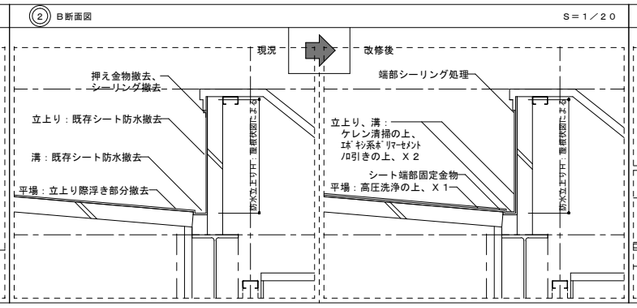
＜特記事項＞
ウレタン吹付け時の飛散防止に配慮すること。
タイガーペース等の撤去可能な配管受け台は撤去とする。

＜改修＞ＰＨ階平面図・屋根伏図	1／100（A1） 1／200（A3）

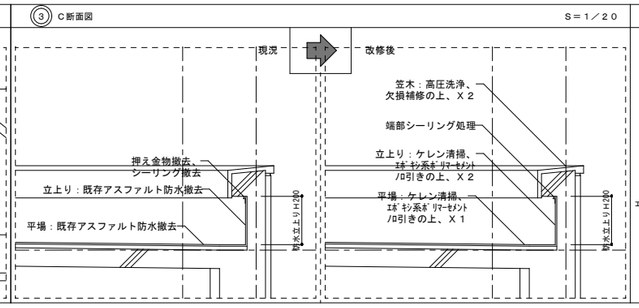
① A断面図 S＝1／20



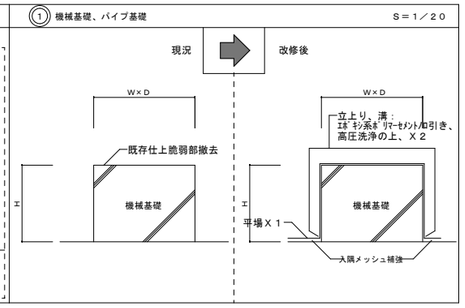
② B断面図 S＝1／20



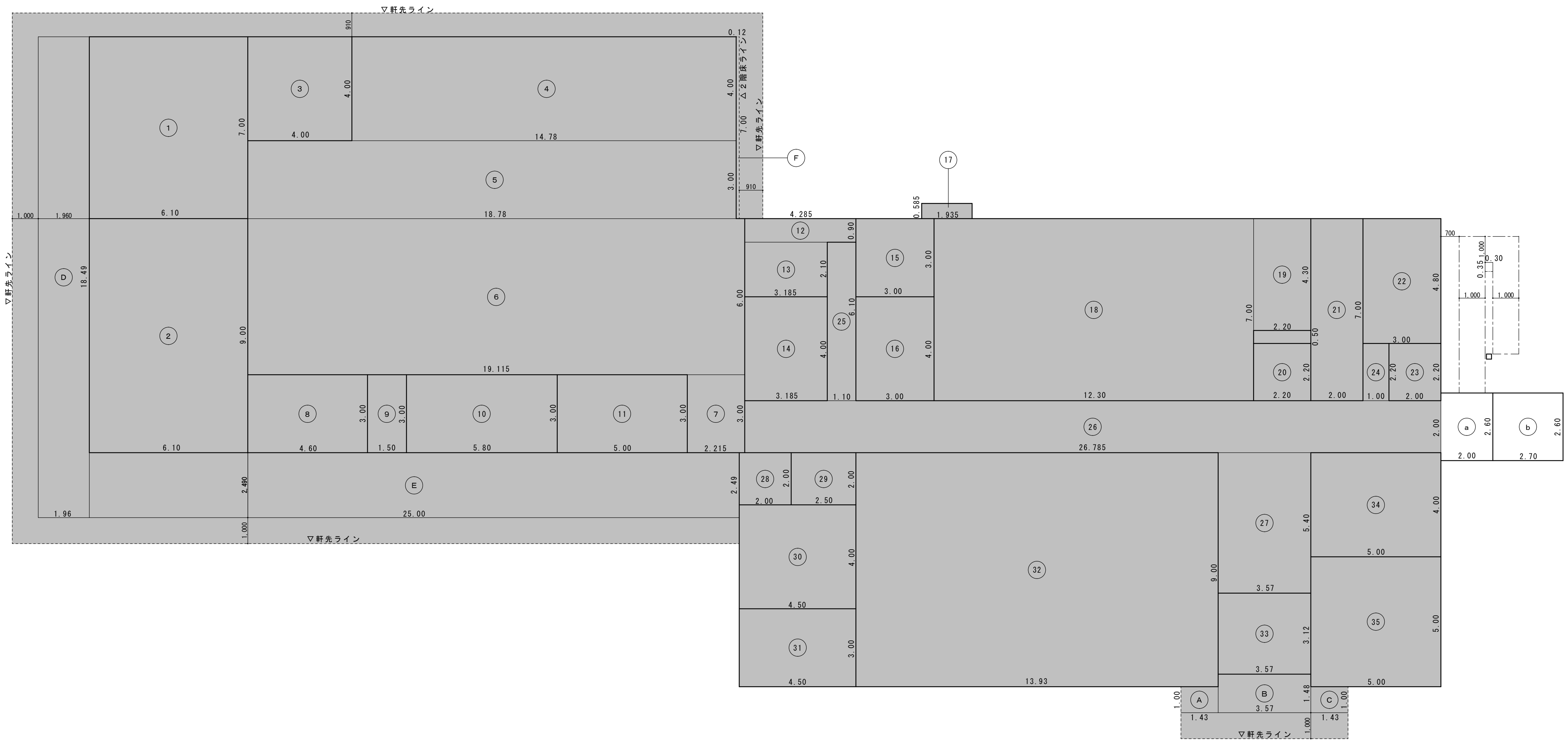
③ C断面図 S＝1／20



① 機械基礎、パイプ基礎 S＝1／20



特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜改修＞ＰＨ階平面図・屋根伏図	縮尺	1／100（A1） 1／200（A3）	図面番号	A－24		
						図面提出日	2019／05／30		



・・・現況範囲を示す。

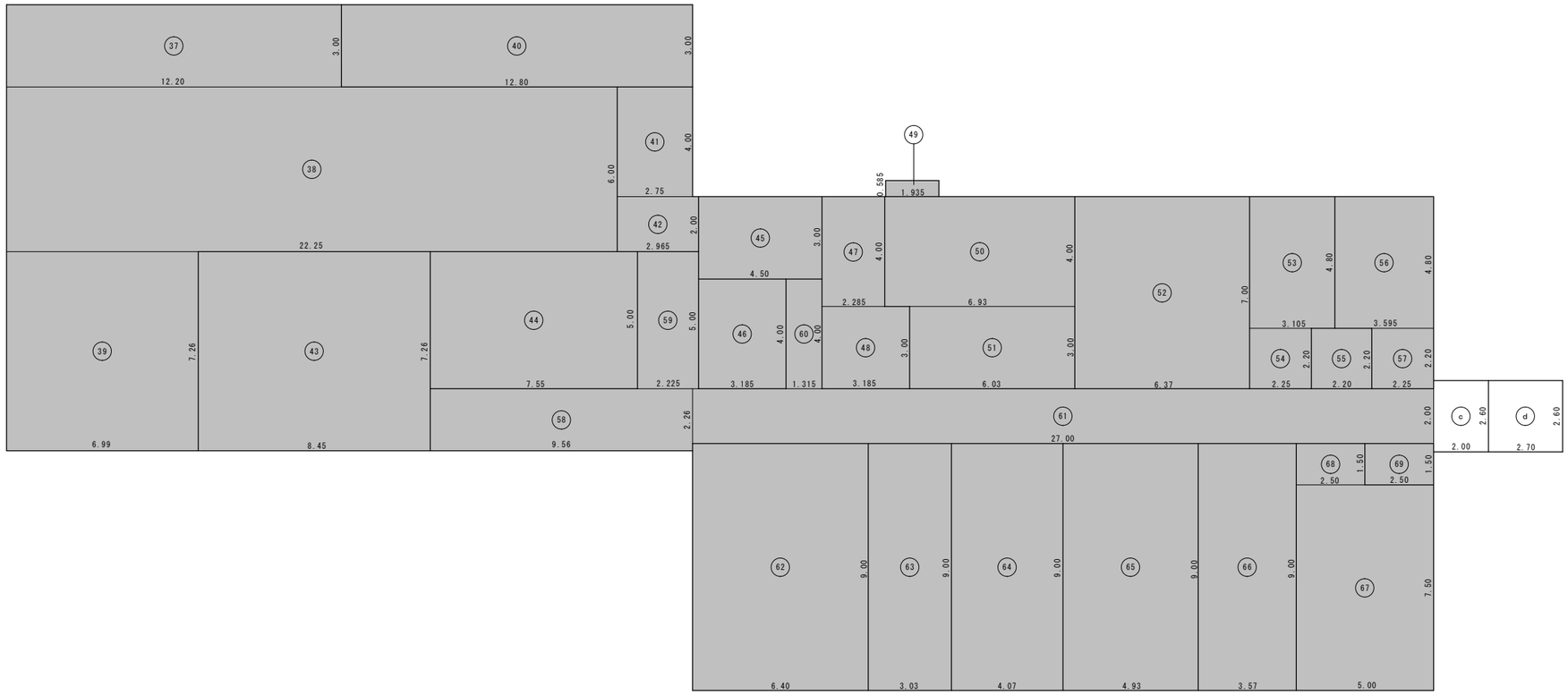
1階求積図　1／100（A1）　1／200（A3）

面　積　表

床面積算定表																建築面積			
資材庫①	1	7.00×6.10	42.70	備品庫②	11	3.00×5.00	15.00	多目的便所	20	2.20×2.20	4.84	会議室	30	4.00×4.50	18.00	庇	A	1.00×1.43	1.43
資材庫②	2	9.00×6.10	54.90	女子更衣室	12	0.90×4.285	3.8565	男子便所	21	7.00×2.00	14.00	印刷室	31	3.00×4.50	13.50		B	1.48×3.57	5.2836
倉庫①	3	4.00×4.00	16.00		13	2.10×3.185	6.6885	女子便所	22	4.80×3.00	14.40	事務室①	32	9.00×13.93	125.37		C	1.00×1.43	1.43
倉庫	4	4.00×14.78	59.12		計		10.545	掃除用具庫	23	2.20×2.00	4.40	玄関	33	3.12×3.57	11.1384	屋根	D	18.49×1.96	36.2404
	5	3.00×18.78	56.34	機械室	14	4.00×3.185	12.74	廊下	24	2.20×1.00	2.20	相談室②	34	4.00×5.00	20.00		E	2.49×25.00	62.25
	6	6.00×19.115	114.69	男子更衣室	15	3.00×3.00	9.00		25	6.10×1.10	6.71	相談室①	35	5.00×5.00	25.00	2階床	F	7.00×0.12	0.84
	7	3.00×2.215	6.645	書庫	16	4.00×3.00	12.00		26	2.00×26.785	53.57	PS	36	0.50×2.20	1.10	屋外階段	G	0.35×0.30	0.105
	計		236.795	PS	17	0.585×1.935	1.131975		27	5.40×3.57	19.278	合計	既存部1階床面積		884.578	合計	1階床面積+A+B+C+D+E+F		1004.36 m2
倉庫②	8	3.00×4.60	13.80	事務室②	18	7.00×12.30	86.10		計		81.758	EVホール	a	2.60×2.00	5.20				
倉庫③	9	3.00×1.50	4.50		19	4.30×2.20	9.46	控え室	28	2.00×2.00	4.00	EV	b	2.60×2.70	7.02	1階床面積	既存部1階床面積+増築部1階床面積		896.79 m2
備品庫①	10	3.00×5.80	17.40		計		95.56	湯沸室	29	2.00×2.50	5.00	合計	増築部1階床面積		12.22	延床面積			1812.24 m2

特記

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）
図名	1階求積図
縮尺	1/100（A1） 1/200（A3）
図面番号	A－25
承認	
管理建築士	
印	
図面提出日	



PH階求積図 1／100（A1） 1／200（A3）

■・・・現況範囲を示す。

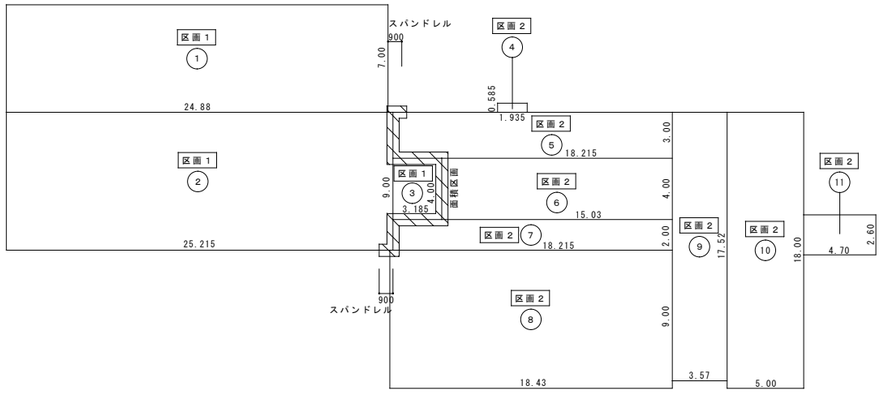
2階求積図 1／100（A1） 1／200（A3）

面　積　表

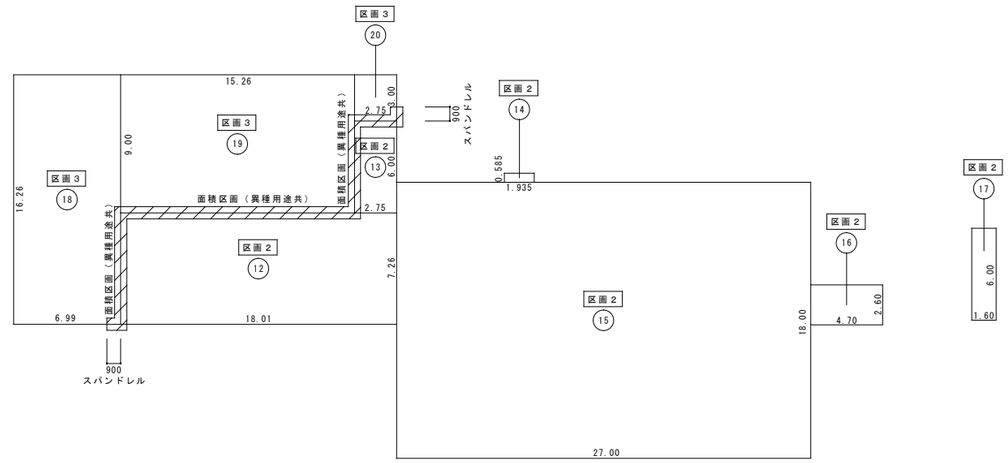
床面積算定表

車庫	37	3．00×12．20	36．60	倉庫	47	4．00×2．285	9．14	多目的便所	55	2．20×2．20	4．84	事務室③	64	9．00×4．07	36．63	階段室	70	6．00×1．60	9．60
	38	6．00×22．25	133．50		48	3．00×3．185	9．555		56	4．80×3．595	17．256	事務室④	65	9．00×4．93	44．37		既存部PH階床面積		9．60
	39	7．26×6．99	50．7474		計		18．695	男子便所	57	2．20×2．25	4．95	事務室⑤	66	9．00×3．57	32．13				
	計		220．8474	PS	49	0．585×1．935	1．131975		計		22．206		67	7．50×5．00	37．50				
資材庫	40	3．00×12．80	38．40		50	4．00×6．93	27．72		58	2．26×9．56	21．6056	事務室⑥	68	1．50×2．50	3．75				
資材庫	41	4．00×2．75	11．00	活動室①	51	3．00×6．03	18．09		59	5．00×2．225	11．125		計		41．25				
	42	2．00×2．965	5．93		計		45．81	廊下	60	4．00×1．315	5．26	湯沸室	69	1．50×2．50	3．75				
	計		16．93	活動室②	52	7．00×6．37	44．59		61	2．00×27．00	54．00	合計	既存部2階床面積		893．63				
会議室①	43	7．26×8．45	61．347		53	4．80×3．105	14．904		計		91．9906								
会議室②	44	5．00×7．55	37．75	女子便所	54	2．20×2．25	4．95	事務室①	62	9．00×6．40	57．60	EVホール	c	2．60×2．00	5．20				
活動室③	45	3．00×4．50	13．50		計		19．854	事務室②	63	9．00×3．03	27．27	EV	d	2．60×2．70	7．02	2階床面積	既存部2階床面積+増築部2階床面積		905．85 m2
階段	46	4．00×3．185	12．74									合計	増築部2階床面積		12．22	延　床　面　積			1812．24 m2

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認 / 管理建築士 / 印
		図名	2階・PH階求積図	縮尺 1／100（A1） 1／200（A3） / 図面番号 A－26	図面提出日



１階防火区画図	１／２００（Ａ１） １／４００（Ａ３）



２階防火区画図	１／２００（Ａ１） １／４００（Ａ３）

ＰＨ階防火区画図	１／２００（Ａ１） １／４００（Ａ３）

面積区画（令１１２条第１項）の検討

面積区画検討面積：１８１２．２４m2

区画１			区画２			区画３		
①	７．００×２４．８８	１７４．１６	④	０．５８５×１．９３５	１．１３１９７５	⑱	１６．２６×６．９９	１１３．６５７４
②	９．００×２５．２１５	２２６．９３５	⑤	３．００×１８．２１５	５４．６４５	⑲	９．００×１５．２６	１３７．３４
③	４．００×３．１８５	１２．７４	⑥	４．００×１５．０３	６０．１２	⑳	３．００×２．７５	８．２５
			⑦	２．００×１８．２１５	３６．４３			
			⑧	９．００×１８．４３	１６５．８７			
			⑨	１７．５２×３．５７	６２．５４６４			
			⑩	１８．００×５．００	９０．００			
			⑪	２．６０×４．７０	１２．２２			
			⑫	７．２６×１８．０１	１３０．７５２６			
			⑬	６．００×２．７５	１６．５０			
			⑭	０．５８５×１．９３５	１．１３１９７５			
			⑮	１８．００×２７．００	４８６．００			
			⑯	２．６０×４．７０	１２．２２			
			⑰	６．００×１．６０	９．６０			
判定	１５００ m2 ＞ ４１３．８３ m2 ＯＫ		判定	１５００ m2 ＞ １１３９．１７ m2 ＯＫ		判定	１５００ m2 ＞ ２５９．２４ m2 ＯＫ	

※設備管・設備風道等が区画を貫通する場合は、令１１２条１５号・１６号に適した処理・構造とする。

※延焼部分の換気扇等の開口部はＦＤ付等の防火処理を行う事。

令１１２条第１項防火区画を示す。
ＬＧＳ下地、強化石膏ボード 厚２１ 片面二重張（１時間耐火：ＦＰ０６０ＮＰ－０１８５）
スパンドレル・・・ＬＧＳ下地、強化石膏ボード 厚２１ 片面二重張（１時間耐火：ＦＰ０６０ＮＰ－０１８５）
※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
※防火区画貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。

令１１２条第１項防火区画を示す。
ＬＧＳ下地、強化石膏ボード 厚２１ 片面二重張（１時間耐火：ＦＰ０６０ＮＰ－０１８５）
鉄筋コンクリート造 厚１００以上（２時間耐火：平告１２建告１３９９号）
スパンドレル・・・鉄筋コンクリート造 厚１００以上（２時間耐火：平告１２建告１３９９号）
※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
※防火区画貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	防火区画図	縮尺	１／２００（Ａ１） １／４００（Ａ３）	図面番号	Ａ－２７	図面提出日		

ＳＬＶチェック表

１階床面積：８９６．７９m2　２階床面積：９０５．８５m2

階	室　名	居室種別	床面積(m2)	排煙チェック（Ｓ／５０）	採光チェック（Ｓ／２０）	換気チェック（Ｓ／２０）
1	資材庫① 資材庫②	非居室	４２．７０ ５４．９０			
	倉庫① 倉庫	非居室	１６．００ ２３６．８０			
	倉庫② 倉庫③	非居室	１３．８０ ４．５０			
	備品庫① 備品庫②	非居室	１７．４０ １５．００			
	女子更衣室 機械室	非居室	１０．５５ １２．７４			
	男子更衣室 書庫	非居室	９．００ １２．００			
	事務室②	居室	９５．５６	AW3：W1.875×H0.80×0.5×2連×2ヶ所＝3.00 AW5：W1.625×H0.80×0.5×2連＝1.30　判定：4.30＞1.92 OK	AW3：W1.875×H1.90×2連×2ヶ所＝14.25　判定：14.25＞4.78 OK	AW3：W1.875×H1.90×0.5×2連×2ヶ所＝7.12　判定：7.12＞4.78 OK
	多目的便所 男子便所	非居室	４．８４ １４．００			
	女子便所 掃除用具庫	非居室	１４．４０ ４．４０			
	廊下	非居室	８１．７５			
	控え室 湯沸室	非居室	４．００ ５．００			
	会議室	居室	１８．００	平12建告1436号四ニ（4）	非常用照明設置	機械換気設備設置
	印刷室	非居室	１３．５０			
	事務室①	居室	１２５．３７	AW3：W1.875×H0.80×0.5×2連×3ヶ所＝4.50　判定：4.50＞2.51 OK	AW3：W1.875×H1.90×2連×3ヶ所＝21.37　判定：21.37＞6.27 OK	AW3：W1.875×H1.90×0.5×2連×3ヶ所＝10.68　判定：10.68＞6.27 OK
	玄関	非居室	１１．１３			
	相談室②	居室	２０．００	AW11：W1.80×H0.80×0.5＝0.72　判定：0.72＞0.40 OK	AW11：W1.80×H1.70＝3.06　判定：3.06＞1.00 OK	AW11：W1.80×H1.70×0.5＝1.53　判定：1.53＞1.00 OK
	相談室①	居室	２５．００	AW7：W1.91×H0.80×0.5×2連＝1.52　判定：1.52＞0.50 OK	AW7：W1.91×H1.70×2連＝6.49　判定：6.49＞1.25 OK	AW7：W1.91×H1.70×0.5×2連＝3.24　判定：3.24＞1.25 OK
	ＰＳ	非居室	１．１３ １．１０			
	ＥＶホール ＥＶ	非居室	５．２０ ７．０２			
2	車庫	非居室	２２０．８５			
	資材庫	非居室	３８．４０ １６．９３			
	会議室①	居室	６１．３５	AW022：W1.70×H0.76×0.5＝0.64 AW023：W1.41×H0.76×0.5×2連＝1.07　判定：1.71＞1.23 OK	AW022：W1.70×H1.86＝3.16　判定：3.16＞3.07 OK	AW022：W1.70×H1.86×0.5＝1.58 AW023：W1.41×H1.86×0.5×2連＝2.62　判定：4.20＞3.07 OK
	会議室②	居室	３７．７５	平12建告1436号四ニ（4）	非常用照明設置	機械換気設備設置
	活動室③	居室	１３．５０	判定：0＜0.27 NG 平12建告1436号四ニ（4）	AW13：W1.80×H1.20＝2.16　判定：2.16＞0.68 OK	AW13：W1.80×H1.20×0.5＝1.08　判定：1.08＞0.68 OK
	階段	非居室	１２．７４			
	倉庫 ＰＳ	非居室	１８．７０ １．１３			
	活動室①	居室	４５．８１	AW2：W1.77×H0.50×0.5×2ヶ所＝0.88　判定：0.88＜0.92 NG 平12建告1436号四ニ（4）	AW2：W1.77×H1.90×2ヶ所＝6.72　判定：6.72＞2.30 OK	AW2：W1.77×H1.90×0.5×2ヶ所＝3.36　判定：3.36＞2.30 OK
	活動室②	居室	４４．５９	AW2：W1.77×H0.50×0.5×2ヶ所＝0.88 AW2：W1.55×H0.50×0.5×2ヶ所＝0.77　判定：1.65＞0.90 OK	AW2：W1.77×H1.90×2ヶ所＝6.72　判定：6.72＞2.23 OK	AW2：W1.77×H1.90×0.5×2ヶ所＝3.36　判定：3.36＞2.23 OK
	女子便所 多目的便所	非居室	１９．８５ ４．８４			
	男子便所 湯沸室	非居室	２２．２０ ３．７５			
	廊下	非居室	９１．９９			
	事務室①	居室	５７．６０	AW4：W1.80×H0.80×0.5×2連＝1.44　判定：1.44＞1.16 OK	AW4：W1.80×H1.90×2連＝6.84　判定：6.84＞2.88 OK	AW4：W1.80×H1.90×0.5×2連＝3.42　判定：3.42＞2.88 OK
	事務室②	居室	２７．２７	AW1：W1.80×H0.80×0.5＝0.72　判定：0.72＞0.55 OK	AW1：W1.80×H1.90＝3.42　判定：3.42＞1.37 OK	AW1：W1.80×H1.90×0.5＝1.71　判定：1.71＞1.37 OK
	事務室③	居室	３６．６３	AW1：W1.80×H0.80×0.5＝0.72 AW1：W0.90×H0.80＝0.72　判定：1.44＞0.74 OK	AW1：W1.80×H1.90＝3.42　判定：3.42＞1.84 OK	AW1：W1.80×H1.90×0.5＝1.71 AW1：W0.90×H1.90＝1.71　判定：3.42＞1.84 OK
	事務室④	居室	４４．３７	AW1：W1.80×H0.80×0.5＝0.72　判定：0.72＜0.89 NG 平12建告1436号四ニ（4）	AW1：W1.80×H1.90＝3.42　判定：3.42＞2.22 OK	AW1：W1.80×H1.90×0.5＝1.71　判定：1.71＜2.22 NG 機械換気設備設置
	事務室⑤	居室	３２．１３	AW1：W0.90×H0.80＝0.72　判定：0.72＞0.65 OK	AW1：W1.80×H1.90＝3.42　判定：3.42＞1.61 OK	AW1：W0.90×H1.90＝1.71　判定：1.71＞1.61 OK
	事務室⑥	居室	４１．２５	AW1：W1.91×H0.80×0.5＝0.76 AW1：W0.90×H0.80＝0.72　判定：1.48＞0.83 OK	AW1：W1.91×H1.90＝3.62　判定：3.62＞2.07 OK	AW1：W1.91×H1.90×0.5＝1.81 AW017：W1.12×H0.59×0.5×2ヶ所＝0.66　判定：2.47＞2.07 OK
	ＥＶホール ＥＶ	非居室	５．２０ ７．０２			

消防有窓階判定（Ｓ／３０）

１階床面積：８９６．７９m2

AW3：W1.875×H1.90×2連×5ヶ所＝35.62

AD01：W1.60×H2.00＝3.20

判定：38.82＞29.90 有窓階

２階床面積：９０５．８５m2

AW1：W1.80×H1.90×6ヶ所＝20.52

AW2：W1.77×H1.90×4ヶ所＝13.45

判定：33.97＞30.20 有窓階

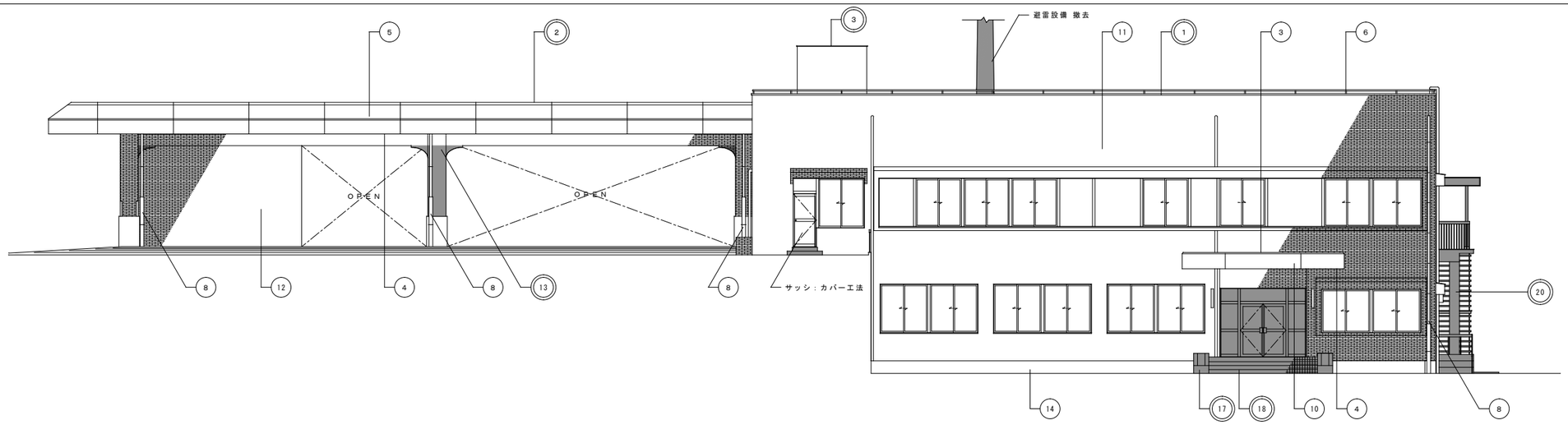
避難歩行距離関係

令125条 避難階居室：歩行距離100m（主要構造部準耐火構造）

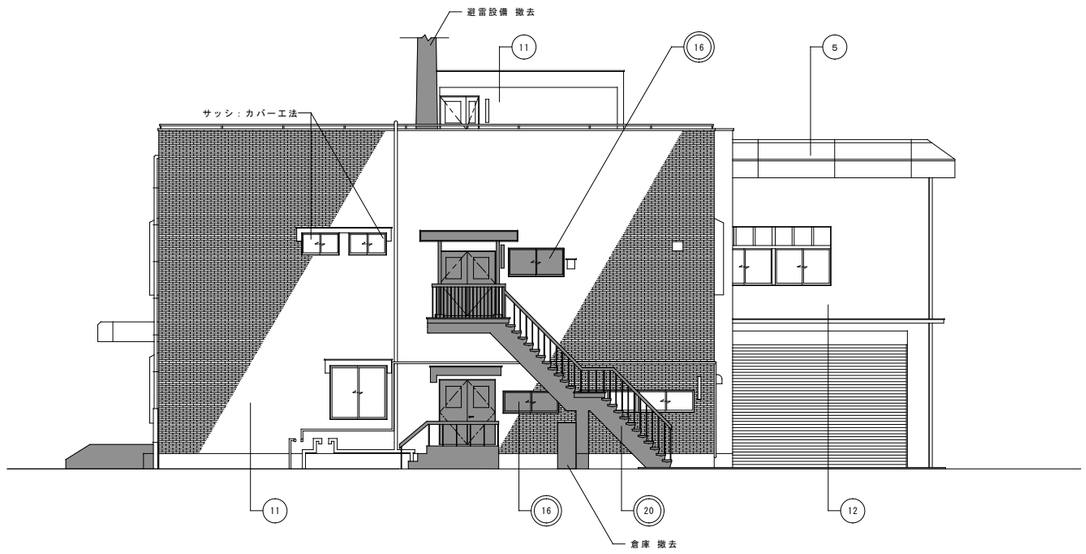
避難階採光無窓居室：歩行距離60m

階段から屋外への出口の一に至る歩行距離：50m

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	法規チェックリスト図	縮尺	図面番号 Ａ－２８	図面提出日		



南 立 面 図 | 1／100（A1）1／200（A3）

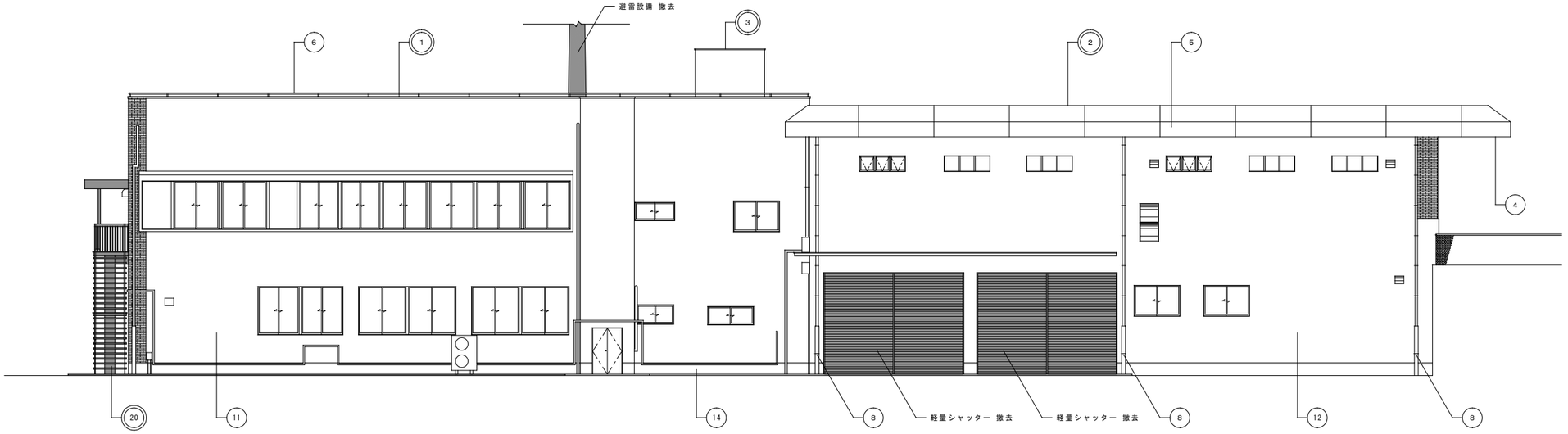


東 立 面 図 | 1／100（A1）1／200（A3）

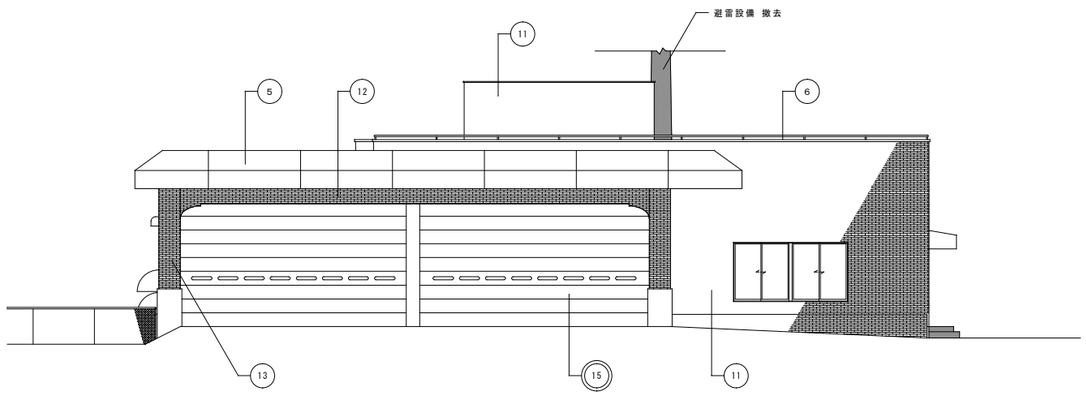
既存改修部分（伊賀市総合福祉会館） 外部仕上表（材料は全て同等品とする。）

屋根	①	屋根（一般）	既存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０、歩行用アスファルト防水（８層） 仕上：押え防水モルタル 厚５０～７０ 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	屋根	⑧	竪樋	既存	硬質塩ビ製φ１００、掴み金物：ＦＢ－２０×３ ＯＰ塗、養生管：鋳鉄製 Ｈ２０００	外壁	⑮	オーバースライダー	既存	アルミカラー
			改修	防水改修				改修	既存のまま				改修	下地調整の上、ＤＰ塗（２級）（外側のみ）
	②	屋根（車庫）	既存	下地：ＡＬＣ板 厚１００ 仕上：シート防水 撤去		⑨	ルーフドレン	既存	横引きドレンφ１００、縦型ルーフドレンφ１００ 撤去	床	⑯	開口塞ぎ	既存	アルミサッシ撤去
			改修	防水改修				改修	改修用ドレン				改修	コンクリート 厚１２０ モルタル塗、二丁掛タイル貼（既存合わせ）
	③	屋根（玄関庇・階段室塔屋）	既存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０ 仕上：露出アスファルト防水（８層）		⑩	玄関庇見付	既存	下地：コンクリート 仕上：アルミジュラクロン加工		⑰	犬走り	既存	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０＠２００（シングル） 周囲カッター切りの上、撤去 一部 花壇撤去共
			改修	防水改修（玄関庇は現況のまま）				改修	既存のまま				改修	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０＠２００（シングル） 既設土間取り合い差し筋アンカー Ｄ１０Ｌ４５０＠２００、砕石 厚１００ 一部花壇復旧共
	④	軒天	既存	アルミカラースパンドレル	外壁	⑪	外壁（一般）	既存	東・南・西面：モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面・階段室塔屋：モルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）		⑱	玄関ポーチ	既存	コンクリート 厚１２０ 撤去
			改修	既存のまま				改修	既存のまま				改修	ノンスリップ磁器質タイル 撤去 コンクリート 厚１２０、鉄筋Ｄ１０＠２００タテヨコ、モルタル金ゴテ押え 磁器質タイル３００角 厚9、段鼻タイル、一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角 線状・点状
	⑤	パラペット（車庫）	既存	下地：Ｃ－１００×５０×２０×２．３＠３０００以内 仕上：アルミジュラクロン加工		⑫	外壁（車庫）	既存	南・西面：リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面：リブラスモルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）		⑲	スロープ（勾配１／１２）	既存	－
			改修	既存のまま				改修	既存のまま 南面：一部 ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付、立上り：コンクリート打放し補修 Ｈ８３０				改修	コンクリート 厚１２０、モルタル刷毛引き 一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角 線状・点状
	⑥	笠木（一般）	既存	防水モルタルコテ押え 手すり：スチールφ４２．７ ＯＰ塗		⑬	柱型（車庫）	既存	リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去		⑳	屋外階段 撤去（ＲＣ柱・梁・基礎共）	既存	手すり：口－１００×５０×３．２ ＯＰ塗 撤去 手すり子：口－３２×３２×１．６ ＯＰ塗 撤去 踏板：ＰＣ版、防水モルタル金ゴテ押え 撤去 段鼻：ノンスリップ真鍮製（ゴム入） 撤去
			改修	既存のまま				改修	ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付				改修	－
	⑦	笠木（車庫・玄関庇）	既存	アルミジュラクロン加工		⑭	巾木	既存	モルタル刷毛引き Ｈ５００		◯	・・・工事施工部分を示す。		
			改修	既存のまま				改修	既存のまま		■	・・・撤去範囲を示す。		

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認		管理建築士	印
		図名	＜現況＞立面図１	縮尺	1／100（A1） 1／200（A3）	図面番号	A－29	図面提出日	



北 立 面 図 | 1／100（A1）1／200（A3）



西 立 面 図 | 1／100（A1）1／200（A3）

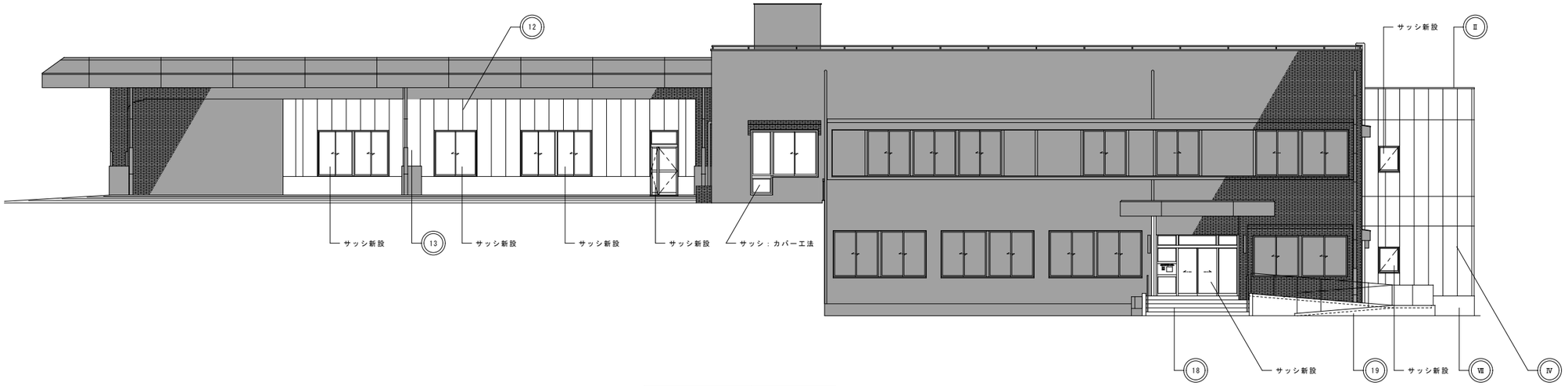
既存改修部分（伊賀市総合福祉会館） 外部仕上表（材料は全て同等品とする。）

屋根	①	屋根（一般）	既 存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０、歩行用アスファルト防水（８層） 仕上：押え防水モルタル 厚５０～７０ 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	屋根	⑧	竪樋	既 存	硬質塩ビ製φ１００、掴み金物：ＦＢ－２０×３ ＯＰ塗、養生管：鋳鉄製 Ｈ２０００	外壁	⑮	オーバースライダー	既 存	アルミカラー
			改 修	防水改修				改 修	既存のまま				改 修	下地調整の上、ＤＰ塗（２級）（外側のみ）
	②	屋根（車庫）	既 存	下地：ＡＬＣ板 厚１００ 仕上：シート防水 撤去		⑨	ルーフドレン	既 存	横引きドレンφ１００、縦型ルーフドレンφ１００ 撤去	床	⑯	開口塞ぎ	既 存	アルミサッシ撤去
			改 修	防水改修				改 修	改修用ドレン				改 修	コンクリート 厚１２０ モルタル塗、二丁掛タイル貼（既存合わせ）
	③	屋根（玄関庇・階段室塔屋）	既 存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０ 仕上：露出アスファルト防水（８層）		⑩	玄関庇見付	既 存	下地：コンクリート 仕上：アルミジュラクロン加工		⑰	犬走り	既 存	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０@２００（シングル） 開口カッター切りの上、撤去 一部 花壇撤去共
			改 修	防水改修（玄関庇は現況のまま）				改 修	既存のまま				改 修	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０@２００（シングル） 既設土間取り合い差し筋アンカー Ｄ１０Ｌ４５０@２００、砕石 厚１００ 一部花壇復旧共
	④	軒天	既 存	アルミカラースパンドレル	外壁	⑪	外壁（一般）	既 存	東・南・西面：モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面・階段室塔屋：モルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）		⑱	玄関ポーチ	既 存	コンクリート 厚１２０ 撤去 ノンスリップ磁器質タイル 撤去
			改 修	既存のまま				改 修	既存のまま				改 修	コンクリート 厚１２０、鉄筋Ｄ１０@２００タテヨコ、モルタル金ゴテ押え 磁器質タイル３００角 厚９、段鼻タイル、一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角 線状・点状
	⑤	パラペット（車庫）	既 存	下地：Ｃ－１００×５０×２０×２．３@３０００以内 仕上：アルミジュラクロン加工		⑫	外壁（車庫）	既 存	南・西面：リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面：リブラスモルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）		⑲	スロープ（勾配１／１２）	既 存	－
			改 修	既存のまま				改 修	既存のまま 南面：一部 ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付、立上り：コンクリート打放し補修 Ｈ８３０				改 修	コンクリート 厚１２０、モルタル刷毛引き 一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角 線状・点状
	⑥	笠木（一般）	既 存	防水モルタルコテ押え 手すり：スチールφ４２．７ ＯＰ塗		⑬	柱型（車庫）	既 存	リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去		⑳	屋外階段 撤去 （ＲＣ柱・梁・基礎共）	既 存	手すり：□－１００×５０×３．２ ＯＰ塗 撤去 手すり子：□－３２×３２×１．６ ＯＰ塗 撤去 踏板：ＰＣ版、防水モルタル金ゴテ押え 撤去 段鼻：ノンスリップ真鍮製（ゴム入） 撤去
			改 修	既存のまま				改 修	ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付				改 修	－
	⑦	笠木（車庫・玄関庇）	既 存	アルミジュラクロン加工		⑭	巾木	既 存	モルタル刷毛引き Ｈ５００		◯	・・・工事施工部分を示す。		
			改 修	既存のまま				改 修	既存のまま		▭	・・・撤去範囲を示す。		

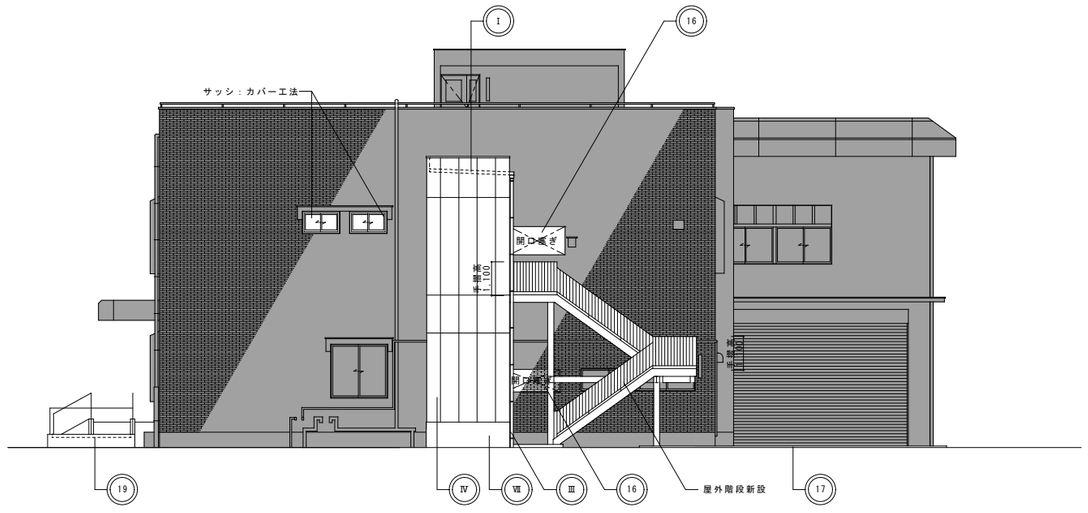
特記

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	＜現況＞立面図２	縮尺 1／100（A1）1／200（A3）	図面番号 Ａ－３０

承認				管理建築士	印
図面提出日					



南　立　面　図　　1／100（A1）　1／200（A3）



東　立　面　図　　1／100（A1）　1／200（A3）

新設部分（ＥＶ）　外部仕上表（材料は全て同等品とする。）

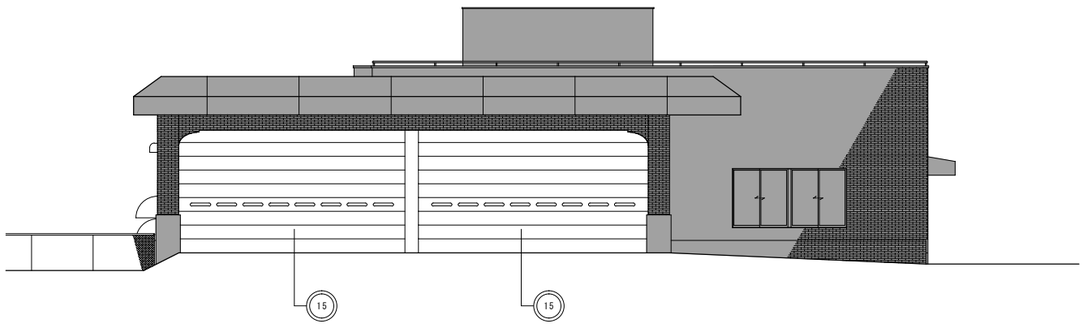
屋根	Ⅰ	屋根	折板葺（山高９０ハゼ）カラーガルバリウム鋼板 厚０．６
			裏面：フネンエース 厚４
	Ⅱ	笠木	カラーガルバリウム鋼板 厚０．５ 曲げ加工
	Ⅲ	樋	竪樋：硬質塩ビ製φ１００（カラー）、掴み金物：ＦＢ－２０×３@１２００ ＯＰ塗
			軒樋：硬質塩ビ製角樋Ｗ１２０（カラー）
外壁	Ⅳ	外壁	ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付
	Ⅴ	パラペット裏面	カラーガルバリウム鋼板 厚０．５ 曲げ加工
			下地：ロックウール吹付 厚２５
	Ⅵ	ＥＸＰ・Ｊ	エキスパンジョイント：ステンレス製 クリアランスＷ２００
		（外壁－外壁）	耐火帯：ステンレス製 ＥＡＪ－防災－３０１４
	Ⅶ	巾木	コンクリート打放し補修 Ｈ８３０

既存改修部分（伊賀市総合福祉会館）　外部仕上表（材料は全て同等品とする。）

屋根	①	屋根（一般）	既　存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０、歩行用アスファルト防水（８層） 仕上：押え防水モルタル 厚５０～７０ 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	屋根	⑧	竪樋	既　存	硬質塩ビ製φ１００、掴み金物：ＦＢ－２０×３ ＯＰ塗、養生管：鋳鉄製 Ｈ２０００	外壁	⑮	オーバースライダー	既　存	アルミカラー
			改　修	防水改修　（別途工事）				改　修	既存のまま				改　修	下地調整の上、ＤＰ塗（２級）（外側のみ）
	②	屋根（車庫）	既　存	下地：ＡＬＣ板 厚１００ 仕上：シート防水 撤去		⑨	ルーフドレン	既　存	横引きドレンφ１００、縦型ルーフドレンφ１００　撤去	床	⑯	開口塞ぎ	既　存	アルミサッシ撤去
			改　修	防水改修　（別途工事）				改　修	改修用ドレン				改　修	コンクリート 厚１２０ モルタル塗、二丁掛タイル貼（既存合わせ）
	③	屋根（玄関庇・階段室塔屋）	既　存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０ 仕上：露出アスファルト防水（８層）		⑩	玄関庇見付	既　存	下地：コンクリート 仕上：アルミジュラクロン加工		⑰	犬走り	既　存	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０@２００（シングル） 周囲カッター切りの上、撤去 一部 花壇撤去共
			改　修	防水改修（玄関庇は現況のまま）　（別途工事）				改　修	既存のまま				改　修	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０@２００（シングル） 既設土間取り合い差し筋アンカー Ｄ１０Ｌ４５０@２００、砕石 厚１００ 一部花壇復旧共
	④	軒天	既　存	アルミカラースパンドレル	外壁	⑪	外壁（一般）	既　存	東・南・西面：モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面・階段室塔屋：モルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）		⑱	玄関ポーチ	既　存	コンクリート 厚１２０ 撤去 ノンスリップ磁器質タイル 撤去
			改　修	既存のまま				改　修	既存のまま				改　修	コンクリート 厚１２０、鉄筋Ｄ１０@２００タテヨコ、モルタル金ゴテ押え 磁器質タイル３００角 厚９、段鼻タイル、一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角　線状・点状
	⑤	パラペット（車庫）	既　存	下地：Ｃ－１００×５０×２０×２．３@３０００以内 仕上：アルミジュラクロン加工		⑫	外壁（車庫）	既　存	南・西面：リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面：リブラスモルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）		⑲	スロープ（勾配１／１２）	既　存	－
			改　修	既存のまま				改　修	既存のまま 南面：一部 ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付、立上り：コンクリート打放し補修 Ｈ８３０				改　修	コンクリート 厚１２０、モルタル刷毛引き 一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角 線状・点状
	⑥	笠木（一般）	既　存	防水モルタルコテ押え 手すり：スチールφ４２．７ ＯＰ塗		⑬	柱型（車庫）	既　存	リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去		⑳	屋外階段 撤去（ＲＣ柱・梁・基礎共）	既　存	手すり：□－１００×５０×３．２ ＯＰ塗 撤去　手すり子：□－３２×３２×１．６ ＯＰ塗 撤去 踏板：ＰＣ版、防水モルタル金ゴテ押え 撤去　段鼻：ノンスリップ真鍮製（ゴム入） 撤去
			改　修	既存のまま				改　修	ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付				改　修	－
	⑦	笠木（車庫・玄関庇）	既　存	アルミジュラクロン加工		⑭	巾木	既　存	モルタル刷毛引き Ｈ５００		◯	・・・工事施工部分を示す。		
			改　修	既存のまま				改　修	既存のまま		■	・・・既存のまま範囲を示す。		

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認	管理建築士　印
		図名	＜改修＞立面図１	縮尺 1／100（A1） 1／200（A3）	図面番号 Ａ－３１	図面提出日

北 立 面 図	1／100（A1） 1／200（A3）

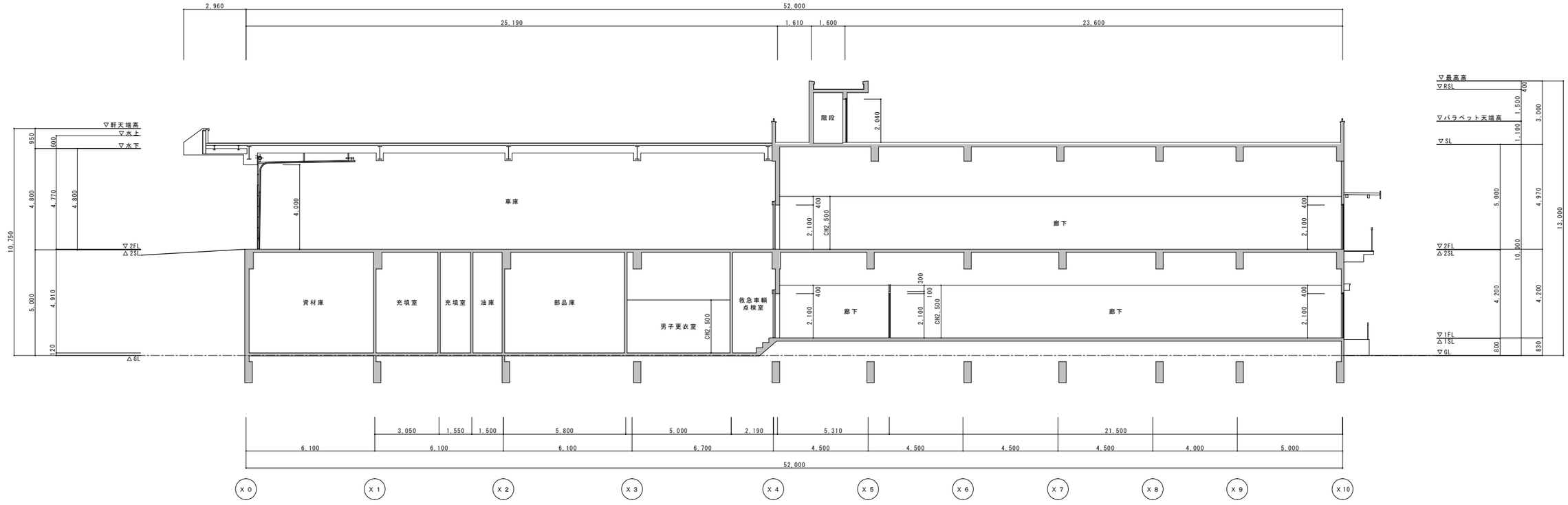


西 立 面 図	1／100（A1） 1／200（A3）

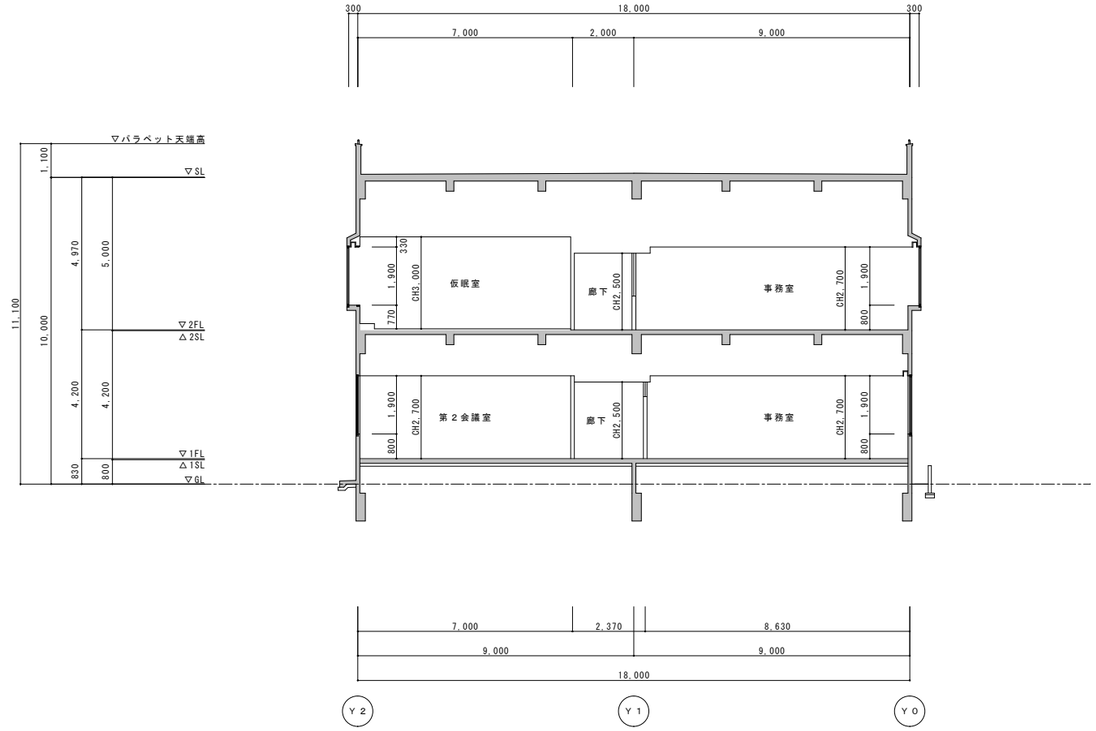
新設部分（ＥＶ） 外部仕上表（材料は全て同等品とする。）			
屋根	Ⅰ	屋根	折板葺（山高９０ハゼ）カラーガルバリウム鋼板 厚０．６
			裏面：フネンエース 厚４
	Ⅱ	笠木	カラーガルバリウム鋼板 厚０．５ 曲げ加工
	Ⅲ	樋	竪樋：硬質塩ビ製φ１００（カラー）、掴み金物：ＦＢ－２０×３@１２００ ＯＰ塗
			軒樋：硬質塩ビ製角樋Ｗ１２０（カラー）
外壁	Ⅳ	外壁	ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付
	Ⅴ	パラペット裏面	カラーガルバリウム鋼板 厚０．５ 曲げ加工
			下地：ロックウール吹付 厚２５
	Ⅵ	ＥＸＰ・Ｊ	エキスパンジョイント：ステンレス製 クリアランスＷ２００
		（外壁－外壁）	耐火帯：ステンレス製 ＥＡＪ－防災－３０１４
	Ⅶ	巾木	コンクリート打放し補修 Ｈ８３０

既存改修部分（伊賀市総合福祉会館） 外部仕上表（材料は全て同等品とする。）														
屋根	①	屋根 （一般）	既 存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０、歩行用アスファルト防水（８層） 仕上：押え防水モルタル 厚５０～７０ 伸縮目地切、ウレタン塗膜防水	屋根	⑧	竪樋	既 存	硬質塩ビ製φ１００、掴み金物：ＦＢ－２０×３ ＯＰ塗、養生管：鋳鉄製 Ｈ２０００	外壁	⑮	オーバースライダー	既 存	アルミカラー
			改 修	防水改修 （別途工事）				改 修	既存のまま				改 修	下地調整の上、ＤＰ塗（２級）（外側のみ）
	②	屋根 （車庫）	既 存	下地：ＡＬＣ板 厚１００ 仕上：シート防水 撤去		⑨	ルーフドレン	既 存	横引きドレンφ１００、縦型ルーフドレンφ１００ 撤去	床	⑯	開口塞ぎ	既 存	アルミサッシ撤去
			改 修	防水改修 （別途工事）				改 修	改修用ドレン				改 修	コンクリート 厚１２０ モルタル塗、二丁掛タイル貼（既存合わせ）
	③	屋根 （玄関庇・階段室塔屋）	既 存	下地：コンクリート、均しモルタル 厚２０～３０ 仕上：露出アスファルト防水（８層）		⑩	玄関庇見付	既 存	下地：コンクリート 仕上：アルミジュラクロン加工		⑰	犬走り	既 存	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０@２００（シングル） 周囲カッター切りの上、撤去 一部 花壇撤去共
			改 修	防水改修（玄関庇は現況のまま） （別途工事）				改 修	既存のまま				改 修	コンクリート 厚１５０ 金ゴテ押え、鉄筋Ｄ１０@２００（シングル） 既設土間取り合い差し筋アンカー Ｄ１０Ｌ４５０@２００、砕石 厚１００ 一部花壇復旧共
	④	軒天	既 存	アルミカラースパンドレル	外壁	⑪	外壁 （一般）	既 存	東・南・西面：モルタル塗、二丁掛タイル貼 北面・階段室塔屋：モルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）		⑱	玄関ポーチ	既 存	コンクリート 厚１２０ 撤去 ノンスリップ磁器質タイル 撤去
			改 修	既存のまま				改 修	既存のまま				改 修	コンクリート 厚１２０、鉄筋Ｄ１０@２００タテヨコ、モルタル金ゴテ押え 磁器質タイル３００角 厚９、段鼻タイル、一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角 線状・点状
	⑤	パラペット （車庫）	既 存	下地：Ｃ－１００×５０×２０×２．３@３０００以内 仕上：アルミジュラクロン加工		⑫	外壁 （車庫）	既 存	南・西面：リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 東・北面：リブラスモルタル塗、ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）		⑲	スロープ （勾配１／１２）	既 存	－
			改 修	既存のまま				改 修	既存のまま 南面：一部 ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付、立上り：コンクリート打放し補修 Ｈ８３０				改 修	コンクリート 厚１２０、モルタル刷毛引き 一部 視覚障がい者用誘導ブロック３００角 線状・点状
	⑥	笠木 （一般）	既 存	防水モルタルコテ押え 手すり：スチールφ４２．７ ＯＰ塗		⑬	柱型 （車庫）	既 存	リブラスモルタル塗、二丁掛タイル貼 一部撤去		⑳	屋外階段 撤去 （ＲＣ柱・梁・基礎共）	既 存	手すり：□－１００×５０×３．２ ＯＰ塗 撤去 手すり子：□－３２×３２×１．６ ＯＰ塗 撤去 踏板：ＰＣ版、防水モルタル金ゴテ押え 撤去 段鼻：ノンスリップ真鍮製（ゴム入） 撤去
			改 修	既存のまま				改 修	ＡＬＣ板 厚１００、防水型複層塗材Ｅ 吹付				改 修	－
	⑦	笠木 （車庫・玄関庇）	既 存	アルミジュラクロン加工		⑭	巾木	既 存	モルタル刷毛引き Ｈ５００		◯	・・・工事施工部分を示す。		
			改 修	既存のまま				改 修	既存のまま		▭	・・・既存のまま範囲を示す。		

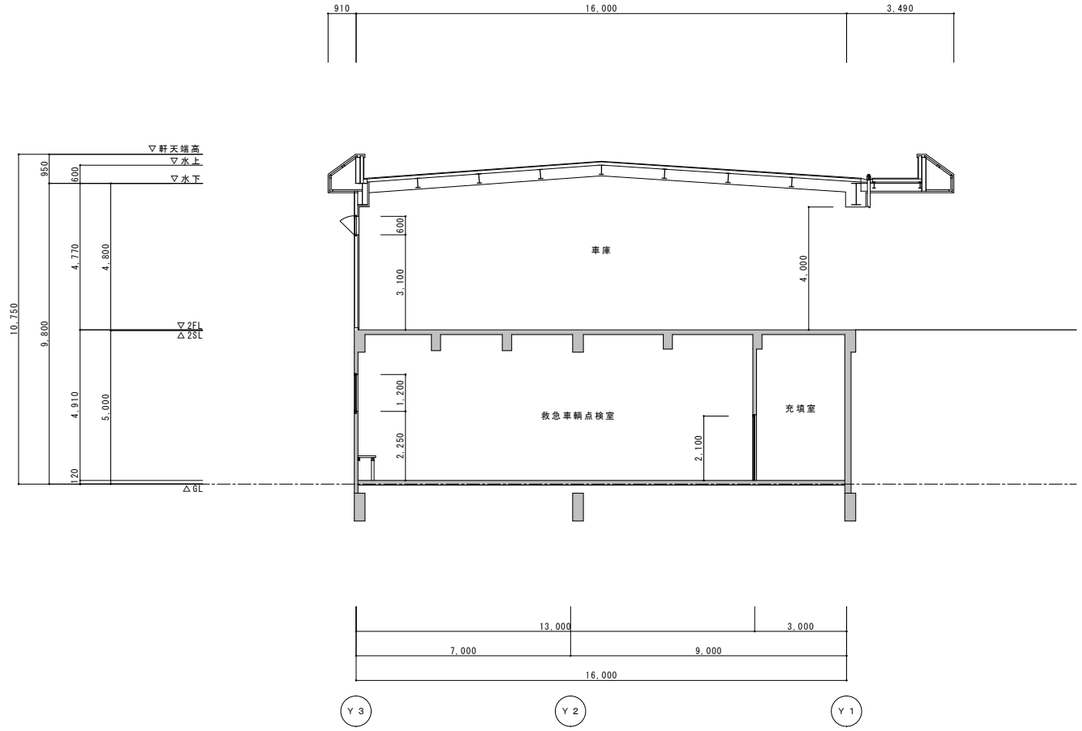
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認		管理建築士	印
		図名	＜改修＞立面図２	縮尺	1／100（A1） 1／200（A3）	図面番号	Ａ－３２	図面提出日		



A－A 断面図	1／100（A1） 1／200（A3）

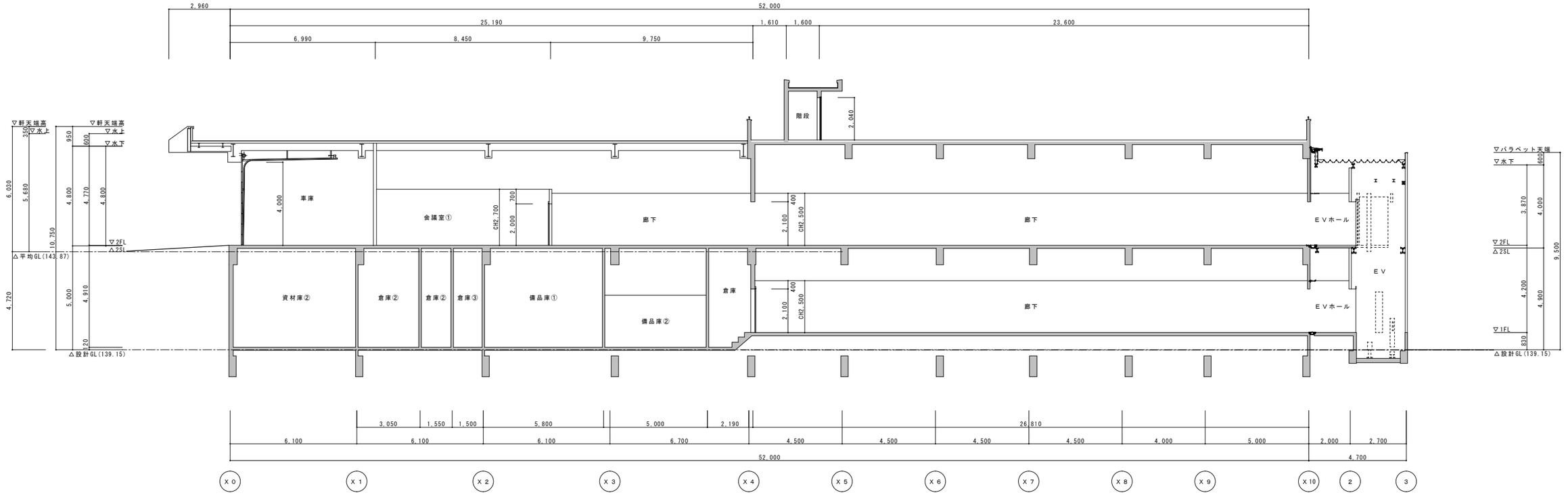


B－B 断面図	1／100（A1） 1／200（A3）

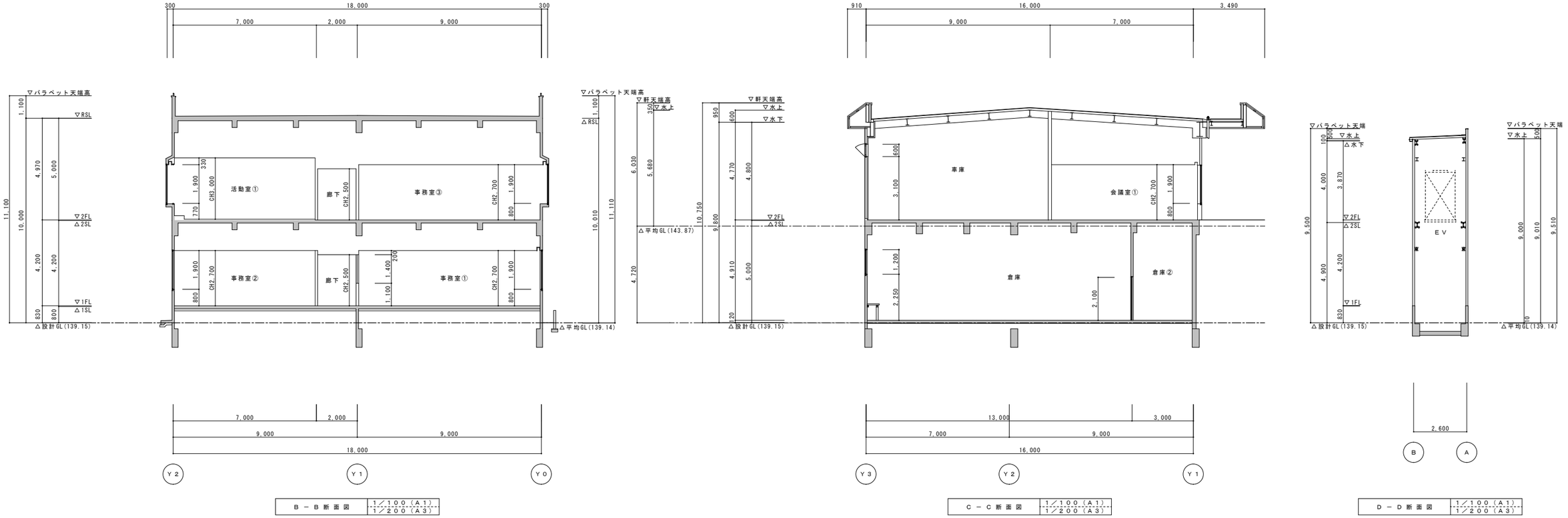


C－C 断面図	1／100（A1） 1／200（A3）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞断面図	縮尺	1／100（A1） 1／200（A3）	図面番号 A－33	図面提出日		



A－A断面図 | 1／100（A1）1／200（A3）

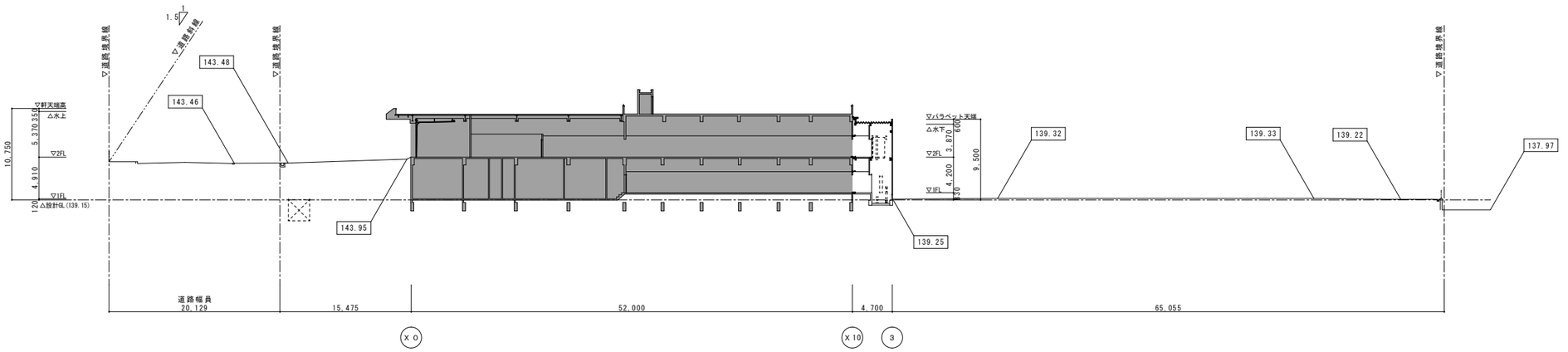


B－B断面図 | 1／100（A1）1／200（A3）

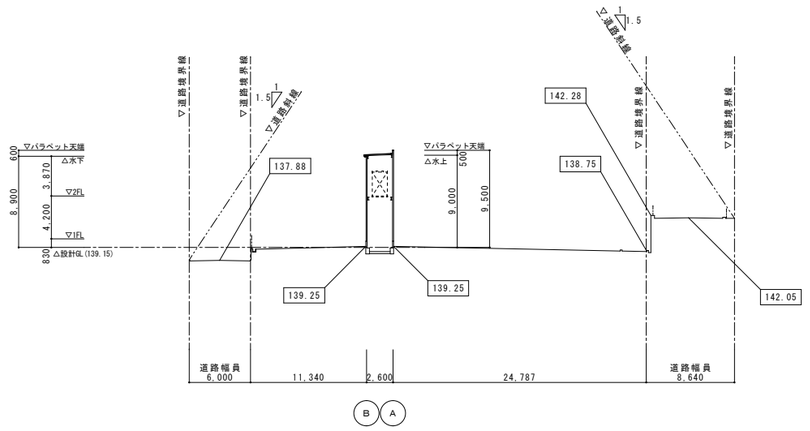
C－C断面図 | 1／100（A1）1／200（A3）

D－D断面図 | 1／100（A1）1／200（A3）

特記			
工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	＜改修＞断面図	縮尺 1／100（A1）1／200（A3）	図面番号 A－34
承認		管理建築士	印
図面提出日			



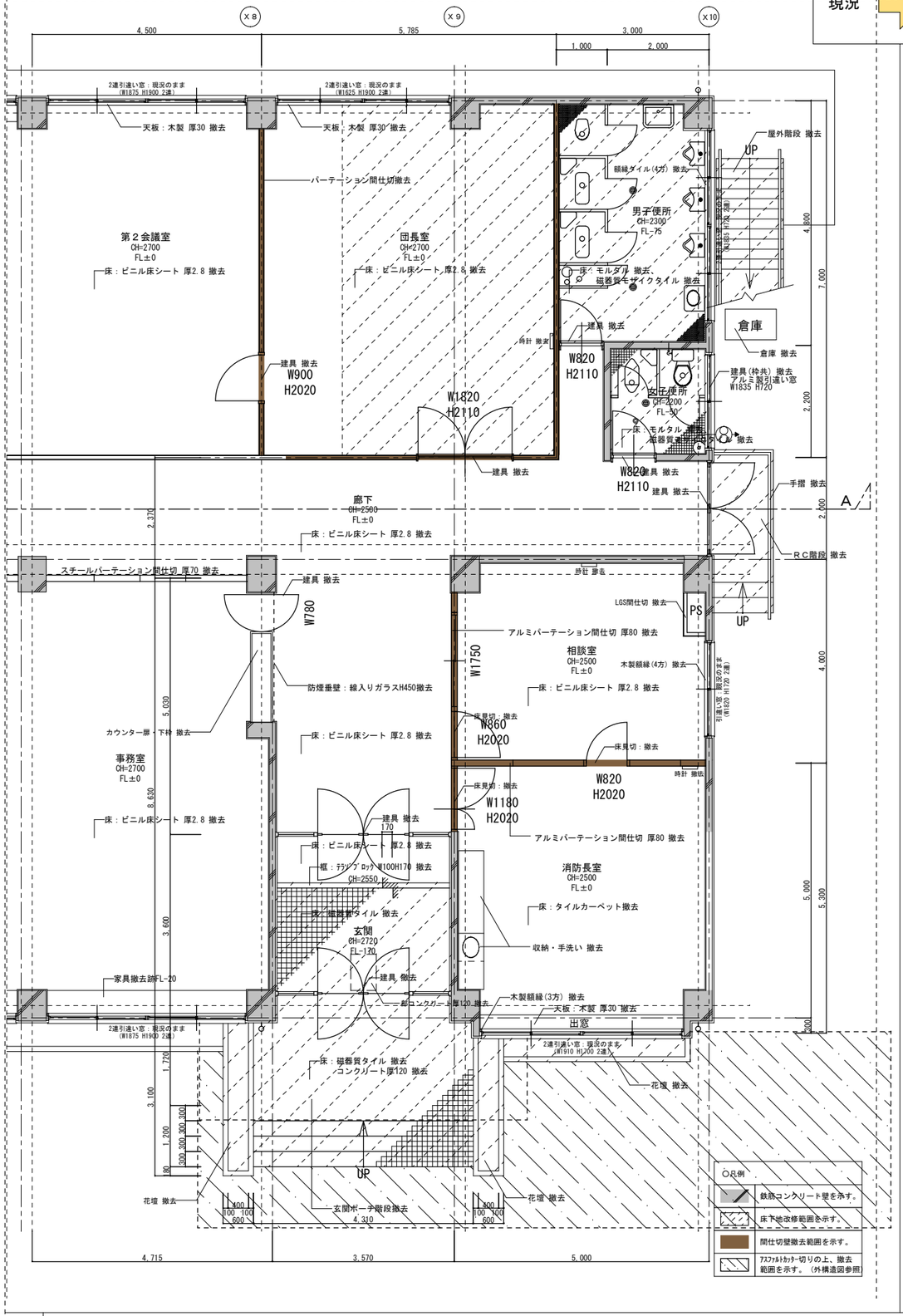
A － A 断 面 図	1／300（A1） 1／600（A3）

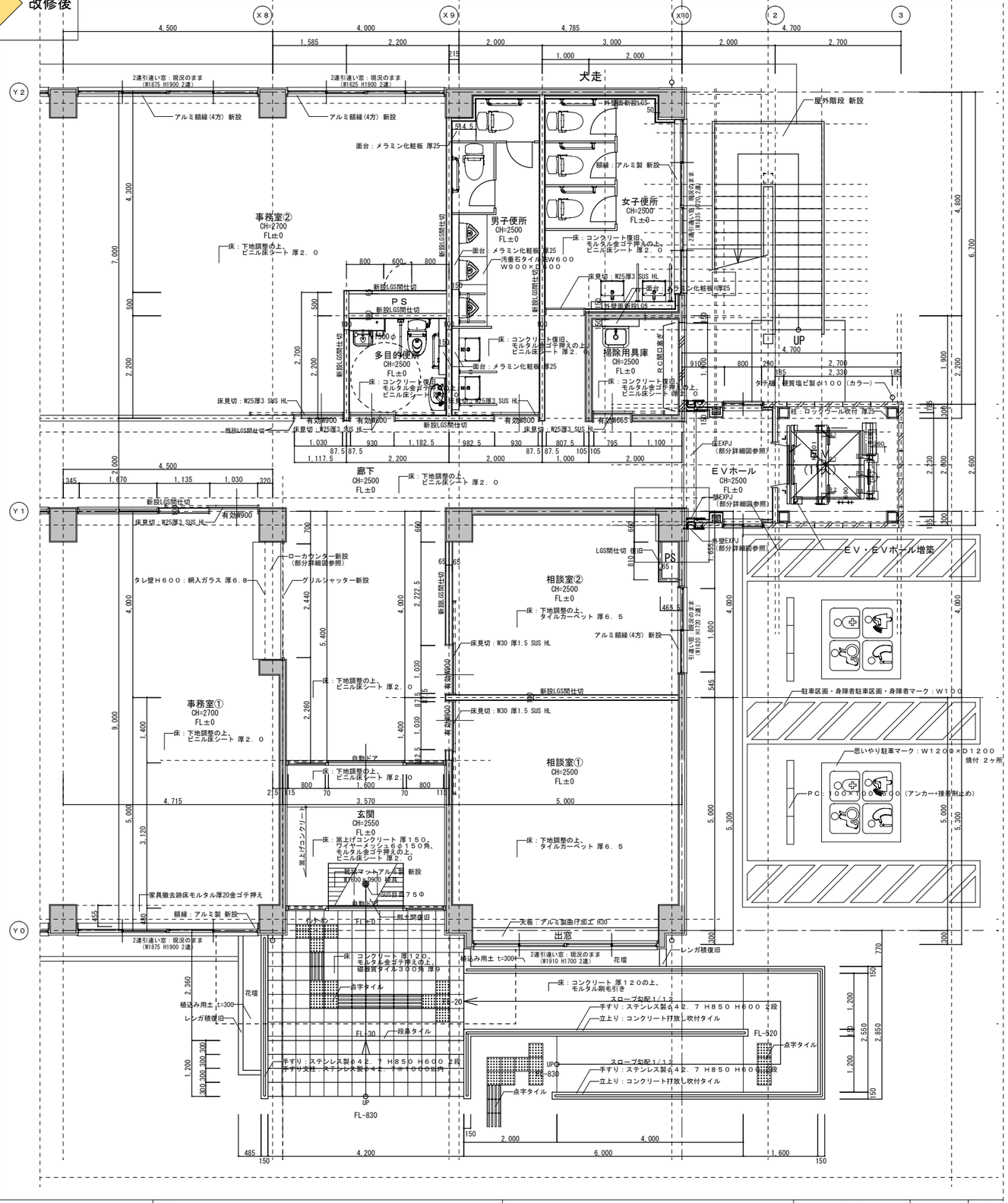


D － D 断 面 図	1／300（A1） 1／600（A3）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	敷地断面図	縮尺 1／300（A1） 1／600（A3）	図面番号 A－35	図面提出日		

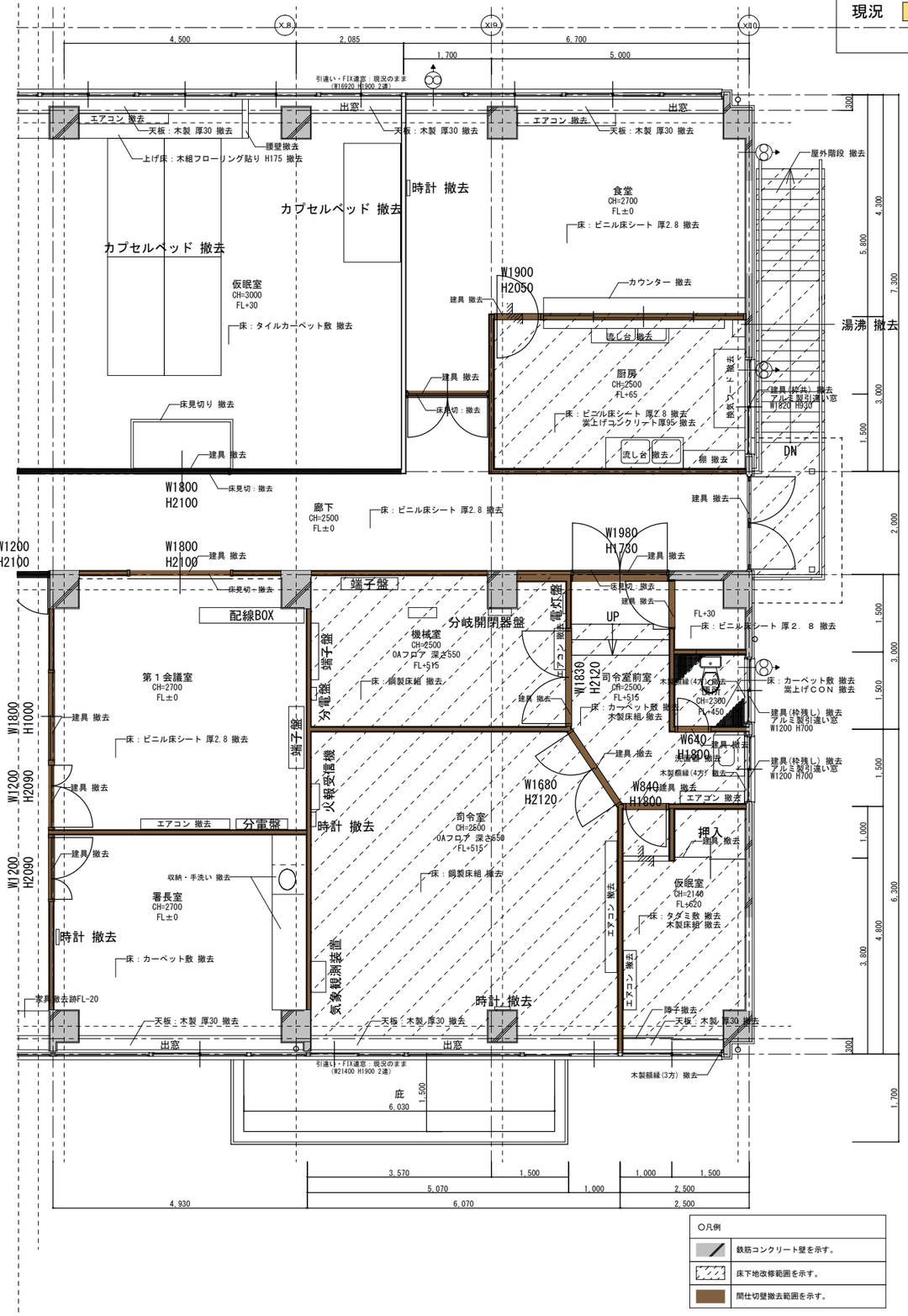
現況 ⇨ 改修後

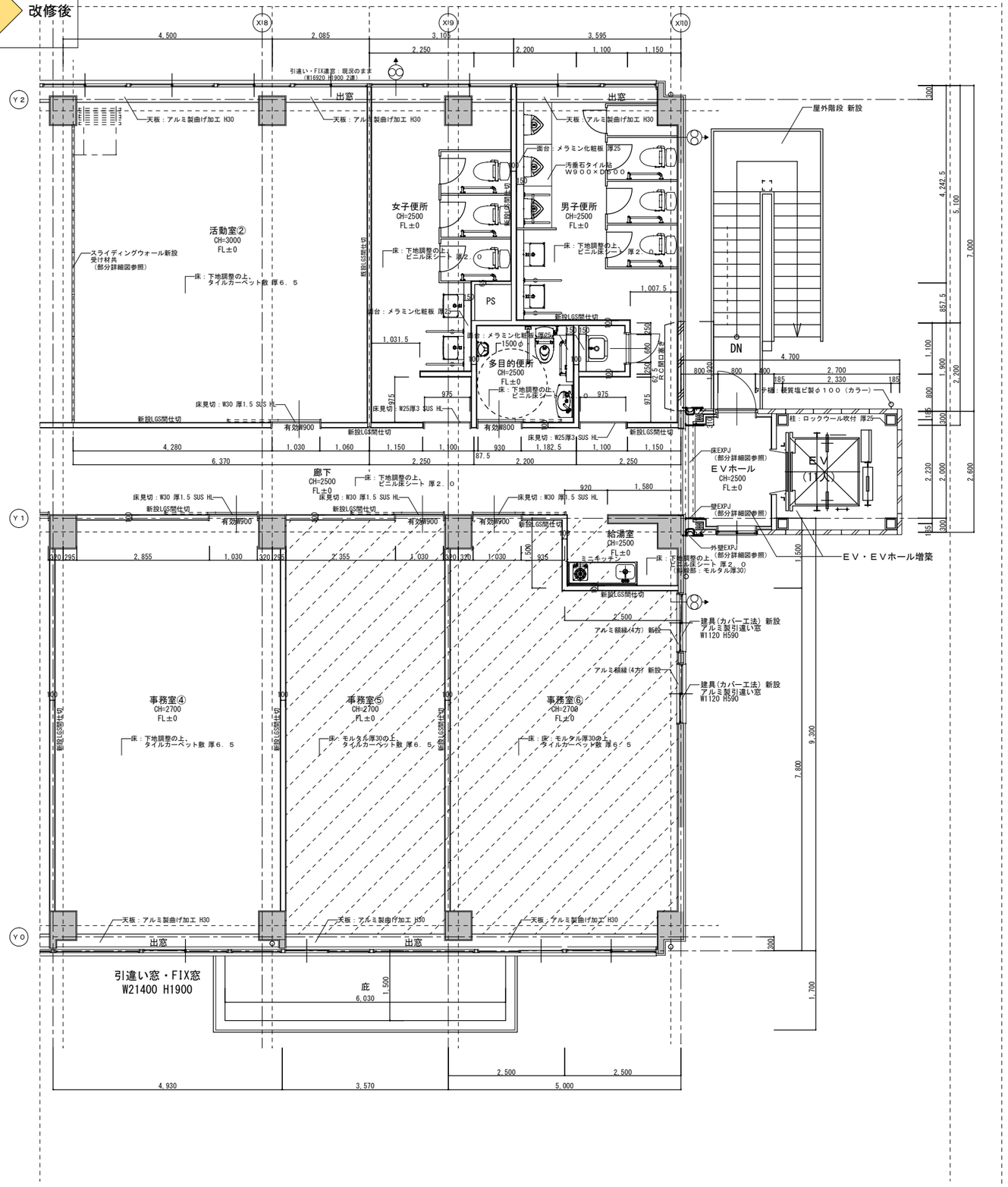




特記	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		管理建築士
	図名	（現況・改修）平面詳細図１	縮尺 1／50（A1） 1／100（A3）	図面番号 A－36
				承認 / 図案提出日

現況 → 改修後

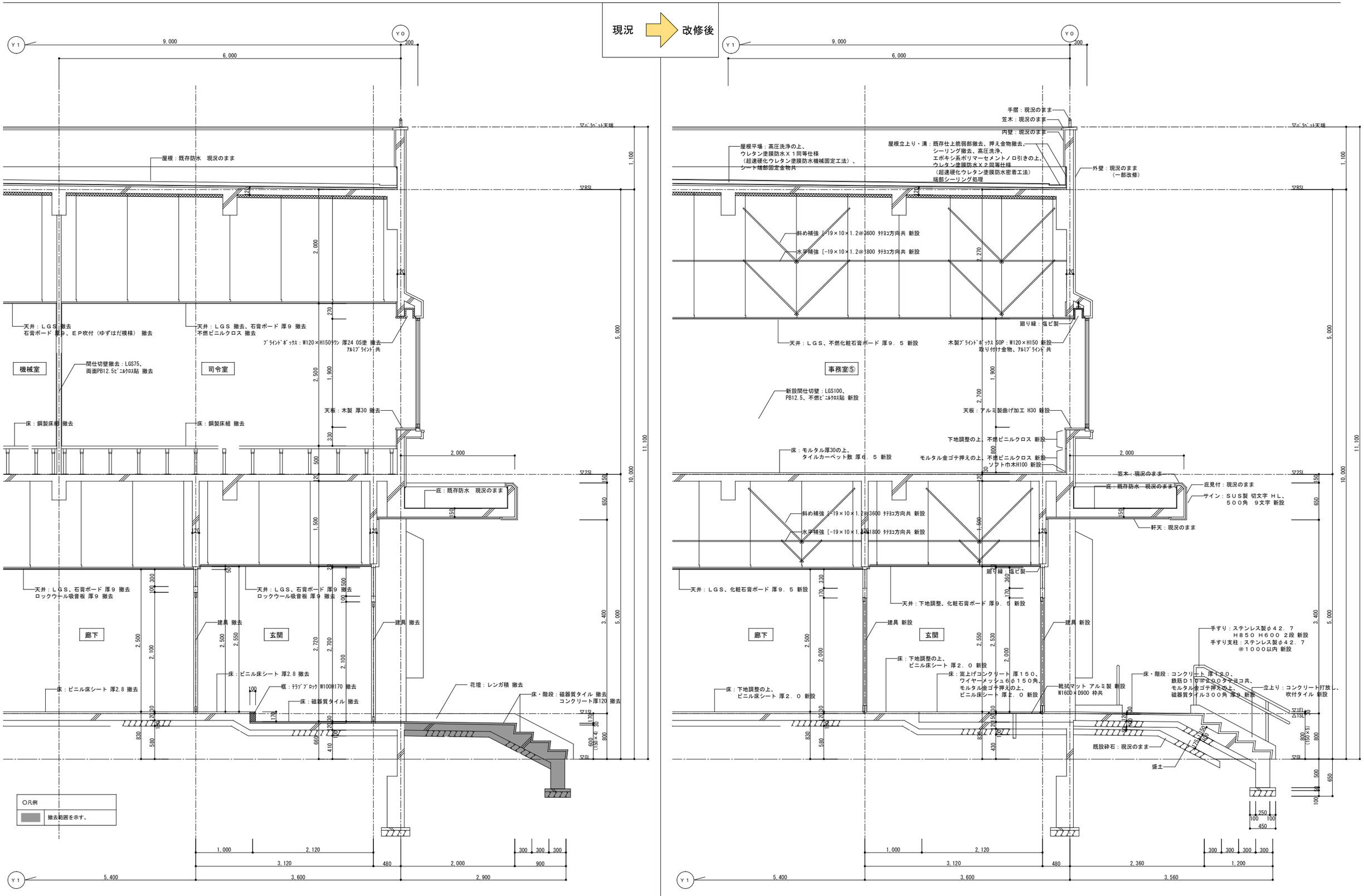




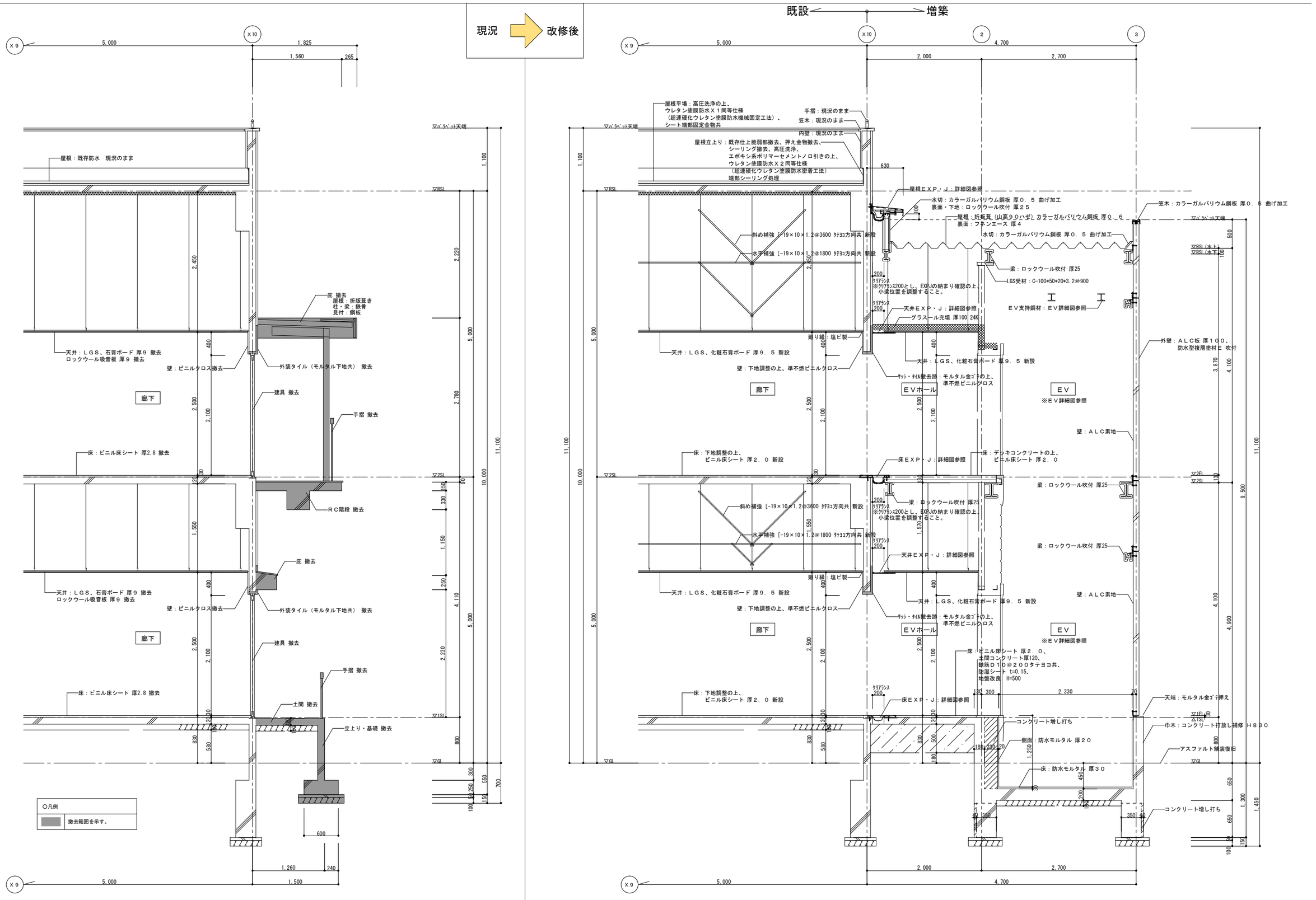
○凡例

	鉄筋コンクリート壁を示す。
	床下地改修範囲を示す。
	間仕切壁撤去範囲を示す。

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）	承認	管理建築士 印
		図名	（現況・改修）平面詳細図２	縮尺 1/50（A1） 1/100（A3）	図面番号 A-37	図面提出日	

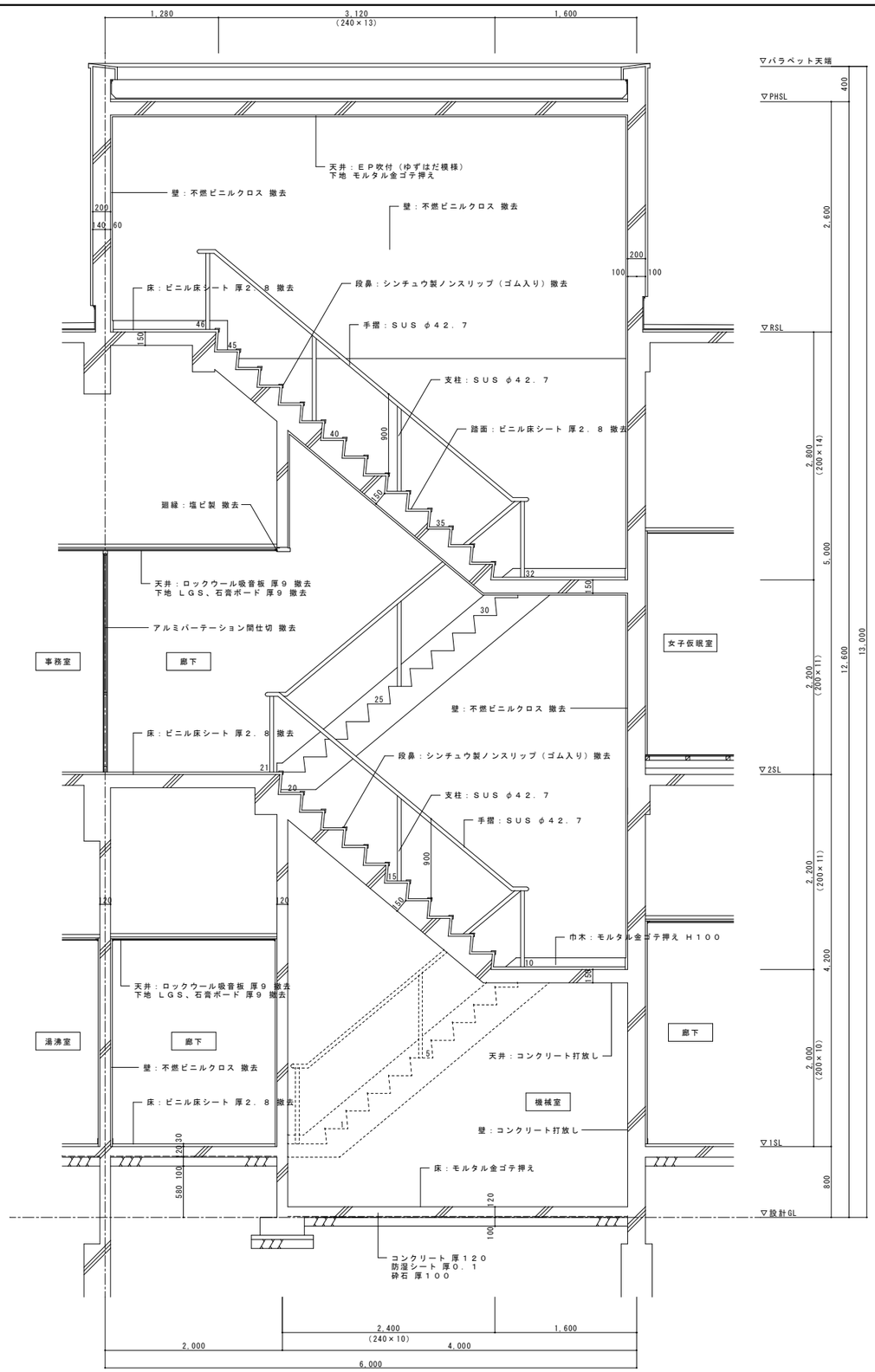


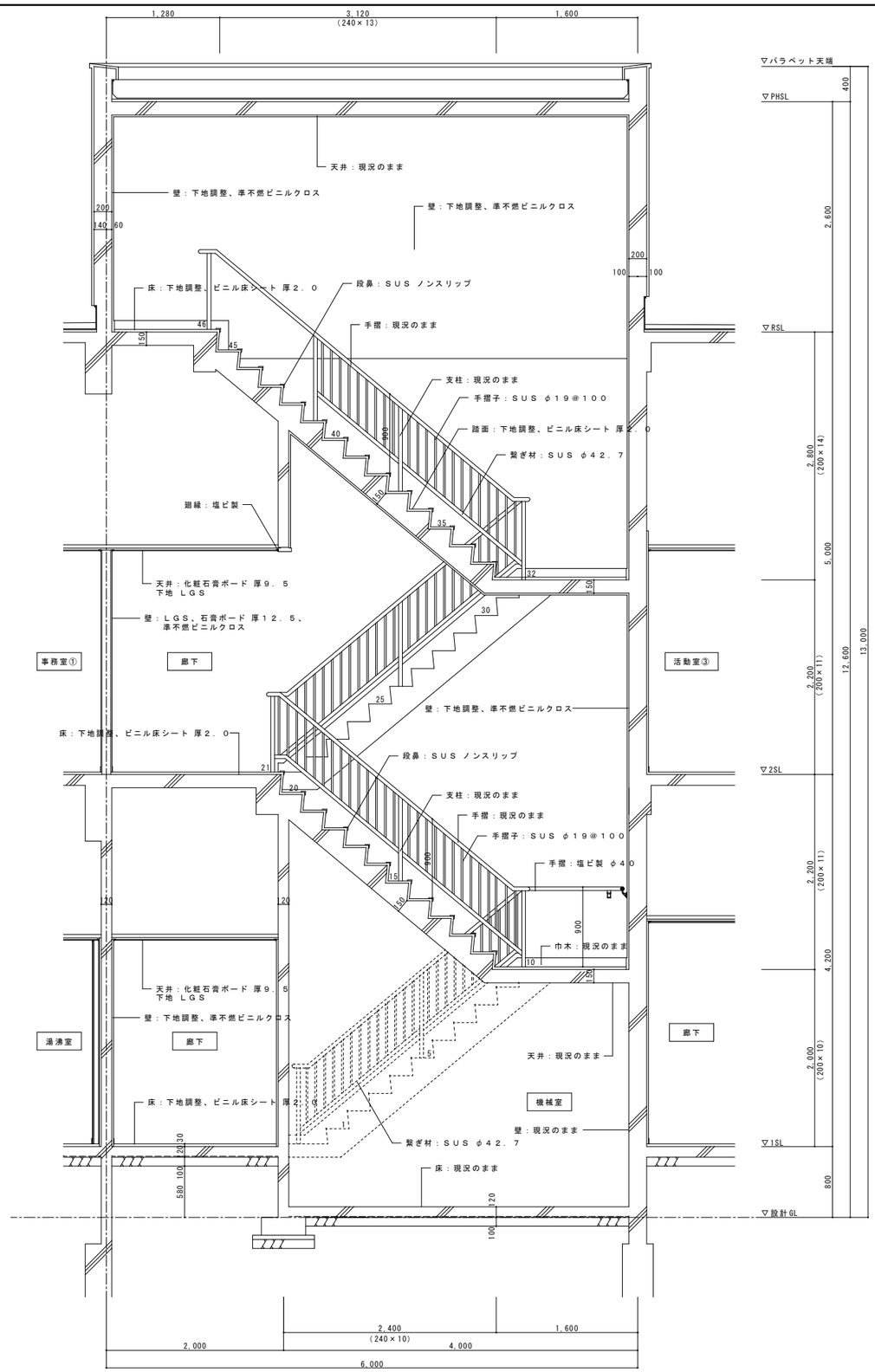
特記	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認	管理建築士
	図名	現況・改修 断面詳細図１	縮尺 1/30（A1） 1/60（A3）	図面番号 A-38	図面提出日



特記	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
	図名	現況・改修 断面詳細図２	縮尺 1/30（A1） 1/60（A3）	図面番号 A-39	図面提出日		

現況 ⇒ 改修後

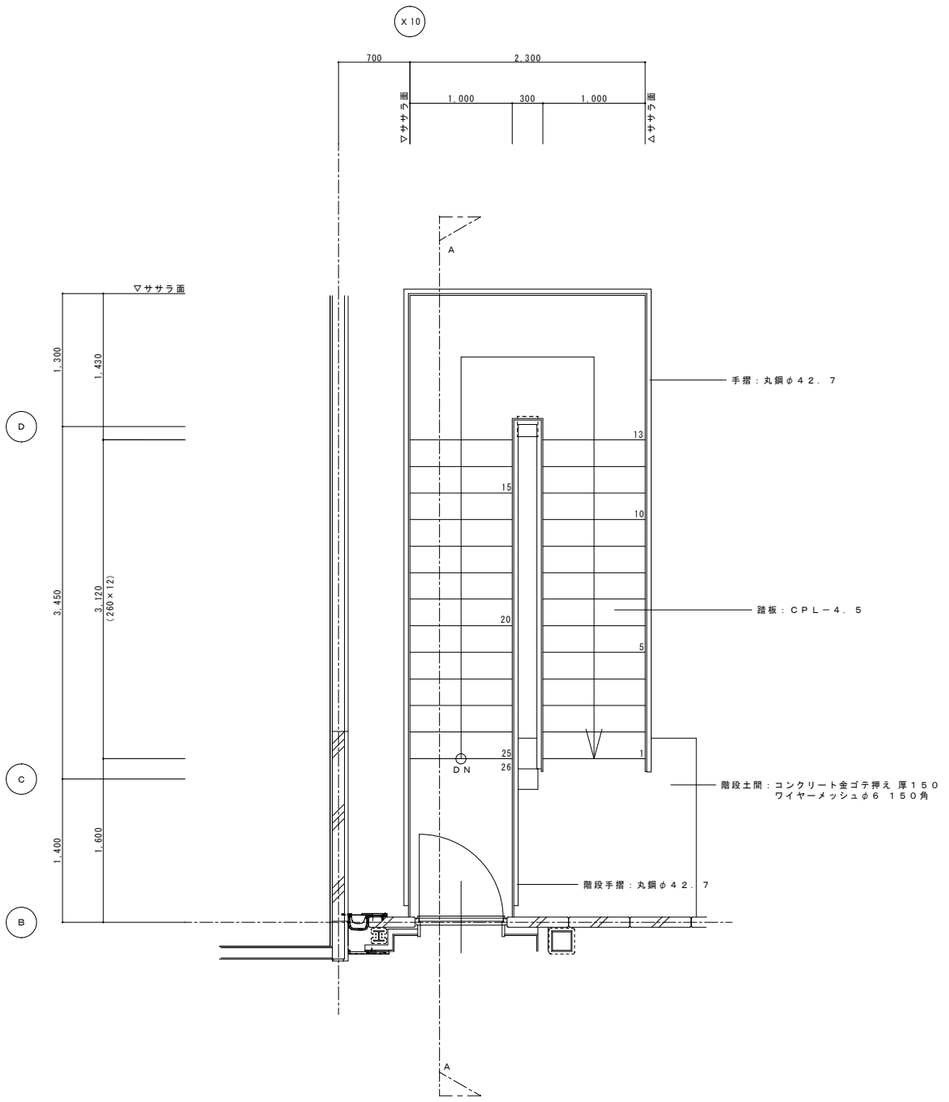




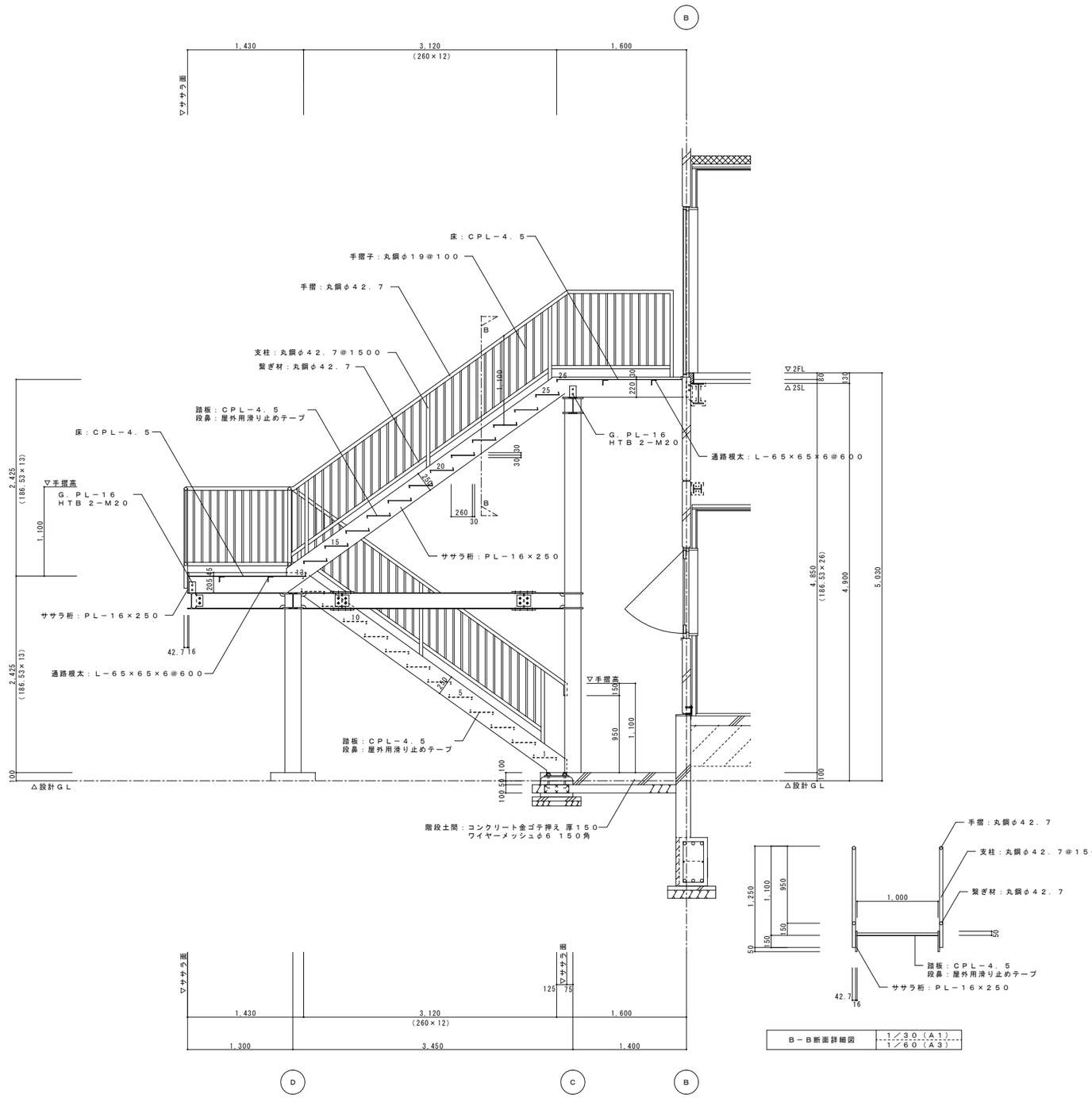
特記

工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	階段詳細図	縮尺 1/30（A1） 1/60（A3）	図面番号 A－40

承認	管理建築士	印
図面提出日		



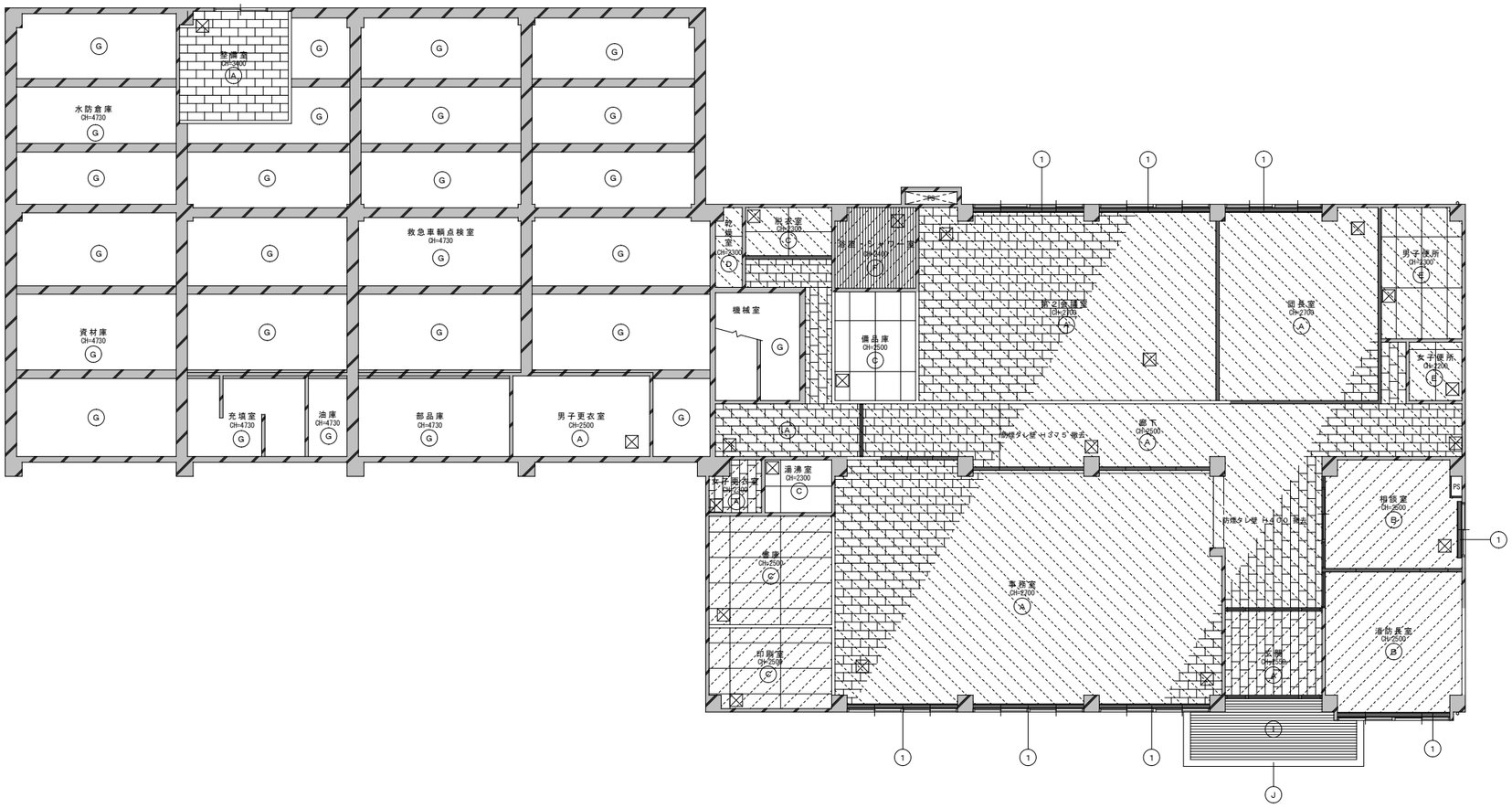
平面詳細図 | １／３０（Ａ１）１／６０（Ａ３）



Ａ－Ａ断面詳細図 | １／３０（Ａ１）１／６０（Ａ３）

Ｂ－Ｂ断面詳細図 | １／３０（Ａ１）１／６０（Ａ３）

特記	※屋外階段鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上げとする	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認	管理建築士 印
		図名	屋外階段詳細図	縮尺 １／３０（Ａ１）１／６０（Ａ３）	図面番号 Ａ－４１	図面提出日

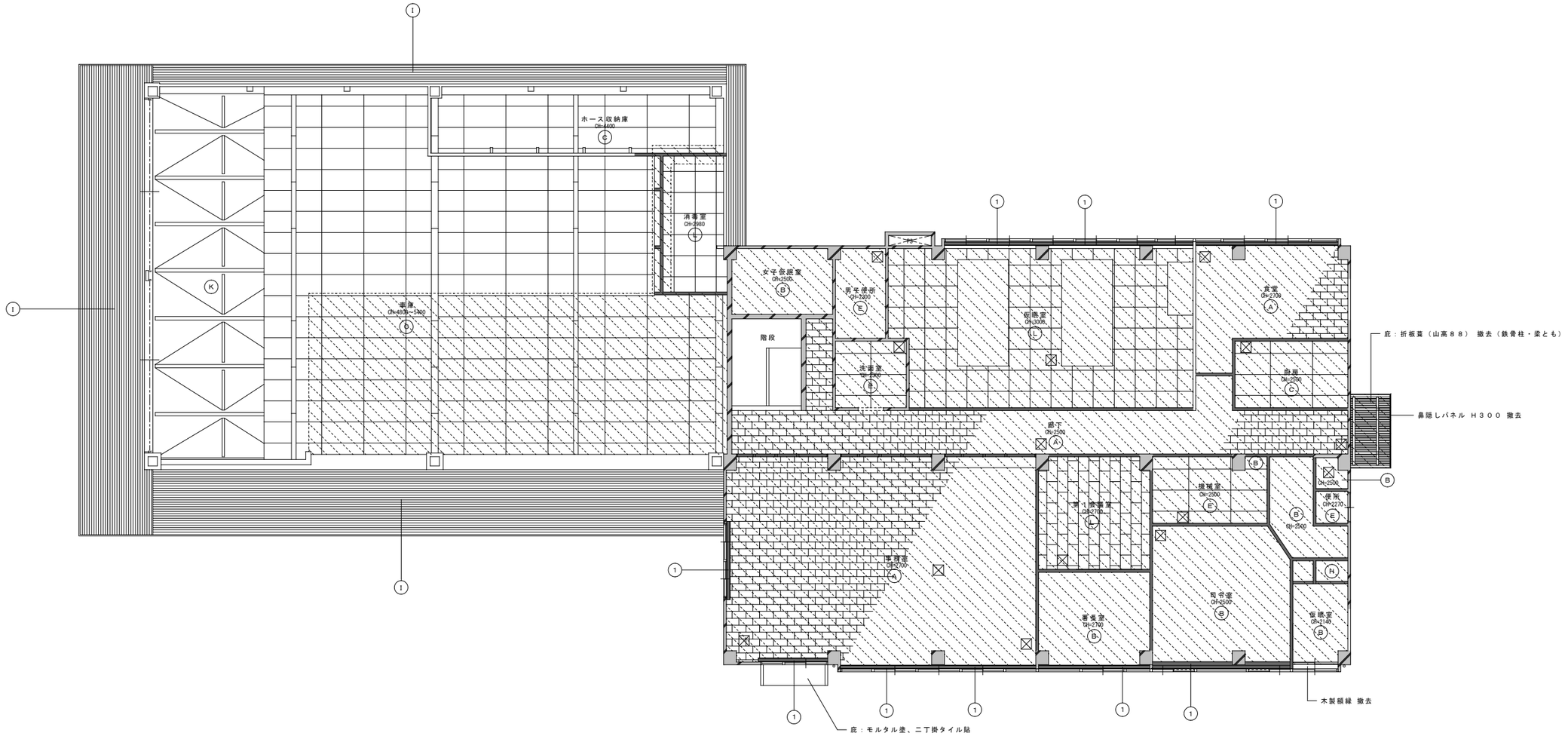


凡　例									
符　号	下　　地	仕　　上	廻　縁	符　号	下　　地	仕　　上	廻　縁	符　号	
Ⓐ	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９	ロックウール吸音板 厚９	塩ビ製	Ⓖ		コンクリート打放し		①	カーテンボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗 撤去
Ⓑ	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９	不燃ビニルクロス	塩ビ製	Ⓗ	ＬＧＳ	ラワンベニヤ 厚９	木製		
Ⓒ	ＬＧＳ	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗	塩ビ製	Ⓘ		アルミカラースパンドレル		☒	アルミ天井点検口 ４５０×４５０ 撤去 ※１階男子更衣室、１階整備室、１階備品庫は既存のまま
Ⓓ	ＬＧＳ	大平板 厚５、ＶＰ塗	塩ビ製	Ⓙ		アルミジュラクロン加工		■	間仕切壁撤去範囲・カーテンボックス撤去ヶ所を示す。
Ⓔ	ＬＧＳ	石膏ボード 厚９ ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）	塩ビ製 （女子便所のみ）	Ⓚ		鉄骨梁あらわし		▨	仕上撤去範囲を示す。
Ⓕ	ＬＧＳ	パスリブ	塩ビ製	Ⓛ	ＬＧＳ	化粧石膏ボード 厚９．５	塩ビ製	▨	仕上・下地撤去範囲を示す。

※アスベスト含有成形板（ロックウール吸音板）の処理は、散水などにより湿潤化し、てばらしとする。
作業中はシート等により囲うこと。やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
除去物については、粉塵防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、
丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル　2014.6（環境省水・大気環境局大気環境課）」を参考とする。

＜現況＞１階天井伏図	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承　認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞１階天井伏図	縮尺	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）	図面番号 Ａ－４２	図面提出日	

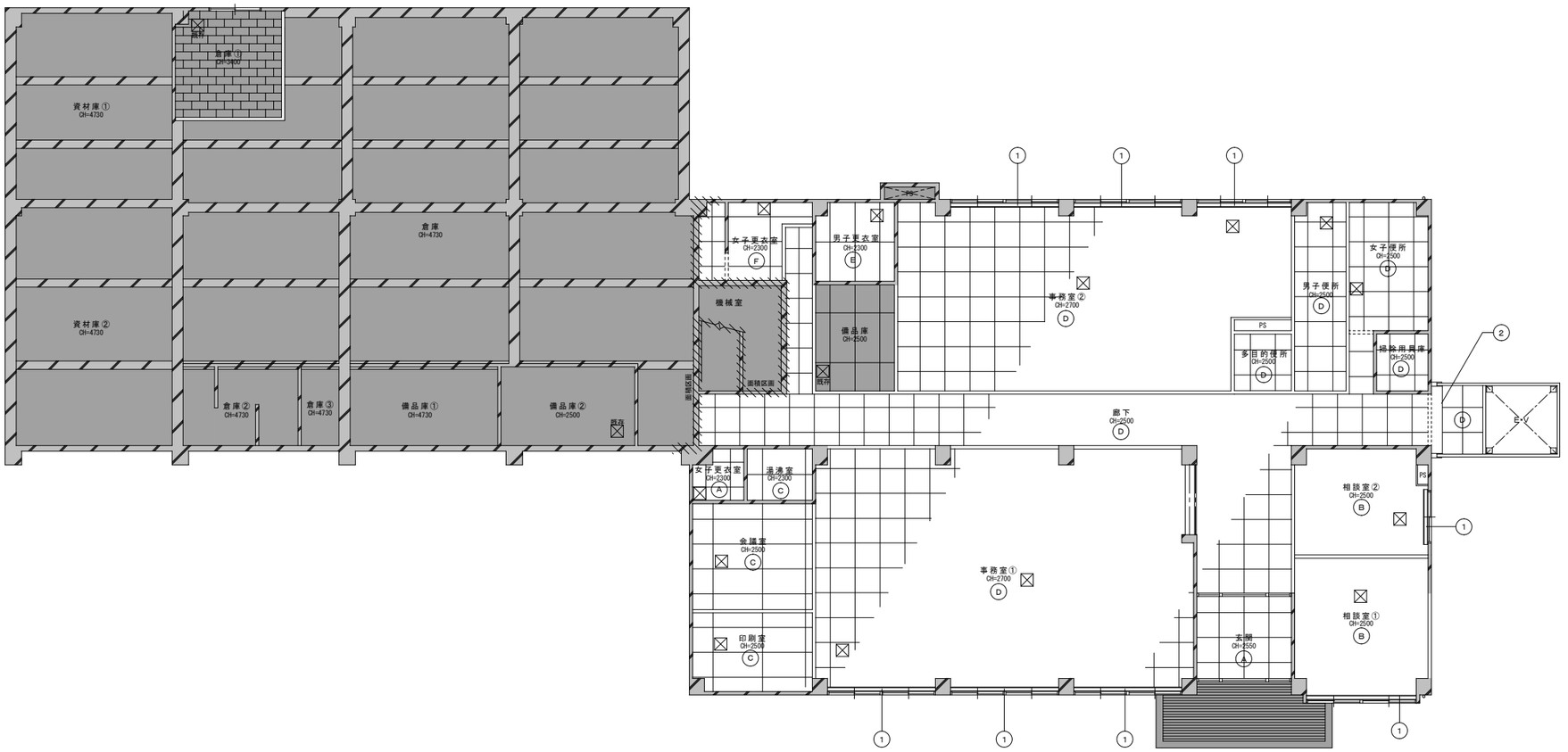


凡　例									
符　号	下　　地	仕　　上	廻　縁	符　号	下　　地	仕　　上	廻　縁	符　号	
Ⓐ	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９	ロックウール吸音板 厚９	塩ビ製	Ⓖ		コンクリート打放し		①	カーテンボックス：Ｗ１２０×Ｈ１５０ラワン 厚２４ ＯＳ塗
Ⓑ	ＬＧＳ、石膏ボード 厚９	不燃ビニルクロス	塩ビ製	Ⓗ	ＬＧＳ	ラワンベニヤ 厚９	木製		
Ⓒ	ＬＧＳ	石膏ボード 厚９、ＯＰ塗	塩ビ製	Ⓘ		アルミカラースパンドレル		☒	アルミ天井点検口 ４５０×４５０ 撤去
Ⓓ	ＬＧＳ	大平板 厚５、ＶＰ塗	塩ビ製	Ⓙ		アルミジュラクロン加工		■	間仕切壁撤去範囲・カーテンボックス撤去ヶ所を示す。
Ⓔ	ＬＧＳ	石膏ボード 厚９ ＥＰ吹付（ゆずはだ模様）	塩ビ製 （便所は無し）	Ⓚ		鉄骨梁あらわし		▨	仕上撤去範囲を示す。
Ⓕ	ＬＧＳ	パスリブ	塩ビ製	Ⓛ	ＬＧＳ	化粧石膏ボード 厚９．５	塩ビ製	▨	仕上・下地撤去範囲を示す。

※アスベスト含有成形板（ロックウール吸音板）の処理は、散水などにより湿潤化し、てばらしとする。
作業中はシート等により囲うこと。やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
除去物については、粉塵防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、
丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。
「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル　2014.6（環境省水・大気環境局大気環境課）」を参考とする。

＜現況＞２階天井伏図	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞２階天井伏図	縮尺	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）	図面番号 Ａ－４３		
						図面提出日		



凡　例									
符　号	下　　地	仕　　上	廻　縁	符　号	下　　地	仕　　上	廻　縁	符　号	
Ⓐ	下地調整	化粧石膏ボード 厚９．５	塩ビ製	Ⓖ	ＬＧＳ	不燃化粧石膏ボード 厚９．５		①	木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共）
Ⓑ	下地調整	ビニルクロス	塩ビ製	Ⓗ	ＬＧＳ	不燃ビニルクロス		②	ＥＸＰ．Ｊ（※仕様は部分詳細図参照）
Ⓒ	現況のまま	下地調整、ＥＰ塗	現況のまま					☒	アルミ天井点検口 ４５０×４５０
Ⓓ	ＬＧＳ	化粧石膏ボード 厚９．５	塩ビ製					■	既存のまま範囲を示す。
Ⓔ	下地調整	石膏ボード 厚９．５、ＥＰ塗	塩ビ製					※点検口の位置・数量については現場打合せの上、決定すること。	
Ⓕ	ＬＧＳ	石膏ボード 厚９．５、ＥＰ塗	塩ビ製						

＜改修＞１階天井伏図　１／１００（Ａ１）　１／２００（Ａ３）

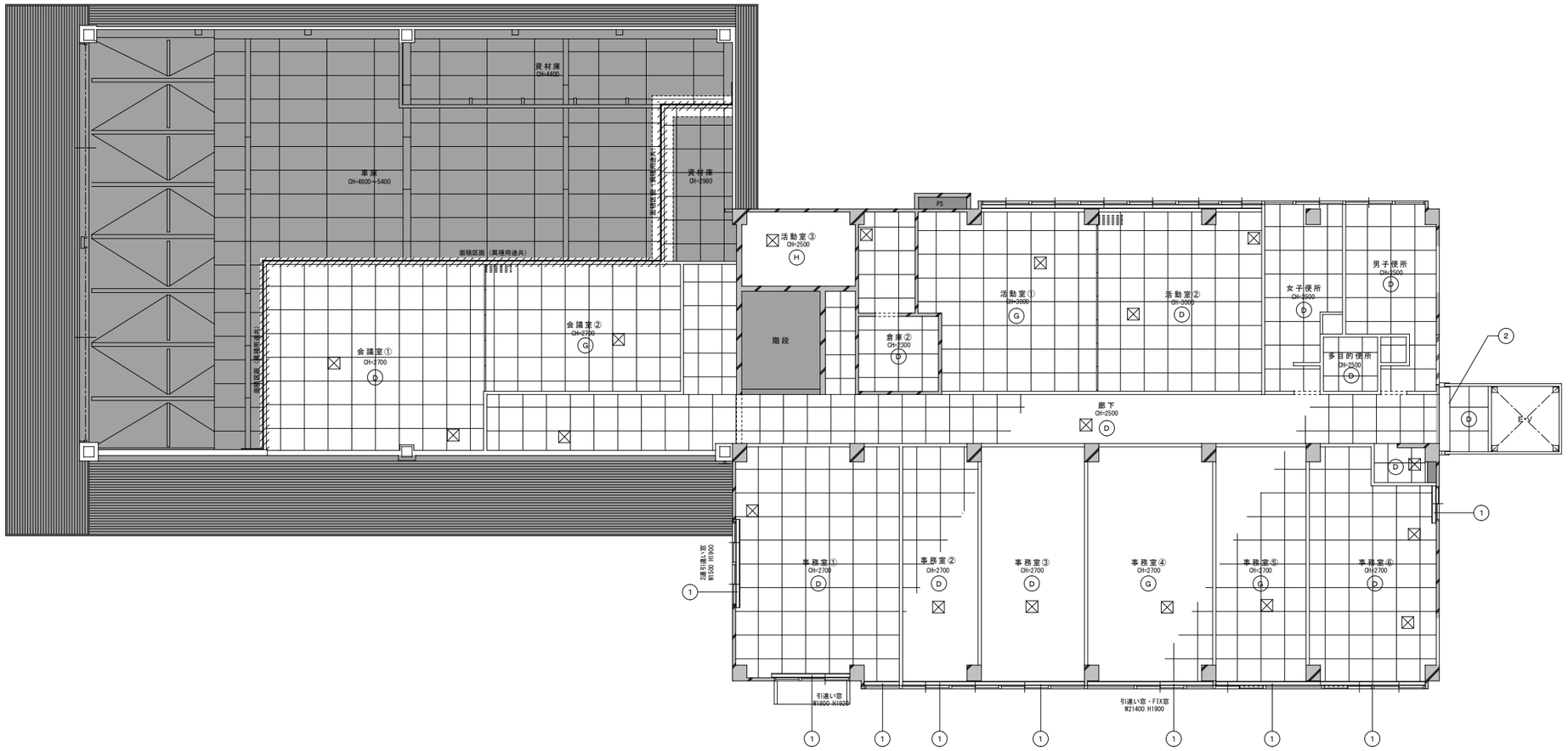
特記

工事名　（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）

図名　＜改修＞１階天井伏図　縮尺　１／１００（Ａ１）　１／２００（Ａ３）　図面番号　Ａ－４４

承認　管理建築士　印

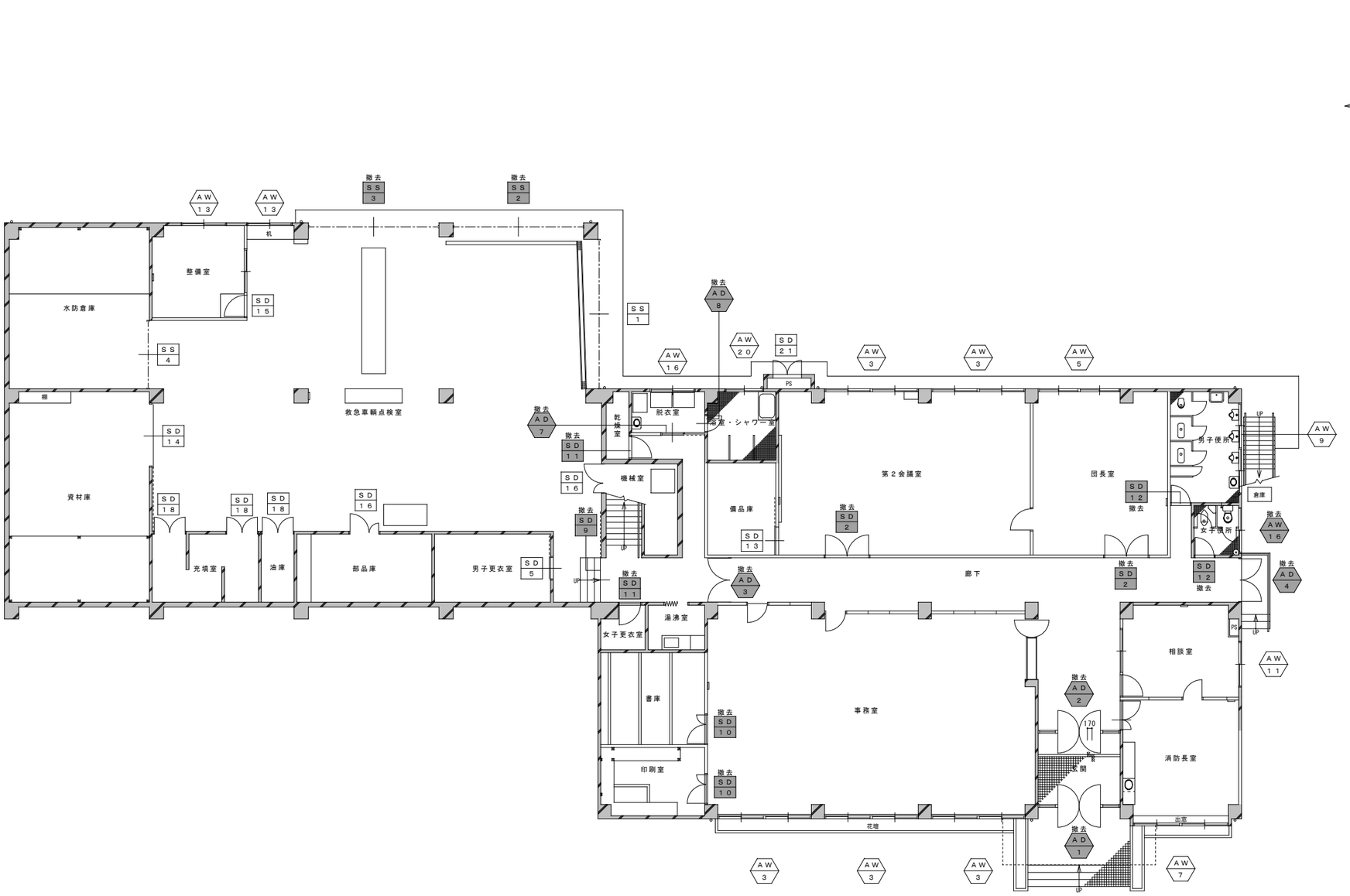
図面提出日



凡　例									
符　号	下　　地	仕　　上	廻　縁	符　号	下　　地	仕　　上	廻　縁	符　号	
Ⓐ	下地調整	化粧石膏ボード 厚９．５	塩ビ製	Ⓖ	ＬＧＳ	不燃化粧石膏ボード 厚９．５	塩ビ製	①	木製ブラインドボックス ＳＯＰ（アルミブラインド共）
Ⓑ	下地調整	ビニルクロス	塩ビ製	Ⓗ	ＬＧＳ	不燃ビニルクロス	塩ビ製	②	ＥＸＰ．Ｊ（※仕様は部分詳細図参照）
Ⓒ	現況のまま	下地調整、ＥＰ塗	現況のまま					☒	アルミ天井点検口 ４５０×４５０
Ⓓ	ＬＧＳ	化粧石膏ボード 厚９．５	塩ビ製					■	既存のまま範囲を示す。
Ⓔ	下地調整	石膏ボード 厚９．５、ＥＰ塗	塩ビ製						※点検口の位置・数量については現場打合せの上、決定すること。 ※防火区画は屋根まで立上げの上、屋根との隙間はロックウール充填とする。
Ⓕ	ＬＧＳ	石膏ボード 厚９．５、ＥＰ塗	塩ビ製						※防火区画を貫通する配管については不燃材料を使用し、隙間を不燃材料で埋める。 ※新設防火区画部分については、一部既設天井仕上撤去の上、下地補強および仕上補修が必要。

＜改修＞２階天井伏図	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）

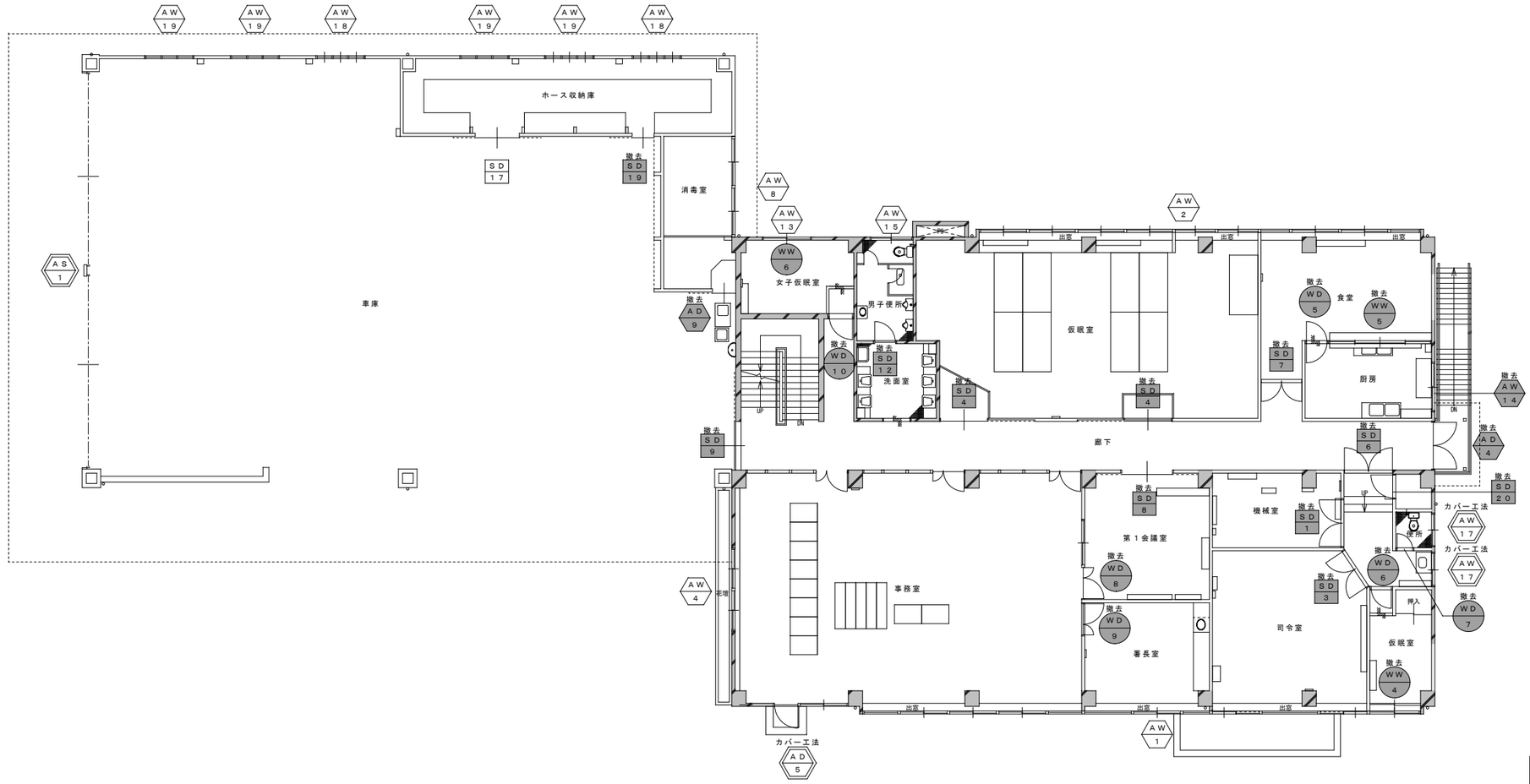
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜改修＞２階天井伏図	縮尺	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）	図面番号 Ａ－４５	図面提出日	



凡　　例	
	アルミ建具を示す。
	スチール建具を示す。
	木製建具を示す。
特	特定防火設備を示す。
	撤去建具を示す。
二重線	改修・新設建具を示す。 ※一部枠残し撤去（カバー工法）

＜現況＞１階建具平面図	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）

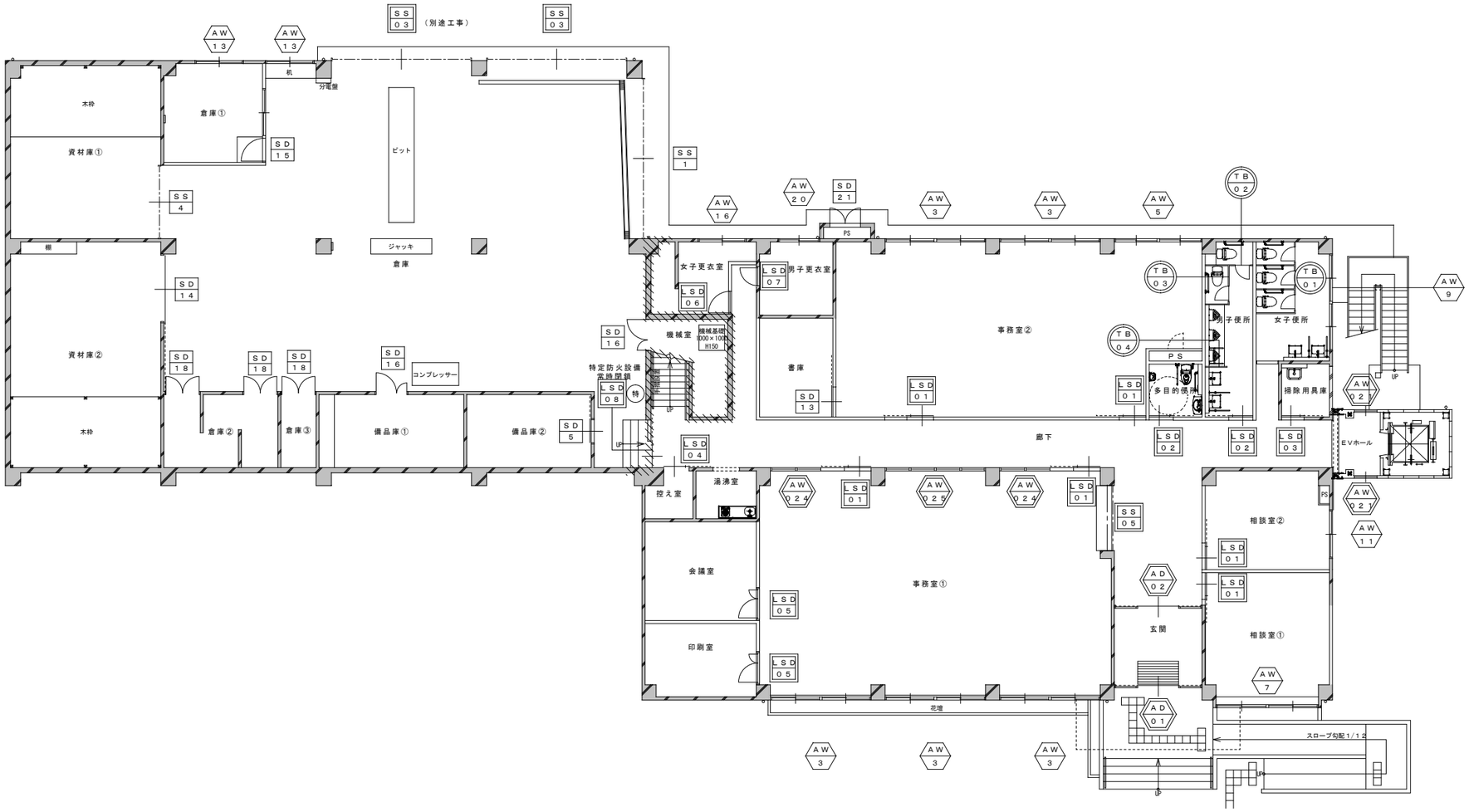
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認 / 管理建築士 / 印
		図名	＜現況＞１階建具平面図	縮尺 １／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）	図面番号 Ａ－４６
					図面提出日



＜現況＞２階建具平面図	1／100（A1） 1／200（A3）

凡　　例	
	アルミ建具を示す。
	スチール建具を示す。
	木製建具を示す。
特	特定防火設備を示す。
	撤去建具を示す。
一重線	改修・新設建具を示す。 ※一部枠残し撤去（カバー工法）

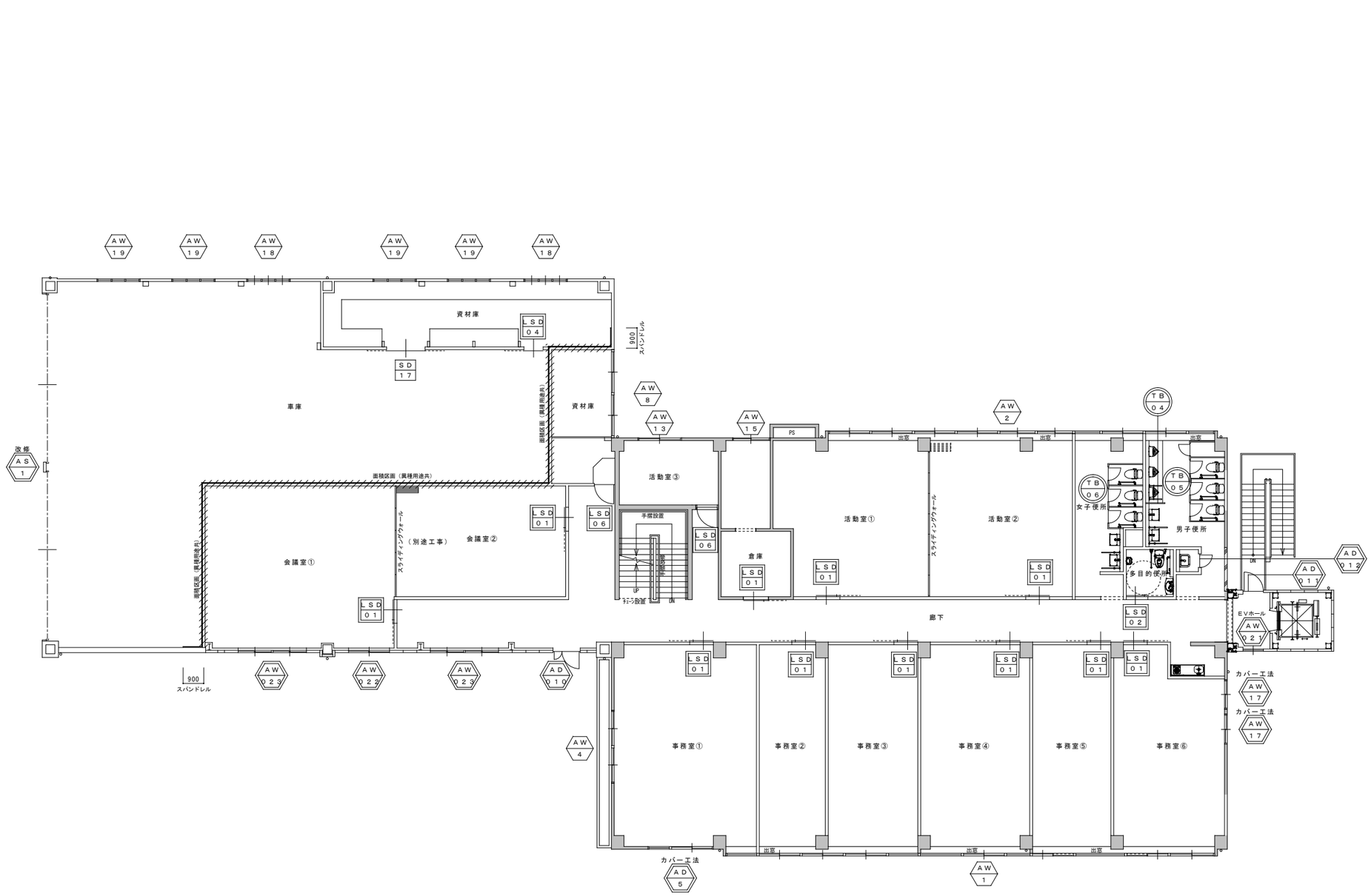
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認		管理建築士	印
		図名	＜現況＞２階建具平面図	縮尺	1／100（A1） 1／200（A3）	図面番号	A－47	図面提出日			



＜改修＞１階建具平面図	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）

凡　　例	
	アルミ建具を示す。
	スチール建具を示す。
	木製建具を示す。
特	特定防火設備を示す。
二重線	改修・新設建具を示す。 ※一部枠残し撤去（カバー工法）

特記	※倉庫部分のピット、ジャッキ、コンプレッサーについては既存残置とするが、実際に使用することはない。	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認		管理建築士	印
		図名	＜改修＞１階建具平面図	縮尺	１／１００（Ａ１） １／２００（Ａ３）	図面番号	Ａ－４８	図面提出日	

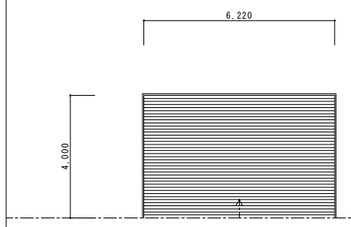
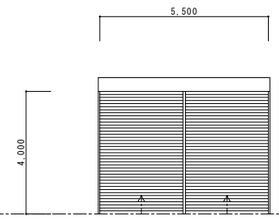
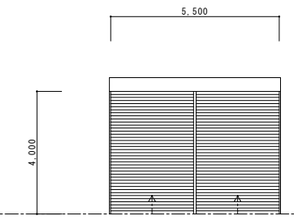
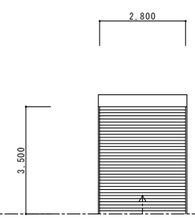
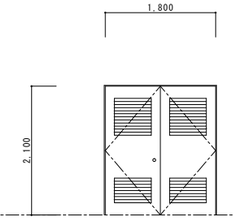


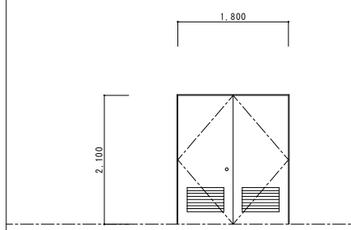
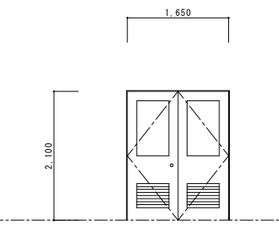
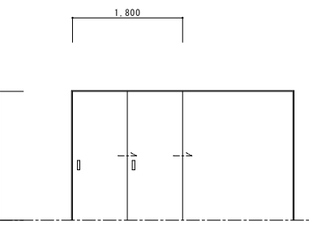
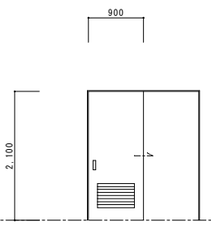
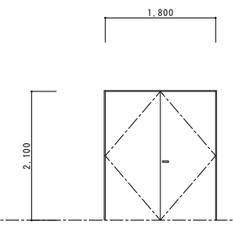
＜改修＞２階建具平面図	1／100（A1） 1／200（A3）

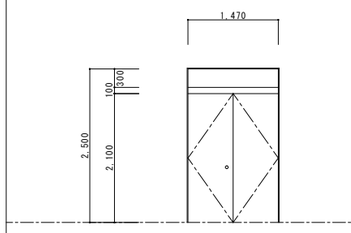
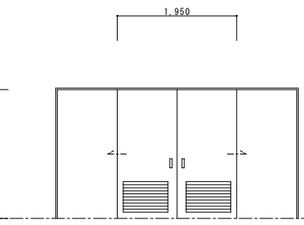
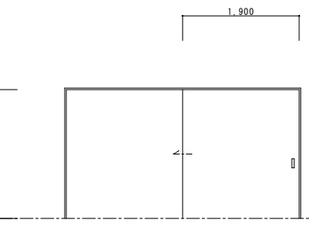
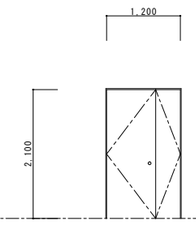
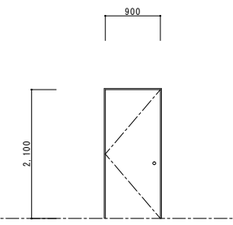
凡　例	
	アルミ建具を示す。
	スチール建具を示す。
	木製建具を示す。
特	特定防火設備を示す。
一重線	改修・新設建具を示す。 ※一部枠残し撤去（カバー工法）

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜改修＞２階建具平面図	縮尺	1／100（A1） 1／200（A3）	図面番号 A－49	図面提出日	

建　具　表

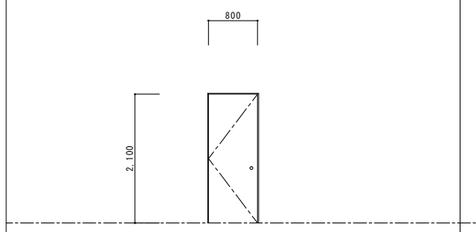
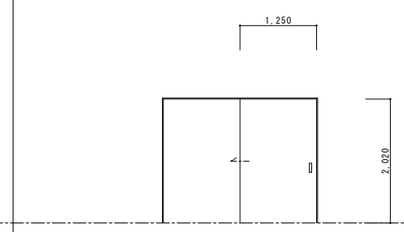
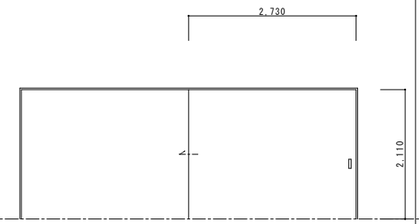
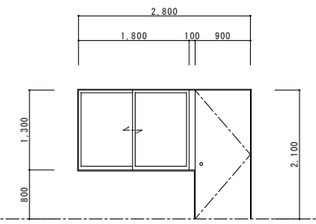
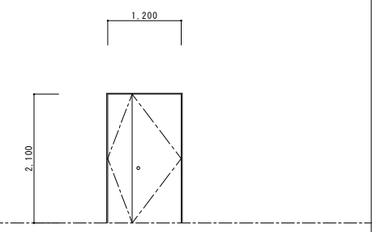
記号・数量	SS-1 救急車輌点検室（改修後：1階倉庫） 1ヶ所 1／100	SS-2 撤去 救急車輌点検室 1ヶ所 1／100	SS-3 撤去 救急車輌点検室 1ヶ所 1／100	SS-4 水防倉庫（改修後：1階資材庫①） 1ヶ所 1／100	SD-1 撤去 2階機械室 1ヶ所 1／50
姿図					
建具	スチール電動式シャッター 見込 －	スチール軽量バランスシャッター 見込 －	スチール軽量バランスシャッター 見込 －	スチール軽量バランスシャッター 見込 －	スチール両開きドア 見込 86
仕上	スラット 厚1．6	スラット 厚0．8	スラット 厚0．8	スラット 厚0．8	焼付塗装
硝子	－	－	－	－	－
金物	ガイドレール、座板、電動開閉機、角ケース、光電センサー スチール三方枠・・・等付属金物一式	ガイドレール、座板、角ケース、中柱 スチール三方枠・・・等付属金物一式	ガイドレール、座板、角ケース、中柱 スチール三方枠・・・等付属金物一式	ガイドレール、座板、角ケース スチール三方枠・・・等付属金物一式	握り玉、フランス落とし、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン スチールガラリ ＯＰ塗・・・等付属金物一式
備考					

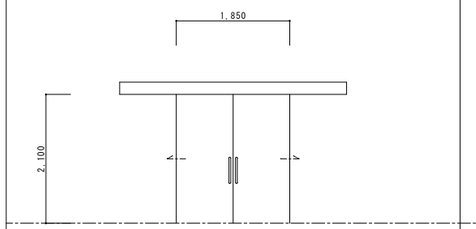
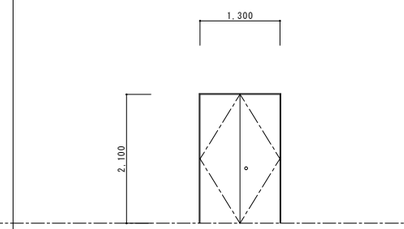
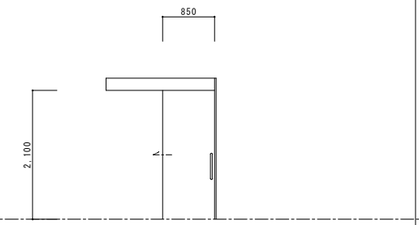
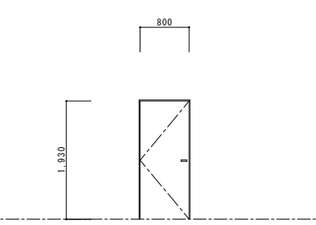
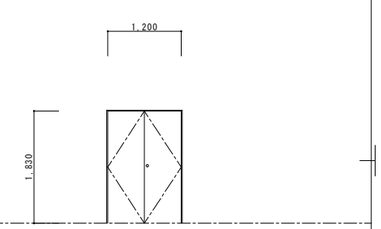
記号・数量	SD-2 撤去 第2会議室、団長室 2ヶ所 1／50	SD-3 撤去 司令室 1ヶ所 1／50	SD-4 撤去 仮眠室 2ヶ所 1／50	SD-5 男子更衣室（改修後：備品庫②） 1ヶ所 1／50	SD-6 撤去 2階廊下 1ヶ所 1／50
姿図					
建具	スチール両開きドア 見込 86	スチール両開きドア 見込 86	スチール2枚引きドア 見込 86	スチール片引きドア 見込 86	スチール両開きドア 見込 86
仕上	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装
硝子	－	トーメイ 厚4	－	－	－
金物	握り玉、フランス落とし、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン スチールガラリ ＯＰ塗・・・等付属金物一式	握り玉、フランス落とし、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン スチールガラリ ＯＰ塗・・・等付属金物一式	引手、戸車、レール、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	引手、戸車、レール、シリンダー錠、サムターン スチールガラリ ＯＰ塗・・・等付属金物一式	レバーハンドル、フランス落とし、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式
備考					

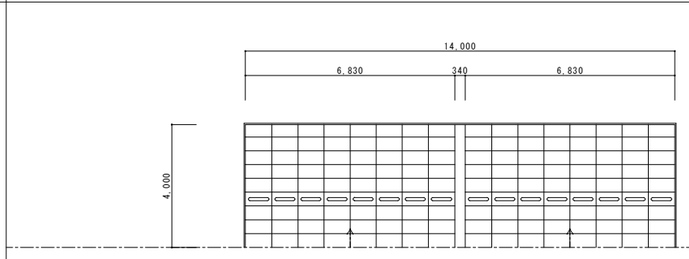
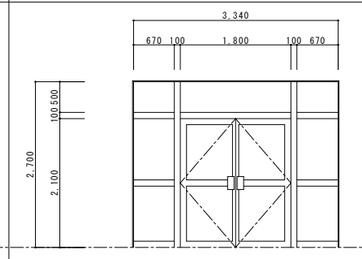
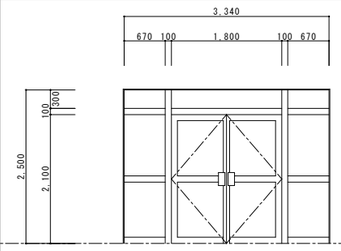
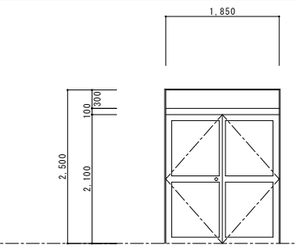
記号・数量	SD-7 撤去 食堂 1ヶ所 1／50	SD-8 撤去 第1会議室 1ヶ所 1／50	SD-9 撤去 救急車輌点検室、車庫 2ヶ所 1／50	SD-10 撤去 書庫、印刷室 2ヶ所 1／50	SD-11 撤去 乾燥室、女子更衣室 2ヶ所 1／50
姿図					
建具	スチールランマＦＩＸ付両開きドア 見込 86	スチール引分けドア 見込 86	スチール片引きドア 見込 86	スチール親子開きドア 見込 86	スチール片開きドア 見込 86
仕上	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装
硝子	トーメイ 厚3	－	－	－	－
金物	握り玉、フランス落とし、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	引手、レール、戸車、シリンダー錠、サムターン スチールガラリ ＯＰ塗・・・等付属金物一式	引手、レール、戸車、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	握り玉、フランス落とし、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式
備考					

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞建具表1	縮尺 1/100・1/50（A1） 1/200・1/100（A3） 図面番号 A－50	図面提出日		

建　具　表

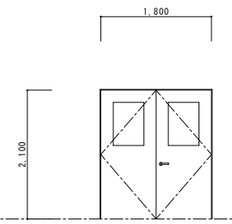
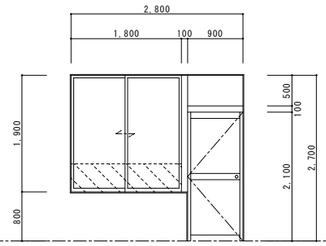
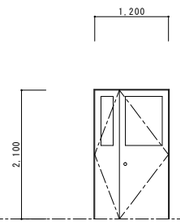
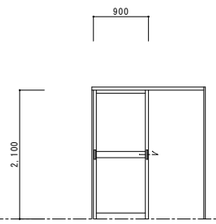
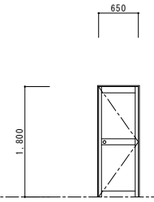
記号・数量	SD 12 撤去　1階・2階男子便所、1階女子便所　3ヶ所　1／50	SD 13　備品庫（改修後：書庫）　1ヶ所　1／50	SD 14　資材庫（改修後：1階資材庫②）　1ヶ所　1／50	SD 15　整備室（改修後：1階倉庫①）　1ヶ所　1／50	SD 16　1階機械室、部品庫（改修後：備品庫①）　2ヶ所　1／50
姿図					
建具	スチール片開きドア　見込　86	スチール片引きドア　見込　86	スチール片引きドア　見込　86	スチール袖引違い窓付片開きドア　見込　86	スチール親子開きドア　見込　86
仕上	焼付塗装	焼付塗装	ＯＰ塗	ＯＰ塗	ＯＰ塗
硝子	－	－	－	トーメイ　厚3	－
金物	握り玉、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	引手、戸車、レール、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	引手、戸車、レール、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン、クレセント ・・・等付属金物一式	握り玉、フランス落とし、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式
備考					

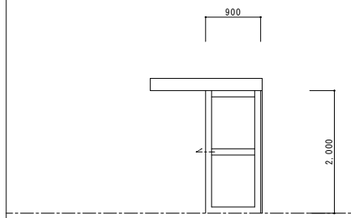
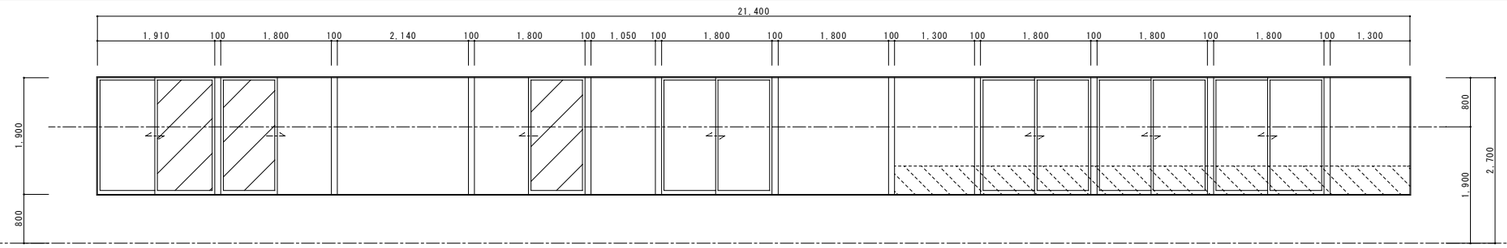
記号・数量	SD 17　ホース収納庫（改修後：2階資材庫）　1ヶ所　1／50	SD 18　充填室（改修後：1階倉庫②） 油庫（改修後：1階倉庫③）　3ヶ所　1／50	SD 19 撤去　ホース収納庫　1ヶ所　1／50	SD 20 撤去　ＰＳ　1ヶ所　1／50	SD 21　ＰＳ　1ヶ所　1／50
姿図					
建具	スチール引分けハンガードア　見込　86	スチール両開きドア　見込　86	スチール片引きハンガードア　見込　86	スチール片開きドア　見込　86	スチール両開きドア　見込　86
仕上	焼付塗装	ＯＰ塗	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装
硝子	－	－	－	－	－
金物	引手、ハンガーレール、ハンガーローラー、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック、フランス落とし、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	引手、ハンガーレール、ハンガーローラー、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック、フランス落とし、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式
備考					

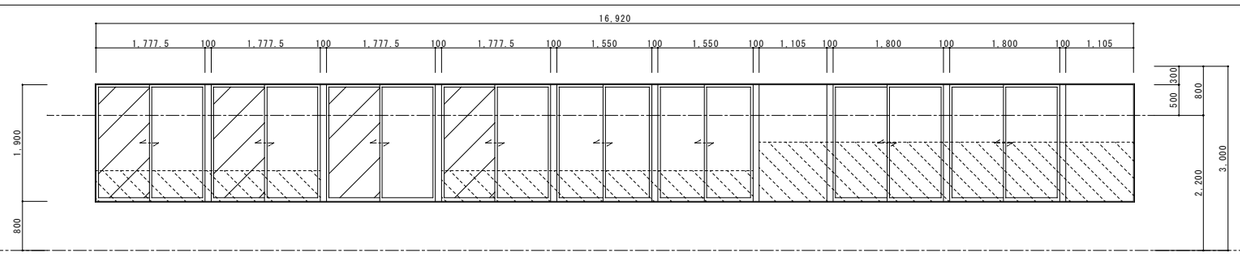
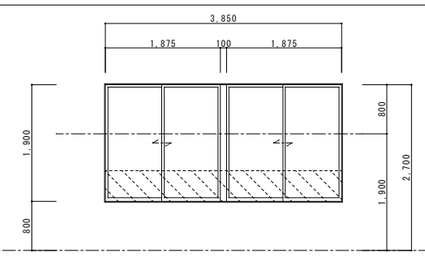
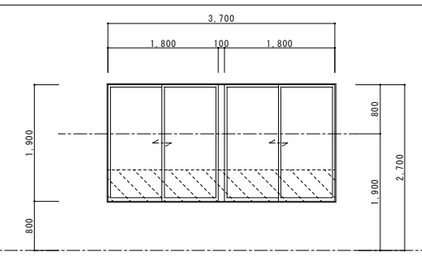
記号・数量	AS 1 改修　車庫　1ヶ所　1／100	AD 1 撤去　玄関　1ヶ所　1／50	AD 2 撤去　玄関　1ヶ所　1／50	AD 3 撤去　1階廊下　1ヶ所　1／50
姿図				
建具	アルミ手動オーバースライダー　見込　－	アルミランマＦＩＸ袖ＦＩＸ付両開きドア　見込　70	アルミランマＦＩＸ袖ＦＩＸ付両開きドア　見込　70	アルミランマＦＩＸ付両開きドア　見込　70
仕上	アルミカラー 下地調整の上、ＤＰ塗（２級）（外側のみ）	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー
硝子	明かり窓：アクリル板　厚3	トーメイ　厚3	トーメイ　厚3	トーメイ　厚3
金物	移動中柱、ガイドレール、ヘッドルーム Ｈ600 ・・・等付属金物一式	フロアヒンジ、押板、フランス落とし、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	フロアヒンジ、押板、フランス落とし、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式
備考				

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞建具表2	縮尺	1/100・1/50（A1） 1/200・1/100（A3）	図面番号	A－51	図面提出日	

建　具　表

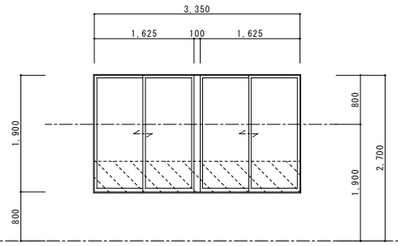
記号・数量	AD 4 撤去　1階・2階廊下　2ヶ所　1／50	AD 5 改修　2階事務室（改修後：2階事務室①）　1ヶ所　1／50	AD 6　RF階段　1ヶ所　1／50	AD 7 撤去　脱衣室　1ヶ所　1／50	AD 8 撤去　脱衣室　1ヶ所　1／50
姿図					
建具	アルミ両開きドア　見込　70	アルミランマＦＩＸ袖引違い窓付片開きドア　見込　70	アルミ親子開きドア　見込　70	アルミ片引きドア　見込　70	アルミ片開きドア　見込　70
仕上	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー
硝子	トーメイ　厚3	片開きドア上部・ランマ：トーメイ　厚3　下部：線入型板　厚6．8 引違い窓：トーメイ　厚5	トーメイ　厚3	型板　厚4 腰：アルミパネル	型板　厚4
金物	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン、クレセント ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン、フランス落とし ・・・等付属金物一式	引手、引戸錠、戸車、レール ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック ・・・等付属金物一式
備考		枠残し撤去（カバー工法） フィルム貼を示す。			

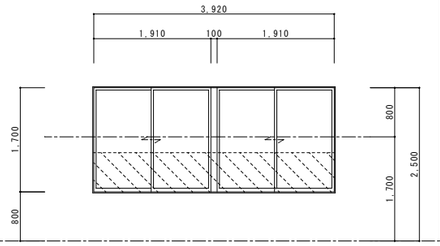
記号・数量	AD 9 撤去　消毒室　1ヶ所　1／50	AW 1　仮眠室、司令室、署長室、事務室（改修後：2階事務室①～⑥）　1ヶ所　1／50
姿図		
建具	アルミ片引きハンガードア　見込　70	アルミＦＩＸ窓　アルミ引違い窓　アルミ片引き窓　見込　70
仕上	アルミカラー	アルミカラー
硝子	－	トーメイ　厚5
金物	ハンガーレール、ハンガーローラー、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	クレセント・・・等付属金物一式
備考		網戸を示す。 フィルム貼を示す。

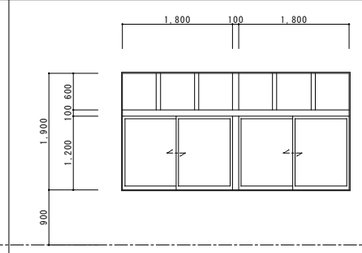
記号・数量	AW 2　仮眠室、食堂（改修後：2階活動室①、2階活動室②、2階女子便所、2階男子便所）　1ヶ所　1／50	AW 3　1階事務室、第2会議室（改修後：1階事務室①、1階事務室②）　5ヶ所　1／50	AW 4　2階事務室（改修後：2階事務室①）　1ヶ所　1／50
姿図			
建具	アルミＦＩＸ窓　アルミ引違い窓　見込　70	アルミ2連引違い窓　見込　70	アルミ2連引違い窓　見込　70
仕上	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー
硝子	トーメイ　厚5	トーメイ　厚5	網入トーメイ　厚6．8
金物	クレセント・・・等付属金物一式	クレセント・・・等付属金物一式	クレセント・・・等付属金物一式
備考	網戸を示す。 フィルム貼を示す。	フィルム貼を示す。（第2会議室のみ）	フィルム貼を示す。

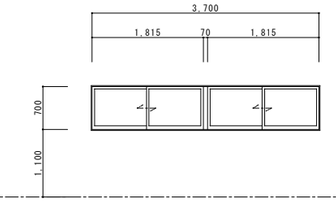
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞建具表3	縮尺 1／50（A1） 1／100（A3）	図面番号 A－52	図面提出日	

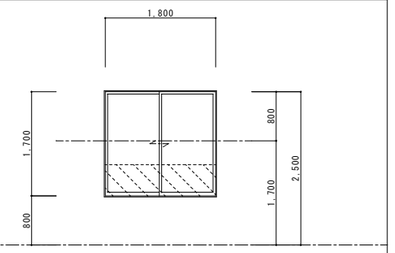
建　具　表

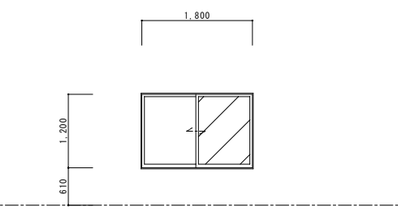
記号・数量	AW5	団長室（改修後：１階事務室②）	１ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ２連引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	トーメイ　厚５			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考	フィルム貼を示す。			

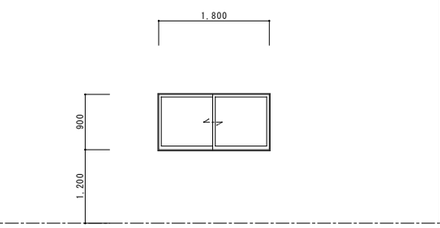
記号・数量	AW7	消防長室（改修後：相談室①）	１ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ２連引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	トーメイ　厚５			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考	フィルム貼を示す。			

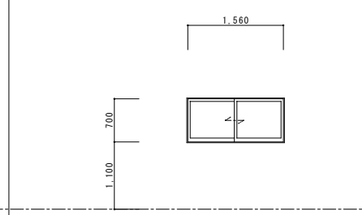
記号・数量	AW8	消毒室（改修後：２階資材庫）	１ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミランマＦＩＸ付２連引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	トーメイ　厚５			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考				

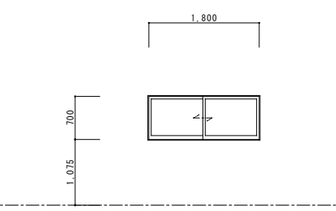
記号・数量	AW9	１階男子便所（改修後：１階女子便所）	１ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ２連引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	型板　厚４			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考				

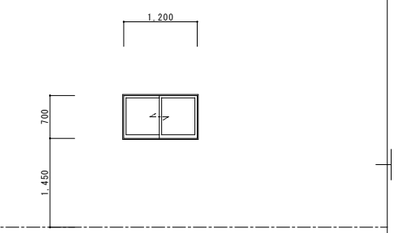
記号・数量	AW11	相談室（改修後：相談室②）	１ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	トーメイ　厚５			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考	フィルム貼を示す。			

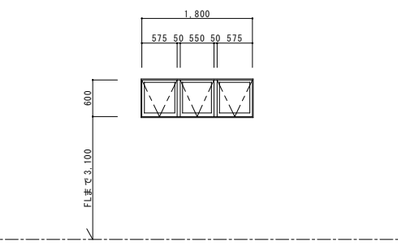
記号・数量	AW13	救急車輌点検室、整備室、女子仮眠室 （改修後：１階倉庫、１階倉庫①、活動室③）	３ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	トーメイ　厚５			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考	網戸を示す。 救急車輌点検室・整備室の窓下端は救急車輌点検室ＦＬ＋２２５０とする			

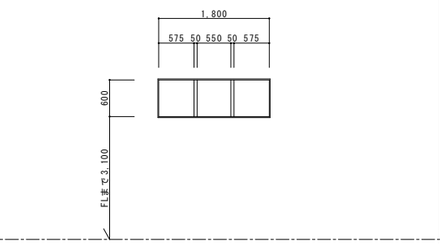
記号・数量	AW14	撤去　　厨房	１ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	トーメイ　厚３			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考				

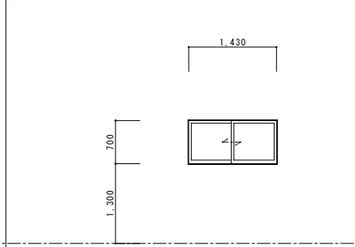
記号・数量	AW15	２階男子便所（改修後：２階倉庫）	１ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	網入型板　厚６．８			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考				

記号・数量	AW16 撤去	脱衣室、１階女子便所 （改修後：男子更衣室、掃除用具庫）	２ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	型板　厚４			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考	※撤去は女子便所のみ ※脱衣室はＦＬ＋１２００			

記号・数量	AW17 改修	司令室前室、便所（改修後：事務室⑥）	２ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	型板　厚４			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考	枠残し撤去（カバー工法） ※便所はＦＬ＋１５１５			

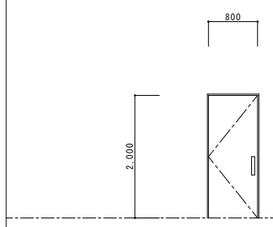
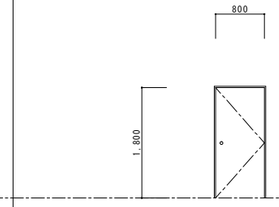
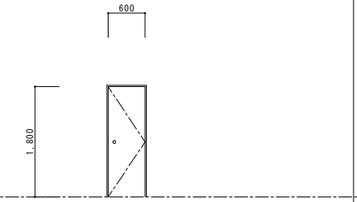
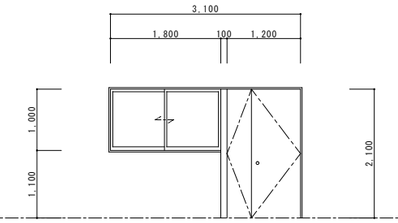
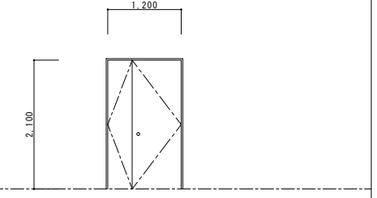
記号・数量	AW18	車庫、ホース収納庫 （改修後：車庫、２階資材庫）	２ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ３連外倒し窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	車庫：網入トーメイ　厚６．８ ホース収納庫：トーメイ　厚３			
金物	オペレーターハンドル・・・等付属金物一式			
備考				

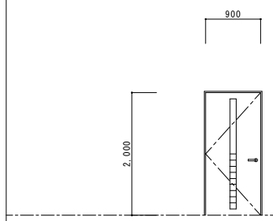
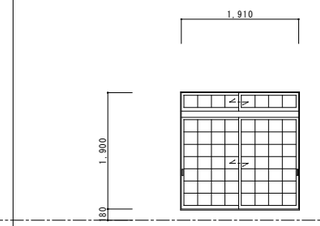
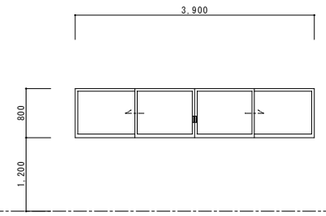
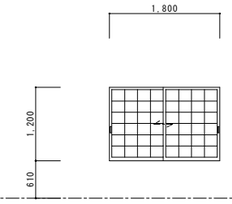
記号・数量	AW19	車庫、ホース収納庫 （改修後：車庫、２階資材庫）	４ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ３連ＦＩＸ窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	車庫：網入トーメイ　厚６．８ ホース収納庫：トーメイ　厚３			
金物	付属金物一式			
備考				

記号・数量	AW20	浴室・シャワー室（改修後：男子更衣室）	１ヶ所	１／５０
姿図				
建具	アルミ引違い窓	見込	７０	
仕上	アルミカラー			
硝子	網入型板　厚６．８			
金物	クレセント・・・等付属金物一式			
備考				

特記					
	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認	管理建築士　印
	図名	＜現況＞建具表４	縮尺 １／５０（A1） １／１００（A3）	図面番号 Ａ－５３	図面提出日

建　具　表

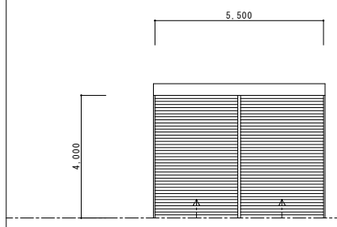
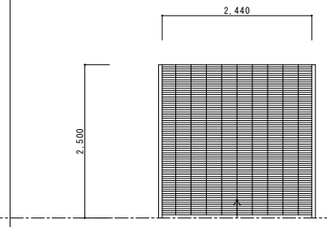
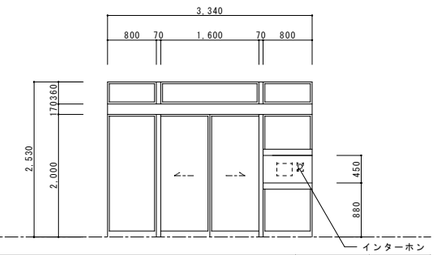
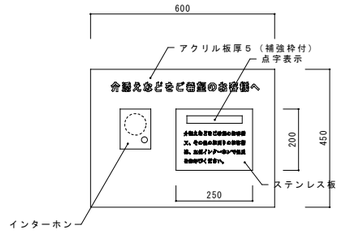
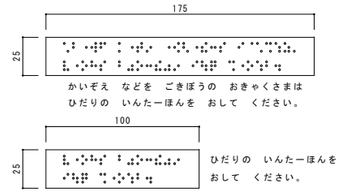
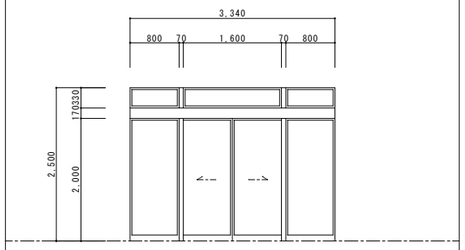
記号・数量	WD 5 撤去　食堂　1ヶ所　1／50	WD 6 撤去　仮眠室　1ヶ所　1／50	WD 7 撤去　便所　1ヶ所　1／50	WD 8 撤去　第１会議室　1ヶ所　1／50	WD 9 署長室　1ヶ所　1／50
姿図					
建具	木製スイングドア　見込　25	木製片開きドア　見込　25	木製片開きドア　見込　25	木製袖引違い付親子開きドア　見込　25	木製親子開きドア　見込　25
仕上	化粧合板	化粧合板	化粧合板	化粧合板	化粧合板
硝子	－	－	－	トーメイ　厚３	－
金物	押板、丁番・・・等付属金物一式	握り玉、丁番・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、サムターン・・・等付属金物一式	引手、握り玉、丁番、ドアチェック、フランス落とし ・・・等付属金物一式	握り玉、丁番、ドアチェック、フランス落とし ・・・等付属金物一式
備考					

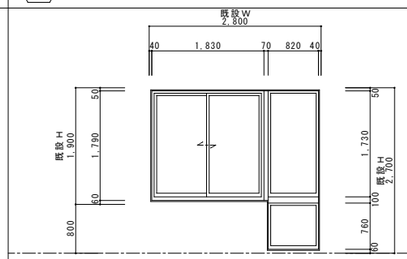
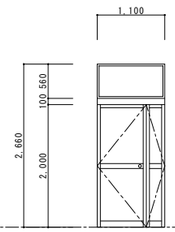
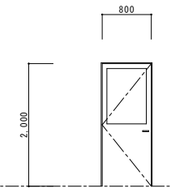
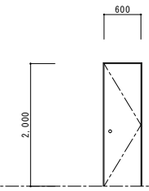
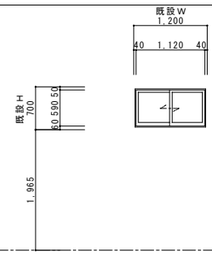
記号・数量	WD 10 撤去　女子仮眠室　1ヶ所　1／50	WW 4 撤去　仮眠室　1ヶ所　1／50	WW 5 撤去　食堂　1ヶ所　1／50	WW 6 撤去　女子仮眠室　1ヶ所　1／50	
姿図					
建具	木製片開きドア　見込　25	木製ランマ引違い付引違い障子　見込　30	木製袖ＦＩＸ付引分け窓　見込　25	木製引違い障子　見込　25	
仕上	化粧合板	障子紙		障子紙	
硝子	すりガラス　厚３	－	トーメイ　厚３	－	
金物	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式	引手・・・等付属金物一式	付属金物一式	引手・・・等付属金物一式	
備考					

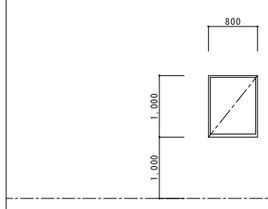
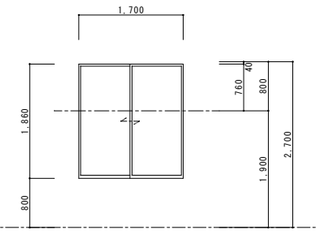
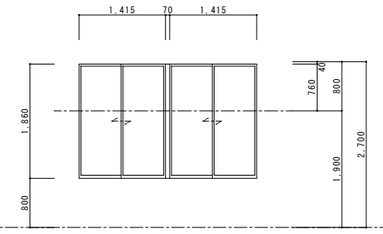
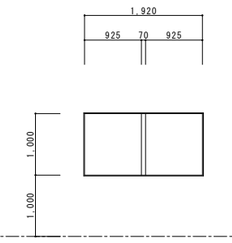
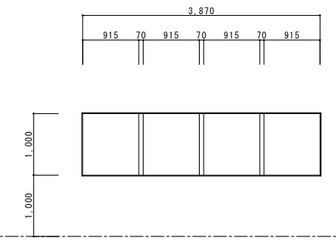
記号・数量					
姿図					
建具					
仕上					
硝子					
金物					
備考					

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認		管理建築士	印
		図名	＜現況＞建具表５	縮尺	1／50（A1） 1／100（A3）	図番号	A－54	図面提出日	

建　具　表

記号・数量	ＳＳ０３　１階倉庫　２ヶ所　１／１００			ＳＳ０５　１階廊下　１ヶ所　１／５０			ＡＤ０１　玄関　１ヶ所　１／５０　インターホン・案内板　Ｓ＝１／１０　点字表示例詳細図　Ｓ＝１／２			ＡＤ０２　玄関　１ヶ所　１／５０		
姿図							  					
建具	スチール軽量バランスシャッター	見込	ー	スチール手動バランスグリルシャッター	見込	ー	アルミ両袖ＦＩＸランマＦＩＸ付自動引分けドア	見込	１００	アルミ両袖ＦＩＸランマＦＩＸ付自動引分けドア	見込	１００
仕上	カラー鋼板スラット 厚０．４			スチール φ１３			アルミカラー			アルミカラー		
硝子	ー			ー			強化トーメイ 厚５ ランマ：トーメイ 厚５			強化トーメイ 厚５ ランマ：トーメイ 厚５		
金物	ガイドレール、座板、角ケース、中柱 スチール三方枠・・・等付属金物一式			ガイドレール、座板、角ケース ・・・等付属金物一式			エンジン装置一式、ＳＵＳレール、シリンダー錠（内部サムターン）、センサー ・・・等付属金物一式			エンジン装置一式、ＳＵＳレール、シリンダー錠（内部サムターン）、センサー ・・・等付属金物一式		
備考												

記号・数量	ＡＤ５　改修　２階事務室①　１ヶ所　１／５０			ＡＤ０１０　２階廊下　１ヶ所　１／５０			ＡＤ０１１　２階ＥＶホール　１ヶ所　１／５０			ＡＤ０１２　２階男子便所　１ヶ所　１／５０			ＡＷ１７　改修　２階事務室⑥　２ヶ所　１／５０		
姿図															
建具	アルミ袖ＦＩＸ付引違い窓	見込	７０	アルミランマＦＩＸ付親子開きドア	見込	７０	アルミ片開きドア	見込	７０	アルミ片開きドア	見込	７０	アルミ引違い窓	見込	７０
仕上	アルミカラー			アルミカラー			アルミカラー			アルミカラー			アルミカラー		
硝子	トーメイ 厚５			トーメイ 厚４、腰：アルミパネル ランマ：トーメイ 厚５			トーメイ 厚４			ー			トーメイ 厚４		
金物	クレセント・・・等付属金物一式			握り玉、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン、フランス落とし ・・・等付属金物一式			レバーハンドル、丁番、ドアチェック、シリンダー錠、サムターン ・・・等付属金物一式			握り玉、丁番、ドアチェック ・・・等付属金物一式			クレセント・・・等付属金物一式		
備考													枠残し撤去（カバー工法）		

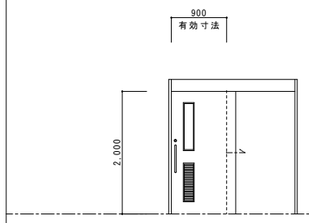
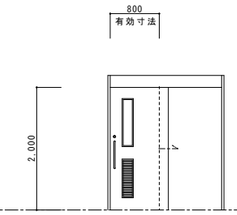
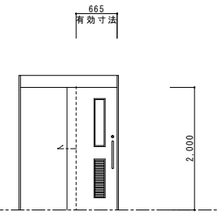
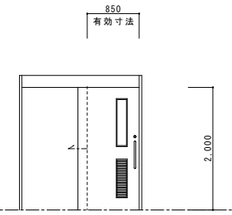
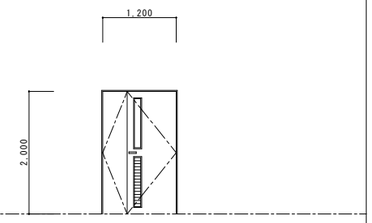
記号・数量	ＡＷ０２１　ＥＶホール　３ヶ所　１／５０			ＡＷ０２２　２階会議室①　１ヶ所　１／５０			ＡＷ０２３　２階会議室①、２階廊下　２ヶ所　１／５０			ＡＷ０２４　１階事務室①　２ヶ所　１／５０			ＡＷ０２５　１階事務室①　１ヶ所　１／５０		
姿図															
建具	アルミ横すべり出し窓	見込	７０	アルミ引違い窓	見込	７０	アルミ２連引違い窓	見込	７０	アルミ２連ＦＩＸ窓	見込	７０	アルミ４連ＦＩＸ窓	見込	７０
仕上	アルミカラー			アルミカラー			アルミカラー			アルミカラー			アルミカラー		
硝子	トーメイ 厚４			トーメイ 厚５			トーメイ 厚５			トーメイ 厚４			トーメイ 厚４		
金物	カムラッチハンドル・・・等付属金物一式			クレセント・・・等付属金物一式			クレセント・・・等付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式		
備考															

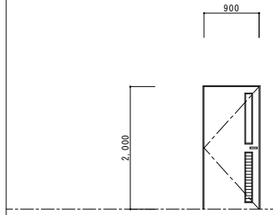
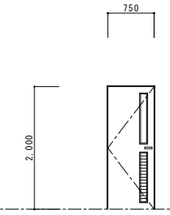
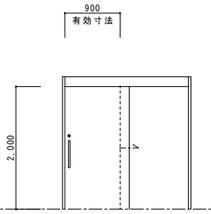
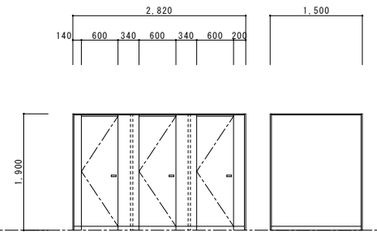
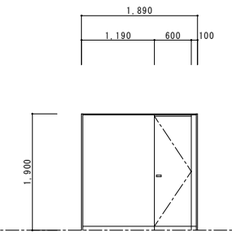
特記　※図面はすべて内観図とする。

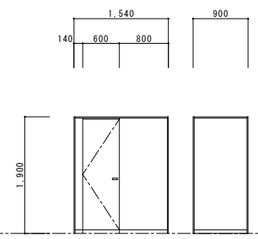
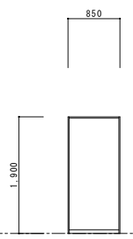
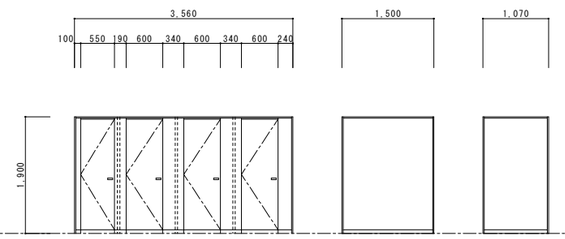
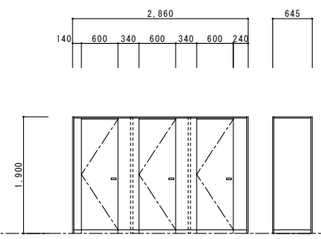
工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
図名	＜改修＞建具表１	縮尺	1/100・1/50（A1） 1/200・1/100（A3）
図面番号	Ａ－５５		

承認		管理建築士	印
図面提出日			

建　具　表

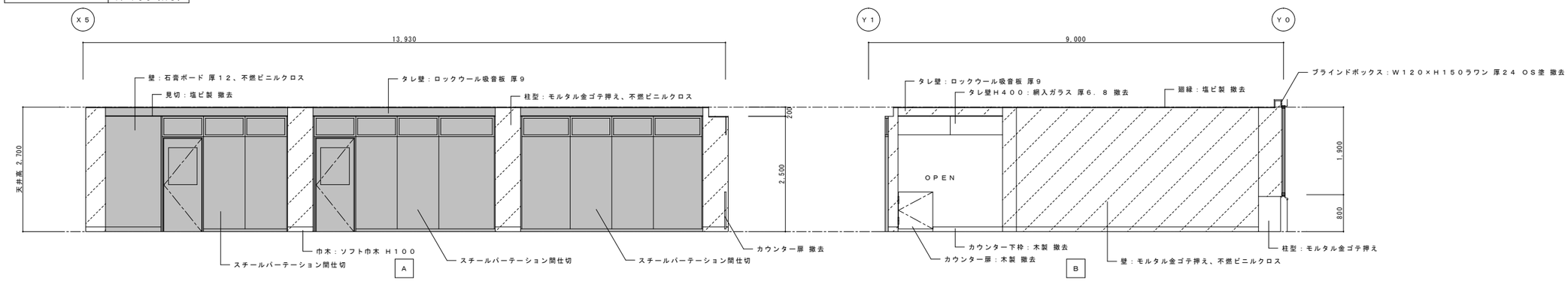
記号・数量	LSD 01	LSD 02	LSD 03	LSD 04	LSD 05
	1階事務室①・②、1階相談室①・②、1階廊下 2階事務室①～⑥、2階活動室①・②　17ヶ所　1／50 2階会議室①・②、2階倉庫	1階男子便所、1階多目的便所 2階多目的便所　3ヶ所　1／50	掃除用具庫　1ヶ所　1／50	控え室、2階資材庫　2ヶ所　1／50	1階会議室、1階印刷室　2ヶ所　1／50
姿図					
建具	鋼製軽量ハンガードア　見込　40	鋼製軽量ハンガードア　見込　40	鋼製軽量ハンガードア　見込　40	鋼製軽量ハンガードア　見込　40	鋼製軽量親子開きドア　見込　40
仕上	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装
硝子	型板 厚4	型板 厚4	型板 厚4	型板 厚4	型板 厚4
金物	引き棒、シリンダー錠（内部サムターン）、ガラリ、フリーストッパー、ハンガー戸車 ・・・等付属金物一式	引き棒、表示付きシリンダー錠（内部大型サムターン）、ガラリ、フリーストッパー ハンガー戸車・・・等付属金物一式	引き棒、シリンダー錠（内部サムターン）、ガラリ、フリーストッパー ハンガー戸車・・・等付属金物一式	引き棒、シリンダー錠（内部サムターン）、ガラリ、フリーストッパー ハンガー戸車・・・等付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠（内部サムターン）、ガラリ、丁番、フランス落とし ドアチェック、戸当たり・・・等付属金物一式
備考					

記号・数量	LSD 06	LSD 07	LSD 08	TB 01	TB 02
	女子更衣室、活動室③、2階資材庫　3ヶ所　1／50	男子更衣室　1ヶ所　1／50	1階倉庫　1ヶ所　1／50	1階女子便所　1ヶ所　1／50	1階男子便所　1ヶ所　1／50
姿図			特定防火設備 常時閉鎖 		
建具	鋼製軽量片開きドア　見込　40	鋼製軽量片開きドア　見込　40	鋼製軽量片引き戸　見込　40	トイレブース　見込　40	トイレブース　見込　40
仕上	焼付塗装	焼付塗装	焼付塗装	ポリエステル化粧板	ポリエステル化粧板
硝子	型板 厚4	型板 厚4		－	－
金物	レバーハンドル、シリンダー錠（内部サムターン）、ガラリ、丁番、ドアチェック 戸当たり・・・等付属金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠（内部サムターン）、ガラリ、丁番、ドアチェック 戸当たり・・・等付属金物一式	引き棒、シリンダー錠（内部サムターン）、戸車、レール ・・・等付属金物一式	アルミ笠木、ＳＵＳ巾木、表示付スライド錠、グレビティヒンジ、戸当たり ・・・等付属金物一式	アルミ笠木、ＳＵＳ巾木、表示付スライド錠、グレビティヒンジ、戸当たり ・・・等付属金物一式
備考			※倉庫面積区画部分は特定防火設備（常時閉鎖） 特定防火設備：平１２建告１３６９号、昭４８建告２５６３号		

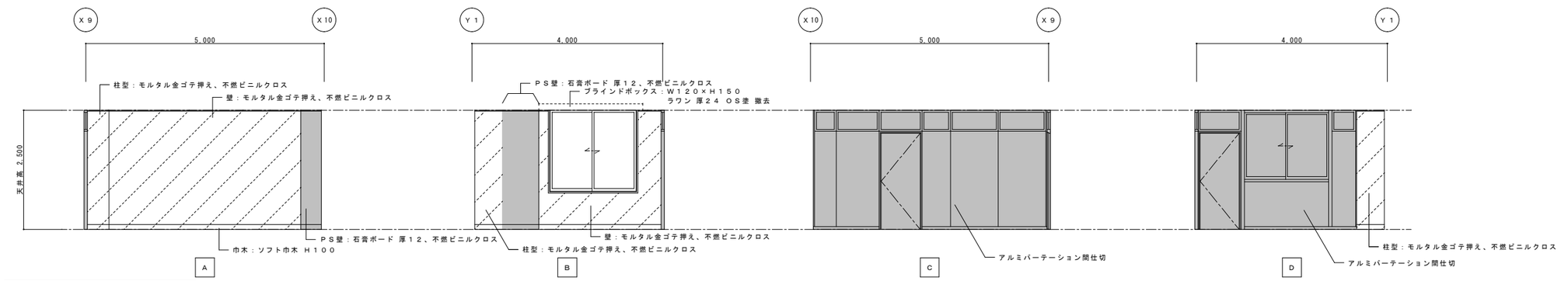
記号・数量	TB 03	TB 04	TB 05	TB 06
	1階男子便所　1ヶ所　1／50	1階男子便所、2階男子便所　2ヶ所　1／50	2階男子便所　1ヶ所　1／50	2階女子便所　1ヶ所　1／50
姿図				
建具	トイレブース　見込　40	トイレブース（隔て板）　見込　40	トイレブース　見込　40	トイレブース　見込　40
仕上	ポリエステル化粧板	ポリエステル化粧板	ポリエステル化粧板	ポリエステル化粧板
硝子	－	－	－	－
金物	アルミ笠木、ＳＵＳ巾木、表示付スライド錠、グレビティヒンジ、戸当たり ・・・等付属金物一式	アルミ笠木、ＳＵＳ巾木 ・・・等付属金物一式	アルミ笠木、ＳＵＳ巾木、表示付スライド錠、グレビティヒンジ、戸当たり ・・・等付属金物一式	アルミ笠木、ＳＵＳ巾木、表示付スライド錠、グレビティヒンジ、戸当たり ・・・等付属金物一式
備考				

特記	※図面はすべて内観図とする。	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		承認	管理建築士	印
		図名	＜改修＞建具表２	縮尺 1／50（A1） 1／100（A3）	図面番号 A－56	図面提出日	

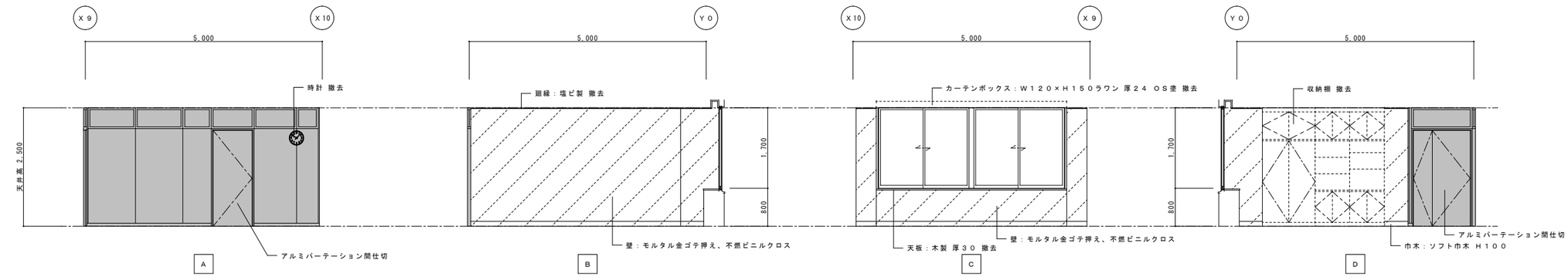
＜現況＞１階事務室 | １／５０（Ａ１） １／１００（Ａ３）



＜現況＞１階相談室 | １／５０（Ａ１） １／１００（Ａ３）



＜現況＞１階消防長室 | １／５０（Ａ１） １／１００（Ａ３）

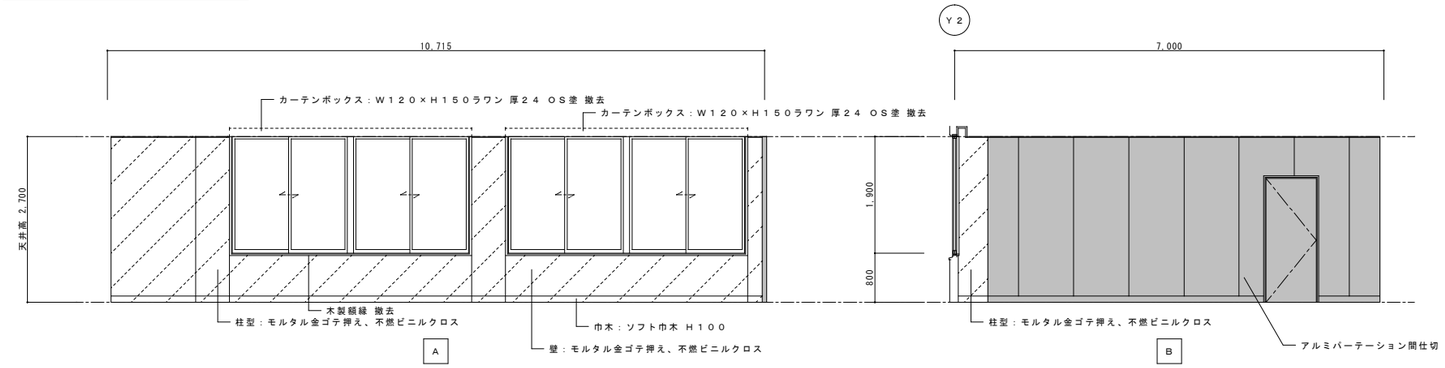


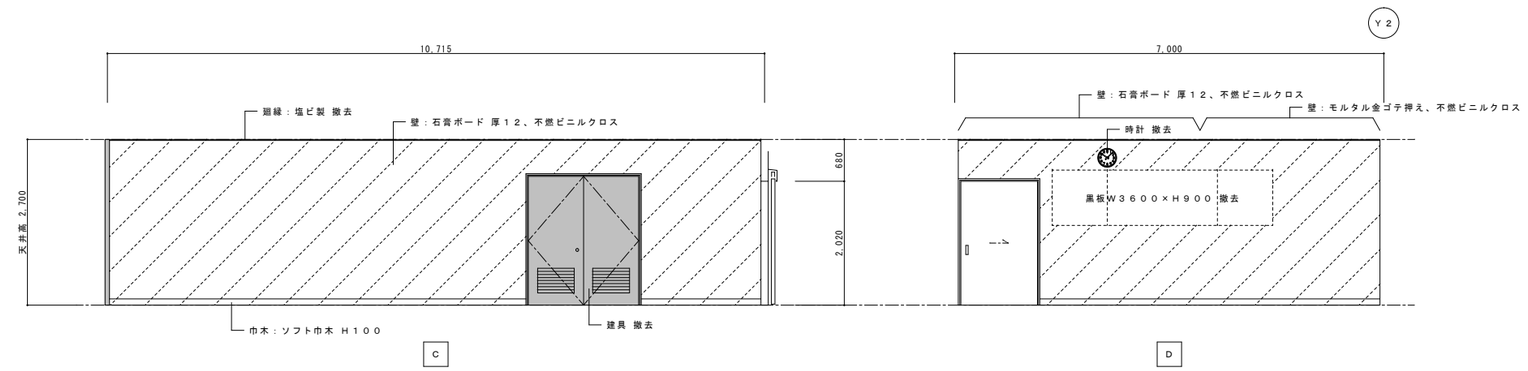
○ 凡 例

	壁仕上改修範囲を示す。
	間仕切壁撤去範囲を示す。

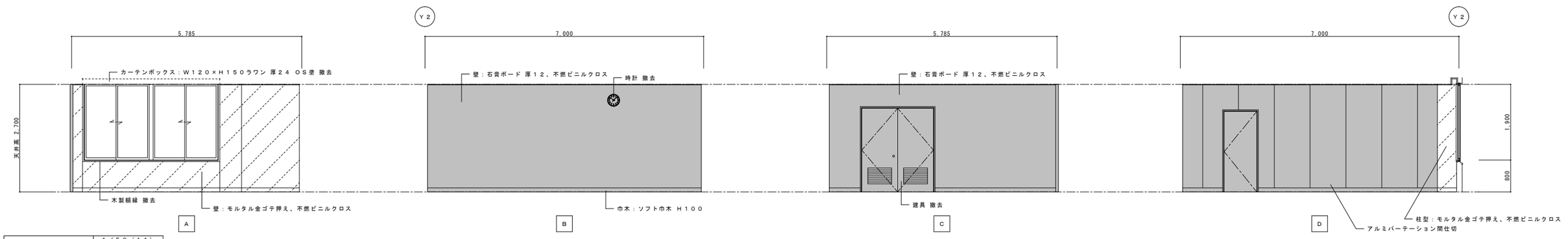
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）	承認	管理建築士 印
		図名	＜現況＞展開図１	縮尺 １/５０（Ａ１） １/１００（Ａ３）	図面番号 Ａ－５７	図面提出日	

＜現況＞１階第２会議室 | １／５０（Ａ１）／１／１００（Ａ３）

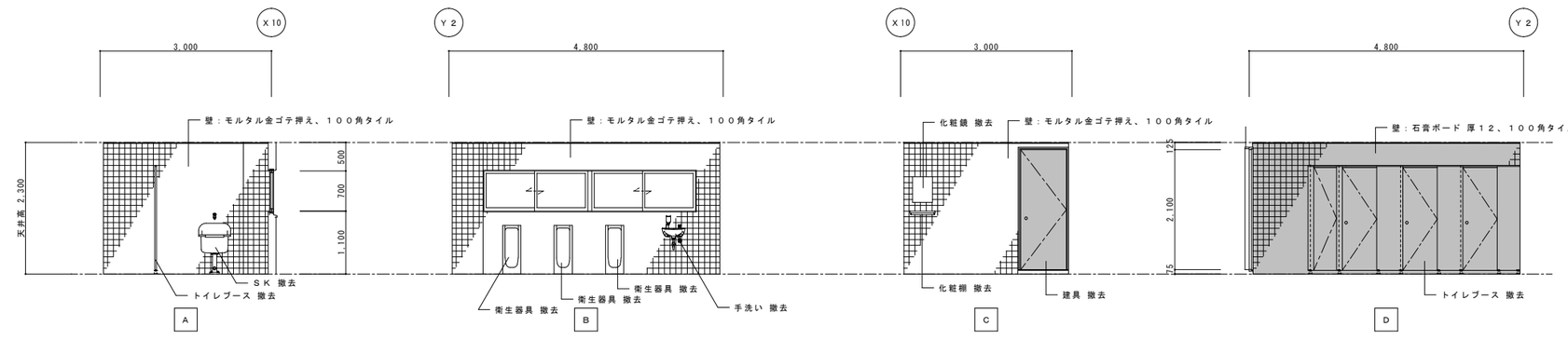




＜現況＞１階団長室 | １／５０（Ａ１）／１／１００（Ａ３）



＜現況＞１階男子便所 | １／５０（Ａ１）／１／１００（Ａ３）

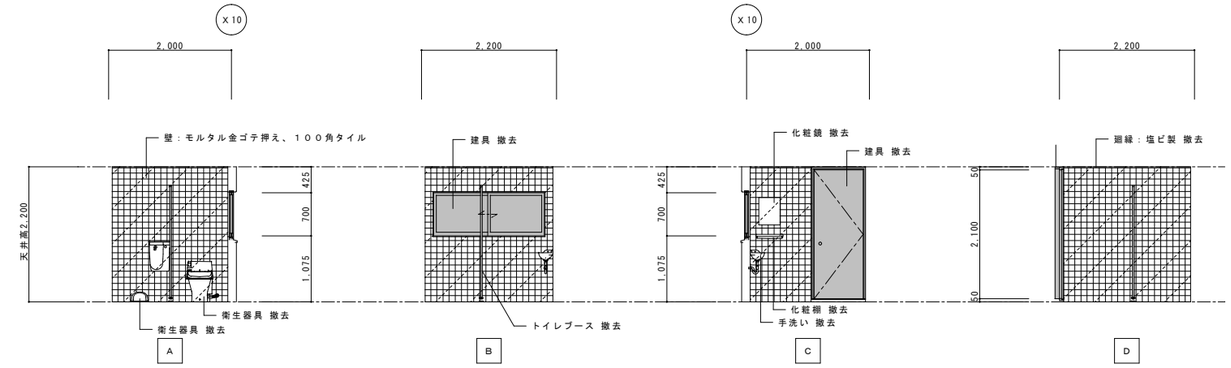


○ 凡 例

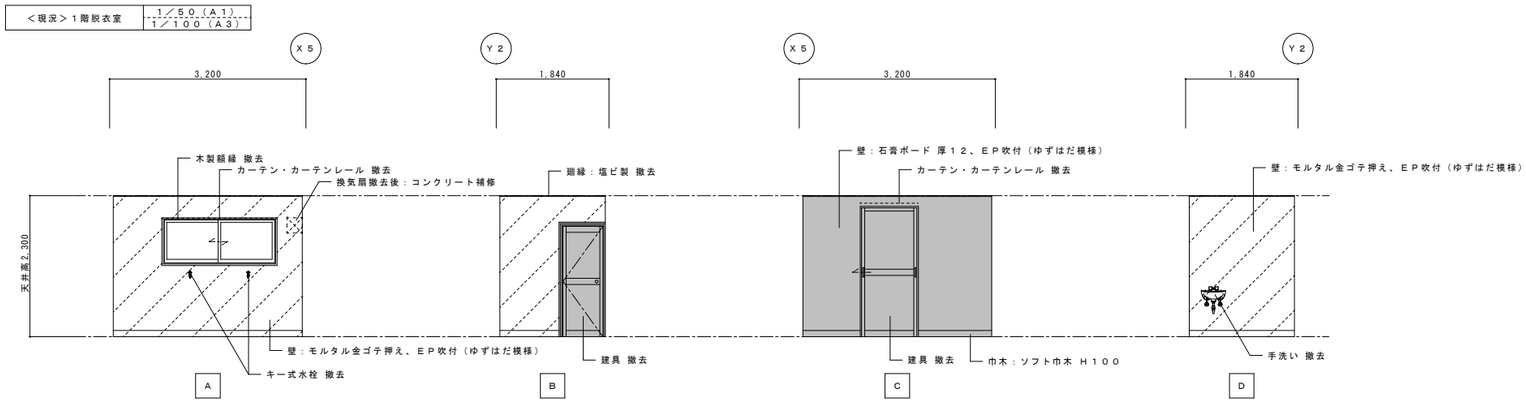
	壁仕上改修範囲を示す。
	間仕切壁撤去範囲を示す。

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）	承認	管理建築士 印
		図名	＜現況＞展開図２	縮尺 １／５０（Ａ１）／１／１００（Ａ３）	図面番号 Ａ－５８	図面提出日	

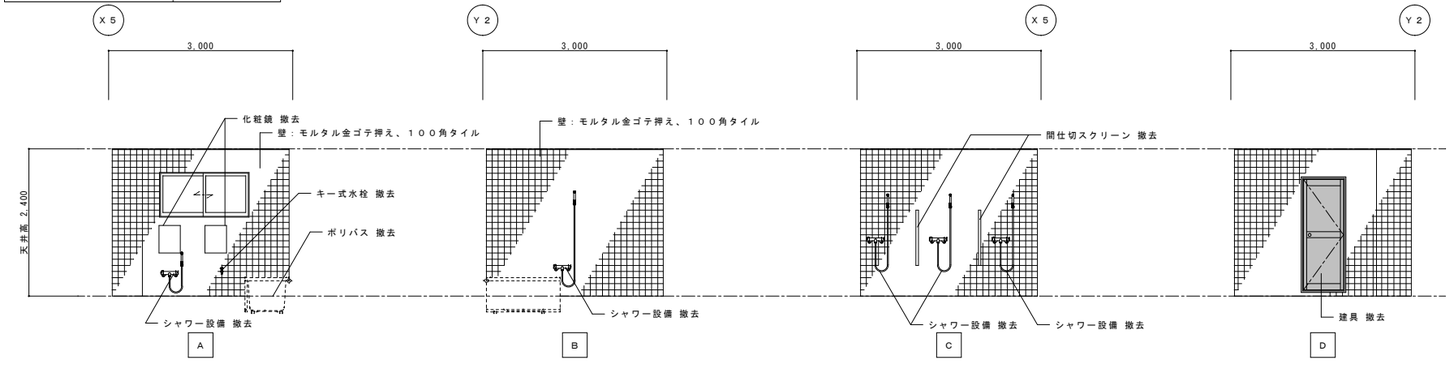
＜現況＞１階女子便所 | １／５０（A１） １／１００（A３）



＜現況＞１階脱衣室 | １／５０（A１） １／１００（A３）



＜現況＞１階浴室・シャワー室 | １／５０（A１） １／１００（A３）

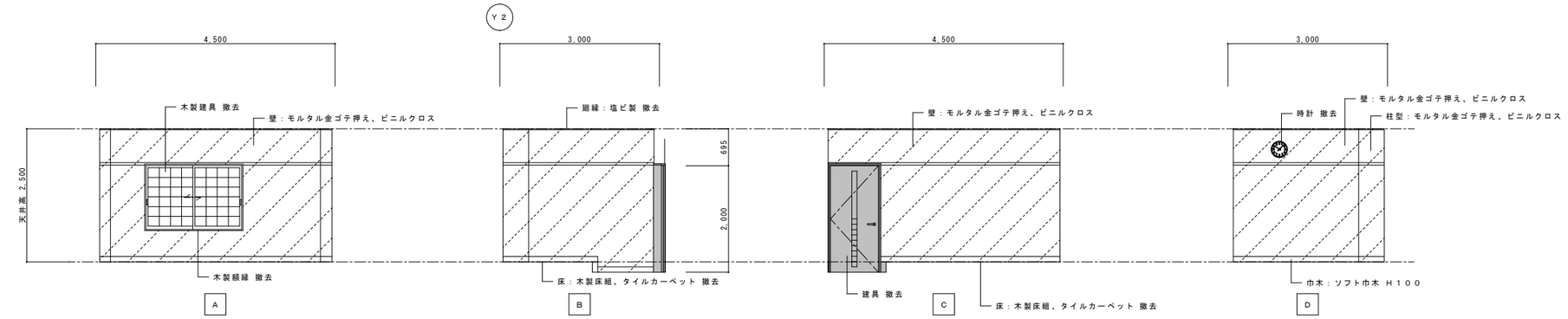


○ 凡 例

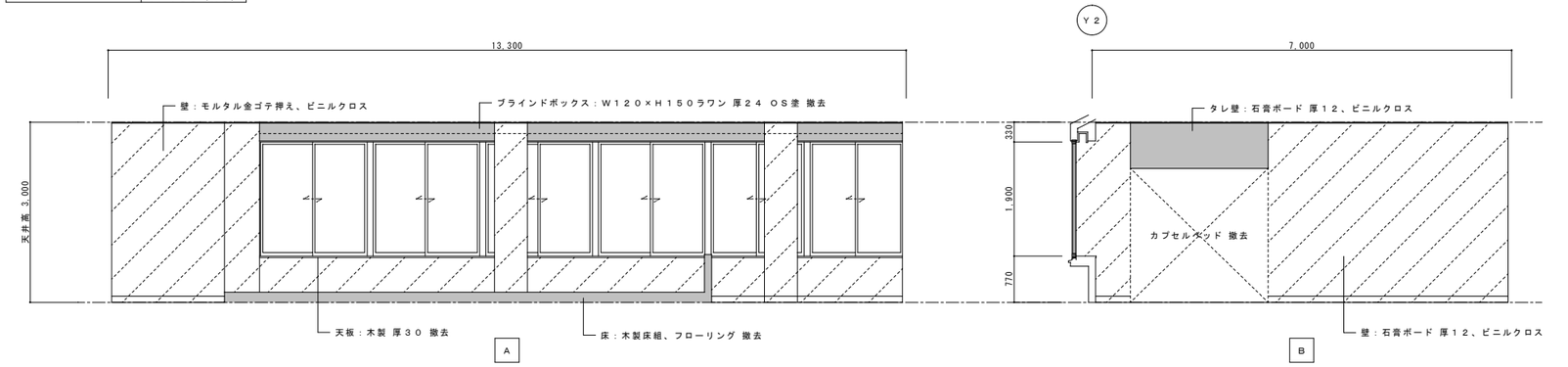
	壁仕上改修範囲を示す。
	間仕切壁撤去範囲を示す。

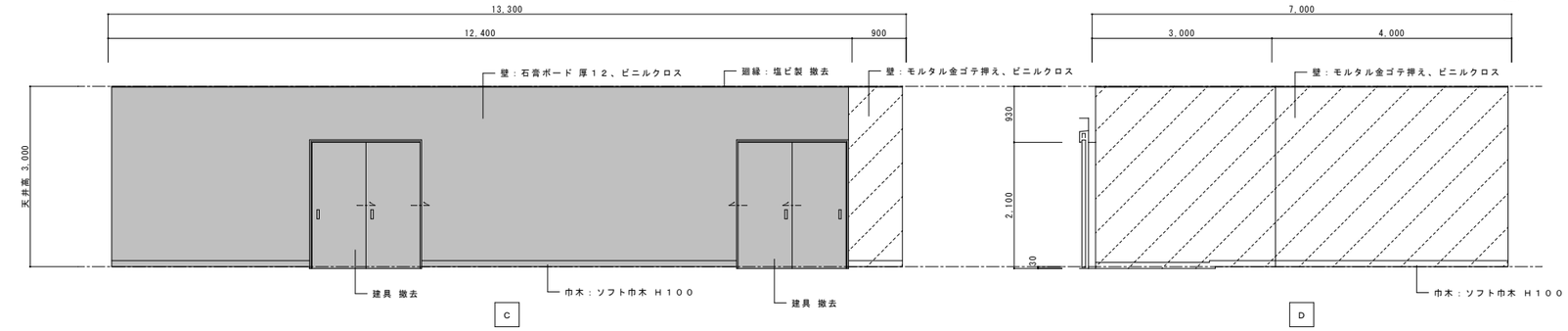
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		管理建築士 印
		図名	＜現況＞展開図３	縮尺 １／５０（A１） １／１００（A３）	図面番号 A－５９
					承認 / 図面提出日

＜現況＞２階女子仮眠室　1／50（A1）　1／100（A3）

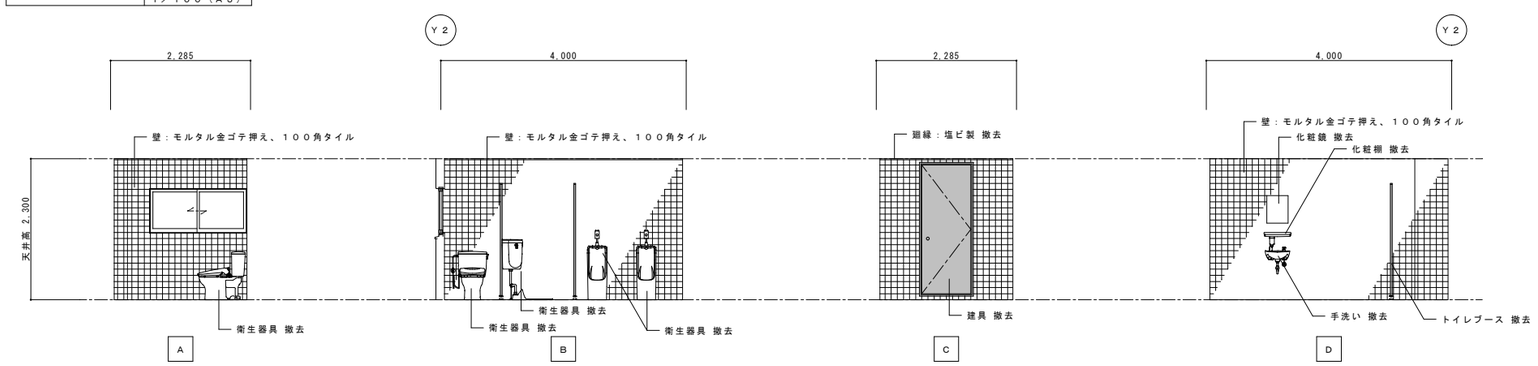


＜現況＞２階仮眠室　1／50（A1）　1／100（A3）





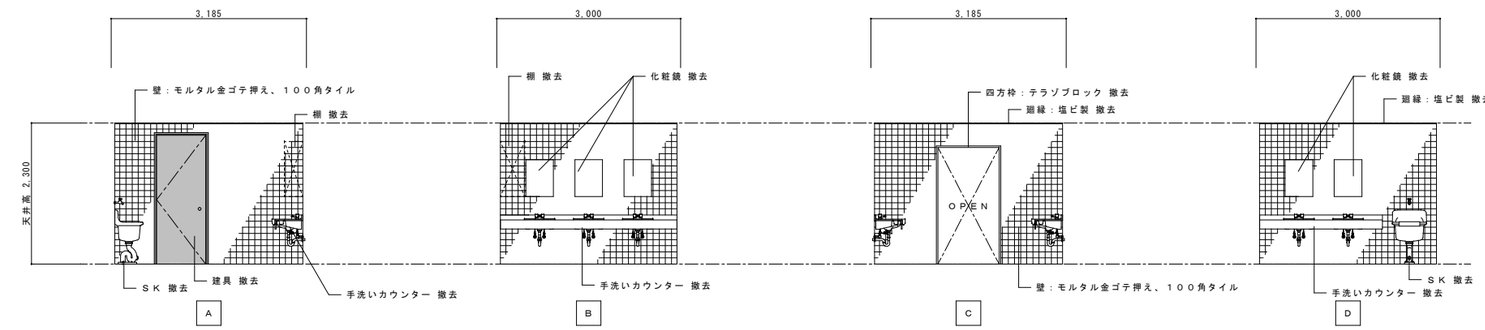
＜現況＞２階男子便所　1／50（A1）　1／100（A3）



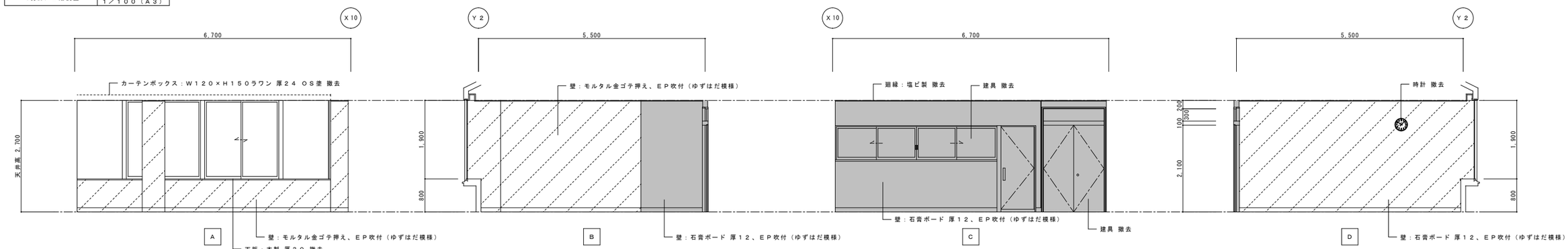
○ 凡例
- 壁仕上改修範囲を示す。
- 間仕切壁撤去範囲を示す。

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞展開図４	縮尺	1／50（A1） 1／100（A3）	図面番号 A－60	図面提出日	

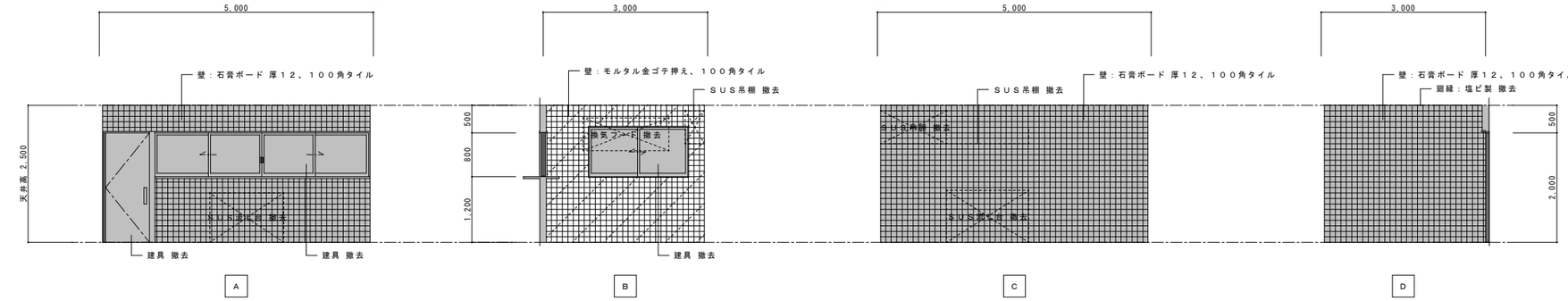
＜現況＞２階洗面室 | 1／50（A1） 1／100（A3）



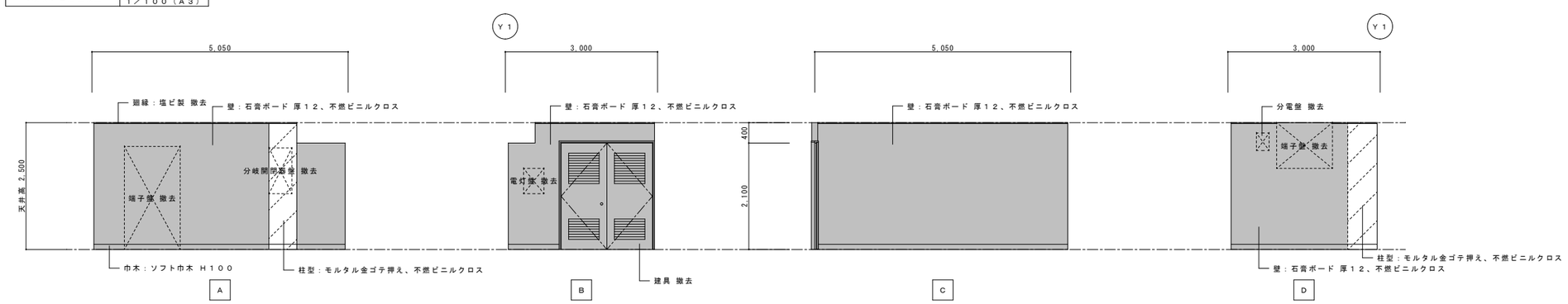
＜現況＞２階食堂 | 1／50（A1） 1／100（A3）



＜現況＞２階厨房 | 1／50（A1） 1／100（A3）



＜現況＞２階機械室 | 1／50（A1） 1／100（A3）

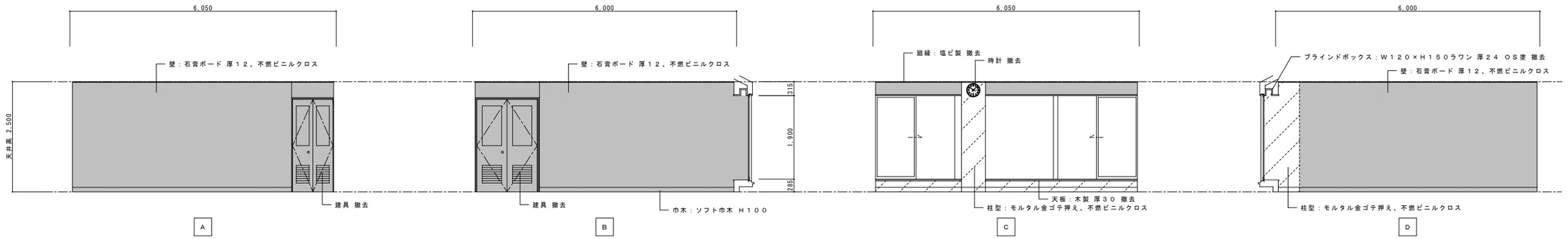


○ 凡 例

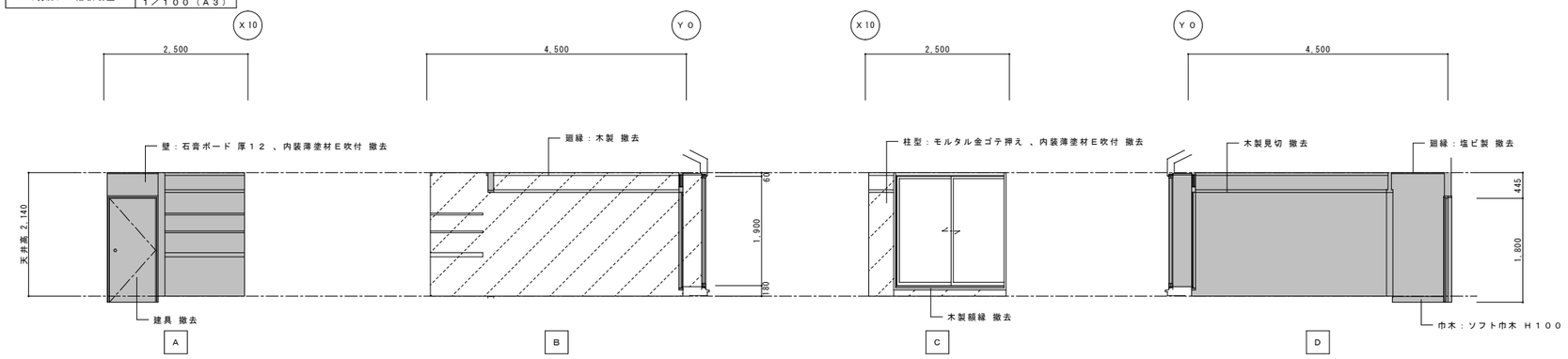
	壁仕上改修範囲を示す。
	撤去範囲を示す。

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜現況＞展開図５	縮尺 1／50（A1） 1／100（A3）	図面番号 A－６１	図面提出日		

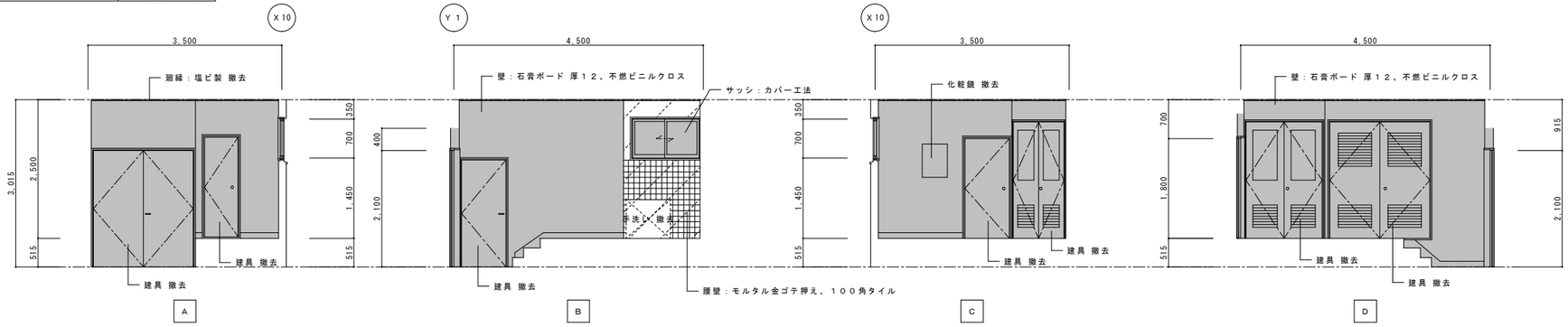
＜現況＞２階司令室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



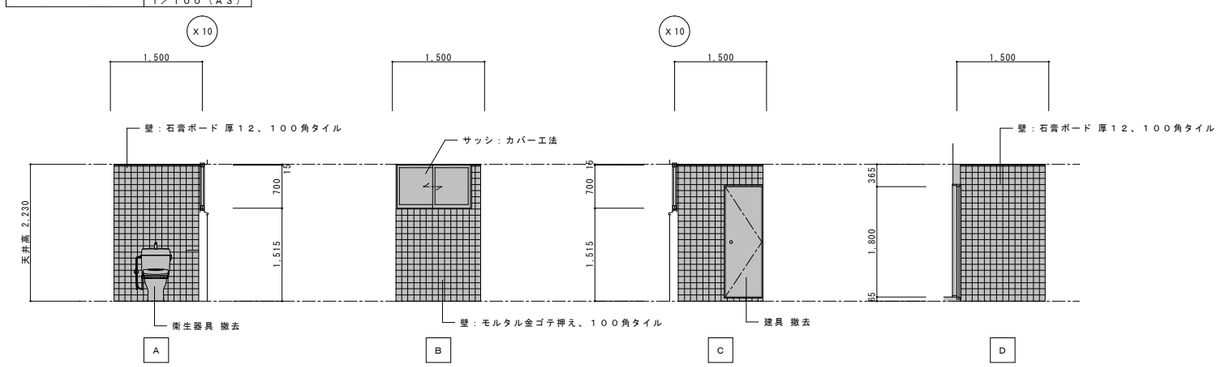
＜現況＞２階仮眠室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



＜現況＞２階前室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



＜現況＞２階便所　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



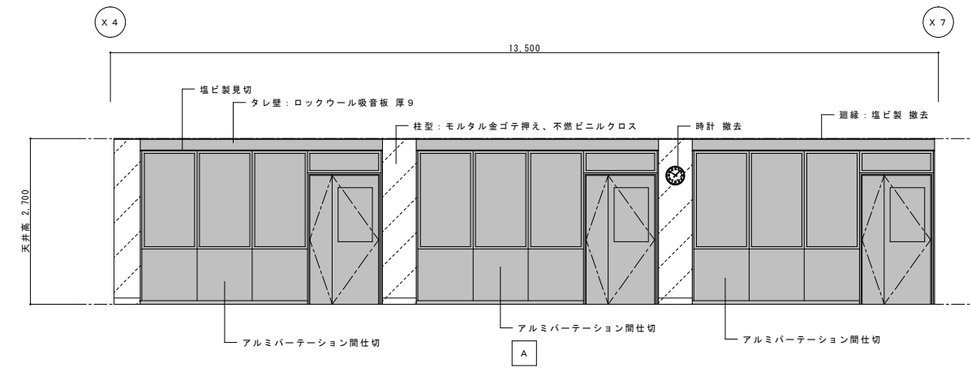
○ 凡 例

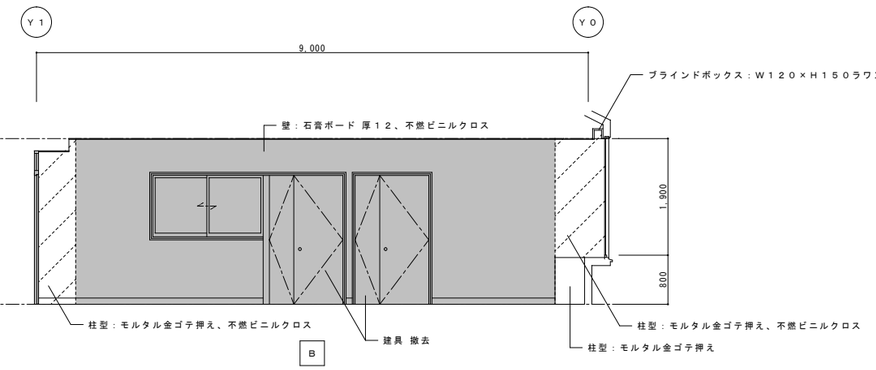
▨	壁仕上改修範囲を示す。
■	間仕切壁撤去範囲を示す。

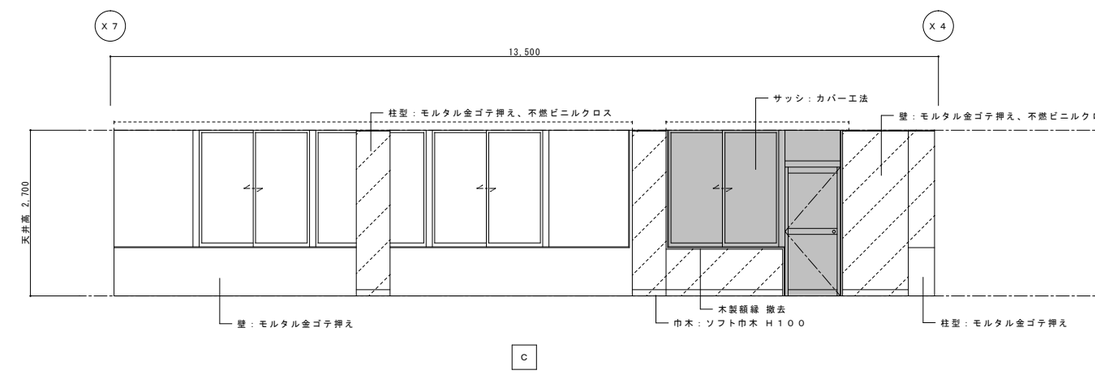
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
		図名	＜現況＞展開図６	縮尺 1/５０（Ａ１） 1/１００（Ａ３）	図面番号 Ａ－６２

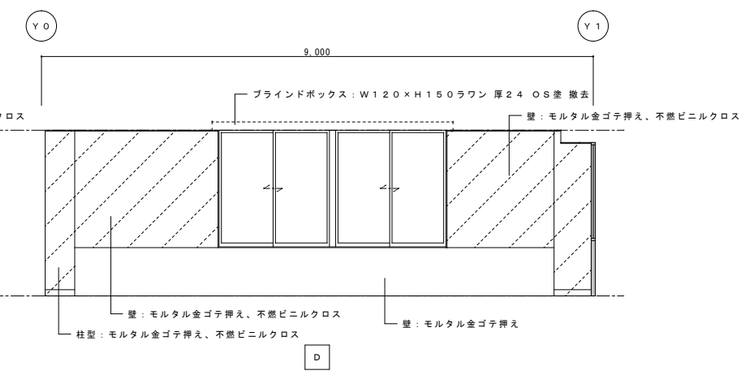
承認		管理建築士	印
図面提出日			

＜現況＞２階事務室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

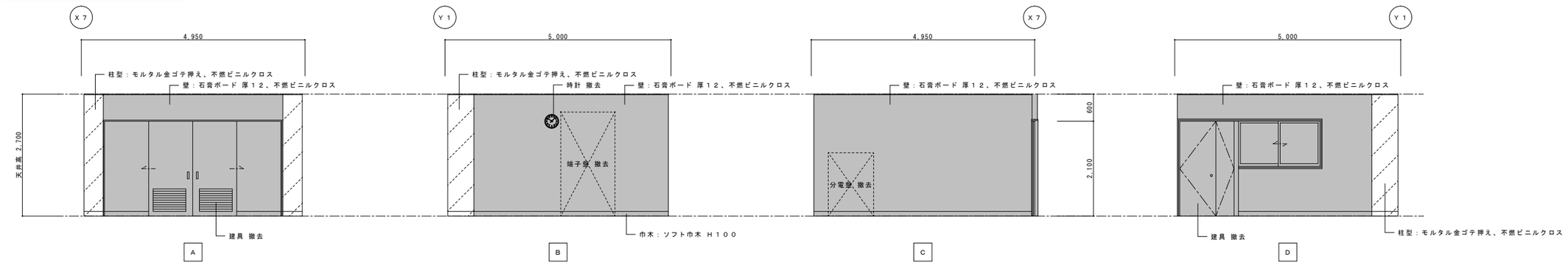




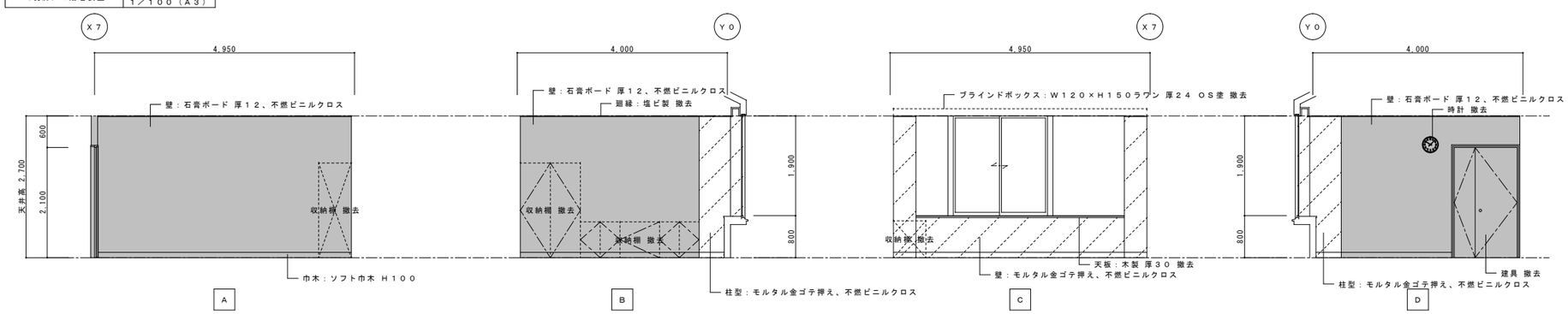




＜現況＞２階第１会議室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



＜現況＞２階署長室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

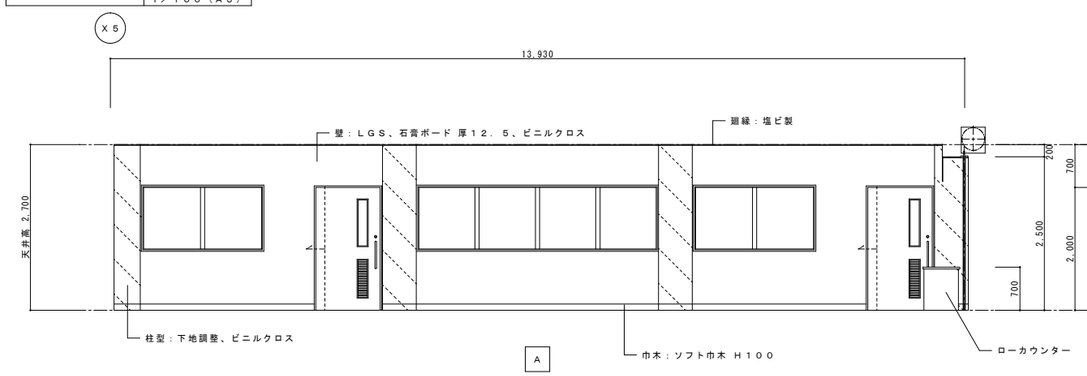


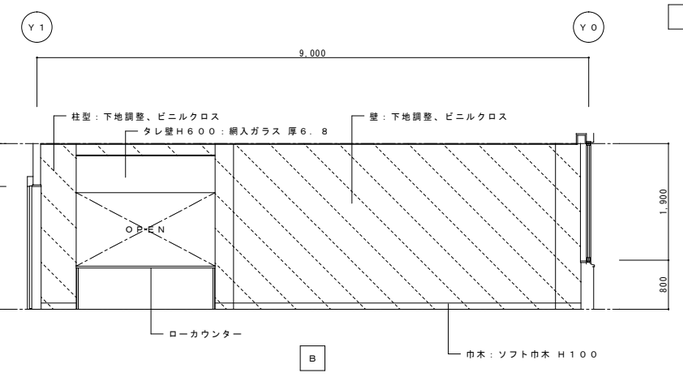
○ 凡 例

	壁仕上改修範囲を示す。
	間仕切壁撤去範囲を示す。

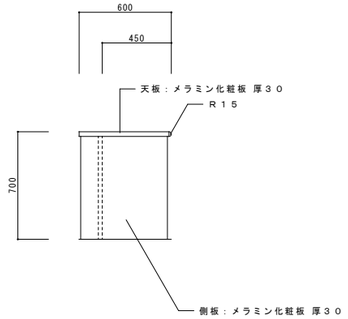
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）	承認	管理建築士 印
		図名	＜現況＞展開図７	縮尺 1/50（A1） 1/100（A3）	図面番号 Ａ－６３
					図面提出日

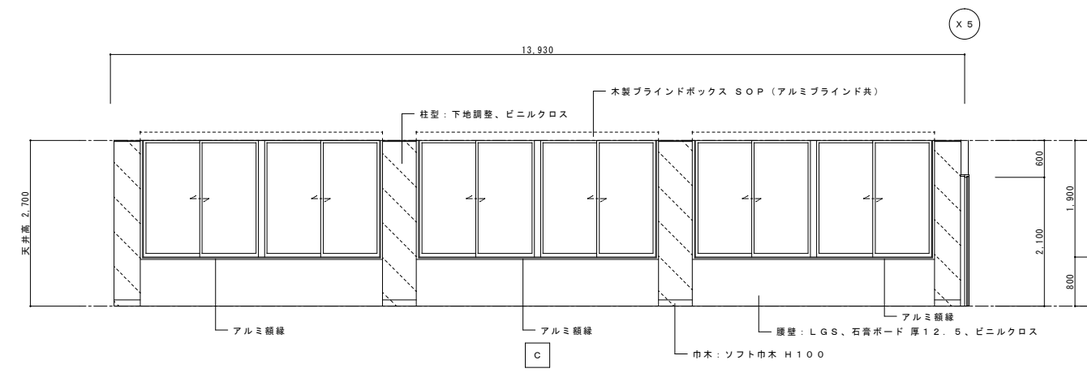
＜改修＞１階事務室①　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

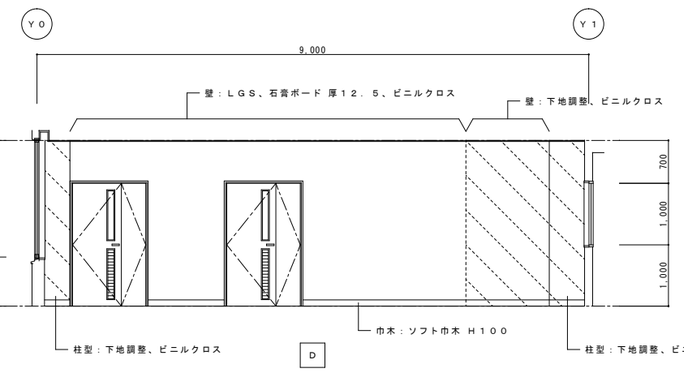


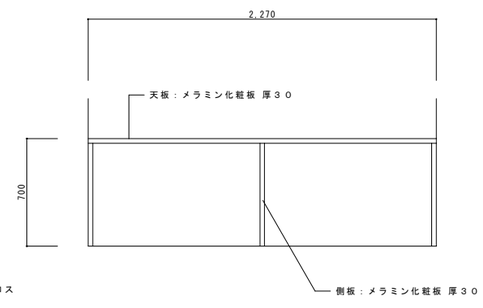


ローカウンター詳細図　1／２０（Ａ１）　1／４０（Ａ３）

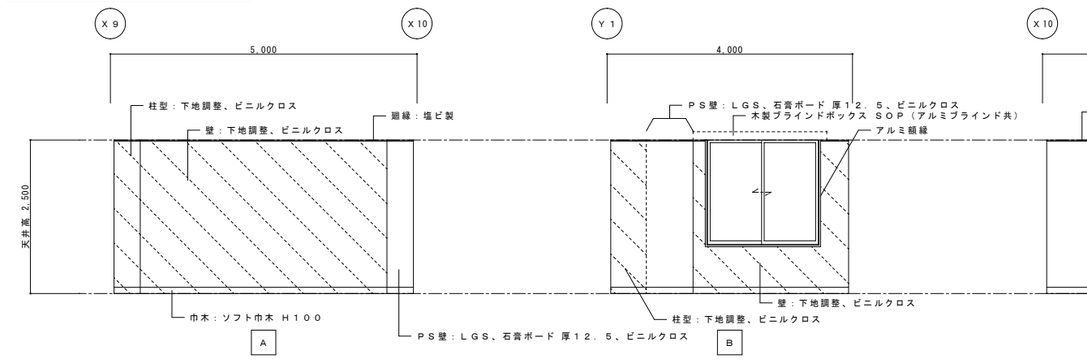


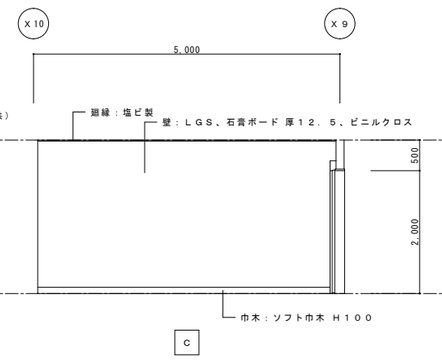


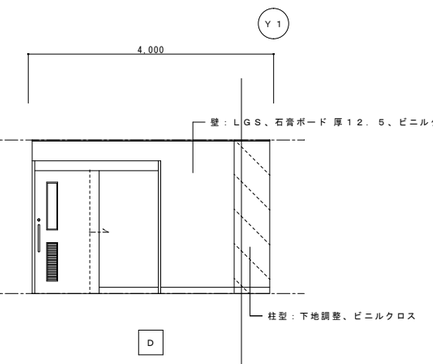




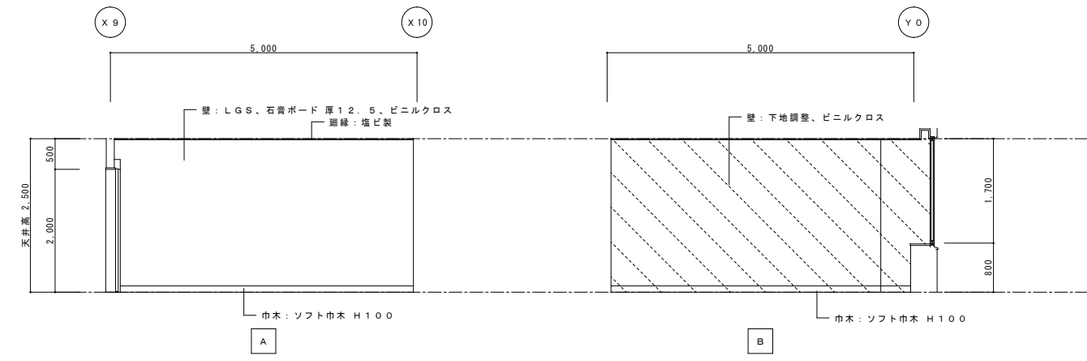
＜改修＞１階相談室②　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

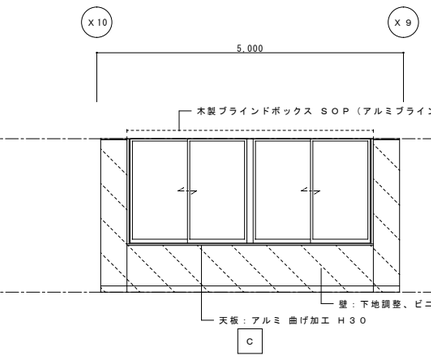


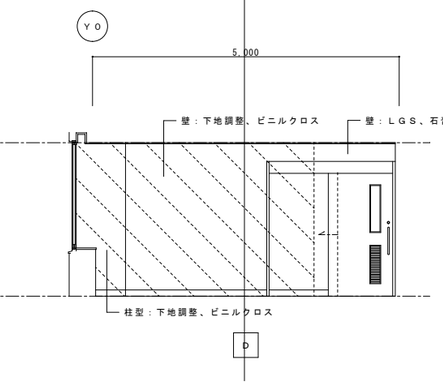




＜改修＞１階相談室①　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）







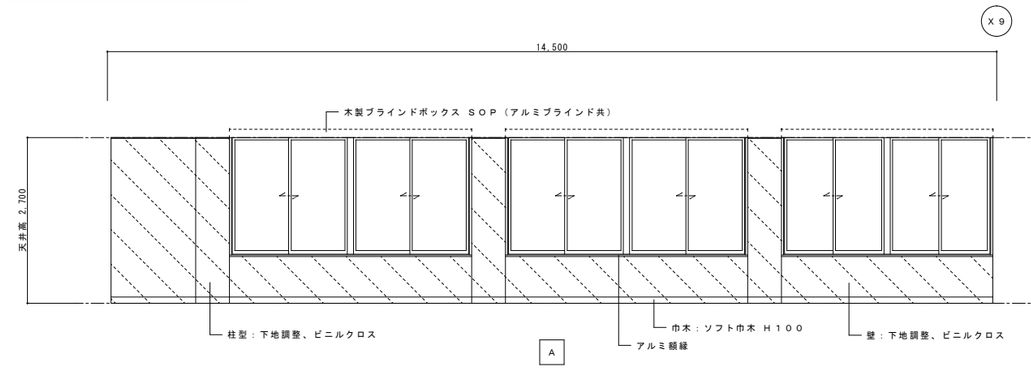
○ 凡例

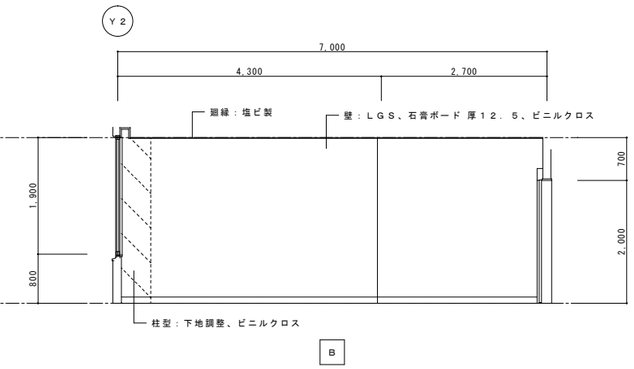
	既存下地範囲を示す。

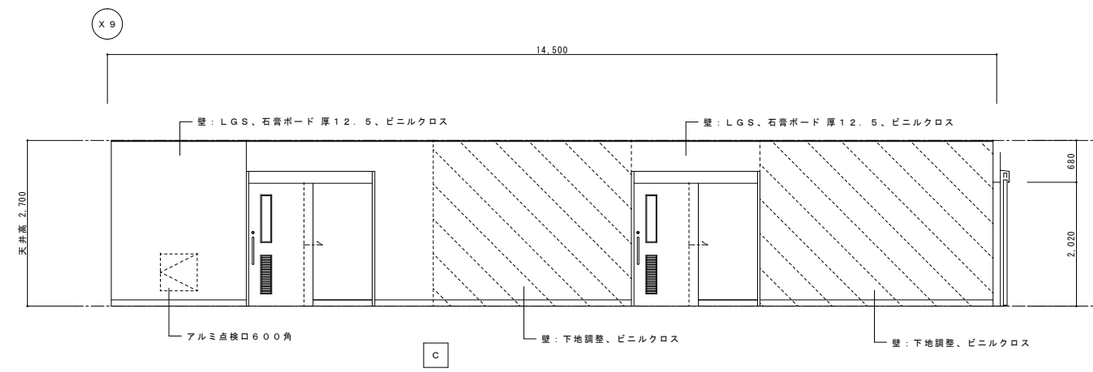
特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）		
		図名	＜改修＞展開図１	縮尺 1/50（A1） 1/100（A3）	図面番号 A－６４

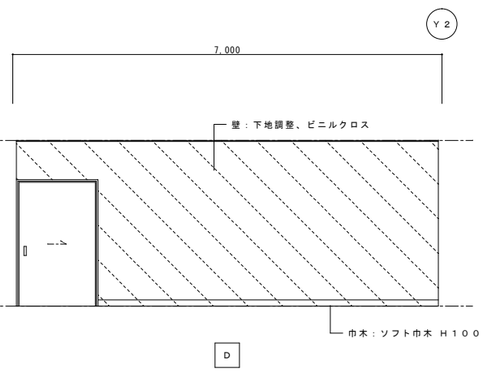
承認	管理建築士	印
図面提出日		

＜改修＞１階事務室②　１／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）

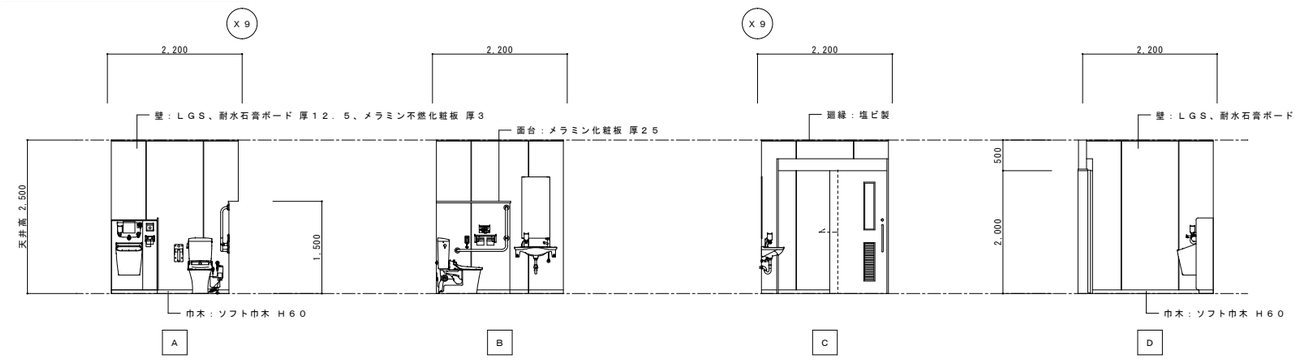




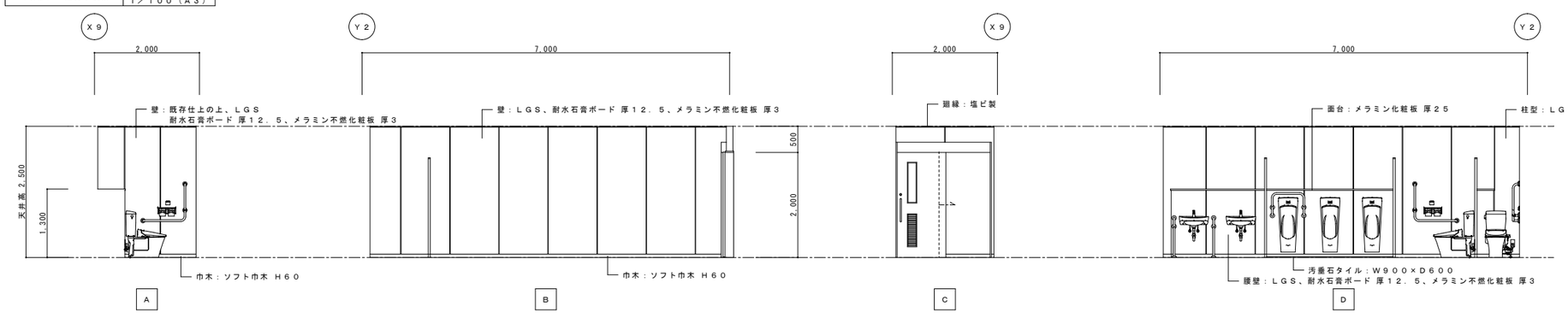




＜改修＞１階多目的便所　１／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）



＜改修＞１階男子便所　１／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）

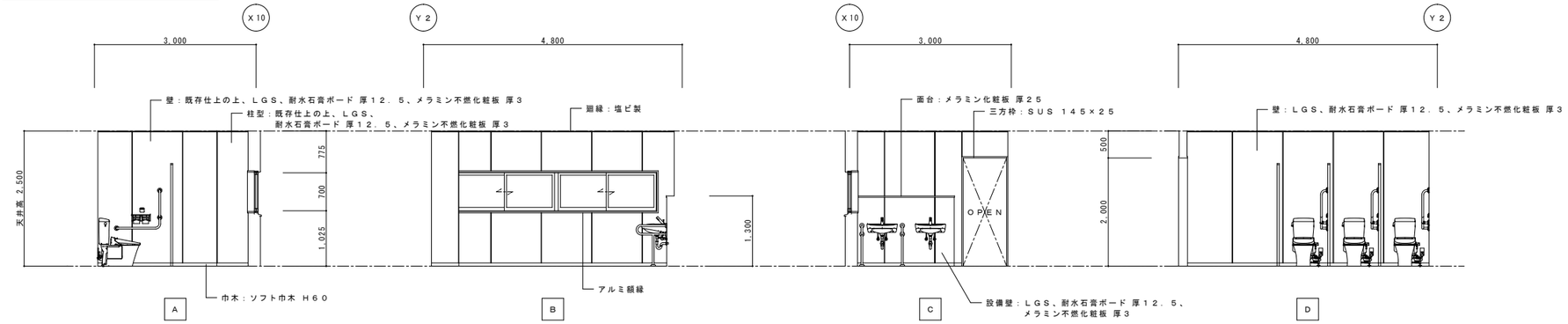


○ 凡 例

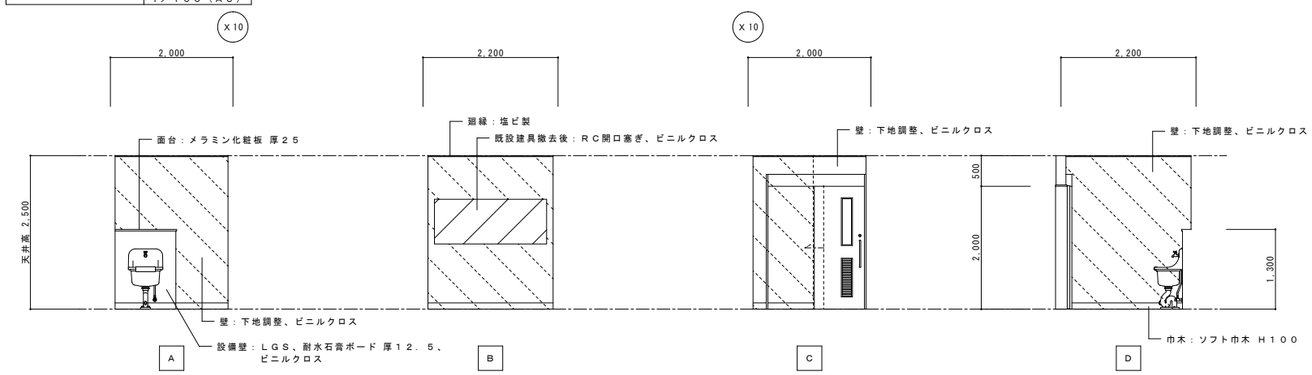
既存下地範囲を示す。

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）	承認	管理建築士 印
		図名	＜改修＞展開図２	縮尺 1/50（A1） 1/100（A3）	図面番号 A－６５	図面提出日	

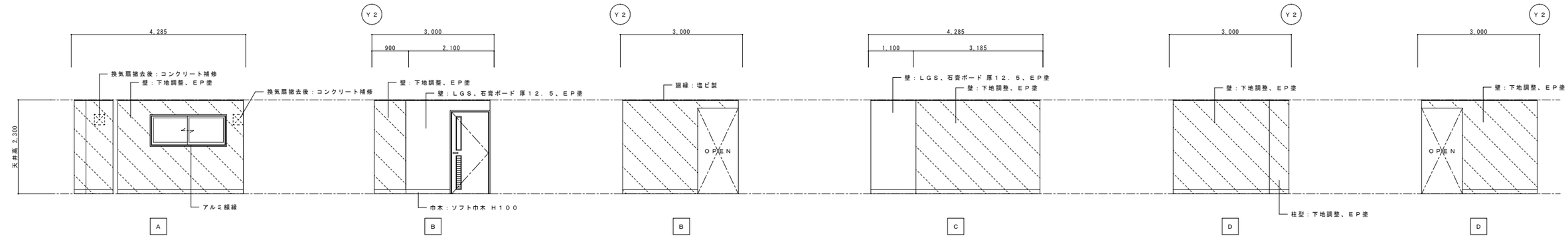
＜改修＞１階女子便所　１／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）



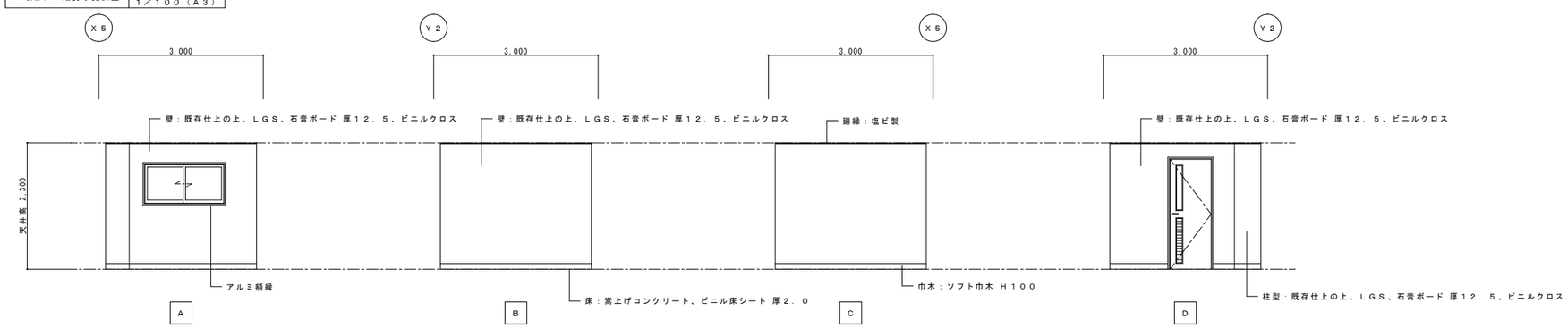
＜改修＞１階掃除用具庫　１／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）



＜改修＞１階女子更衣室　１／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）



＜改修＞１階男子更衣室　１／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）

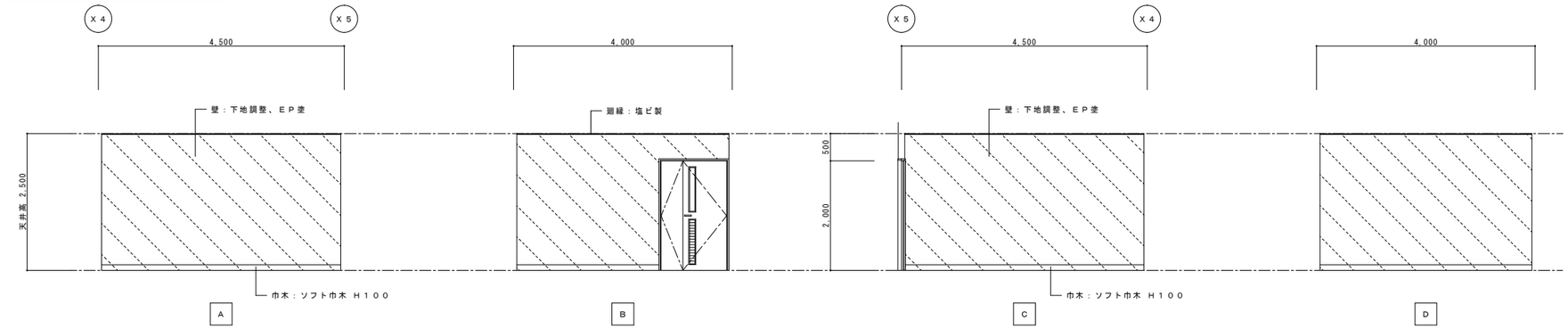


○ 凡例

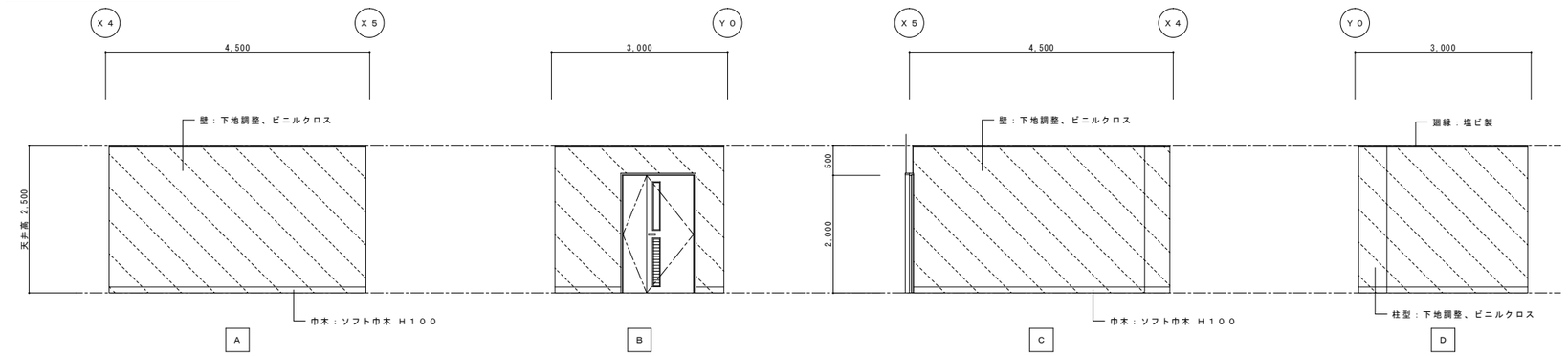
▨ 既存下地範囲を示す。

特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜改修＞展開図３	縮尺	１／５０（Ａ１） １／１００（Ａ３）	図面番号 Ａ－６６		
						図面提出日		

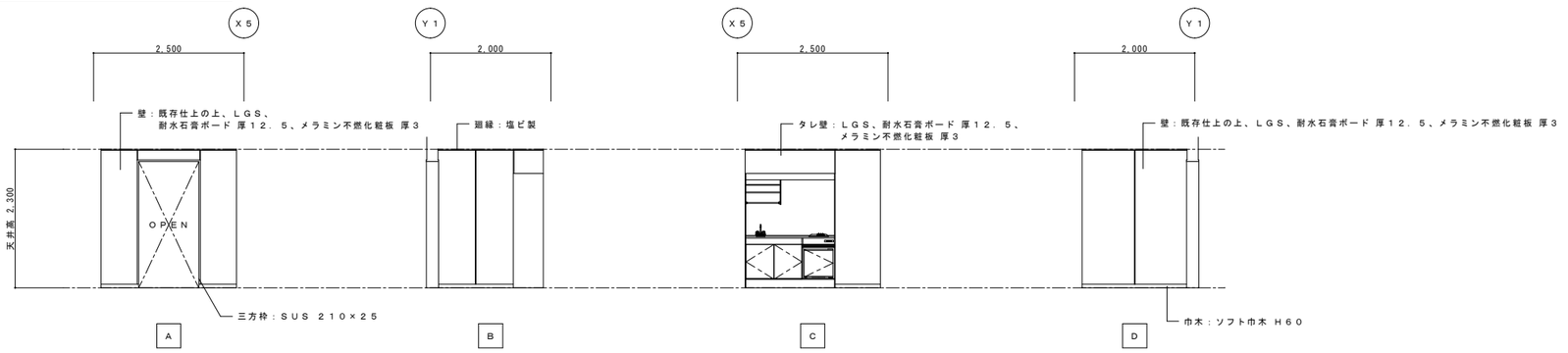
＜改修＞１階会議室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



＜改修＞１階印刷室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



＜改修＞１階湯沸室　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

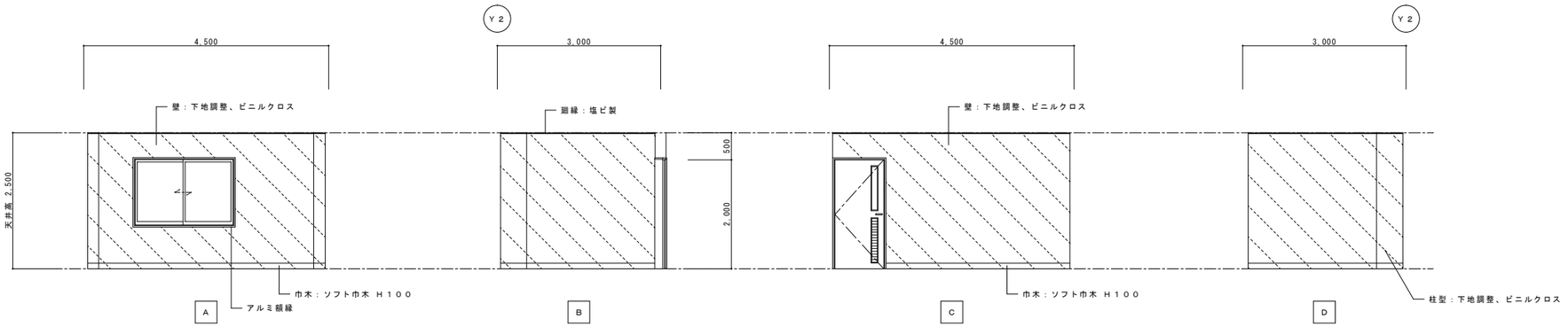


○ 凡 例

既存下地範囲を示す。

特 記	工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承 認	管理建築士	印
	図名	＜改修＞展開図４	縮尺 1/５０（Ａ１） 1/１００（Ａ３）	図面番号 Ａ－６７	図面提出日		

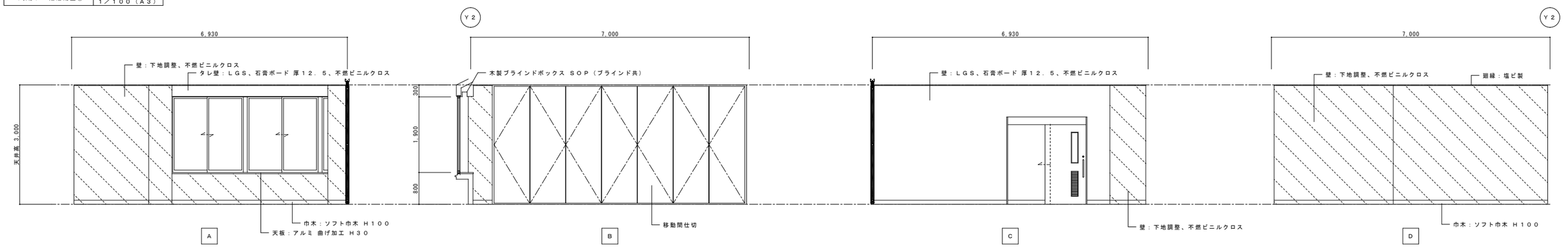
＜改修＞２階活動室③ | １／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）



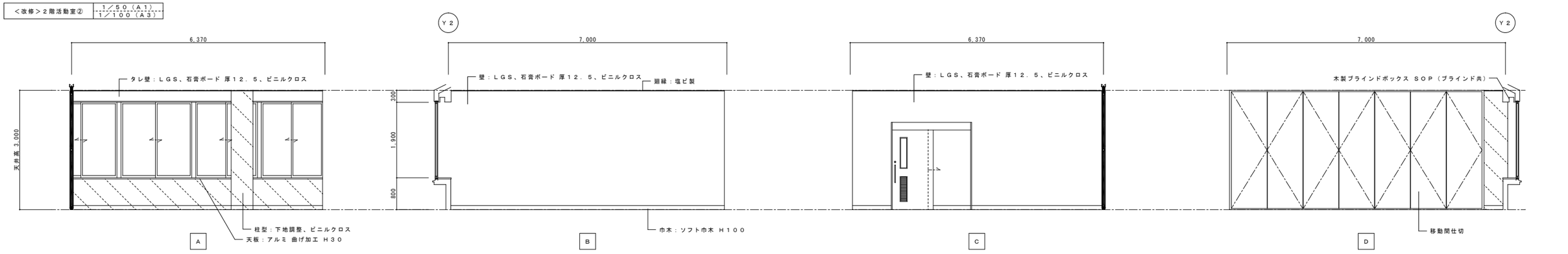
○ 凡 例

既存下地範囲を示す。

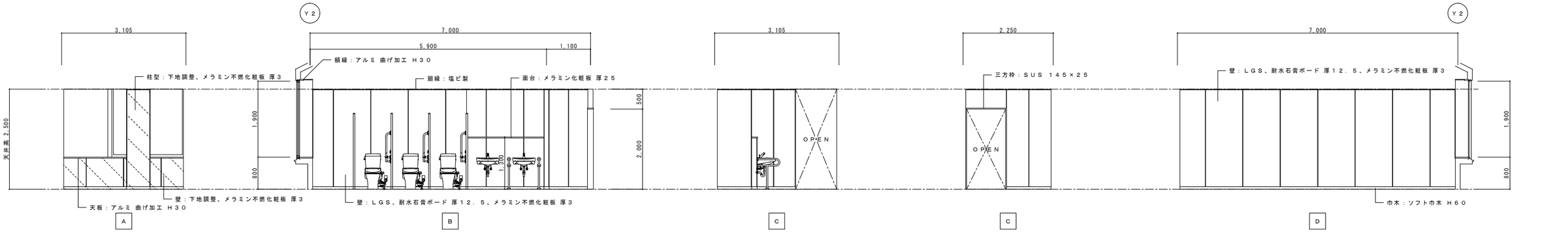
＜改修＞２階活動室① | １／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）



＜改修＞２階活動室② | １／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）

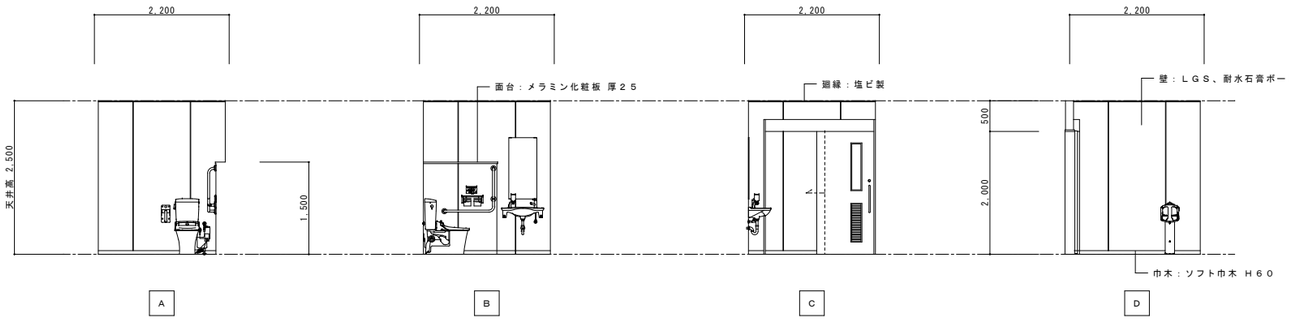


＜改修＞２階女子便所 | １／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）



特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜改修＞展開図５	縮尺	１／５０（Ａ１）　１／１００（Ａ３）	図面番号	Ａ－６８		
						図面提出日			

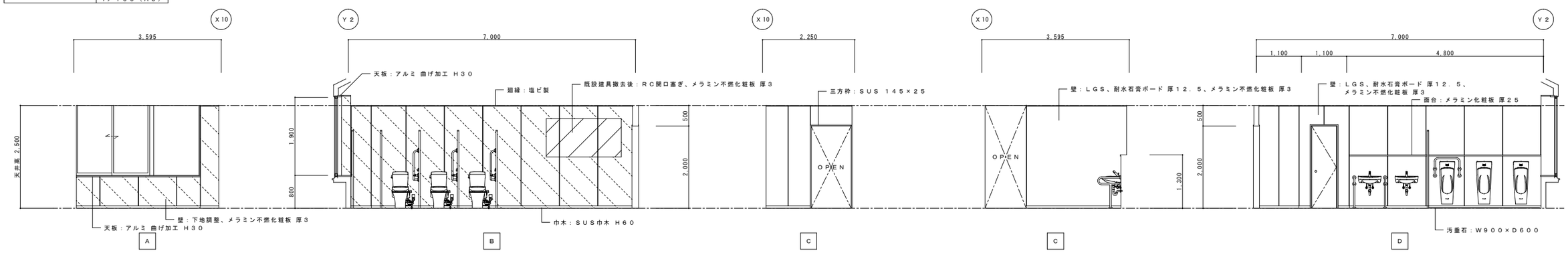
＜改修＞２階多目的便所　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



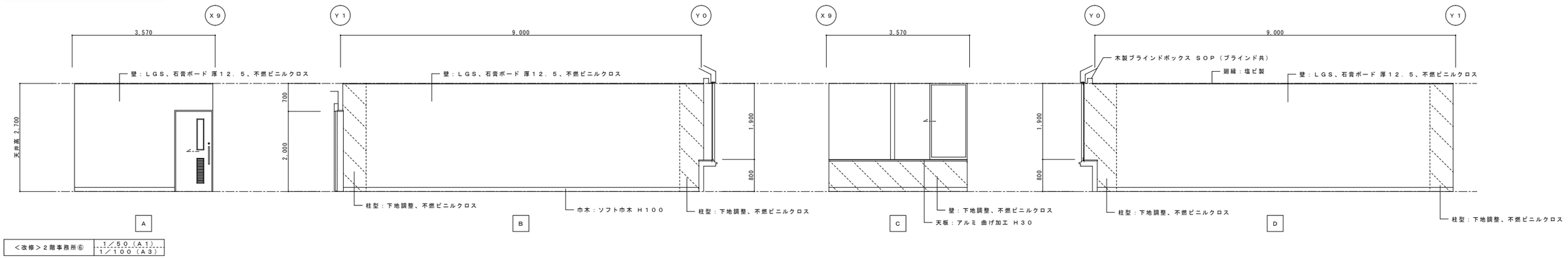
○ 凡 例

	既存下地範囲を示す。

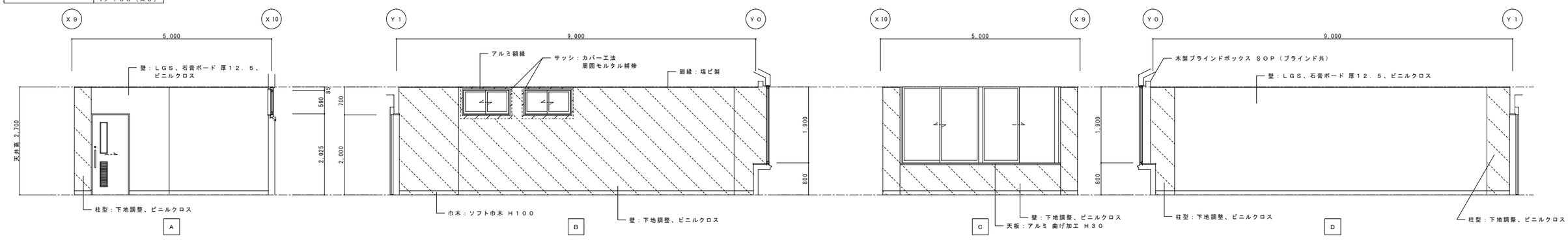
＜改修＞２階男子便所　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



＜改修＞２階事務所⑤　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

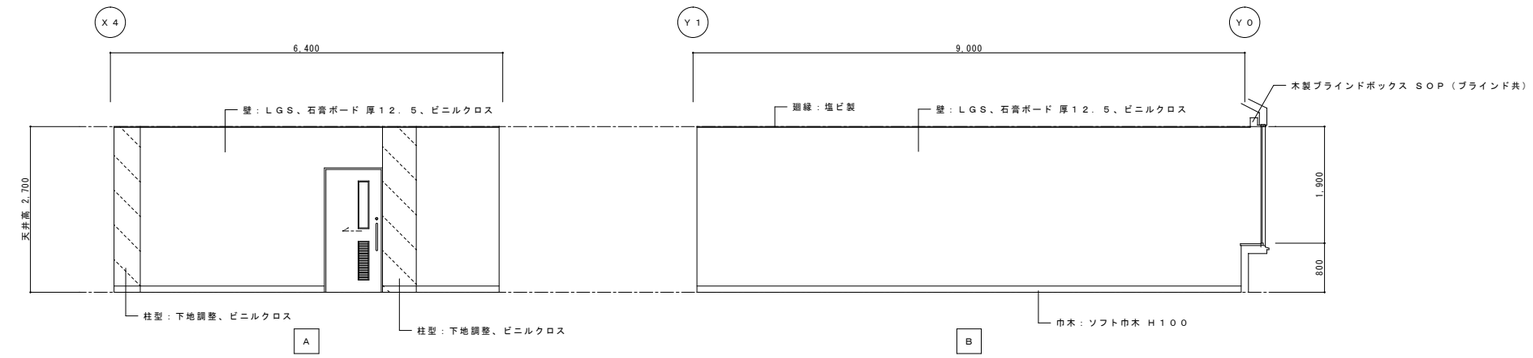


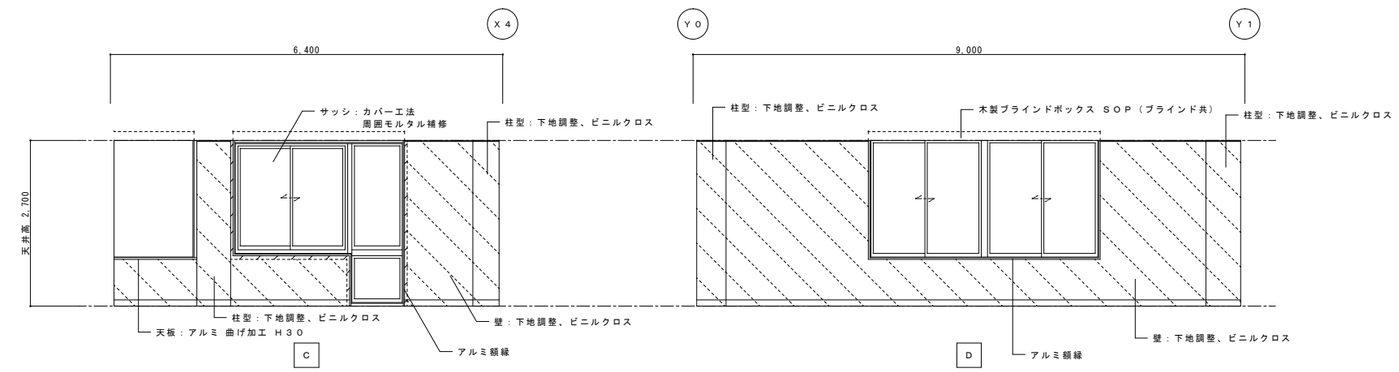
＜改修＞２階事務所⑥　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）



特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士	印
		図名	＜改修＞展開図６	縮尺	1/50（A1） 1/100（A3）	図面番号	A－６９	図面提出日		

＜改修＞２階事務室①　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

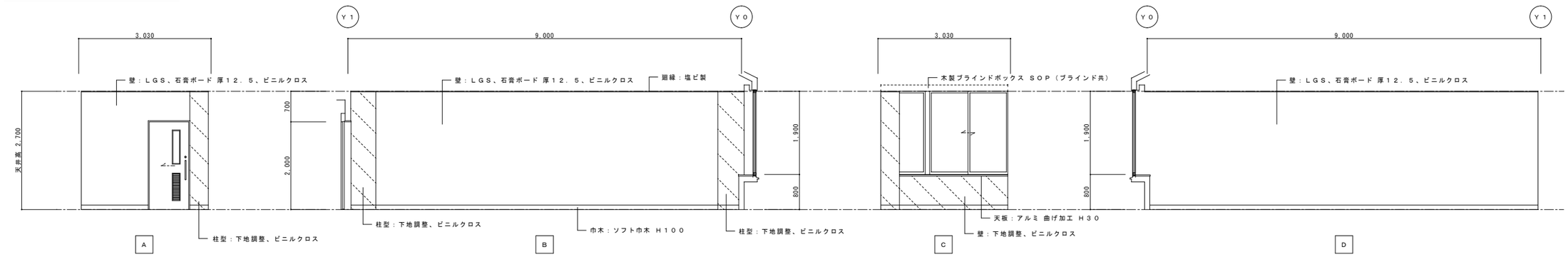




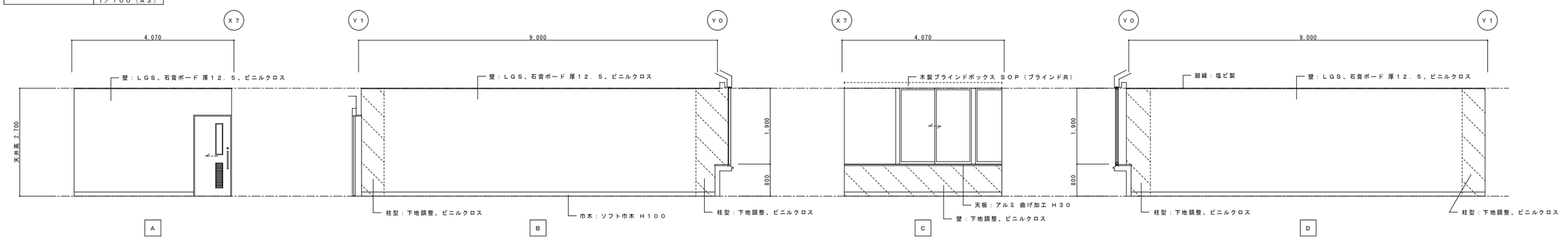
○ 凡 例

	既存下地範囲を示す。

＜改修＞２階事務室②　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

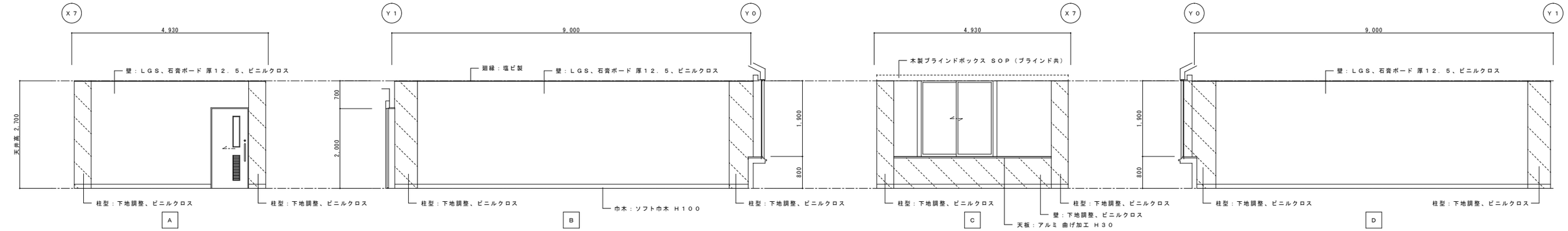


＜改修＞２階事務室③　1／５０（Ａ１）　1／１００（Ａ３）

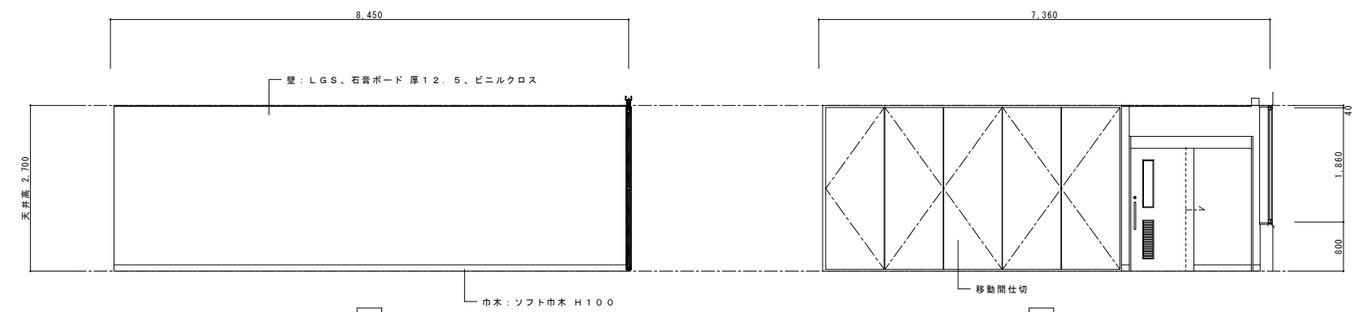


特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）	承認	管理建築士　印
		図名	＜改修＞展開図７	縮尺 1/50（A1） 1/100（A3）	図面番号 Ａ－７０
					図面提出日

＜改修＞２階事務室④ | １／５０（Ａ１）、１／１００（Ａ３）

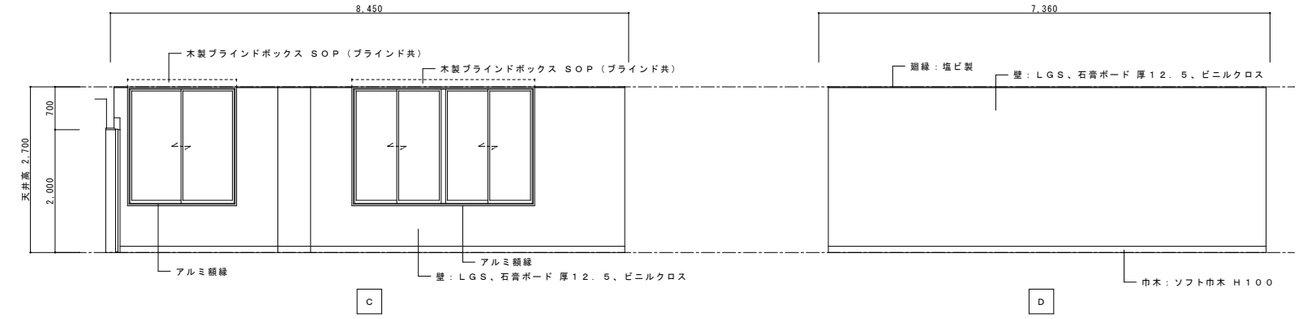


＜改修＞２階会議室① | １／５０（Ａ１）、１／１００（Ａ３）

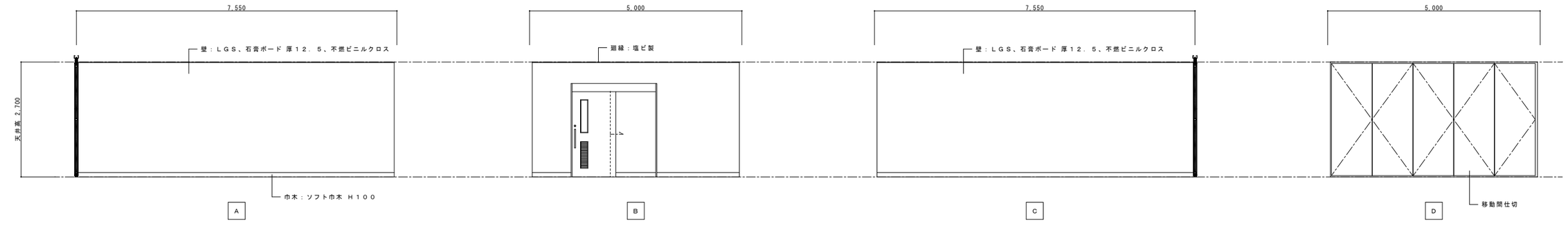


○ 凡 例

▨ 既存下地範囲を示す。



＜改修＞２階会議室② | １／５０（Ａ１）、１／１００（Ａ３）



特記		工事名	（仮称）伊賀市総合福祉会館改修工事（建築主体工事）			承認	管理建築士 ㊞
		図名	＜改修＞展開図８	縮尺	図面番号		
				１/５０（Ａ１） １/１００（Ａ３）	Ａ－７１	図面提出日	